



PORSCHE



Panamera

Good to know – 取扱説明書

「Porsche」、「Porsche クレスト」、「Panamera」、「PCCB」、「PCM」、「PDK」、「PSM」、「PTM」、「Equipment」およびその他の名称は Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG の登録商標です。 Printed in Germany. 抜粋であっても、再印刷、またはコピーは Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG. の書面による承認を持って唯一許可されます。 © Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG ポルシェジャパン株式会社

Germany

車載マニュアル

取扱説明書や整備手帳など、車両に付属の印刷物は車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

車両またはオンボードの文献について質問、提案、または懸念がありますか？

下記までご連絡ください。

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Vertrieb Customer Relations
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart
Germany

車両の装備について

ポルシェ社では絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。オプション装備品や国別仕様によってこの取扱説明書の内容と異なる場合があります。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

各国の異なる法的要件に起因して、車の機器は、この取扱説明書に記載されているものと異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店はすべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

警告およびシンボル

この取扱説明書には様々な警告およびシンボルが使用されています。



危険

重傷または致命傷を負う危険があります

「危険」カテゴリ内の警告を守らないと、死亡または重傷に至る危険があります。



警告

重傷または致命傷を負う危険があります

「警告」カテゴリ内の警告を守らないと、死亡または重傷に至る危険があります。



注意

ケガまたは軽傷を負う危険があります

「注意」カテゴリ内の警告に従わない場合には、中程度または軽傷を負う危険があります。

知識

車両を損傷する恐れがあります

お知らせ」カテゴリ内の警告に従わない場合には、車両が損傷する恐れがあります。

i インフォメーション

追加情報は、用語「情報」を使用して示されています

エアバッグ警告ラベル



危険

チャイルド・シートの助手席での使用

チャイルド・シート・システムが助手席に装着されている場合は、エアバッグが作動したとき、重大または致命的な怪我を負う危険があります。

▶ 決してフロントエアバッグ付きの助手席で後ろ向きにチャイルド・シート・システムを使用しないでください。それは、子供の**傷害や死亡**をもたらす危険があります。

▶ 「チャイルドシート・システム(チャイルド・シート)」の章 (158ページ) を参照してください。



マニュアルの構成

目次



本書の目次から確認したいトピックを探ることができます。

▷ 3ページ以降

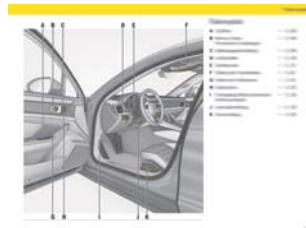
ドライビング・プレジャーと安全性



安全にドライビング・プレジャーを満喫していただくための方法を記載しています。

▷ 「安全性とドライビング・プレジャー」の章（4ページ）を参照してください。

概観図



構成部品や操作系について十分にご理解ください。

▷ 19ページ以降

実用的なヒント



新しい機能に関する補足情報を記載しています。

▷ 27ページ以降

五十音順トピック



構成部品や操作系の機能および操作方法についてお読みください。

テクニカル・データ



車両固有データについて記載されています。

▷ 288ページ以降

索引



探したい情報を簡単に見つけることができます。

目次

ドライビング・プレジャーと安全性	4	エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)	58	ナビゲーションおよび接続	
概観図		エンジンの始動および停止	60	Apple® CarPlay	281
Porsche Advanced Cockpit	20	オート・スタート/ストップ機能	65	デバイス・マネージャー	168
エンジン・コンパートメント・フィルター開口	25	クルーズ・コントロール	73	ナビ	187
オーバーヘッド・コンソール	22	スポーツクロノ・ストップウォッチ	129	接続	150
コントロール・パネル	21	トラフィックジャムアシスト	174	荷物および運搬	
リヤ・コントロール・パネル	24	トランスミッション	176	カップホルダー	68
後部座席	23	ドライブ・モード	170	スモーカーズ・パッケージ	132
運転席	19	ナイトビューアシスト	185	ラゲッジ・コンパートメント・ルーム	253
実用的なヒント	27	ハイブリッド車両	192	ルーフ・トランスポート・システム	264
開閉操作とロック		フロント・ワイパー	213	保管	239
ウィンドウ	52	ブレーキ	209	電気ソケット	180
キー	69	ボルシェ・カー・コネクト*	223	モビリティおよび軽修理	
セントラル・ロック・システム	133	ボルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)	234	お手入れ	275
ボンネット	237	ライト	247	けん引	75
リヤ・リッド	258	レーン・キープ・アシスト	267	ウィンドウ・ウォッシャー液	55
ルーフシステム	261	レーン・チェンジ・アシスト(LCA)	270	エンジン・オイル	62
エアコンおよび人間工学		故障	114	クーラント(冷却水)	71
エアバッグ・システム	56	格納式リヤ・スポイラー	77	ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム	124
シート	117	警報システム	113	フォーム	124
シート・ベルト	122	インストルメント・クラスターおよびPCM		ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動	126
ステアリング・ホイール	128	インストルメント・クラスター	41	タイヤとホイール	152
チャイルドシート・システム(チャイルド・シート)	158	ドライビング・データの表示(トリップ情報)	169	テスト・スタンドでの点検	167
パーソナル設定	202	ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)	224	バッテリー	196
ミラー	242	警告およびインフォメーション・メッセージ	90	バンクしたとき	199
エアコン(2/4ゾーンクライメートコントロール)	81	車両設定	141	ヒューズ	205
運転/ドライバー・アシスタンス・システム		エンターテインメントおよびコミュニケーション		ブレーキ・フルード	212
HOLD機能: 停止制御	283	Porsche Rear Seat Entertainment	284	充電	144
アダプティブクルーズコントロール(ACC)	31	ボイスコントロール	218	給油	78
インテリア・ライト	50	メディア	244	テクニカル・データ	288
		電話	181	索引	312
				お客様の署名	321

安全性とドライビング・プレジャー

ボルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、魅惑的な経験・間違いありません。更にはどのような状況でも安全性を提供します。そのためボルシェ社では、安全とは究極の品質であると考えます。ここで、ボルシェ運転中の安全性を保証する自らの役割を知ることができます。

完璧なテクノロジー: 安全のための前提条件

高品質な材料と優れた工程が長期間に渡る車両の寿命を確実なものにします。可能性を最大限に発揮するには、車両の点検およびお手入れが必要です。そうすれば、危険な状況でボルシェを信頼できます。

車両の損傷および正常な作動状態の点検



たとえば、技術的な問題がある車両は不適正な作動が原因で事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し(少なくとも1か月に1回および長距離ドライブの前)、技術的な問題がないことを確認してください。特に以下の点に注意してください。
 - タイヤに損傷がなく、空気圧は適正で、トレッドの溝の残りも十分にある

- ヘッドライト、ブレーキ・ライトおよび方向指示器がすべて正常に機能する
 - 空力部品に損傷がない
 - フロント・ワイパーに損傷がない
 - フロント・ガラス/窓のガラスに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
 - ドア・ミラーおよびルーム・ミラーに損傷がなく、適切な位置に調整されている
 - センサーとカメラに亀裂や損傷がない
 - クーリング・エア・ダクト、センサーおよびカメラの動きを妨げるものがない(フィルムまたはストーン・ガード、ナンバー・プレート・ホルダーなど)
- ▶ 車内の電磁波のレベルが許容値を超えないようにするため、外部アンテナに接続された車内電話や無線装置のみを使用してください。

タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト(破裂)する恐れがあります。運転操作を誤る危険があります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて少なくとも1か月に1回は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがないか確認してください。その際にタイヤの側面も点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ボルシェ正規販

売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。

- ▶ 損傷したタイヤを装着したまま運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整



タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎると、燃料消費が著しく増加する恐れがあります。

- ▶ ご使用のタイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ空気圧モニタリング・メニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致しているか確認してください。
 - ▶ 「車両設定」の章(141ページ)を参照してください。
- ▶ インストルメント・クラスターに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合: 速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷が

ないか点検してください。損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。必要に応じてタイヤ・シーラントで傷を修理してください。

- ▶ 「損傷したタイヤの補修。」の章（199ページ）を参照してください。

ライト類の点検



ライトが故障すると、周囲が暗いときにお客様の車両が識別しにくくなり、視界も確保できなくなります。他の通行者がお客様の車両に気付くのが遅れると、事故のリスクが高まります。ライト・システムの構成部品は以下のとおりです。

- パーキング・ライト、ロービーム、ドライビング・ライト、ハイビーム、方向指示器
- ブレーキ・ライト、リバース・ライト
- フォグ・ライト

- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

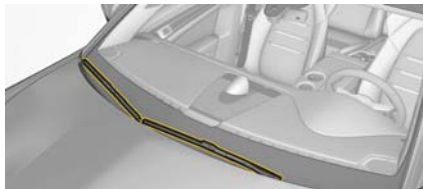
空力部品の点検



空力に影響する部品（スポイラーやアンダー・パネルなど）の損傷または欠損は、車両の操縦性に悪影響を及ぼす恐れがあります。

- ▶ 損傷がないか、日頃から定期的な点検を実施してください。
- ▶ 構成部品が損傷または欠損している場合は、必ず速やかに交換してください。

ガラスおよびワイパー・ブレードの清掃およびメンテナンス



フロント・ガラス／窓のガラスの汚れやワイパー・ブレードの不具合があると、視界が悪くなり、事故を起こすリスクが著しく高まります。

- ▶ 車両およびフロント・ガラス／窓のガラスは常にきれいな状態を維持してください。
- ▶ ワイパー・ブレードは凍結を溶かしてか

ら、フロント・ガラスから外してください。

- ▶ フロント・ワイパーを定期的に交換してください。遅くともフロント・ガラスに筋が残るようになったら交換が必要です。
 - ▶ 「ワイパー・ブレード」の章（216ページ）を参照してください。

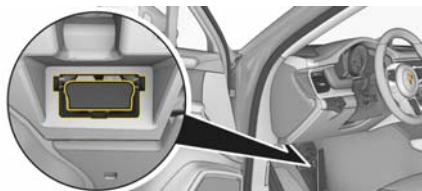
ポルシェ正規販売店によるメンテナンスおよび仕様変更



車両を改造すると、安全機能を低下させるだけでなく、その機能が失われる恐れがあります。認められていない作業を保証期間内に実施すると、保証が適用されない場合があります。

- ▶ 車両のメンテナンスおよび仕様変更のすべては、必ずポルシェ正規販売店で行ってください。車両の信頼性と走行安全性を確実にし、重大な損傷を防ぐことができます。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

故障診断用ソケット

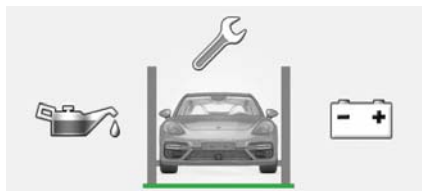


故障診断用ソケットは、ボルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。

故障診断用ソケットに接続された外部装置(ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど)は、車両のイグニッションがOFF状態の際に、システムの機能に悪影響を及ぼす可能性があるほか、バッテリーを完全に消耗もしくは損傷させる(完全に上がる)恐れがあります。外部機器およびケーブルは、ブレーキの踏み込み時またはカーブ走行時にペダル周辺のスペースを遮ったり、ペダルの間に絡まったりする可能性があります。

- ▶ いかなる機器も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▶ 運転席の足元に機器またはケーブルなどの物を置かないでください。

ボルシェ車に使用するスベア・パーツ



- ▶ 車両には、ボルシェ純正部品、またはボルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する同等部品のみを使用してください。車両の信頼性と走行安全性を確実にし、重大な損傷を防ぐことができます。これらの部品は、ボルシェ正規販売店から入手できます。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ アクセサリーを取り付けるときは、ボルシェ・ティクイップメント製品またはボルシェ社がテストを実施し、承認した部品のみをご使用ください。ボルシェ・ティクイップメントに関するインフォメーション: ボルシェ正規販売店にご相談ください。

i インフォメーション

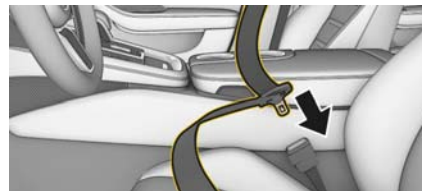
他の予備部品または付属品が使用された場合、ボルシェは、これらの部品によって引き起こされた損傷の責任を負いません。供給者が予備部品または付属品に対する一般的なオペレーティング・ライセンスを得ていたとしても、車両の安全性に依然として影響する可能性があります。ボルシェが承認していない予備部品または付属品の使用は、車両保証を無効にする可能性もあります。

荷物、安全装備、車両に子供をのせるとき：ボルシェ・ドライバーへの注意事項

ボルシェ車は、100km/h (60 mph) までわずか数秒という加速タイムを誇ります。このパワーを思いのままに操るには、走行前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。

このため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

あなたの命を守るもの：シート・ベルトの適切な着用



シート・ベルトは適切に着用し、正常に機能している場合にのみ乗員保護効果を発揮します。

i インフォメーション

例えば30 km/h (20 mph) 程度での走行中であっても、シート・ベルトを着用していないと重大な傷害を負う恐れがあります。安全装備はシート・ベルトと組み合わせることで乗員を保護します。例えば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合にのみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短い距離だとしても、シート・ベルトを常時しっかりと固定します。
- ▶ 1つのシート・ベルトは、1人の占有者だけを保護するために使用してください。
- ▶ 厚手の衣類 (例: コート) は脱いでください。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください (例: メガネまたはボールペン)
- ▶ シート・ベルトをねじらないでください。
- ▶ 使用していないシート・ベルトは完全に格納されていることを必ず確認してください。
- ▶ 妊婦の場合: 妊娠している運転手または乗客は、ラップベルトを腹部の下、ショルダールベルトを胸の上で締めます。
- ▶ 劣化または破損した場合、ベルト、ベルト・バックルまたは接続箇所を交換してください。
 - ▶ 「シート・ベルト」の章 (122ページ) を参照してください。

エアバッグ・システム



- すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合のみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮します。荷物は必ず安全に収納してください。
- ▶ 占有者とエアバッグが展開する範囲の間

- に、人、動物、または障害物がないことを確認してください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。

変更を加えたエアバッグ・システムは保護機能が機能しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う恐れがあります。

- ▶ シートカバーを使用しないでください。
- ▶ ハンドルまたはエアバッグ周辺に、付加的な装飾またはステッカーを付けないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品 (例: ステアリングホイール、フロント・シート、ルーフ・トリムなど) は取り外さないでください。
- ▶ エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。
 - ▶ 「エアバッグ・システム」の章 (56ページ) を参照してください。

パッセンジャー・コンパートメントのすべての荷物の固定



パッセンジャー・コンパートメント内で安全にまたは適切に配置されていない負荷は、ブ

レーキ、加速、方向転換、または事故の結果としてスライドすることがあります。これにより、乗員に危害が及んだりケガをする、怪我を負わせる恐れがあります。

i インフォメーション

例えば 50 km/h で走行中に衝突した場合は、固定されていない荷物がその重量 50 倍の力で前方に放り出されます。例えば、1.5 リットルの水が入っているペットボトルは 75 kg の力で車内で放り出されます。

- ▶ 荷物を載せるときは必ず固定してください。
- ▶ 荷物は常にラゲッジ・コンパートメントやルーフ・トランスポート・システムなどに安全に収納してください。
- ▶ 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物が飛び出さないようにしてください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントカバーの上またはダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ タイダウン・ベルトで荷物を固定する (ベルトの強度は最低でも 700kg のものを使用):
- ▶ カバーのないストレージ・コンパートメントで重い物体を移送しないでください。
- ▶ さらに、乗員に安全対策に関するすべての情報を提供してください。

荷物の適切な運搬および収納については: ページの「」の章を参照してください。253ページの「ラゲッジ・コンパートメント・ルーム」の章を参照してください。

挟み込みの防止



人や動物が以下の車両部品の作動範囲内にいると、身体の一部が巻き込まれたりまたはケガをする恐れがあります。特に以下の部品が挙げられます：

- 調整式シート
 - ドア
 - ウィンドウ
 - トレーラー・ヒッチ
 - フラップおよびリッド
 - ストレージ・コンパートメントの蓋
- ▶ これらの車両構成部分を稼働する場合、人または動物が稼働範囲内にいないことを確認してください。

お子様の動きの監督

9000_265



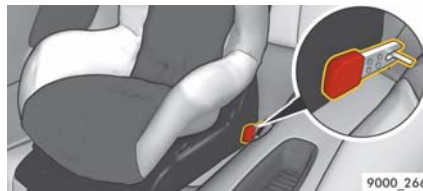
お子様は危険を正確に判断できないことがあり、危険な状況で不適切に行動する可能性があります。

お子様が自動設定（例：シート調整など）を誤って作動させ、ケガをする恐れがあります。緊

急時にお子様を外に脱出することができない可能性があります（例：オーバーヒートした車内）。このような状況では、特に小さいお子様の場合、生命に関わる恐れがあります。

- ▶ 高温部品や作動中の部品にお子様を近づけないでください（例：エキゾースト・テールパイプなど）。
- ▶ 有害物質（例：タイヤ・シーラント、エンジン・オイルなど）は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。

チャイルド・シートの安全な使用



チャイルド・シートは適切に装着した場合のみ機能します。

- ▶ ボルシェ社で承認されたチャイルド・シートのみを使用してください。
- ▶ チャイルド・シートを使用する前に：この取扱説明書に加え、チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、指示に従ってください。
 - ▷ 「チャイルドシート・システム(チャイルド・シート)」の章（158ページ）を参照してください。

安全で適切な運転: 常に正しい判断をする

ボルシェ車はオールラウンダーです。発車制御から緊急ブレーキ機能まで - 注意を怠る

と、何が起るかわかりません。ただし:最終的にパワフルな車両を常に制御下におく責任はドライバーにあります。

注意力低下の防止



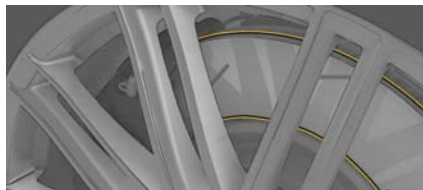
運転中にPCM やその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のために、車両が停止しているときしか使用できない機能もあります。

- ▶ 走行中は決してミラーやシート、ステアリング・ホイールを調整しないでください。シートやステアリングホイールが必要以上に大きく移動する恐れがあります。運転操作を誤る危険があります。ミラーやシート、ステアリングホイールの位置は、お出かけ前に必要に応じて調整してください。
- ▶ マルチファンクションステアリングホイール、インフォテイメント・システムなどは、交通状況が許す場合に限り操作することができます。操作が安全に行えない場合

は、安全な場所に停車してご使用ください。

- ▶ 後部座席のタッチディスプレイを運転席から操作しないでください。
- ▶ 運転中に携帯電話やその他の携帯機器を使用しないでください。
- ▶ 常にハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中は、ステアリングホイールのスポークの間に手を差し込まないでください。そうしてしまうと危険な状況に素早く対応できなくなります。

雨天時や積雪時のブレーキの挙動に関する注意



激しい降雨時、水たまりを通過したときや洗車後などは、ブレーキ表面に水膜が形成されブレーキの効きが悪くなり、ブレーキ・ペダルを余計に踏み込む必要があるかもしれません。

また、冬季の道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが付着物に覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

- ▶ 特に駐車する前には、ブレーキをかけてブレーキを乾燥させてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ 腐食したブレーキは「振動」が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不

快感がある場合は、ブレーキ・システムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル



- ▶ 「タイヤとホイール」の章（152ページ）を参照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生した場合の適切な対応

タイヤや車両が損傷していると、走行時にハンドルをとられたり振動が発生する恐れがあります。運転操作を誤る危険があります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合の原因がわからないときは、慎重に運転し、不具合の修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤを安全な状態に維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。慎重に運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の200 kmは、ゆっくりとした速度で慣らし運転を行ってください。

ウィンター・タイヤでの走行

ウィンター・タイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

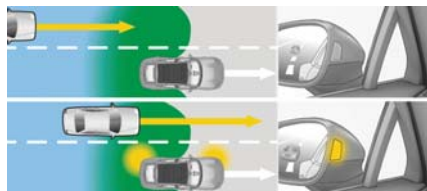
- ▶ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ インストルメント・クラスターで最高許容速度を制限速度として設定する：
 - ▶ 「速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定」の章（47ページ）を参照してください。

サマー・タイヤでの走行

外気温が15°C以下のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- ▶ 外気温が7°Cを下回った場合、冬用タイヤに交換してください。

アシスタント・システムおよびその制限



車両には、安全性と乗り心地を高めるドライバー・アシスタント・システムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ これらのシステムを過信して無謀な運転はしないでください。ドライバー・アシスタント・システムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- ▶ ドライバー・アシスタント・システムはドライバーの注意力の代わりになるものではありません。周囲の交通状況に適切な対応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタントシステムについて十分に理解してください。

ドライバー・アシスタント・システムの概要について以下に説明します。

アダプティブクルーズコントロール (ACC)	▶ p. 31
アンチロック・ブレーキ・システム (ABS)	▶ p. 235
HOLD機能	▶ p. 283

オートマチック・ヘッドライト、PDLS、PDLS Plus、ダイナミック・ハイ・ビーム	▶ p. 247
ナイトビューアシスト	▶ p. 185
ナビゲーション・システム	▶ p. 187
パーキングアシスト、リバーズ・カメラ、サラウンドビュー	▶ p. 114
エア・サスペンションおよびレベル・コントロール・システム付きボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント (PASM)	▶ p. 58
ボルシェ・トラクション・マネージメント (PTM)	
ボルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM)	▶ p. 234
ボルシェトルクベクトリングプラス (PTV Plus)	
タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	▶ p. 142
レーンキープアシスト	▶ p. 267
レーン・チェンジ・アシスト (LCA)	▶ p. 270

交通渋滞アシスト	▶ p. 174
クルーズ・コントロール	▶ p. 73

緊急ブレーキ機能

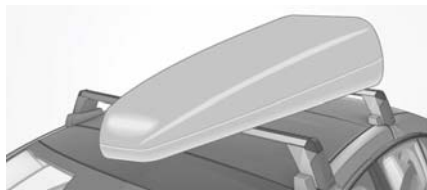


通常のフット・ブレーキが故障した場合は、エレクトリックパーキングブレーキを使用して急制動をかけることができます。

この緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。その結果、後続の車に危険がおよぶ恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は通常の運転時ではなく、緊急時にのみ使用してください。
- ▶ 緊急ブレーキをかけるには、ボタン(ⓘ)を引いて、そのまま引き続けてください。ブレーキを解除するには、スイッチを放してください。
 - ▶ 【緊急ブレーキ機能を作動させる】の章 (209ページ) を参照してください。

荷物積載時の運転



車両の操縦性は積載量によって変化します。ルーフ・トランスポート・システムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載しているときは、130 km/h 以上の速度で走行しないでください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載していないときは、180 km/h 以上の速度で走行しないでください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して走行する前に、このマニュアルの以下のセクションをお読みください。
 - ▷ 「ルーフ・トランスポート・システム」の章（264ページ）を参照してください。

ローンチ・コントロールを使用した発進



発進時にローンチ・コントロールが作動していると、車両は非常に早く加速します。特定の状況では（路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど）、車両の制御が失われたり、他の道路利用者に危険がおよぶ恐れがあります。

- ▶ 一般道では、路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限りローンチ・コントロールを使用してください。
- ▶ ローンチ・コントロールを使用して発進するときは、他の道路利用者に危険がおよばないようにしてください。
 - ▷ 「ローンチ・コントロールを使用した発進」の章（179ページ）を参照してください。
 - ▷ 「e-Launch を使用した発進」の章（179ページ）を参照してください。

警告シグナルへの適切な反応



センサーが異常や部品の不具合を検出すると、ライトやメッセージによって警告が発せられます。車両の警告シグナルを無視すると、事故やケガを招く危険性が高まります。

- ▶ 走行を始める前に警告灯およびメッセージの意味を理解し、警告に対して適切に対応できるようにしてください。必要であれば停車してください。
 - ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。
 - ▷ 「警告灯および表示灯」の章（43ページ）を参照してください。

給油中の危険



燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害でもあります。

- ▶ 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
 - ▷ 「給油」の章（78ページ）を参照してください。

車両に積んだ予備燃料容器が事故で損傷した場合は、燃料が漏れて発火や爆発を起こす恐れがあります。

- ▶ 車両に予備燃料容器を積載しないでください。

有害な液体類



燃料だけでなく、エンジン・オイル、トランスミッション・オイル、バッテリー液、クーラントおよびブレーキ液も人体に有害です。

- ▶ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。
- ▶ オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、必ずお客様の手が届かない所に保管してください。
- ▶ 残った液体類は、環境に考慮した方法および条例に遵守して処分してください。

エンジン・オイルは発火することがあります。エンジン・オイルを換気せずに保管したり、エンジン・オイルが付着した布を投げ捨てたりすると、自然発火して火災を引き起こす恐れがあります。

- ▶ こぼれたエンジン・オイルを布でふき取ってください。
- ▶ エンジン・オイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで必ず換気された場所に保管してください。

有毒な排気ガス



排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす危険があります。

- ▶ 停車中はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

安全な駐車



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出して人や物に損傷を与える恐れがあります。

降車する前に:

- ▶ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- ▶ P ボタンを使用してトランスミッション・パーキング・ロックを起動させてください。作動モードPがインストルメント・クラスターで点滅している場合、パーキング・ロックが正しくかかっていません。もう一度セレクション・レバー上のPボタンを押すか、イグニッションをOFFにしてください。イグニッションがOFFのとき、トランスミッション・パーキング・ロックが自動的に選択されます。

エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾースト・システムが非常に高温になっています。火傷の恐れや、火災の危険。

- ▶ 乾燥した草や枯れ葉などの可燃性の物が、高温のエキゾースト・システムに接触する恐れのある場所に、駐車しないでください。
- ▶ 車両後方に近づくときは、テール・パイプの近くで立ち止まったり、テール・パイプに触れないでください。
- ▶ お子様かテール・パイプの熱で火傷をしないように注意してください。

もしものために: 故障時や緊急時の場合の安全

故障した場合は、安全を確保するために次の点に注意してください。

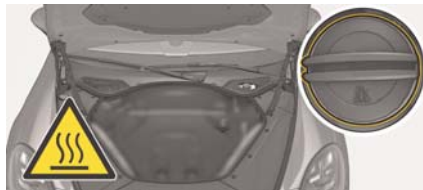
緊急時はボイス・コントロールを使用しないでください



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス・コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイス・コントロールを使用しないでください。

エンジン・コンパートメントで作業する際の注意事項



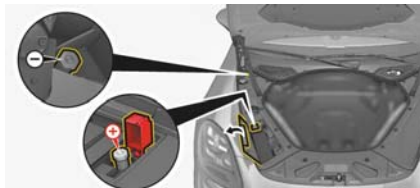
エンジンの作動中及び停止直後は、エンジン・コンパートメント内のエンジンおよび周辺部品が非常に高温になります。クーラント・リザーバー・タンクには圧力がかかっています。

ファンはいつでも自動で作動する可能性があります。

- ▶ エンジンをOFFにして、可能であれば冷やしてください。
- ▶ 身体の一部、衣服、長い髪、アクセサリー

- が、ファンおよびドライブ・ベルトなどの可動部品に触れないようにしてください。
- ▶ 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。
 - ▶ 水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときのみクーラントを補充してください。エンジンが熱いときは、クーラント・リザーバを開けないでください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動



不適切なジャンパー・ケーブルを使用して車両を始動したり、ジャンパー・ケーブルによる始動を適切に行わなかった場合は、回路がショートし火災が発生する恐れがあります。ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動中に、爆発性の高い電解質のガスがバッテリー周囲で発生することがあります。

また、エンジン・コンパートメント内の作業時にバッテリー液に接触したり、ラジエーター・ファンなどの部品が自動的に作動したりするとケガをする恐れがあります。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動を行う前に:

- ▶ 「ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動」の章（126ページ）を参照してください。

けん引



けん引や押しがけによる始動またはけん引は車両に重大な損傷を与える危険があります。

- ▶ けん引または押しがけによる始動はしないでください。
- ▶ 車両をけん引しないでください。
- ▶ ロードサイド・アシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。
- ▶ 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーで前輪と後輪の両方を使用して車両を輸送してください。
- ▶ 車両のけん引をする前に:
 - ▷ 「けん引」の章（75ページ）を参照してください。

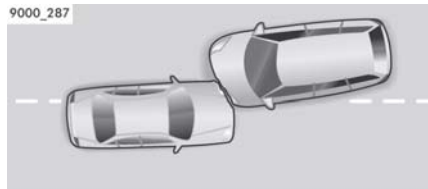
パンクしたとき



タイヤが損傷している場合、車速によっては車両を安全にステアリングすることができなくなります。

- ▶ 決してパンクしたタイヤで走行しないでください。
- ▶ 交通状況に応じて車両を安全に停止し、損傷を修理します。
 - ▷ 「パンクしたとき」の章（199ページ）を参照してください。

万一事故が起きたとき



事故の後は、シート・ベルト・プリテンショナーやエアバッグなどの安全装備が作動しなくなる恐れがあります。その場合は、安全装備が乗員保護効果を発揮できなくなります。

- ▶ 安全装備が作動しなかった場合でも点検を受けてください。
- ▶ 作動した安全装備は交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。

す。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

受信機



発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。

▲ 警告

火傷や火災につながる恐れがあります。

- ▶ 燃料などの可燃物の近くでは使用しないでください。引火する恐れがあります。
- ▶ 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けたり、近づけないでください。火傷をする恐れがあります。
- ▶ お子様がおさわらぬように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車を損傷する恐れがあります。

▲ 注意

トンネルの中などで使用すると、事故につながる恐れがあります。

- ▶ トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハ

ザード・ランプを使用してください。

発炎筒の使い方

1. キャップを外します。本体をひねりながら、ケースから取り出します。
2. 本体を逆に向けて、ケースに差し込みます。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り葉でこすると着火します。

知識

- ▶ 発炎筒の燃焼時間は約5分間です。
- ▶ 発炎筒には有効期限があります。表示している有効期限が切れる前に、新しい発炎筒に交換してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

お出かけの前に: ポルシェ車両に関する重要な情報

車両の慣らし運転

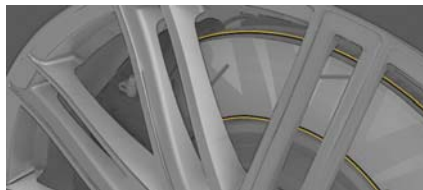


新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000 kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転中は、次の点に注意してください。

- ▶ 慣らし運転中はなるべく長距離を運転することをお勧めします。できるだけ、冷間始動と近距離運転の繰り返しは避けてください。
- ▶ 自動車レース、スポーツ・ドライビング・スクールなどに参加しないでください。
- ▶ エンジン回転数が4,000 rpmを超えないようにしてください。エンジン冷間時は低回転域で運転してください。

新しいブレーキ・パッドの慣らし運転



新品のブレーキ・パッドとブレーキ・ディスクには「慣らし運転」が必要です。新しい部品を装着してから最初の数百 km は、ブレーキ性能を完全には発揮できません。わずかながらブレーキの効きが弱くなるため、強めにブレーキ・ペダルを踏む必要があります。ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクを交換した場合も、同様に慣らし運転が必要です。

ハイブリッド車の特徴について



電気系統

高電圧車両電気システムおよび高電圧バッテリーの電圧は大変危険です。損傷した高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー・エレクトロニクスまたはA/Cコンプレッサーに触れると、感電により致命傷を負う危険があります。

ハイブリッド・システムのすべての構成部品には警告ラベルが貼付されています。高電圧ケーブルはオレンジに着色されています。

- ▶ 高電圧車両の電気システム、オレンジ色の高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー・エレクトロニクス、またはA/Cコンプレッサーに関する作業は行わないでください。
- ▶ 高電圧車両電気システムの高電圧ケーブル(オレンジ色)を損傷させたり、取り外したり切り離したりすることは絶対に行わないでください。
- ▶ 事故後など、損傷したハイブリッド・システムの部品には触らないでください。
- ▶ 高電圧バッテリーは絶対に取り外さないでください。

認識されづらくなる

電気システムを使用して走行している場合、車両の走行音はエンジン作動時よりもかなり小さくなります。交通静穏化の施された場所では、後退時や駐車時など、一定の状況下でお客様の車両が接近していることを他の通行者が気づきにくい場合があります。

- ▶ 十分に注意して走行してください。

ハイブリッド・システムの緊急遮断

i インフォメーション

事故後の迅速および安全な救助、または復旧のため、フロント・ドアの「e-hybrid」ロゴは取り外さないでください。

ハイブリッドシステムを危険な高電圧から保護するため、次のような場合にはシステムが自動的にOFFになります。

- 事故でシート・ベルト・プリテンショナーまたはエアバッグが作動した場合。
- ハイブリッド・システムの回路にショートが検出された場合。
- ハイブリッド・システムのプラグ接続のどれか1つが切り離された場合。

ハイブリッド・システムの緊急遮断が作動すると、車両は始動できなくなります。

- ▶ ご自身では絶対にハイブリッド・システムを再起動しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

サーキット走行の前に



公道走行とくらべ、サーキット走行には過度に大きな車両負荷を伴うため、純粋なレーシング・カーは短い間隔でメンテナンスおよび構成部品の整備を行ってこれに対処しています。これには、サーキット走行後毎回、点検の実施、必要な場合の各構成部品の交換、規定期間の経過後のアッセンブリ全体のオーバーホールを行うことが含まれます。

- ▶ レース・サーキットで運転する前に、常に現在の規定について問い合わせてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

ブレーキ・システム

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。

サーキット走行時はブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスクに高負荷がかかります。

- ▶ 使用開始から 12 か月以上経過したブレーキ・フルード：サーキット走行前に交換してください。
- ▶ サーキット走行の前後に、ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクに摩耗がないか点検してください。

タイヤ

サーキット走行時はタイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ サーキット走行の前後に、タイヤに摩耗がないか点検してください。
- ▶ レース用タイヤは装着しないでください。ポルシェ社はレース用タイヤを承認していません。

エンジン・オイル

- ▶ サーキット走行の前後に、エンジン・オイル・レベルを点検してください。
 - ▷ 「インストルメント・クラスター」の章（41ページ）を参照してください。
 - ▷ 「エンジン・オイル」の章（62ページ）を参照してください。

国外で走行する前に



すべてのポルシェ・モデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スベア・パーツが入手できない、あるいは、ポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。

国外で走行する前に以下の情報を確認してください。

- 車両が故障した場合、修理は可能ですか？
- 車両の技術的な調整が必要ではありませんか？
- 十分なオクタン価の燃料が入手可能ですか？

- ヘッドライトは左側 / 右側通行向けに変更する必要はありませんか？
- ▷ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。

車両でのデータ処理



エレクトロニック・コントロール・ユニットが車両に実装されています。お客様の車両の安全装備のために必要とされるコントロール・ユニットがあれば、走行中にアシスタンス（ドライバードアシスタント・システム）を提供するコントロール・ユニットもあります。さらに、エレクトロニック・コントロール・ユニットにより快適さやエンターテイメントのための機能も提供されています。

車両へのテクニカル・データの保存

エレクトロニック・コントロール・ユニットは、車両の状態、構成部品にかかる負荷、メンテナンス要求事項、イベント、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存できるデータ・メモリーを備えています。一般に、この技術的な情報には次のような、構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態が記録されています。

- システム構成部品の作動状態（充填レベルなど）
- 車両および各構成部品に関するステータス・メッセージ（ホイール回転数、速度、減速度、横加速度など）

- 重要なシステム構成部品(ライトやブレーキなど)の作動不良や故障
- 車両を損傷する可能性のあるイベントの情報
- 特別な走行状況での車両の応答(エアバッグの展開、スタビリティ・コントロール・システムの作動など)
- 環境条件(温度など)

実際のコントロール・ユニットの機能の提供に加え、このデータは故障の検出や訂正、およびメーカーが車両機能を最適化するために使用されます。このデータの大半は一時的なもので、車両本体においてのみ処理されます。ごく一部のデータだけが、イベント・メモリーもしくは故障メモリーに保存されます。さらに、エレクトロニック・コントロール・ユニットにより快適さやエンターテイメントのための機能も提供されています。

テクニカル・データの読み出し

車両のサービスを行う際、サービス・ネットワークの従業員(販売店、修理業者、メーカーなど)は車両から技術的な情報を読み出す場合があります。サービスには、修理サービス、サービス点検、保証が適用される作業、品質保証のための対策などが含まれます。データは法律で定められた、車両内の OBD (オンボード診断)のための接続を使用して読み出されます。データは該当するサービス・ネットワークの従業員によって収集、処理して使用され、製品をモニタする義務を順守するため、もしくは品質向上などのためにボルシェに送られることがあります。車両にある故障メモリーおよびイベント・メモリーは修理やサービスの作業の過程でリセットされる可能性があります。

車両の機能の使用

選択された装備オプションの範囲内で、マルチメディアやアドレス帳のデータもしくはナビゲーション目的地、車両のコンフォート機能やインフォテインメント機能の他の設定などの情報を入力できます。データは車両に保存したり、車両に接続したデバイス(携帯電話、USB スティック、MP3 プレーヤーなど)に保持しておくことが可能です。車両に保存されたデータは、いつでも消去できます。データはお客様のご要求に応じて、特にオンライン・サービスを使用時に、選択済みの設定に従って第三者に送られます。車両に必要な装備がある場合、接続した携帯電話もしくは他の携帯デバイスを、車両に実装されているコントロール機能を使用して操作することができます。携帯電話の画像やサウンドはマルチメディア・システムで表示できます。ある特定の情報もお客様の携帯電話に転送することができます。そのデータには、関係する装備のタイプにもよりますが、一般的な車両情報もしくは位置データなどが含まれます。これにより、ナビゲーション・システムやミュージック・プレーヤーなど、携帯電話の特定のアプリを最大限に活用することが可能になります。携帯電話による車両のデータへの頻繁なアクセスは発生しません。どのようなデータ処理を行うかは、使用するアプリのプロバイダーによって決められます。この機能のためにどのような設定を行えるのかは、携帯電話のアプリとオペレーティングシステムによって決まります。

オンライン・サービスの使用

車両がワイヤレス・ネットワーク接続できる場合、この機能を車両と周辺および他のシステムとの間でのデータの交換に使用できます。ワイヤレス・ネットワークには車両の送受信ユニット、もしくは接続した携帯機器(携

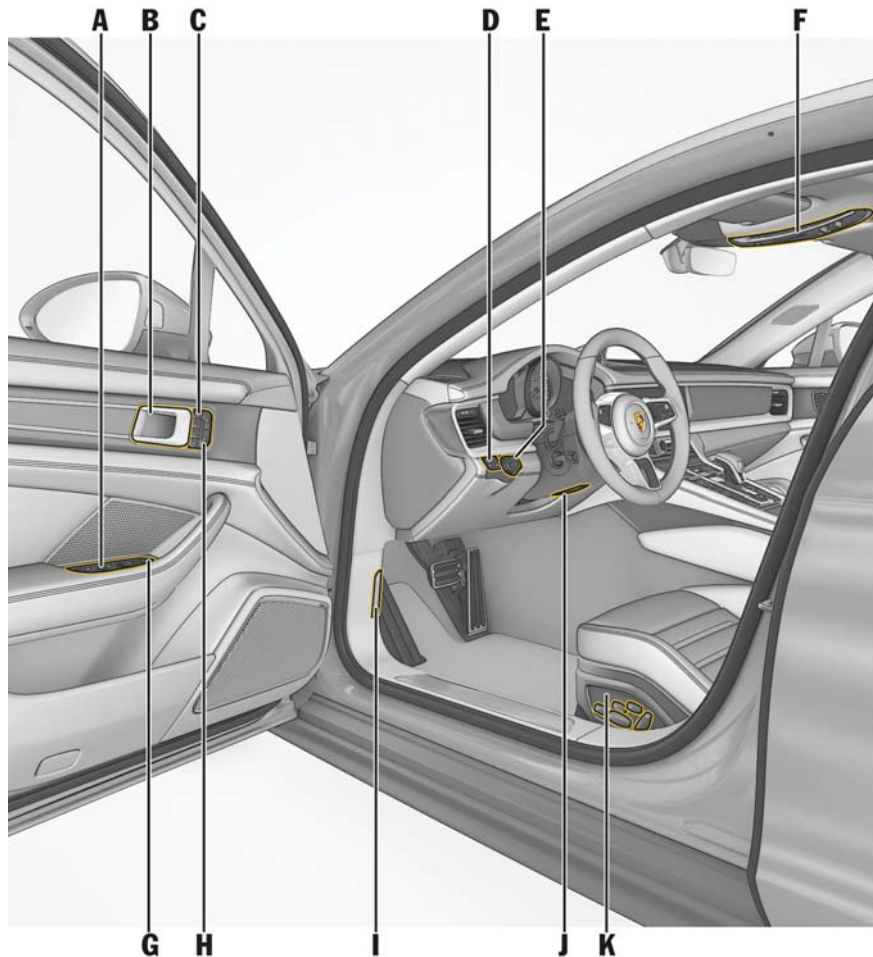
帯電話など)によって接続することができません。オンライン機能は、このワイヤレス・ネットワーク接続によって使用できます。これにはオンライン・サービスや、ボルシェもしくは他のプロバイダーを通して入手できるアプリが含まれます。

ボルシェ・オンライン・サービスでは、さまざまな機能がふさわしい場所で説明されており(ボルシェ・コネクト・ウェブサイトなど)、また関係するデータ保護法の情報が提供されています。個人情報にはオンライン・サービスの提供のために使用される場合があります。必要なデータの交換は保護された接続によって行われます。たとえば、ボルシェ IT システムはこの目的のために準備されました。サービス提供の必要を超える、個人データの収集、処理および使用は、法的な許可もしくは承諾に基づいてのみ発生します。

通常、(たいていは料金ベースの)サービスや機能、場合によっては車両のデータ接続全体を作動、停止により省かれています。オプションが他のプロバイダーのオンライン・サービスを使用するためである場合、該当するプロバイダーの責任となり、そのデータ保護ポリシーや使用規定に従うこととなります。ボルシェはこうしたケースでのデータ交換に全く影響を及ぼしません。そのため、第三者によるサービスにおける個人データの収集の内容、範囲および使用目的に関する情報は、該当するサービスプロバイダーから入手するようにしてください。

概観図

以下のページでは、車両のすべての部位の概観図が、簡単な説明文とともに表示されます。詳細な情報は関連ページでご確認いただけます。



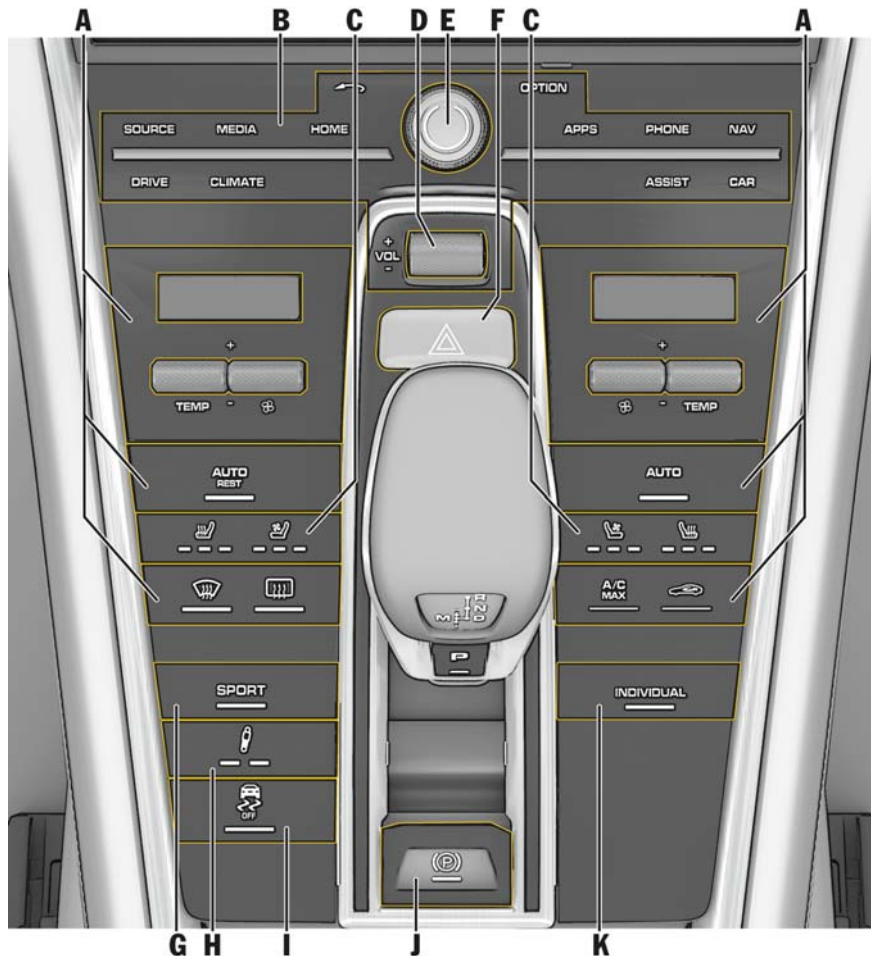
運転席

- A パワー・ウィンドウおよびリヤ・リッド ▶ p. 52
- B インナー・ドア・ハンドル ▶ p. 137
- C パーソナル設定用メモリー・ボタン ▶ p. 202
- D ライト・コントロール・パネル ▶ p. 247
- E イグニッション・ロック、ステアリング・ロック ▶ p. 60
- F オーバーヘッド・コンソール ▶ p. 22
- G ドア・ミラーの調整 ▶ p. 242
- H セントラル・ロック・システム ▶ p. 137
- I ボンネットの解除 ▶ p. 237
- J ステアリングホイール調節 ▶ p. 128
- K シート調節 ▶ p. 117



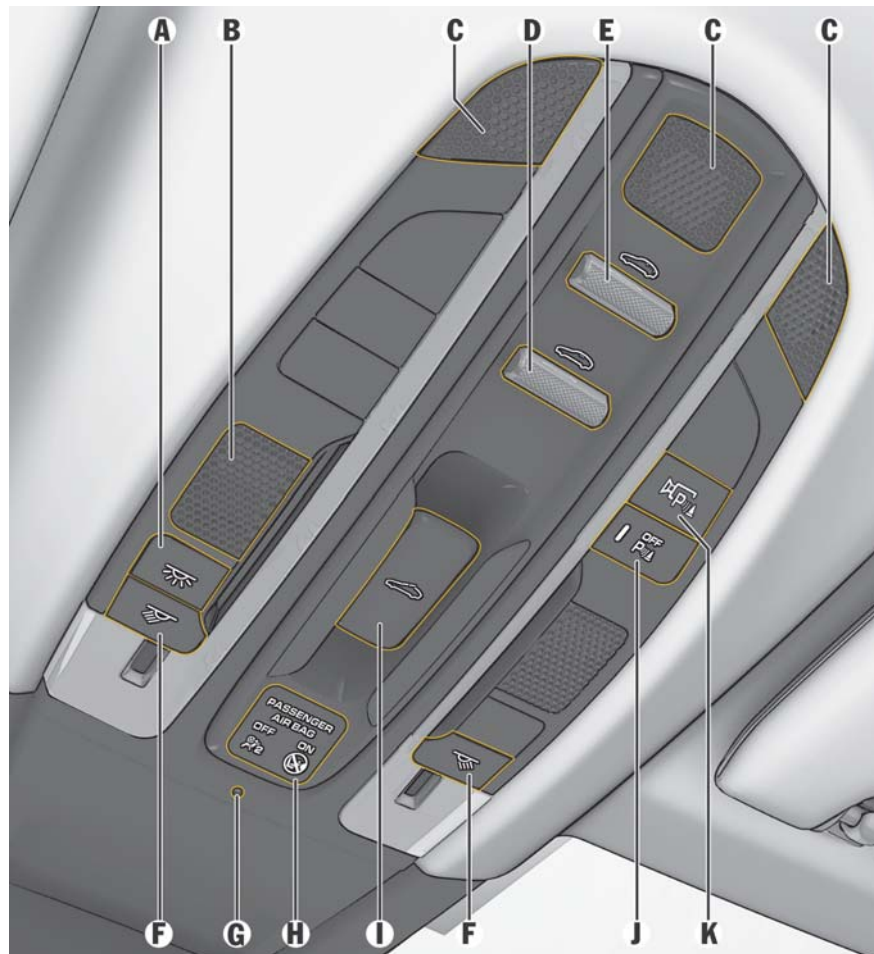
Porsche Advanced Cockpit

- A** 方向指示灯およびハイ・ビーム ▶ p. 247
- B** PDKシフト・パドル ▶ p. 176
- C** インストルメント・クラスター ▶ p. 41
- D** フロント・ワイパー ▶ p. 213
- E** スポーツ・クロノ・ストップウォッチ ▶ p. 129
- F** ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) ▶ p. 224
- G** エア・ベント ▶ p. 85
- H** グローブ・ボックス ▶ p. 239
- I** クルーズ・コントロール ▶ p. 73
- I** アダプティブクルーズコントロール (ACC) ▶ p. 31
- J** 電話コントロール、「速度およびアシスト」ディスプレイ ▶ p. 44
- K** 電話コントロール、「車両および情報」ディスプレイ ▶ p. 44
- L** モード・スイッチ ▶ p. 170
- M** コントロール・ユニット ▶ p. 21
- N** 灰皿、シガー・ライター ▶ p. 132
- O** アームレスト、小物入れ ▶ p. 240
- P** ドリンク・ホルダー ▶ p. 68



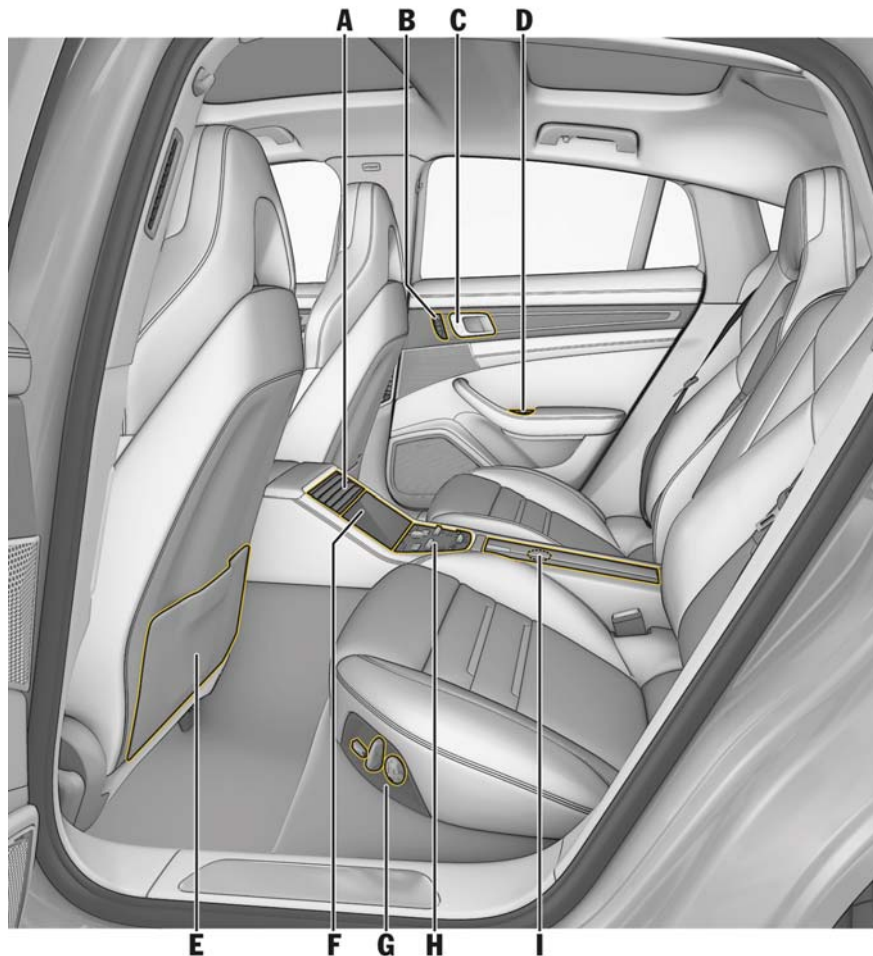
コントロール・パネル

- A エアコン・システム ▶ p. 81
- B ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) ▶ p. 224
- C シート・ヒーター、シート・ベンチレーター ▶ p. 119
- D 音量調節、ミュート ▶ p. 224
- E ロータリー・プッシュ・ボタン (PCMの操作用) ▶ p. 224
- F ハザード・ライト ▶ p. 247
- G スポーツ・モード ▶ p. 170
- H ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント (PASM) ボタン ▶ p. 58
- I ボルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) ▶ p. 234
- J エレクトリック・パーキング・ブレーキ ▶ p. 209
- K INDIVIDUAL モード ▶ p. 170



オーバーヘッド・コンソール

- A インテリア・ライト ▶ p. 50
- B ハンズフリー・マイク
- C 室内監視センサ ▶ p. 113
- D フロント・ロールアップ式サンブラインド ▶ p. 262
- E リア・ロールアップ式サンブラインド ▶ p. 262
- F 読書灯 ▶ p. 50
- G オリエンテーション・ライト
- H 助手席エアバッグOFF警告灯 ▶ p. 57
- I パノラマ・ルーフ・システム ▶ p. 261
- J パーキング・アシスタントOFFボタン ▶ p. 115
- K Surround View (サラウンド・ビュー) を有効にする ▶ p. 116



後部座席

- | | | | |
|---|----------------|---|--------|
| A | エア・ベント | ▷ | p. 84 |
| B | セントラル・ロック・システム | ▷ | p. 137 |
| C | インナー・ドア・ハンドル | | |
| D | パワー・ウィンドウ | ▷ | p. 52 |
| E | マップ・ポケット | | |
| F | タッチ・ディスプレイ | ▷ | p. 224 |
| G | シート調節 | ▷ | p. 118 |
| H | コントロール・ユニット | ▷ | p. |
| I | 小物入れ | ▷ | p. 240 |



リヤ・コントロール・パネル

- A エアコン・システム ▶ p. 81
- B ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) ▶ p. 224
- C ロータリー・プッシュ・ボタン (PCMの操作) ▶ p. 229
- D シート・ヒーター、シート・ベンチレーター ▶ p. 119
- E サン・ブラインド ▶ p. 262
- F リヤ・ロールアップ・ブラインド ▶ p. 54



エンジン・コンパートメント・フィルター開口












- | | | | |
|---|-------------|---|--------|
| A | フロントガラス洗浄 | ▷ | p. 55 |
| B | ブレーキ・フルード | ▷ | p. 212 |
| C | クーラント (冷却水) | ▷ | p. 71 |
| D | エンジン・オイル | ▷ | p. 62 |

実用的なヒント







以降のページには、車両の各エリアに関する実用的なヒントが掲載されています。

実用的なヒント

Porsche Advanced Cockpit と Porsche Communication Management (PCM) の一般的な操作

項目	ヒント
アシスト・システムの操作	ほとんどのアシスト・システムは、ダッシュボードのタッチディスプレイの アシスト  ▶ 制御  で ON/OFF を切り替えることができます。アシスト・システムの準備設定は アシスト  ▶ 設定  で選択できます。
車両設定	一般的な車両設定は 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 (車両設定) または 車両  ▶ 制御  ▶ ビュー (PCM タッチディスプレイとインストルメント・クラスター設定) で行なえます。
インストルメント・クラスターの操作	インストルメント・クラスターの左右に統合されたディスプレイは、マルチファンクション ステアリングホイールの回転ノブを回したり押したりすることにより操作します。 ▶ 「インストルメント・クラスター」の章 (41ページ) を参照してください。
情報ウィジェットおよびホーム画面でクイック・アクセス	情報ウィジェットおよびホーム画面  で重要な車両とインフォテインメント機能に素早くアクセスでき、個別に調整することが可能です。
デバイス・マネージャーを開く	接続はデバイス・マネージャーを使用して一元管理できます (例: 電話または Bluetooth® オーディオ・プレーヤに接続する)。 ▶ デバイス  を選択します。
ボイス・コントロールの起動	ステアリングホイール左側のコントロール・レバーの  ボタンで、アプリケーションに応じた様々な機能が起動します。 - 短く押す: PCMのボイスコントロールが有効になります。 - 長押しする: Siri® 音声認識が起動します (Apple® CarPlay と使用の場合のみ)。
接続された2台の携帯電話の切り替え	1台の携帯電話をすでにPCMに接続している場合でも、さらにもう1台の携帯電話をPCMに接続して、それらを切り替えることができます。 ▶ ヘッダーの右上で現在接続されている携帯電話を選択します。すでに接続している2つのデバイスが表示されます。▶ 希望する携帯電話を選択してください。




エアコン・システム

項目	ヒント
上部ベントパネルのON/OFF	<p>上部ベンチレーション・パネルは、ダッシュボードのタッチ・ディスプレイで個別に ON/OFF を切り替えることができます。</p> <p>▶ エアコン  ▶ エア  ▶ ベントパネル</p>
センターベントを調節する	<p>フロントまたはリア・センター・コンソールのセンター・エア・ベントは電動制御されており、下のタッチ・ディスプレイから制御できます。</p> <p>▶ エアコン  ▶ エア  ▶ センターベント</p>
空気の室に基づく外気供給の調整	<p>上部ベンチレーション・パネルは、ダッシュボードのタッチ・ディスプレイで個別に ON/OFF を切り替えることができます。</p> <p>▶ エアコン  ▶ エア  ▶ 自動内気循環</p>

シート

項目	ヒント
マッサージ機能の操作	<p>装置のバージョンに応じて、シートはマッサージ機能の特徴とし、それはシート・コンソール上のボタンおよびダッシュボード(ドライバおよび助手席)のタッチ・ディスプレイを介して、または後部(後部座席)の後部タッチ・ディスプレイを介して操作することができます。</p> <p>▶ 「シート」の章(117ページ)を参照してください。</p>

セントラル・ロック・システム

項目	ヒント
<p>車両のロックを解除すると、1つのドアのみ解除されます。</p>	<p>ドアのロックおよびロック解除の設定を変更します。設定内容に関係なく、すべてのドアをロック解除できます。</p> <p>▶ 車両キーの  ボタンを5秒以内に2回押してください。</p> <p>この設定は 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ ロック で変更できます。</p>
<p>足の動きでリヤ・リッドを開閉する</p>	<p>コンフォートアクセス装備車は、リヤ・リッドを足の動きでも操作できます。</p> <p>▶ 「リヤ・リッド」の章(258ページ)を参照してください。</p>

トピック

以下のページでは各トピックがアルファベット順で表示されています。

アダプティブクルーズコントロール (ACC)

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を使用すると、前走車がない場合に約 30~210 km/h の範囲でアクセル・ペダルを踏まずに希望する速度を維持したまま走行できます。

アダプティブクルーズコントロールは自転車と同一車線上に、設定した速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。アダプティブクルーズコントロールは前走車との車間距離が短くなると減速し、車間距離が長くなると設定速度の範囲内で加速します。



警告

集中力の低下

ACC により快適性は向上しますが、ドライバーは運転に責任を持ち、安全運転を心がけてください。ドライバーは、ACC が作動していても、安全な車間距離を保ち、適切なスピードで走行するなどの安全運転に努めてください。このシステムはドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ACC の減速が不十分な場合は、直ちにフット・ブレーキをかけて車両を減速させてください。常に車両がコントロールできるか確認してください。



警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

前走車との車間距離を適切に保ちながら、一定速度で走行できない場合、ACC を使用する

と、事故を起こす恐れがあります。

- ▶ 激しい渋滞、道路工事区域、市街地、カーブの多い道、路面状態が悪い場合 (冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面) などでは、ACC を使用しないでください。



警告

アダプティブ・クルーズ・コントロールにより他の車両や障害物を検出できない場合

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、歩行者、路上の障害物、同一車線上の対向車、前方を斜め方向に横切る車両などは検出できません。ACC では、停車中または低速走行中の車両は限定的に検出されます。

- ▶ 必要に応じて適切な運転操作をしてください。
- ▶ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

レーダー・センサー



図 1：レーダー・センサーの取り付け位置



インフォメーション

- ▶ レーダー・センサーの正常な機能を維持するため、センサーに付着した汚れ、氷、雪などはすぐに取り除いてください。
- ▶ 「お手入れ」の章 (275 ページ) を参照してください。



警告

レーダー・センサーおよびカメラの視界不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶきなどでレーダー・センサーおよびカメラの視界が阻害される場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

- ▶ 上記のような状況下では ACC を使用しないでください。



注意

ACC 制限または使用不可。

駐車時などにバンパー、ホイールハウス、車体の底面に振動やダメージが加わると、センサーの位置がずれる可能性があります。これは、アダプティブクルーズコントロールの性能に悪影響を及ぼす場合があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

例外条件

▲ 警告

危険な交通状況、路面状態が悪い状況での走行、および ACC システムの限界

- ▶ ACC では次の例外を考慮に入れる必要があります：
 - 安全のため、ACC 路面状態および / または天候が悪い状況 (滑りやすい路面、霧、石はね、豪雨、およびハイドロプレーニングなど) では使用しないでください。
 - 分岐車線、高速道路の出口、または道路工事区域を走行する場合は、ACC のスイッチを一時的に OFF にしてください。そうすることで、こうした状況で車両が設定速度まで加速できなくなります。
 - 足をアクセル・ペダルに置いている間は、ACC は自動的にブレーキを作動しません。アクセルに足を置くと、自動車速制御と自動車間距離制御が解除されます。
 - 停車中の車両 (渋滞の後方にいる車両など) に近づくと、ACC の作動は限定的なものになります。
 - ACC は、人間、動物、横切る物や対向する物には反応しません。
 - ガードレールやトンネルの入り口などの反射物、豪雨、氷はレーダー・センサーの機能に悪影響を及ぼす可能性があります。インストルメント・クラスターに ACC が停止中であることを示すメッセージが表示されます。

▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章 (90ページ) を参照してください。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) の基本的な作動

前走車がないとき - 一般道路での運転

アダプティブクルーズコントロールはクルーズ・コントロールと同様に作動します。設定された希望の速度が常に維持されます。

前走車を検出したとき - フォロー・モード

アダプティブクルーズコントロールは、自車と同一車線上に希望した設定速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車両間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

前走車が停止すると、アダプティブクルーズコントロールの制御範囲内で減速して停車します。

アダプティブクルーズコントロールは前走車が発進するまで停車状態を維持します。前走車が発進すると、アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) を再開することができます。

オーバーライド

アクセル・ペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。

アクセル・ペダルを踏み込んで車両が設定速度を上回ると、アダプティブクルーズコントロール (ACC) が解除されます。

インストルメントクラスターに ACC が停止中であることを示すメッセージが表示されます。設定された希望の速度は保存されています。

アクセル・ペダルを放すと、アダプティブクルーズコントロールは車両の速度を設定された希望の速度に調整し、自動車間距離制御を行います。

ACC の作動状態に関するインフォメーション:

▶ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の ON 時の作動モード」の章 (33ページ) を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の操作

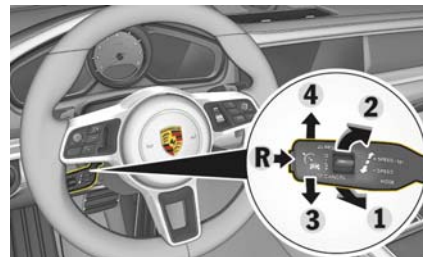


図 2 : アダプティブ・クルーズ・コントロールの操作

R ACC のスイッチ ON/OFF

1 速度の設定/加速

2 減速

3 中断 (CANCEL)

4 クルーズ・コントロールの再開 (RESUME)

i インフォメーション

ブレーキ・ペダルまたはアクセル・ペダルを操作した場合、いつでもドライバーの意志が優先されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の表示

アダプティブ・クルーズ・コントロールに関するすべての重要な情報、メッセージ、警告は、インストルメントクラスターの「速度およびアシスト」ディスプレイのACCメインメニューに表示されます。

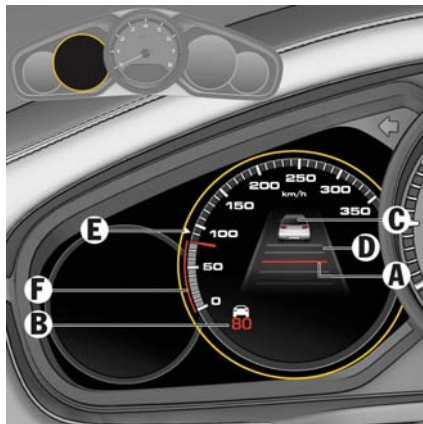


図 3: 「速度およびアシスト」表示の ACC

- A 前走車との設置車間距離
- B ステータス表示と目標速度
- C 先行車両の検知
- D 先行車両からの現在の距離
- E 先行車両の現在の速度
- F ステータス表示と目標速度

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) を ON にすると、インストルメントクラスターの「速度およびアシスト」ディスプレイのステータス・ディスプレイ B が表示されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動すると、ステータス・ディスプレイ B が赤色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動を中断すると、ステータス・ディスプレイ B が灰色になります。



アダプティブ・クルーズ・コントロールは ON になっており、希望する速度は保存されていません。



希望する速度は保存されており、前方に車両は検出されていません。



希望する速度は保存されており、前方に車両が検出されています。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のON/OFF

アダプティブクルーズコントロール (ACC)を

- ▶ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン R を押ししてください。インストルメントクラスターに灰色のシンボル・マークが表示されます。アダプティブクルーズコントロールはスタンバイ状態になります。

アダプティブクルーズコントロール (ACC)をOFFにする

- ▶ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン R を押しってください。インストルメントクラスターに ACC がオフであることを示すメッセージが表示されます。設定速度が削除されます。車間距離が保存されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の ON 時の作動モード

アダプティブ・クルーズ・コントロール ON 時には、3種類の作動モードがあります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)の作動

アダプティブ・クルーズ・コントロールが速度および前走車との車間距離を自動的に制御します。

ステータス・ディスプレイ B が赤色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)のスタンバイ

ブレーキ・ペダルを踏むか、レバーを押し下げると (3 の位置、CANCEL)、自動車速制御および自動車間距離制御が解除されます。

設定された希望速度および設定距離は保存されています。ステータス・ディスプレイ B が灰色になります。クルーズ・コントロールおよび車間距離制御の再開に関するインフォメーション：

36ページの「アダプティブ・クルーズ・コントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の中断と再開」の章を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)の速度超過

アクセル・ペダルを踏むと、クルーズ・コントロールおよび車間距離制御が解除されます。

インストルメントクラスターに ACC が停止中であることを示すメッセージが表示されません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

設定された希望速度および設定距離は保存されています。

ステータス・ディスプレイ **B** が灰色になります。

アクセル・ペダルを放した後、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）は再開されます。

か

さ

速度の設定/設定速度の変更

✓ アダプティブ・クルーズ・コントロールが ON

✓ 前方に静止した物体を検出していない
例外: 静止物が車両として認識された

た

な

速度の設定

1. ステアリング・ホイールの操作レバーを前方 (図2) に押ししてください。

そのときの走行速度が希望速度として保存され、自動的に維持されます (30 ~ 210 km/h の制御範囲内)。ステータス・ディスプレイ **B** に赤色で表示されます。

赤色のバー **F** は車両の速度を示します。

2. アクセル・ペダルから足を放してください。

自車よりも遅い速度の前走車が検出されるまで、設定速度が自動的に維持されます。

は

ま

や

i インフォメーション

静止物が前方に検出され、レバーを前方 (1 の位置) に押しと、インストルメントクラスターに「ACC cannot be activated when parked (ACC 不可 停車中)」のメッセージが表示されます。

ら

わ

A-Z

設定速度を上げる

▶ ステアリング・ホイールのレバーを前方 (1 の位置) に短く押ししてください。 (1 km/h 単位または 10 km/h 単位 (押し続けた場合))。

ステータス・ディスプレイ **B** に新しく設定した速度が表示されます。

赤色のバー **F** は車両の速度を示します。

設定速度を下げる

▶ ステアリング・ホイールに向かってレバーを (2 の位置) 短く引いてください。 (1 km/h 単位または 10 km/h 単位 (引き続けた場合))。

ステータス・ディスプレイ **B** に新しく設定した速度が表示されます。

赤色のバー **F** は車両の速度を示します。

車間距離の設定

前走車との車間距離を 5 段階に設定できます。ステージ **3** を使用することをお勧めします。

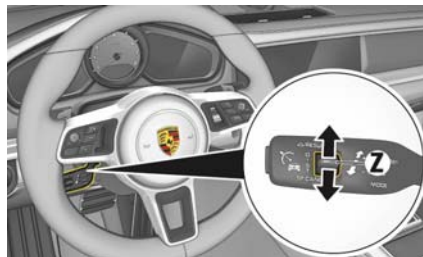


図 4 : 車間距離の設定

i インフォメーション

車間距離を設定すると、ACC ディスプレイが作動していない場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールの「ACC」メイン・メニューが一時的にインストルメントクラスターに表示されます。

最初にロッカー・スイッチ **Z** を操作すると、設定車間距離を変更することなく、「ACC」メイン・メニューが表示されます。

i インフォメーション

実際の車間距離は速度に応じて変化します。速度が低いときは車間距離が短くなり、速度が高くなると車間距離が長くなります。

車間距離を長くする

▶ スイッチ **Z** を軽く押し上げてください。設定距離を示す **A** から前走車 **C** までの、遠いほうの関連セグメントが表示されます。

車間距離を短くする






▶ スイッチ **Z** を下方向に短く押ししてください。設定距離を示す **A** から前走車 **C** までの、近いほうの関連セグメントが表示されます。

前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、インストルメントクラスターとステータス・ディスプレイ **B** に車両のシンボル・マーク **C** が表示されます。

灰色のゾーン **D** が、前走車との現在の車間距離を示します (図 3)。

前走車 **C** までの距離が短ければ短いほど、車両は大きく表示されます。前走車 **C** までの距離が遠ければ遠いほど、車両は小さく表示されます。

シンボル	適用	120km/h 時の車間 距離
	走行速度が高い道路での走行	約 33 m (±1 秒)
	少し余裕のある走行	約 43 m (±1.4 秒)
	前走車との車間距離が2秒に相当します	約 60 m (±約 1.8 秒)
	郊外路の走行	約 77 m (±約 2.2 秒)
	交通量が少ない道路での走行	約 87 m (±約 2.6 秒)

自動ブレーキ制御での停止

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに前走車が停止すると、制御範囲内で減速して停車します。インストルメントクラスターのインジケーター・ライト **HOLD** が点灯します。

車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。HOLD機能に関するインフォメーション：
283ページの「HOLD機能：停止制御」の章を参照してください。

インフォメーション

周囲の交通の状況によっては(例えば、ゆっくりとした交通の流れの中では)、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロールが正常に機能している場合や、HOLD機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

再発進

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)の作動

- ▶ ステアリング・ホイールのレバーを押し上げてください(4の位置、RESUME)。
 - または-
 - アクセル・ペダルを短く踏んでください。車両が自動的に再発進します。
- 渋滞の場合、数秒以内に再自動発進します。

インフォメーション

状況に応じて、アダプティブ・クルーズ・コントロールは渋滞の場合の再自動発進をサポートします。これは、低速走行する交通状況での快適な制御を可能にします。

警告 事故の危険

渋滞走行時に、自分の車両と前走車とのあいだに障害物がある場合でも、車両は再発進する可能性があります。

- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)のスタンバイ

自動車速制御および自動車間距離制御は、車両が停止中または走行中、前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

- ▶ ステアリング・ホイールのクルーズ・コントロール操作レバーを上方(4の位置、RESUME)に押ししてください。
 - または-
 - 速度を設定してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）の中断と再開

CANCEL（自動車速制御と自動車間距離制御の中断）

- ▶ ブレーキ・ペダルを踏んでください。
- または -
ステアリング・ホイールのクルーズ・コントロール操作レバーを下方（3 の位置、CANCEL）に押してください。
アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されます。
設定された希望速度および設定距離は保存されています。
ステータス・ディスプレイ B が赤色から灰色になります。

i インフォメーション

車両が停止している場合にのみ、レバーを使用して速度制御および距離制御をキャンセルできます。ACC も車両が停止中の場合にのみ作動できます。

RESUME（自動車速制御と自動車間距離制御の再開）

- ▶ ステアリング・ホイールのクルーズ・コントロール操作レバーを上方（4 の位置、RESUME）に短く押してください。
自車よりも遅い速度の前走車を検出し、あらかじめ設定した車間距離よりも接近するまでは、設定速度まで加速します。
ステータス・ディスプレイ B が灰色から赤色になります。

i インフォメーション

クルーズ・コントロール操作レバーを 3 の位置（CANCEL）に押して、自動車速制御および自動車間距離制御を中断した場合、発進後、前方に静止した物体を検出していないときのみに制御を再開できます。

ACC 警告メッセージ

アダプティブ・クルーズ・コントロール運転中(ACC active)のドライバーへの運転操作の要求

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合、警告音が鳴り、インストルメントクラスターに警告シンボルが表示されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 警告メッセージに関するインフォメーション:

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90 ページ）を参照してください。



警告

アダプティブ・クルーズ・コントロールによるオート・ブレーキ時の不十分な制動力

このような場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールによる制動力は衝突を回避するには不十分です。

- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の例外

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) が OFF になっているため、使用できない

- イグニッションが OFF のとき
- PSM が OFF のとき
- 運転席ドアが開いており、運転席シートベルトを着用していない
- エレクトリック・パーキング・ブレーキが作動しているとき
- セレクター・レバーが N、R、および P の位置にあるとき
- ゆるやかな上り坂や下り坂で停車したとき

レーダー・センサーが前走車を正常に検出できない状況

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) のレーダー・センサーは、自車正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視します。

このため周囲の道路状況や、前走車の大きさによっては、レーダー・センサーが前走車を検出できない、または検知が遅れる場合があります。その結果、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制動が遅れたり、ブレーキが突然かかることがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

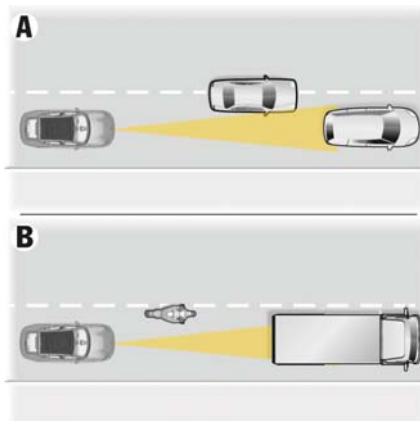


図 5：前方への割り込み、幅の狭い車両

A - 前走車の車線変更/前方への割り込み

車両が検出されるのは、自分の車線内に完全にとどまっている場合のみです。

B - 投影面積が小さな車両/幅の狭い車両

は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

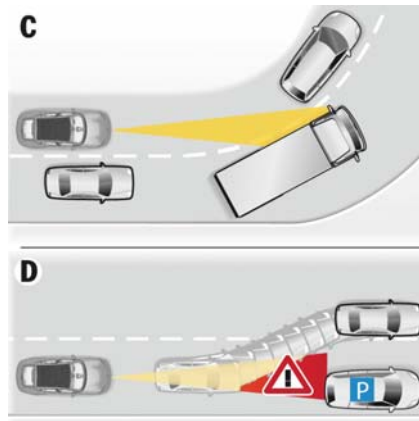


図 6：コーナリング中および停車中の車両

C - コーナーへの進入/脱出

前走車を検出できなかったり、遅すぎるタイミングで検出する場合があります。また、隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。

D - 停車中の車両

レーダー・センサーの監視エリアに突然停止中の車両または障害物が現れたとき（前走車が車線変更したときなど）は、アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) はその車両を検出しません。

▲ 警告

アダプティブ・クルーズ・コントロールの停止車両の不検出

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) のレーダー・センサーは停止中の車両

を検出しません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。



図 7：オーバーハングの長い車両

E - オーバーハングの長い車両

車両後部（木材運搬トラックなど）は正しく検出されません。

▲ 警告

前走車の後端が正しく検出されない

前走車に長いオーバーハングがある場合、アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) のレーダー・センサーはその車両の後端を検出できないか、または正しく検出することができません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

アクティブ・セーフティー - Porsche Active Safe (PAS)

Porsche Active Safe (PAS) には、次の機能が搭載されています。

- 警告および緊急ブレーキ機能
- 乗員の予防的保護機能

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

歩行者警告

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) のレーダー・センサーおよびフロントガラス手前にあるカメラは、車両前面を監視します。


都市部や郊外の速度範囲で別の車両との衝突が起こりそうになる場合、システムの限界内でそれを検出します。システムはドライバーに視覚、聴覚、そして必要ならブレーキ振動により警告します。状況によっては、必要に応じて、衝突速度を低減するか、または衝突を回避するため、システムはドライバーのブレーキ操作をサポートしたり、部分的または完全な減速を開始したりします。

乗員の予防的保護機能と併せて、フロントのシート・ベルトは可逆的に張力調整ができ、装置のバージョンによっては車内で事前調整が行われることもあります。


歩行者との衝突が起こりそうになる場合、システムの限界内で、カメラによりその検出が可能です。この場合、システムはドライバーに視覚および聴覚で警告します。

PASの ON/OFF 切り替え

▶ アシスト  ▶ 制御  ▶ Porsche Active Safe

PAS が OFF になると、 がインストルメント・クラスターに表示されます。

警告 PAS 制限または使用不可。

以下の状況下では PAS の機能が制限されるか、使用できず、 がインストルメント・クラスターに表示されます。

– PSM またはエアバッグ・コントロール・ユニットに不具合があると、PAS 機能を使用できなくなる場合もあります。

- PSM の機能が制限されたり OFF になったりすると、PAS も OFF になります。
- ▶ PAS の不必要な介入を防ぐため、公道外で運転する場合や、車両運搬車、電車、船などに積載する場合は PAS を OFF にしてください。

警告 PAS 利用時の不注意と物体の見落とし。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。事故を起こす恐れがあります。

- ▶ 以下の点に注意してください。
- PAS は、物理的な限界を超えることはできません。PAS はサポート・システムであり、すべての状況下で衝突を防げるものではありません。ドライバーには常にブレーキに備える責任があります。
- センサーやカメラは、事故につながる危険がある全ての物体や車線区分線を常に検知できるわけではありません。
- ドライバーには常に車速や前走車との車間距離を安全に保つ責任があり、視界、天候、交通状況に合わせて操作する必要があります。
- 複雑な判断が必要とされる状況では、PAS が不適切な警告を発したり、ドライバーに邪魔なブレーキ介入をしたりする可能性もあります。
- PAS は、動物、横切る物、はっきりと確認できない物には反応しません。
- ガードレールやトンネルの入り口などの反射物、豪雨、降雪、氷はレーダー・センサーに影響を及ぼすことがあるため、衝突の危険を予知できない場合もあります。

注意 限定的な PAS のみ、または使用不可

駐車時などにバンパー、ホイールハウス、車体の底面に振動やダメージが加わると、センサーの位置がずれる可能性があります。これによって、PAS に悪影響が及ぶ場合もあります。


▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告および緊急ブレーキ機能

システムの限界内で、PAS は衝突しそうになった場合に警告を発し、状況に応じたブレーキ操作を開始することが可能です。タイミング良く検知すれば、システムは危険な状況を察知し適切に対応することができまます。前方車両が突然ブレーキをかける場合や、かなり低速で動いている車両または停止中の車両に高速で近づく状況は危険です。検知できない場合、PAS は反応しません。



距離警告

Porsche Active Safe が、前方車両との車間距離が近すぎるために危険を検知した場合、ドライバーのスピードが約 65 ~ 250 km/h の範囲

内であれば、インストルメントクラスターにある  シンボルから警告が発せられます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。


距離警告の設定

- ▶ ASSIST  ▶ SET  ▶ Porsche Active Safe

衝突警告





図 8：衝突警告

PAS が、車両との衝突の危険を検知した場合、ドライバーのスピードが約 30 ~ 250 km/h の範囲内であれば、警告音と、インストルメントクラスターにある  シンボルから警告が発せられます。


- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。

この警告が発せられた場合でも、歩行者を避けるために進路を変え、急ブレーキをかけて衝突を回避する必要があるかもしれません。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが異なることがあります。このとき、車両は急ブレーキに備えた準備をします。

衝突の警告のタイミングの設定

- ▶ ASSIST  ▶ SET  ▶ Porsche Active Safe

緊急警告


衝突警告をドライバーが無視する場合、運転速度が約 30 ~ 250 km/h であれば、一瞬ブレーキをかけることによって衝突の危険を知らせるシステムがあります。さらに、警告音が鳴り、インストルメント・クラスターに  シンボルが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。

システムによって検出された危険状況に対してドライバーが応答しない場合、または適切な応答がない場合、PAS は、ブレーキ操作介入により支援することが可能です。

自動ブレーキ

ドライバーが緊急警告に反応しない場合、運転速度が 5 ~ 250 km/h であれば PAS は徐々にブレーキを強めていき、自動で車両を停止させることができます。衝突しそうな状況で減速することにより、事故の被害を軽減することができます。

衝突しそうな状況でドライバーのブレーキ操作が十分でないと PAS が判断した場合、ブレーキ圧を増加することが可能です。さらに、警告音が鳴り、インストルメント・クラスターに  シンボルが表示されます。

警告

PAS の自動ブレーキ

自動ブレーキで、車両を停止させることもできます。車両が停止してからは、ブレーキ・システムでブレーキがロックされることはありません。

- ▶ ブレーキを作動させることで、再度運転できるようになります。

警告

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

PAS システムでは、予期しないタイミングでブレーキが作動することがありますのでご注意ください。荷物が固定されていなかったり、不適切な位置に積載されている場合は、落下して乗員に危険なことがあります。

- ▶ 乗員スペースに荷物や固定していない物を載せて走行しないでください。

インフォメーション

ドライバーがブレーキをかけたり、アクセルを踏み込んだり、何らかの回避行動を取れば、PAS の自動ブレーキは作動しません。

乗員の予防的保護機能

シート・ベルト・システムの最適化

ドライブ開始から、フロントのシート・ベルトが徐々に締まり、乗員にとって最適な位置になるように調整されます。ドライブ・ス

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

39

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ビードが約 30 km/h に達するか、シート・ベルトを再度締めるとこの機能が作動します。シート・ベルトと車内のプレコンディショニング

事故につながりそうな状況が検知されると、PAS は衝突が起きる前に、予防的保護機能の効果を上げるためいろいろな措置を開始できます。そのため、フロントのシート・ベルトの可逆的な張力調整が行われたり、開いているウィンドウと (装置によっては) サンルーフが閉じられたり、フロント・シートの両側のボルスターが膨らまされたりします。

乗員の予防的保護機能は、システムの限界はあるものの、ドライバーが緊急ブレーキをかけた場合 (運転速度は約 30 km/h 以上の場合)、または車両の自動ブレーキ機能が作動したときに作動されます。衝突の危険がなくなり、運転の状況が安定すると、プレコンディショニング措置は終了し、シート・ベルト張力は再び解除されます。

▲ 警告

乗員の予防的保護機能の限界


PAS によって開始されるプレコンディショニング措置はチャイルド・シートもサポートしますが、物理的に超えられない限界があります。

- ▶ 以下の点にご注意ください。
- 何度も連続で作動する場合 (ドライバーの安全トレーニングなどで)、シート・ベルトの張力は段階的に引き上げられるため、張力を元に戻せないこともあります。その場合、シート・ベルトを外してから締め直すか、PAS をオフにしてください。
- PAS の介入後に事故が発生する場合、シート・ベルトの可逆的な張力調整機能が損傷してしまうことがあります。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします

す。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- PSM の機能が制限されたり、OFF になると、PAS の予防的乗員保護機能も OFF になります。
- 助手席エアバッグを無効にする場合 (チャイルド・シートを設置する場合など)、助手席側のシート・ベルトの可逆的な張力調整も無効になります。
- ▶ PAS のサンルーフとウィンドウの機能が該当する状況で正しく動作できるようにするため、また、事故の危険性を下げるために、乗員はウィンドウやサンルーフに頭や腕、物を置かないように注意する必要があります。

歩行者警告

システムが、歩行者との衝突の危険を検知した場合、ドライバーのスピードが約 12 ~ 85 km/h の範囲内であれば、警告音と、インストルメントクラスターにある  シンボルから警告が発せられます。歩行者が走行車線内で立ち止まっている場合、もしくは走行車線内へ移動している場合に警告が発せられます。この警告が発せられた場合でも、歩行者を避けるために進路を変え、急ブレーキをかけて衝突を回避する必要があるかもしれません。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが異なることがあります。

▲ 警告

PAS 検知パフォーマンスの低下

- 次の点を認識している必要があります。
- 霧や大雨、降雪など、視界不良の場合は、歩行者が検知できないこともあります。
 - PAS 歩行者警告は動物、または横断してい

る物体や見えにくい物体には反応しません。

- PAS 歩行者警告は、システムの限界があるため、複雑な判断が必要とされる状況では不適切な警告を発する場合があります。
- PSM の機能が制限されたり、OFF になると、歩行者の警告も OFF になります。
- ▶ 必要に応じて適切な運転操作をしてください。
- ▶ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

インストルメント・クラスター

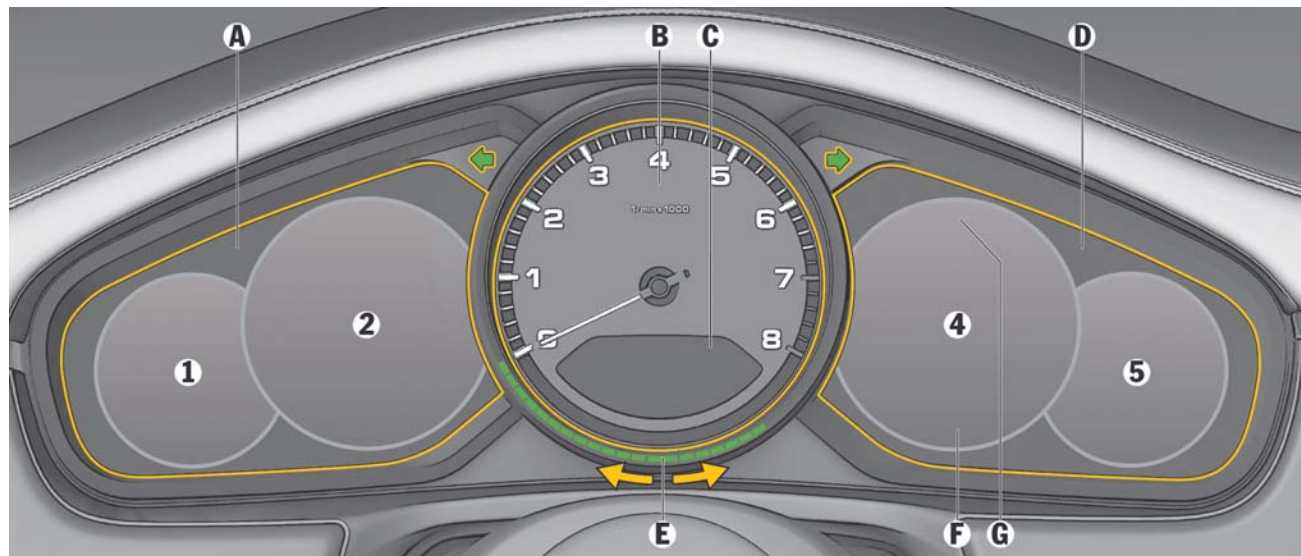


図9：インストルメント・クラスター

A - 「速度 & アシスト」ディスプレイ
 外気温度、速度、アシスタント・システムの情報は、チューブ1 および2 に表示されません。

「速度 & アシスト」ディスプレイディスプレイに関するインフォメーション：
 ▶ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。

B - タコメーター（回転計）
 タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

C - デジタル・スピードメーター / 「出力 & 駆動」ディスプレイ
 速度、セレクター・レバー・ポジション、ギヤ・ポジション、作動している走行モードの情報は、デジタル・スピードメーターに表示されます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ

A-Z

あ

D-「車両 & 情報」ディスプレイ

車両ステータス、ドライバー・アシスタント、日付と時刻の情報は、チューブ 4 および 5 に表示されます。

「車両 & 情報」ディスプレイの設定に関するインフォメーション:

- ▷ 「車両設定」の章 (141ページ) を参照してください。

E-パワー・メーター

✓ E-Hybrid 車両

現在の電気駆動力は、パワー・メーターの 6 時の位置の左に表示されます。現在の回生容量は、6 時の位置の右に表示されます。

F-クーラント温度計

車両の装備仕様により、クーラント温度計は、**車両** ディスプレイに表示される場合があります。

- ▷ 「インストルメント・クラスターの表示項目」の章 (45ページ) を参照してください。

バーが左側にあるとき—エンジン冷間時


- ▷ エンジンを高回転域まで回さないでください。また、大きな負荷をかけないでください。

バーが中央にあるとき—エンジン通常作動温度

- ▷ 外気温度が高いときにエンジンに大きな負荷をかけた場合、バーがレッド・ゾーンまで上がることがあります。

知識

クーラント温度が過度に高温になると、エンジン損傷の原因になる可能性があります。クーラントが熱くなりすぎると、クーラント温度計のバーが最高温度マークまで動きま

す。インストルメント・クラスターに、エンジン温度が高すぎることを示す警告メッセージが表示されます。警告灯  が点灯するか点滅します。

- ▶ レッド・ゾーンに達した場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けないでください。
- ▶ 冷却水温度が高すぎる場合と同じ手順を踏んでください。
- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章 (90ページ) を参照してください。

バーがレッド・ゾーンにあるとき—作動温度が高すぎる

- ▶ クーラント・レベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセージが表示されることがあります。車両が「通常」の状態に戻ったときに警告メッセージが消えない場合、クーラント・レベルを点検してください。
- ▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」の章 (72ページ) を参照してください。

F-バッテリー充電ステータス

✓ E-Hybrid 車両

バッテリーの充電状態および電動モーターによる走行可能距離を表示します。

充電ポート位置の表示



矢印は、車両のどちら側に充電ポート・ドアがあるかを示しています。

F-ブースト圧表示

車両の装備仕様により、クーラント温度計は、**車両** ディスプレイに表示される場合があります。

- ▷ 「インストルメント・クラスターの表示項目」の章 (45ページ) を参照してください。

G-燃料計

坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告灯

燃料レベルが機種ごとに設定された残量での走行可能な距離未満になった場合、残走行可能距離に関する警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▷ 「給油」の章 (78ページ) を参照してください。

知識

燃料が不足した状態で走行を続けると、エミッション・コントロール・システムに損傷を与える危険があります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 燃料範囲の警告が表示されている場合、高速でカーブしないでください。

フィルター・フラップの位置の表示



矢印は車両のフィルター・フラップの付いている側面を示しています。

A-Z











警告灯および表示灯
















知識

不具合は警告灯により示されます。不具合の原因が解消した場合のみ、該当する警告灯が消灯します。

次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションを ON にしたときに警告灯が点灯しないとき。
- エンジン作動中（走行中）に、警告灯が点灯または点滅するとき
- ▶ ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

-  ハイ・ビーム・インジケータ・ライト
-  ダイナミック・ハイ・ビーム・インジケータ・ライト
-  ロー・ビーム・インジケータ・ライト
-  リヤ・フォグ・ライト・インジケータ・ライト
-  フォグ・ライト・インジケータ・ライト
-  トレーラー方向指示灯
-  ボルシェ・ダイナミック・ライト・システム (PDL) 警告灯
-  ライト警告灯
-  水温計警告灯
-  EPC 警告灯

-  EPC 警告灯
-  ハイブリッド警告灯
-  ハイブリッド警告灯
-  距離警告 警告灯
-  タイヤ空気圧警告灯
- 新しく装着したタイヤまたはタイヤ空気圧センサーの登録プロセス中に、タイヤ空気圧の低下、故障、タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの一時的な不具合が起きた場合、警告灯が点滅するか点灯する場合があります。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) の設定」の章（142ページ）を参照してください。
-  E サウンド警告灯
-  4 輪駆動 警告灯
-  アシスタンス・システム警告灯
-  レーンチェンジアシスト (LCA) インジケータ・ライト
-  エレクトリック・パーキング・ブレーキ警告灯
-  ボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント (PASM) 警告灯
-  アンチロック・ブレーキ・システム (ABS) 警告灯
-  パワー・ステアリング警告灯
-  セントラル警告灯
-  方向指示灯、左

-  方向指示灯、右
-  エアバッグ警告灯
-  シートベルト警告灯
-  ブレーキ警告灯
-  ボルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) 警告灯
-  ボルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) OFF 警告灯
-  ナイトアシストインジケータ・ライト
-  HOLD機能インジケータ・ライト
-  エミッション・コントロール警告灯 (チェック・エンジン)
- 汚染物質の排出量を増加させ、損傷を引き起こす原因となる作動不良 (エンジンの不点火など) が生じた際に、警告灯が点滅または点灯する場合があります。

エミッション・コントロール (チェック・エンジン) 警告灯が点滅または点灯する場合

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
- ▶ 必要な措置を講じて、エミッション・コントロール・システムの不具合を解消してください。
 - ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

インストルメント・クラスターの操作



警告

運転中の設定と操作

運転中にマルチファンクション・ステアリングホイールやインフォテインメント・センターなどの設定と操作を行うと、運転から注意がそらされる可能性があります。運転操作を誤る危険があります。

- ▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。
- ▶ 安全を確保できない場合は、車両を適切な場所に停車してから複雑な操作を行い、設定を行うのは停車中だけにしてください。

インストルメント・クラスターはイグニッションをONにすると、スタンバイ状態になります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

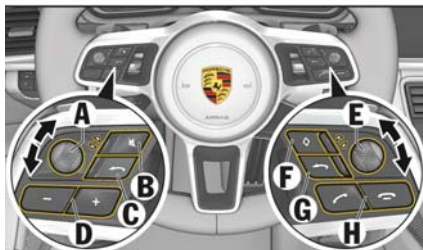


図 10：マルチファンクションステアリングホイールを使用するインストルメント・クラスターの操作

「速度およびアシスト 1」ディスプレイでのメニューおよび機能のスクロールと選択

- ▶ スクロール: ロータリー・ノブ A を上方向または下方向に回してください。
- ▶ 選択 / 入力: ロータリー・ノブ A を押してください。

「速度およびアシスト 1」ディスプレイでの、1 つ前、または複数前のメニューへの移動

- ▶ バック・ボタン C を押してください。

オーディオ・ソースのミュート

- ▶ ミュート・ボタン B を押してください。

音量を上げる / 下げる

- ▶ 音量ボタン D を押してください。

「車両および情報 2」ディスプレイでのメニューおよび機能のスクロールと選択

- ▶ スクロール: ロータリー・ノブ E を上方向または下方向に回してください。
- ▶ 選択 / 入力: ロータリー・ノブ E を押してください。

「車両および情報 2」ディスプレイでの、1 つ前、または複数前のメニューへの移動

- ▶ バック・ボタン G を押してください。

保存した機能呼び出す

- ▶ MFS ボタン F を押してください。ボタンは個別に割り当てることができます。
 - ▶ 「車両設定」の章 (141 ページ) を参照してください。

通話に応答する、通話を終了するまたは着信を拒否する

- ▶ 電話ボタン H を押してください。



インフォメーション

長いリストの中の選択された文字から始まる必要なリスト・エントリーにスキップするために、回転式ボタンを上下に素早く回します。

オプションの選択および機能の有効化

各オプションの項目名の前に付いているシンボル・マークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

複数のオプションから1つ選択してください



選択されたオプション



選択されていないオプション

機能の作動/停止



機能が作動します



機能が停止します

インストルメント・クラスターの表示項目

一部のディスプレイは停車中のみ利用できません。

この取扱説明書は機能の一部のみを紹介しています。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。



図 11：インストルメント・クラスターの表示項目

チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作場所
1	▶ 外気温度	外気温を表示します。	
2	▶ スピードメーター	スピードメーターを表示します。	
2	▶ 走行距離およびトリップ・メーター	<p>オドメーターとトリップ・メーターを表示します。トリップ・メーターは 9,999 km を超えると「0」に戻ります。</p> <p>トリップ・メーターのリセット</p> <p>▶ マルチファンクションステアリングホイールの左のロータリー・ノブ A (図 10) を押し続けてください。トリップ・メーターが点滅します。3 回点滅した後、「0」に戻ります。</p>	
2	▶ アシスタント・スクリーン	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) を調整して表示します。</p> <p>▶ p. 31</p> <p>レーンチェンジアシスト (LCA) を表示します。</p> <p>▶ p. 270</p>	

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作場所
か			レーン・キープ・アシストを表示します。	▷ p. 267
			クルーズ・コントロールを表示します。	▷ p. 73
さ			トラフィックジャム アシストを表示します。	▷ p. 213
た	2	▶ Eドライブ・アシスト	電気駆動力の現在の構成比を表示します (緑色の部分)。内燃エンジンは出力しきい値 E max に達すると始動します。	▷ p. 193
	2	▶ 制限速度	速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定を行い、表示します。	▷ p. 47
な	2	▶ ナビゲーション	ナビゲーション情報 (分岐点のメッセージなど) を表示します。	
	4	▶ 電話	接続済みの電話を使用します。	
は	4	▶ 4輪駆動	フロント アクセルとリア アクセル間の現在のトルク配分を棒グラフ形式で表示します。	
ま	4	▶ Sport Chrono	ストップウォッチで時間を計ります。	▷ p. 129
	4	▶ ブーストアシスト	加速に使用される電気駆動力の現在の構成比を表示します。	▷ p. 193
や	4	▶ エネルギーフロー	エネルギー・フローを表示します。	▷ p. 193
ら	4/5	▶ E燃費	車両の走行およびコンフォート機能 (エアコンなど) による電気消費量およびその構成比を表示します。	▷ p. 193
	4/5	▶ 車両	車両ディスプレイの表示を調整し、車両情報 (メッセージ、サービス間隔、充填レベル) を表示します。	▷ p. 47
わ	4/5	▶ トリップ	ドライビング・データ (平均燃料消費量、走行可能距離、走行時間など) を表示したり、リセットします。	▷ p. 169
A-Z	4/5	▶ G-Force	現在および最大の縦加速度および横加速度を円グラフで表示します。	
	4/5	▶ タイヤ空気圧	タイヤ空気圧モニタリングを表示します。	▷ p. 48

チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作場所
4/5	▶ マップ	マップを表示 / 調整します。	
4/5	▶ ナイトアシスト	熱画像検出機能付きのナイトアシストを表示します。	▶ p. 185
5	▶ 時刻と日付	時刻と日付を表示します。	

速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定

速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定を行い作動させると、その制限速度を超えたときに警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

この機能は、例えば、装着しているタイヤの許容最高速度に合わせて制限速度を設定し、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

1. 制限速度 ▶ 制限1: または Lim 2:
2. 任意の速度を選択してください。

- リセット: 制限速度をリセットします。
- 現在: 現在の速度を設定してください。
- 手動: 任意の速度値を設定してください。
- 有効: 制限速度を作動または解除します。

- 制限速度作動中
- 制限速度解除

車両情報の表示

さまざまな車両情報の表示

- ▶ 車両 ▶ ビュー

希望の車両情報ビューを選択してください。

ユーザ定義のビューを設定するには、次のようにします。
▶ 「車両設定の概要」の章（141ページ）を参照してください。

メッセージの表示

- ▶ 車両 ▶ お知らせ

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。
下部エリアに表示される警告シンボル・マークは、未解決の重要な警告の数を示しています。

サービス・インターバルの表示

1. 車両 ▶ 点検間隔
2. 任意のサービス・インターバルを選択してください。

次回のサービス（点検）時期が表示されません。

エンジン・オイル・レベルの測定と表示

知識

オイル・レベルが下限マークを下回っている場合、エンジン・オイルが不足しており、エンジンが十分に潤滑化されません。エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ オイル・レベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

i インフォメーション

状況により、オイル・レベルが測定されないことがあります。例えば、以下のような状況が考えられます。

- エンジン冷間時
- フルスロットで高速走行後の停車時
- エンジン油温が高すぎる場合

- ✓ 車両を平坦な場所に駐車してください。
- ✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1分間以上停止してください。

- ▶ 車両 ▶ オイル量

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

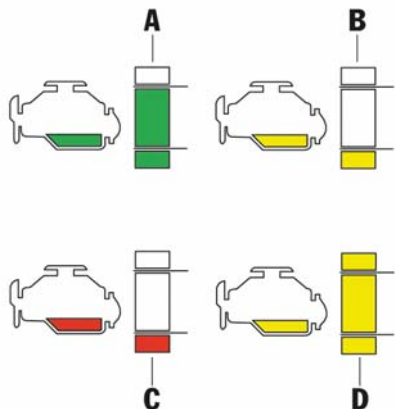


図 12：オイル・レベル・ゲージ

- A オイル・レベルが十分・最高水準に達している
- B 油量最低ライン
- C オイル・レベルが下限を下回っている
- D オイル・レベルが上限を超えている

表示が緑色 A の場合、オイル量は最高水準にあり、十分であることを示します。

最下部のセグメントが黄色 B で表示されている場合、オイル量が下限まで低下しています。

- ▶ 次の機会にインストルメント・クラスターに表示されている量のエンジン・オイルを補充してください。
表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。

▶ 「エンジン・オイルの選択と補充」の章（62ページ）を参照してください。
最下部のセグメントが赤色 C で表示されている場合、オイル量が下限を下回っています。

1. 適切な場所に停車してください。
2. 直ちにインストルメント・クラスターに表示されている量のエンジン・オイルを補充してください。

表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。

▶ 「エンジン・オイルの選択と補充」の章（62ページ）を参照してください。

最上部 D まで黄色で表示されている場合、エンジン・オイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷するおそれがあります。

次の機会にオイル・レベルを適正に戻してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

タイヤ空気圧モニタリング・システムには次の機能があります：

- タイヤ空気圧および温度を常時監視します。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧を表示します。
- 空気圧の低下を2段階（黄色/赤色）で警告します。
- 停車中に規定空気圧との差を表示します。

タイヤ空気圧警告灯 (⚠️)、および該当するインストルメント・クラスターの警告メッセージは、2段階（空気圧低下の程度に応じて、黄色/赤色）で異常を知らせます。

タイヤ空気圧を適正值に調整すると、タイヤ空気圧警告灯が消灯します。

車両を停止してイグニッションをOFFにする、または再びイグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告が約10秒間表示されます。イグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。赤色の空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

- ▶ タイヤ空気圧が正常にもかかわらず、タイヤ空気圧警告灯が点灯し、タイヤ空気圧警告が表示される場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリング・システムは、空気圧低下の原因となる自然放散や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。その一方、突発的な外的要因によるタイヤのパンクなど、急激な空気圧の低下は検出できず、警告しません。



警告

パンクしたタイヤ

パンクしたタイヤで走行すると、重大な事故を起こす恐れがあります。

- ▶ インストルメント・クラスターに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じて、パンク修理剤で応急処置を行うか、スペア

ア・ホイールを装着してください。

- ▶ 「バンクしたとき」の章（199ページ）を参照してください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続けしないでください。ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



警告

コンフォート・プレッシャーでの高速走行

コンフォート・プレッシャーでの制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- ▶ インストルメント・クラスターに表示された最大速度以下まで速度を落としてください。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの故障

以下の場合には監視が不完全になる場合があります：

- タイヤ空気圧モニタリングが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリング用のホイール・トランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中
- ホイールを交換した後、タイヤ設定を更新しなかった場合
- タイヤの温度が高すぎる場合
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。
- ▶ 「警告灯および表示灯」の章（43ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧の確認

各タイヤの空気圧は、車速が約 25 km/h を超えた場合、またはタイヤに 0.1 bar 以上の空気が補充されている場合にのみ表示されます。車両を約 10 分以上停止した後、イグニッションを ON にした場合、タイヤ空気圧の代わりにダッシュ記号「-。」が表示されます。

▶ タイヤ空気圧 ▶ 現在の空気圧

この空気圧表示は、情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- ▶ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

空気圧の差を表示する



図 13：圧力差の例

✓ 停止しているとき

▶ タイヤ空気圧 ▶ 空気圧偏差

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。Example:

右リヤ・ホイールの位置に -0.1 bar と表示された場合は、このタイヤに -0.1 bar の空気を補充してください。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、画面に表示される空気圧の差、または該当するタイヤ空気圧警告のみを使用すべきです。

タイヤの設定

タイヤの種類およびサイズ、積載荷重、コンフォート・プレッシャー/標準プレッシャーの設定は、ダッシュボードのタッチ画面から操作することができます。

- ▶ 「タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) の設定」の章（142ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ インテリア・ライト

か 輝度調節

- ▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ ライトと視界
- ▶ インテリアライト ▶ 明るさ

さ インテリア・ライトの切り替え

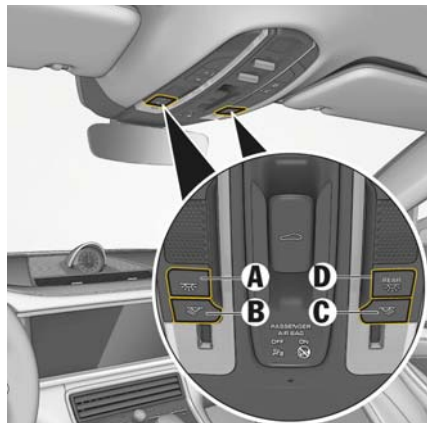


図 14：インテリア・ライトの操作

- A フロント・インテリア・ライト用ボタン
- B フロント左の読書灯用ボタン
- C フロント右の読書灯用ボタン
- D リヤ・インテリア・ライト用ボタン (装備によって異なります)



図 15：読書灯の操作

インテリア・ライトの ON/OFF

ナビライト

- ▶ ボタン A または D を押してください。

読書灯の切り替え

フロント読書灯

- ▶ ボタン B または C を押します。

リヤ読書灯

- ▶ 関連するドアの上のボタン E を押します。

輝度調節

- ▶ 所望の明るさが達成されるまで、少なくとも1秒以上関連するライトのボタンを押したままにします。

インテリア・ライトの自動的な点灯/消灯

- ▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ ライトと視界
- ▶ インテリアライト ▶ ドアを開いている間

暗くなると、以下の場合に、インテリア・ライトのスイッチがONになります：

- 車両のロックを解除するか、ドアを開けたとき

- イグニッションをOFFにし、運転席のシートベルトのバックルを外した後

インテリア・ライトは、次のような状況で再びOFFに切り替えられます：


- すべてのドアが閉じられた後
- イグニッションがONされた直後
- 車両がロックされた直後
- スイッチがONにされた約10分後、自動的に

インテリア・ライトOFFのディレイ時間を調整することができます。


- ▶ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。

アンビエント・ライトのON/OFF

アンビエント・ライトのON/OFF


1. 車両 ▶ 制御  ▶ アンビエントライト
2. ON を選択してください。

アンビエントライトのカラーの設定


1. 車両 ▶ 制御  ▶ アンビエントライト
2. カラー を選択してください。
3. ライトのカラーを設定してください。

アンビエント・ライトの明るさ調節

車内全体の明るさの設定

1. 車両 ▶ 制御  ▶ アンビエントライト
2. 明るさ を選択してください。
3. 明るさを設定してください。

車内の各位置の明るさの設定

1. 車両 ▶ 制御  ▶ アンビエント ライト
2. ルーフ, ドア, Center console または フットウェル を選択してください。
3. 明るさを設定してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ ウィンドウ

▲ 警告

ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ作動で閉じるときは十分に注意してください。

- ▶ ウィンドウを開閉するときは、ウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションを OFF にしてください。乗員がパワー・ウィンドウを誤って操作し、ケガをする危険があります。
- ▶ 危険が発生した場合 ポルシェ・イーゼン トリー装備車では、直ちにドア・ハンドルの近接センサーまたはキーのボタンを放してください。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。

▲ 警告

ウィンドウの自動閉操作

ウィンドウの操作が遮断された後に自動モードが無効化された時、ウィンドウは手で閉じます。

- ▶ ウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

i インフォメーション

ドア・ウィンドウを閉じるときに障害物で作動が妨げられると、ウィンドウが停止した後、再び数センチ下がります。

ウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。ウィンドウは手動操作で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、ウィンドウを手動操作で1回完全に閉じてください。

ウィンドウの開閉

- ✓ イグニッションを ON にする
- または -
- ✓ イグニッションを OFF にしてから 10 分以内
- ✓ 運転席 / 助手席ドアをまだ開いていない。

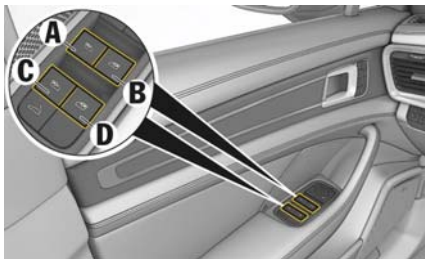


図 16 : 運転席ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチ

- A パワー・ウィンドウ、フロント、運転席
- B パワー・ウィンドウ、フロント、助手席
- C パワー・ウィンドウ、リヤ、運転席
- D パワー・ウィンドウ、リヤ、助手席

ロッカー・スイッチには 2 段階の作動位置があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

1 段階目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、ロッカー・スイッチを 1 段階目の位置まで押すもしくは引いてください。

ボタンを放すとウィンドウが止まります。

2 段階目 - ワンタッチ操作

- ▶ 2 段階目まで該当するロッカー・スイッチを短く押すか、または引いてください。ウィンドウが自動的にいっぱいまで開閉します。
- ▶ ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。

キーによるウィンドウの開閉



図 17 : キーによるウィンドウの開閉

- ✓ 機能が作動します。
 - ▷ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。
 - ▷ 希望の位置に達するまで、キーの車両ロック/ロック解除ボタンを押し続けてください。
- すべてのウィンドウおよびルーフ・システムが閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

i インフォメーション

リヤ・サイド・ウィンドウのロールアップ式サンブラインドが閉じている場合、リヤ・ウィンドウは開きません。

ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンドウを閉じる

- ✓ ポルシェ・イージーエントリー

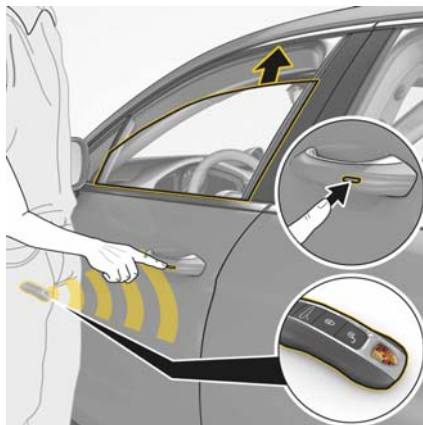


図 18：ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンドウを閉じる

- ✓ ポルシェ・イージーエントリー
 - ✓ キーをズボンのポケット等に入れて携帯します。
 - ✓ 機能が作動します。
 - ▷ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。
 - ▷ 車両をロックする時にウィンドウが希望の位置に達するまで、ドア・ハンドルのタッチ・センサーを押し続けてください。
- すべてのウィンドウおよびルーフ・システムが閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

ウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを外したり、再接続したりしたときは、ウィンドウの停止位置が消去されます。ウィンドウの自動モードが動作しません。

すべてのウィンドウで次の手順を実行します：

1. 第二の設定へスイッチを引いて、ウィンドウを一度完全に閉じます。
2. ウィンドウが完全に閉じた後、スイッチを再度短く2段目まで引いてください。
3. スイッチを押して、ウィンドウを一度完全に開きます。

リヤ・ドア操作を無効にする

- ▷ 「リヤでの操作を無効にする - チャイルド・プロテクション」の章（121ページ）を参照してください。

リヤ・サイド・ウィンドウのロールアップ式サンブラインドを使用する

i インフォメーション

リヤ・サイド・ウィンドウのサンブラインドは、リヤ・サイド・ウィンドウが閉じているときのみ上昇/下降させることができます。ロールアップ式サンブラインドは、正しい目的位置まで自動的に移動します。チャイルド・プロテクションが有効になっている場合は、リヤサイド・ウィンドウのロールアップ式サンブラインドは運転席ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチのみを用いて動作させることができます。チャイルド・プロテクションの詳細については：

- ▷ 「リヤでの操作を無効にする - チャイルド・プロテクション」の章（121ページ）を参照してください。



図 19：運転席ドアのパワーウィンドウ/ロールアップ式サンブラインド・スイッチ

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

リヤ・サイド・ウィンドウのロールアップ式サンブラインドを下げる

▶ 希望の位置になるまで、該当するウィンドウのロッカー・スイッチを引いてください。

—または—

▶ リヤのロールアップ式ブラインドを後退させる場合、サンブラインド・スイッチを押し続けます。

リヤ・サイド・ウィンドウのロールアップ式サンブラインドを下げる。

リヤサイド・ウィンドウのロールアップ式サンブラインドが後退します

▶ 希望の位置に達するまで、該当するウィンドウのロッカー・スイッチを押してください。

—または—

▶ リヤのロールアップ式ブラインドを下げる場合、サンブラインド・スイッチを押し続けます。

リヤ・サイド・ウィンドウのロールアップ式サンブラインドを格納します。

知識

リヤ・サイド・ウィンドウを開いたまま 180 km/h を超える速度で走行した場合、下げたロールアップ式サンブラインドが損傷する恐れがあります。

▶ ロールアップ式サンブラインドが下降されたまま 180 km/h を超える速度で走行している場合は、リヤ・サイド・ウィンドウを開かないでください。

リヤのロールアップ式サンブラインドの使用

i インフォメーション

チャイルド・プロテクションが有効になっている場合、リヤ・ロールアップ式ブラインドは、PCMのみを介して操作することができません。

フロントからのリヤ・ロールアップ式ブラインドの昇降

✓ イグニッションをONにする

▶ CAR  ▶ CONTROL  ▶ リヤのロールアップ式サンブラインド

リヤでリヤ・ロールアップ式ブラインドの昇降

✓ イグニッションをONにする

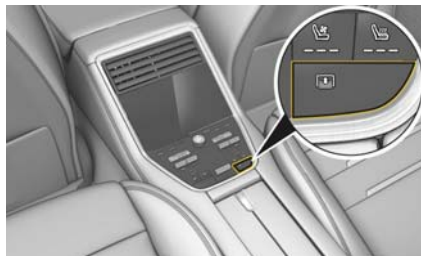


図 20：リヤ・ロールアップ式ブラインドのスイッチ

- ▶ リヤのボタンを短く押してください。
リヤ・ロールアップ式ブラインドは上昇 / 下降します。
- ▶ リヤのボタンを押し続けてください。
リヤ・ロールアップ式ブラインドおよびリヤ・ウィンドウのロールアップ式サンブラインドは上昇 / 下降します。

自動的に下降するリヤ・ロールアップ式ブラインド

- ✓ 機能が作動します。
 - ▶ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。
- ✓ リバース（後退）ギヤを選択し、イグニッションをONにする

ウィンドウ・ウォッシュャー液

- ▶ 「エンジン・コンパートメント・フィラー開口」の章（25ページ）を参照してください。

下記の点を必ず守ってください：

- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤（ウィンドウ・クリーナー濃縮液、不凍液）を混ぜ合わせてください。正しい混合比を遵守し、使用する添加剤の容器に記載されている注意事項に従ってください。
- 夏季: 水とウィンドウ・クリーナー濃縮液を入れてください。
- 冬季: 水、不凍液、およびウィンドウ・クリーナー濃縮液を入れてください。

次の条件を満たしているウィンドウ・クリーナーのみを使用してください：

- 濃度1:100
- 無リン
- プラスチック・ヘッドライト・レンズに適しているもの

ポルシェ社が推奨するウォッシュャー液濃縮液については、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

ウォッシュャー液が少ない場合、インストルメ

ント・クラスターに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。

ウォッシュャー液の補充

知識

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▶ ウォッシュャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシュャー液タンクのキャップを開けてください。
 2. ウォッシュャー液を補充してください。
 3. キャップを慎重に閉じてください。
- ▶ 「」の章（ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エアバッグ・システム



危険

不適切なシート位置
または適切に収納し
ていない荷物

すべての乗員がシート・ベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合にのみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

- ▶ シート・ベルトは必ず着用してください。
- ▶ 運転席と助手席の間、あるいは乗員とエアバッグが膨らむ空間に人や動物を座せたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ ステアリング・ホイールは、必ずリムの外側から持つようにしてください。
- ▶ エアバッグが保護効果を発揮するには、乗員との間に一定の空間が必要です。エアバッグに必要以上に近づきすぎない位置に、シート位置を調節してください。
- ▶ また、サイド・エアバッグ装備車では、ドア(エアバッグの拡張エリア)にもたれかからないでください。
- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に置かないでください。
- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブ・ボックスを閉じてください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。
- ▶ 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

エアバッグ・システムの機能

エアバッグは、シート・ベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、運転者や乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を守ります。

フロント・エアバッグは、運転席側はステアリング・ホイール・パッド内、助手席側はダッシュボードの中、さらに運転席と助手席の膝の高さに取り付けられています。

フロント・シートのサイド・エアバッグはバックレストの側面に取り付けられています。リヤ・シートのサイド・エアバッグ(車両装備による)はシート・バックレストの側面に取り付けられています。

ヘッド・エアバッグは左右のサイド・ルーフ・フレームに取り付けられています。それぞれのエアバッグは、衝突の角度および衝撃の大きさに応じて作動します。



危険

作動済みエアバッグ・システムの交換

エアバッグ・システムは1回のみ作動するように設計されています。

- ▶ 作動したエアバッグ・システムは直ちにボルシェ正規販売店で交換してください。
- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。




危険

エアバッグ・システムに変更を加えたことが原因の不具合

変更を加えたエアバッグ・システムは保護機能が機能しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不用意に作動した場合、重傷を負う恐れがあります。

- ▶ エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

故障の認識

エアバッグ・システムが故障した場合、インストルメントクラスターの赤いエアバッグ警告灯によって表示されます。

次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しない
または
- イグニッションをONにしたときに警告灯が消灯しない
または
- 走行中に警告灯が点灯する

ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専

用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグを OFF にする



危険

助手席エアバッグを OFFにする

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。



危険

助手席エアバッグの故障と作動不良

助手席エアバッグを OFF にして、イグニッションを ON にしたときに **PASSENGER AIR BAG OFF** 警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 「助手席エアバッグの ON/OFF」の章（164ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)

切り替え可能エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付き PASM は、アクティブ・ショック・アブゾーバーおよびサスペンション調整および車高バランス・システムです。アジャスタブル・ダンパー・システムは、走行状態や条件に応じて各ホイールに適切なダンパー・レベルを選択し、エア・サスペンションのスプリング・レートを選択し、自動的に負荷変化のバランスを取り、一定の車高を維持します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、3種類のシャーシ設定を選択できます：

- 「ノーマル」
- 「PASMスポーツ」
- 「PASMスポーツ・プラス」

コンフォート・モードでは快適な乗り心地のシャーシ設定になります。「PASMスポーツ」シャーシ設定ではスポーティーなショック・アブゾーバー設定になります。「PASMスポーツ・プラス」モードでは、サーキットでの走行などに特化したよりスポーティーなショック・アブゾーバー設定になります。車両高がノーマル・レベルより約 25 mm 低く設定されるため、ロー・レベルに切り替わりません。

走行状況に合わせて、マニュアル・モードに加えて、PASMもショック・アブゾーバーを

調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

i インフォメーション

- 重い荷物を積んでいても、車高は自動的に一定の高さに調整されます。各レベルはエンジン作動中にのみ設定することができます。
- レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、レベリング・システムが再び正常に機能するまでコンプレッサーを数分間冷やす必要があります。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整されます。

i インフォメーション

エア・サスペンション装備車を数週間停止したまま放置すると、車高が下がる場合があります。エンジンが始動すると、自動的に適切な車高に再調整されます。これには、作動状態に応じて、数分かかる場合があります。車高を調整する間、地面からのクリアランスは小さくなります。

PASMモードをONにする

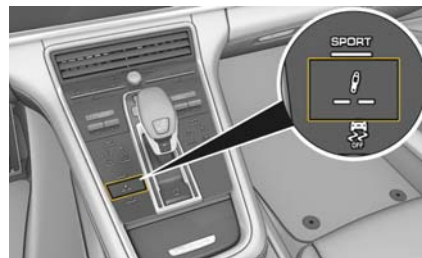


図 21：センター・コンソールの PASM ボタンを使ったシャーシ設定の選択

1. イグニッションをONにしてください。
2. **P** ボタンを繰り返し押ししてください。
ボタンのインジケーター：
 - 「ノーマル」（デフォルト設定）を選択した場合、インジケーター・ライトは点灯しません。
 - 「PASMスポーツ」を選択すると、インジケーター・ライトが 1 つ点灯します。
 - 「PASMスポーツ・プラス」を選択すると、インジケーター・ライトが 2 つ点灯します。

更に、選択したシャーシ設定はインストールメント・クラスターに短時間表示されます。

i インフォメーション

PASM モードは PCM でも設定できます。

▶ ドライブ  ▶ シャシー

i インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているシャシー設定がメモリーに保存されます。

i インフォメーション

停車中は車体の負荷のバランスを取るため、車高が自動的に調整されます。

車両レベルの調節

車両レベルはPCMで設定できます。イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているシャシー設定とレベルがメモリーに保存されます。

▶ **ドライブ**  ▶ シャシー高

ノーマル・レベル

ノーマル・レベルは「ノーマル」モードと「PASMスポーツ」モードで標準として採用されています。「PASMスポーツ・プラス」モードでは、PCMで**ドライブ**・メニューからノーマル・レベルを選択できます。

ハイ・レベル

レベル・コントロール・システムで、クリーピング時に車両をノーマル・レベルより約20mm上げることができます。これは縁石や傾斜を乗り越えるときに有効です。ハイ・レベルは車速が約30km/h未満のときにマニュアル設定でのみ選択できます。車速が約30km/hを超えると、車両は自動的に元の車高まで下がります。

i インフォメーション

- リフレクターの高さが法定取り付け位置を超えてしまうため、ハイ・レベルは一般道では使用しないでください。
- レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、レベリング・システムが再び正常に機能するまでコンプレッサーを数分間冷やす必要があります。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整されます。

ロー・レベル

「PASMスポーツ・プラス」モードを選択すると、自動的にロー・レベルに切り替わります。ドライブ・メニューのPCMでロー・レベルを手動で選択できます。

i インフォメーション

- 「ノーマル」モードの状態ではロー・レベルを選択すると、車両は自動的に「PASMスポーツ」モードに切り替わります。
- ドアが開いていると、車高レベルは変更されません。ドアを閉じてからレベルの設定を行ってください。

レベル・コントロールをOFFにする



警告

タイヤ交換時のレベリング・システムの作動

ジャッキから車両が滑り落ちる危険があります。身体の一部が挟まれたり、ケガをする恐

れがあります。

リフティング・プラットフォームまたはトrolley・ジャッキを使用して車両をリフトアップする

- ▶ 車高をノーマル・レベルにマニュアル設定します。
- ▶ レベル・コントロール・システムをOFFにします。

車両をリフティング・プラットフォームに乗せたり、ジャッキを使用して持ち上げたりする場合(車両ジャッキ・モード)、オート・レベル・コントロールは必ずOFFにしてください。

車両のジャッキ・アップに関するインフォメーション:

- ▶ 「ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム」の章(124ページ)を参照してください。

✓ 停車しているとき

▶ **車両**  ▶ **設定**  ▶ **車両** ▶ **シャシー** ▶ **車両ジャッキモード**

これで車両をジャッキ・アップできます。

i インフォメーション

車速が約7km/hを超えると、レベル・コントロール・システムは自動的にONになります。

警告シンボルへの対応

PASMの故障がインストールメント・クラスターに表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章(90ページ)を参照してください。

エンジンの始動および停止

イグニッション・ロック

キーはイグニッション ロックの制御装置に変わっています。キーはお客様が所持してください。

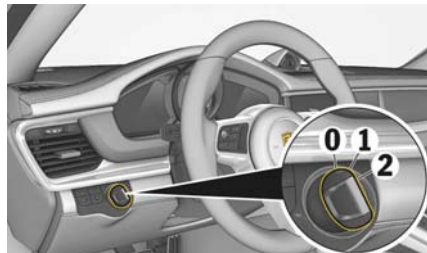


図 22：イグニッション・ロック/コントロール・ユニット

- 0 初期位置
- 1 イグニッションON
- 2 エンジンを始動/車両の作動準備を整えます (E-Hybrid 車両)。

0 - イグニッションOFF (初期位置)

エンジンと点火は、イグニッション・ロック位置 0 でOFFです。

1 - イグニッションON

ほとんどの電装品が作動可能になります。インストルメント・クラスタの警告灯が、ランプ点検として点灯します。

i インフォメーション

点火のスイッチがONになってから10分以内に、電装品のスイッチをONにしない場合、再び点火スイッチをONにする必要があります。制御装置は、イグニッション・ロック位置0 (最初の位置)で最初にONにする必要があります。

2 - エンジン始動

エンジンが始動すると、または E-Hybrid 車両の作動準備が整いますと、コントロール・ユニットはロック位置 2 から 1 に自動的に戻ります。

ステアリング・ホイールのロック/ロック解除

- ▶ 「ステアリング・コラムのロック解除/ロック」の章 (113ページ) を参照してください。

エンジンの始動

E-Hybrid 車両の始動に関するインフォメーション:

- ▶ 「車両の始動」の章 (192ページ) を参照してください。
 - 1. ブレーキ・ペダルを踏み込んでください。
 - 2. セレクター・レバーの P ボタンを押すか、作動モードの N を選択してください。
 - 3. アクセル・ペダルは踏まないでください。
 - 4. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置 2 に一時的に回してください。
- イグニッション・キー位置 2 (エンジン始動) にすると、直ちに始動プロセスが実行され、自動的に完了します。
- ▶ エンジンが始動しない場合は、10秒程度間をおいてから再度始動させてください。最

初に制御装置をイグニッション・ロックの位置 0 (最初の位置)に戻します。停車したままエンジンを暖機しないでください。直ちに発進してください。エンジンが動作温度に達するまで、高いエンジン・スピードやフル・スロットルを避けま

す。

車両を始動できない場合:

- ▶ 「車両キーの電池が消耗している、または電波干渉を受けている際に車両を始動する場合」の章 (70ページ) を参照してください。

エンジンの停止



警告

車両が不意に動き出す恐れがあります

車両が正しく駐車されなかった場合、不意に動き出し、人や物に損傷を与える危険があります。

- ▶ 車両から離れる前は、常に電気的な駐車ブレーキを起動させ、セレクタ・レバーの P ボタンを押してください。



警告

パワー・ステアリングとブレーキ・ブースターの解除

パワー・ステアリングおよびブレーキ・ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンが停止しているときは、ステアリング・ホイールやブレーキ・ペダルの操作は通常よりも強く行うことが必要になります。

- ▶ イグニッションをOFFにする前に、必ず車両を停車させてください。

1. 停車してください。
2. 制御装置をイグニッション・ロック位置 **0** に向けます。
 - ▶ 車両から離れる前に、セレクトタ・レバーの **P** ボタンを押し、電氣的な駐車ブレーキを起動してください。

i インフォメーション

制御装置は取り外せません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エンジン・オイル

エンジン・オイル・レベルの点検

オイル・レベルは、一定間隔で点検する必要があります(例えば、毎回の給油ごと)

オイル・レベル警告に対応する

オイル・レベルが低すぎる場合、シンボルがインストルメント・クラスタに表示され、エ

ンジンにオイルを直ちに補充する必要があることが示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章(90ページ)を参照してください。

インストルメント・クラスタのエンジン・オイル・レベルを読む

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル・レベルがオイル・レベル指示器の下限マークを下回る場合、エンジンが十分に作動しない可能性があります。

- ▶ オイル・レベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

- ▶ 「インストルメント・クラスター」の章(41ページ)を参照してください。

エンジン・オイルの選択と補充

警告

エンジン・コンパートメント・ブロウおよびエンジン周りの可動部品

エンジン・コンパートメントで作業を行うときは、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪などがエンジン・コンパートメント・ブロウやドライブ・ベルトなどの可動部品に絡まる恐れがあります。エンジン・コンパートメント・ブロウはボンネットに取り付けられています。エンジンのスイッチがOFFになった後でも、エンジン・コンパートメントの温

度がまだモニターされます。この間は、エンジン・コンパートメント・ブロウが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンをOFFにして身体の一部、衣服の一部、または装飾類がラジエーター・ファン、エンジン・コンパートメント・ブロウ、ドライブ・ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

警告

エンジン・オイルの発火

エンジン・オイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する危険があります。換気の悪い場所で保管されたエンジン・オイルやエンジン・オイルが付着したまま放置された布は、自然発火の恐れがあり、火災の原因となります。

- ▶ 布で飛散したエンジン・オイルをふき取ってください。
- ▶ エンジン・オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで十分に換気された場所で保管してください。
- ▶ エンジン・オイルを補充する前にエンジンを冷ましてください。

警告

高温のエンジン部品

エンジン稼働中はエンジンとその周辺部品、およびエグゾーストシステムが高温になります。

す。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエグゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン・コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジン・コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ エンジン・オイルの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。

知識

エンジン・オイルの過不足はエンジンに損傷を与えます。エンジン・オイルが多すぎると青煙の原因になり、長期的にはエミッション・コントロール・システムに損傷を与えません。

- ▶ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- ▶ 最大量の表示を超えないようにエンジン・オイルを補充してください。オイル・リザーバを補充しすぎた場合、できるだけ早くオイル量を適正に戻してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

下記の点を必ず守ってください：

1. すべての温度範囲に適合
2. -25 ° C を超える温度範囲に適合

- ボルシェ社が認証したオイルのみを使用してください。定期点検時期 (サービス・インターバル) を遵守してください。
- ボルシェ社が承認したオイルは、互いに混ぜ合わせるできません。
- オイル添加剤を混ぜないでください。
- エンジン・オイルの漏れが疑われる場合、エンジンを早急に点検してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン・オイルの選定

ボルシェ社は **Mobil 1** を推奨します。

車両	認定品	SAE 粘度等級
Panamera、Panamera 4	Porsche-C20 代替品: VW 508 00	SAE 0W-20 ¹
Panamera 4 E-Hybrid、Panamera 4S	Porsche C30 代替品: VW 504 00	SAE 0W-30 ¹ SAE 5W-30 ²
Panamera Turbo	Porsche A40	SAE 0W-40 ¹ SAE 5W-40 ² SAE 5W-50 ²

一般に、メーカーが認定するエンジン・オイルの仕様や規格は、オイル缶に記載されているか販売店に表示されています。最新の認定品をさらに確認するには: ボルシェ正規販売店にご相談ください。

エンジン・オイルの補充

- ▶ 「エンジン・コンパートメント・フィルター開口」の章 (25ページ) を参照してください。
- 1. インストルメント・クラスターのエンジン・オイル・レベルを確認してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

▷ 「インストルメント・クラスター」の章（41ページ）を参照してください。

2. オイル・フィルター・キャップを緩めて取り外してください。
3. インストルメント・クラスターに表示されている量のエンジン・オイルを追加してください。表示されたエンジン・オイルの量を超えて補充しないでください。
4. オイル・フィルター・キャップを慎重に取り付けてください。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

オート・スタート/ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するすべての条件が満たされるとオート・スタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより燃料の消費を節約します。

エンジンが自動停止した後もイグニッションがONの状態が維持され、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

エンジンを自動停止するための条件

- ✓ オート・スタート/ストップ機能がONになっている
- ✓ ボンネットが閉じている
- ✓ ブレーキ・ペダルが踏み込まれている
- ✓ PDK 作動モード **D**、**M**、**N**、または **P** が選択されている
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している
- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両を徐行運転した
- ✓ 運転席シート・ベルトを着用している、または運転席ドアが閉じている

エンジンの自動停止および自動始動

自動停止

1. ブレーキ・ペダルを踏んで停車してください。
2. ブレーキ・ペダルを踏み続けてください。
- または -

- ▶ 車両が停車中にセレクター・レバーの **P** ボタンを押してください。

i インフォメーション

停車中にブレーキ・ペダルを素早くいっぱいまで踏み込むと、HOLD機能が作動します。この機能は、ブレーキ・ペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。

- ▶ 「HOLD機能：停止制御」の章（283ページ）を参照してください。

エンジンはアクセル・ペダルを踏む、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

i インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) が ON の場合、前走車が停車すると車両は走行を停止し、エンジンも自動的に停止します。車両はHOLD機能によって停止状態に維持されます。

自動始動

- ✓ 作動モード **D**、**M**、**N**、または **P** が選択されています。
- ▶ フットブレーキを放してください (作動モードが **P** の位置にない場合)。
- または -
- ▶ アクセル・ペダルを踏み込んでください。
- または -
- ▶ ステアリング・ホイールを動かしてください。
- または -
- ▶ 作動モード **R** を選択してください。
エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

i インフォメーション

エアコンで車内を快適にするためなど特定の条件下で、エンジンが自動的に始動します。

i インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

降車時の作動

エンジンの自動停止時 (運転席シート・ベルトを着用しておらず、運転席のドアが開いており、ブレーキ・ペダルを踏んでいない場合) に降車すると、エンジンは自動的に始動しません。さらに、作動モード **D**、**R**、または **M** になっている場合:

- エレクトリックパーキングブレーキをかけます。209ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
- トランスミッション・パーキング・ロック **P** に入れます。176ページの「トランスミッション」の章を参照してください。

運転席ドアが開き、運転席シート・ベルトが外れた状態でも、エレクトリックパーキングブレーキを手動で解除すると車両を移動させることができます。この場合、パーキングブレーキは解除され、トランスミッション・レンジは選択された位置のままになります。

作動モード **D**、**R**、または **M** でパーキング・ブレーキを解除した場合、またはブレーキ・ペダルを踏んだ状態で作動モード **D**、**R**、**M** が選択されている場合には、エンジンが再始動します。

降車後 30 秒以内に以下の条件のうちの 1 つが検出された場合、オート・スタート/ストップ機能が再開します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

- ブレーキ・ペダルを踏み、さらに運転席ドアを閉じるか、運転席シート・ベルトを着用した場合。
- または -
- 運転席ドアを閉じ、運転席シート・ベルトを着用した場合。
- または -
- 運転席ドアを閉じ、運転席シート・ベルトを着用したうえで、アクセル・ペダルを踏んだ場合。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

車両を離れてから 30 秒以内にオート・スタート/ストップ機能を OFF にした場合、運転席ドアを閉めてシート・ベルトを着用すると、エンジンが始動します。上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて 30 秒後にエンジンを手動で始動する必要があります。エンジンを手動で始動する必要があることを示すメッセージが、インストルメント・クラスターに表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。
- ▷ 「エンジンの始動および停止」の章（60ページ）を参照してください。
- ▷ 「シート・ベルト」の章（122ページ）を参照してください。

オート・スタート/ストップ機能の例外

- 例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能は使用できません：
- SPORT/SPORT PLUS モードが作動しているとき
 - PSM が OFF、または SPORT モードのとき
 - クリーピング時
 - AC MAXモード（最大冷却出力）の作動中

- 「フロント・デフロスター」が作動しているとき
- 標高が高いとき
- 車高を調整しているとき
- 連結されたトレーラー車両が検出されたとき（バイク・ラック・コネクタまたはトレーラー・コネクタが接続されていると検出されます）他社製のトレーラー・ヒッチを車両に連結している場合はオート・スタート/ストップ機能を手動で停止してください。

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能は一時的に制限されます：


- エアコンやヒーターを高負荷で作動させているとき
- バッテリーの充電状態が低いとき
- 上り坂や下り坂で停車したとき
- オート・エンジン・チェック機能など車両が初期点検を実行しているとき
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高いとき

インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

オート・スタート/ストップ機能の ON/OFF を切り替える

OFFにする

▷ ドライブ  ▷ スタート/ストップ 


オート・スタート/ストップ機能が停止します。

ONにする


▷ ドライブ  ▷ スタート/ストップ 

停車すると、エンジンが自動的に停止します。

オート・スタート/ストップ機能の表示

 エンジンの自動停止および再始動の準備

オート・スタート/ストップ機能でエンジンが自動停止した場合、インストルメントクラスターのインジケーター・ライトが緑色に点灯します。

 エンジンが自動停止しない、または再始動可能な状態になっていない

オート・スタート/ストップ機能が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動しない場合は、停車中にインストルメントクラスターのインジケーター・ライトが黄色に点灯します。オート・スタート/ストップ・システムは、次の状態を検出します：

- エンジンを自動停止するための条件の少なくとも1つが満たされていない。
- または -
- オート・スタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも1つ以上満たされている。

- ▷ 「エンジンを自動停止するための条件」の章（65ページ）を参照してください。
- ▷ 「オート・スタート/ストップ機能の例外」の章（66ページ）を参照してください。

警告シンボルへの対応

故障したときは、オート・スタート/ストップ機能が解除されたことを示すメッセージがインストルメントクラスターに表示されません。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

カップホルダー

▲ 注意

熱い飲み物がこぼれる

熱い飲み物がこぼれて火傷をする場合があります。

- ▶ カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。
- ▶ 熱い飲み物を置かないでください。
- ▶ 運転中はカップ・ホルダーを収納しておいてください。

知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- ▶ カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。

装備によって異なりますが、リヤおよびフロント・センター・コンソールにカップ・ホルダーが2個から6個装着してあります。さらにリヤ・アームレストにもカップ・ホルダーがあります。

フロント・カップ・ホルダーの使用方法

- ▶ センター・コンソールを左または右に押しします。



図 23：フロント・アームレストのカップ・ホルダー

- ▶ インサートを下方向に押してください。カップ・ホルダーが使用できます。
- ▶ フラット・サポート・サーフェスを引き出すには、ボタンを上方向に押し上げながらインサートを拡張します。

リヤ・カップ・ホルダーの使用

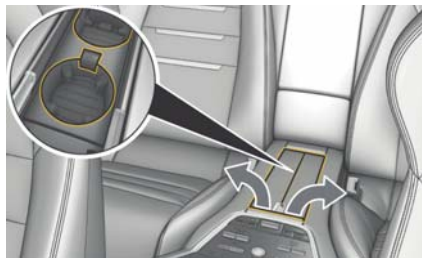


図 24：リヤのカップ・ホルダー

キー

車両キーを使用する場合

i インフォメーション

- ▶ 車両が視界にある場合のみ、キーを使用してください。

ボタンを押すと、キーのPorsche Crestが点灯します。ボタンが押されていない場合、走行中にCrestが点灯する場合があります。

サービス定期点検およびメンテナンスに関する情報が、走行中にキーに保存されます。そのため、ボタンが押されなくてもキーが自動的に点灯または音を発生する場合があります。キーの保存データおよび表示方法に関する詳しい情報:

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

リモコンが作動しない場合は、以下の原因が考えられます:

- 送信中に電磁波が干渉している(ポルシェ・コンフォート・エントリーの場合、ドライバー・キーと車両間の無線通信が確立していても)。キーと電源の入った電子機器(携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど)と一緒に保管しないように注意してください。必要に応じて、キーの保管場所を変更してください。
- リモコンが作動しない場合は、故障が考えられます。
- キーの電池が消耗しています。



図 25 : キー

- A ドア・ロックを解除します。
- B ロックする
- C リヤ・リッドを開く、および車両をロック解除する

すべてのドライバー・キーはエマージェンシー・キーと一体化されています。ドライバー・キーは、車両用ロックのすべてを操作するために使用できます。

- ▶ ドライバー・キーは注意して扱ってください：特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。
- ▶ 決して、ドライバー・キーを車両に置き忘れないでください。

エマージェンシー・キーを使用する場合

エマージェンシー・キーを取り出す



図 26 : エマージェンシー・キーを取り出す

- ▶ エマージェンシー・キーを(図26)ドライバー・キーから上向きに押し出します。

エマージェンシー・キーを元に戻す

- ▶ エマージェンシー・キーを、音がして解放ボタンと噛み合うまで、ドライバー・キーへ挿入します。

ドライバー・キーのバッテリーの交換

i インフォメーション

- ▶ バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

キーの電池が弱まり交換が必要になると、インストルメント・クラスターにメッセージが表示されます。ボタンを押しても、Porsche クレストの車両キー・ライトは点灯しなくなりました。

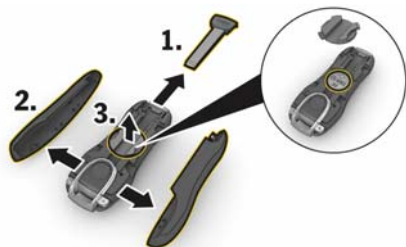


図 27：バッテリーの交換

バッテリーの交換は、(CR 2032, 3 V)を使用してください。

1. エマージェンシー・キーを取り出してください。
2. ドライバー・キーの筐体を左右に取り外します。
3. バッテリー・カバーを反時計回りに緩めて取り外します。
4. バッテリーの交換（極性の確認）
5. バッテリーカバーを再セットして、しっかりと時計回りに締め戻します。再度エマージェンシー・キーを押すことができるよう確認します。
6. キー・ハウジングがクリップ留め箇所にはまるまで、下から上方向へと押し上げます。
7. エマージェンシー・キーを元に戻してください。

車両キーの電池が消耗している、または電波干渉を受けている際に車両を始動する場合

車両とキー、またはバッテリーが切れたキーの間の無線通信の誤動作は、Porscheコンフォート・エントリー機能を無効にします。

この状況で車両を始動する場合は、以下を順守してください：

1. センター・コンソール内の小物入れのフロント左側にあるキーを上面に配置します。
2. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置 2 に回してから、位置 0 に戻してください。
3. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置 2 にもう一度回してください。
 - ▶ 「エンジンの始動および停止」の章（60ページ）を参照してください。

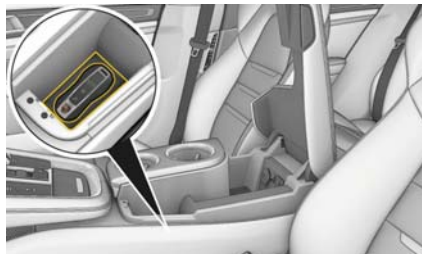


図 28：小物入れの中に置いてあるキー

スペア・キーの注文と、安全な場所への保管

車両のスペア・キーは、ポルシェ正規販売店でのみお求めいただくことができます。注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合があります。

- ▶ いつでもスペア・キーが使えるようあらかじめご用意ください。
- ▶ スペア・キーは安全な場所に保管し、決して車内や車両の近くには置かないでください。

車両用の新しいドライバー・キーについて知るために：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 車両に属するすべてのドライバ・キーについて再度学んでください。

i インフォメーション

合計8個のドライバ・キーについて学ぶことができます。

i インフォメーション

- ▶ ドライバー・キーが紛失したり盗まれたりした場合は、ポルシェのパートナーに依頼し、車両のドライバのキーを無効にし、必要に応じて機械的なロックを変更してください。
- ▶ ドライバー・キーの紛失や盗難保険会社に通知し、追加やスペア・キーの製作を依頼してください。

クーラント（冷却水）



警告

エンジン・コンパートメント・ブロワーおよびエンジン周りの可動部品

エンジン・ルームで作業を行うときは、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪などがエンジン・コンパートメント・ブロワーやドライブ・ベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。エンジン・コンパートメント・ブロワーは、ボンネットの下に設置されます。エンジンのスイッチをOFFにした後でも、エンジン・コンパートメントの温度はモニターされます。エンジン・コンパートメント・ブロワーは、作動をし続けるか、作動を開始する可能性があります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンをOFFにして身体の一部、衣服の一部、または装飾類がラジエーター・ファン、エンジン・コンパートメント・ブロワー、ドライブ・ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。



警告

高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト・システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント・タンクには圧力がかかっています。クーラント・タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す危険がありま

す。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン・ルーム内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジン・コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラント・リザーバー・タンクのキャップを**開けない**でください。水温計の表示が60°C未満になるまで待ってください。

知識

警告シンボルが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ エンジンをOFFにして冷やしてください。
- ▶ クーラント・レベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けしないでください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。

クーラントは、腐食から年間保護され、-37°Cで凍結します。

クーラント・レベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

- ▶ ボルシェ社が認証した凍結防止剤のみを使用してください。

ボルシェはGlysantin® G40®、または代用品としてG12++/VW TL 774Gに従う不凍液を推奨します。

E-Hybrid 車両の注意点

E-Hybrid 車両には、手が届かないクーラント・リザーバー・タンクがついた2番目の冷却システムが存在します。そのクーラント・レベルは点検する必要はありません。故障はインストルメント・クラスターに表示されません。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。

この2番目の冷却システムが故障した場合:

- ▶ 決してクーラントを補充しようとししないでください。
- ▶ 有資格者のいる修理工場にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

クーラント・レベルの点検と補充

- ▶ 「エンジン・コンパートメント・フィルター開口」の章（25ページ）を参照してください。

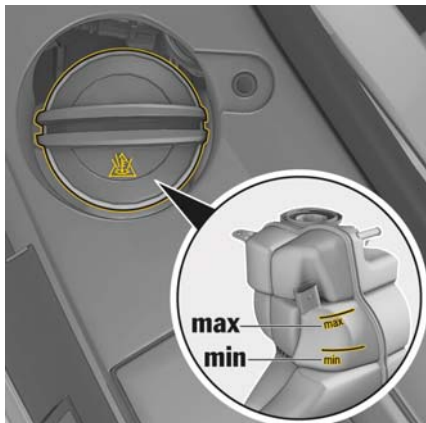


図 29：クーラント・リザーバー

- ▶ 「インストルメント・クラスターの表示項目」の章（45ページ）を参照してください。
- ✓ 車両を平坦な場所に駐車してください。
 - ✓ エンジンが冷えていて、クーラント温度が 60°C 未満である場合。
1. クーラント・レベルを読み取ってください。クーラント・レベルは、常に **min** と **max** のマークの間であるものとします。
 2. クーラント・レベルが、**min** のマークの下の場合、クーラントを追加してください。
 3. クーラント・リザーバー（図 29）の

キャップを慎重に開けて、過圧を逃しません。

4. キャップを完全に取り外してください。
5. クーラントを補充してください。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。補充時に **max** のマークを超えないようにしてください。
6. リザーバー・タンクのキャップがしっかりとロックするまでねじ込んでください。
7. クーラントの減りが著しい場合は、クーリング・システムに漏れが発生しています。クーリング・システムを点検して、クーラントの漏れの原因を直ちに修正してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。クーラントの減りが著しい場合は、クーリング・システムに漏れが発生しています。

- ▶ 早急に修理してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

クルーズ・コントロール

クルーズ・コントロールを使用すると、約30～240 km/hの範囲でアクセル・ペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

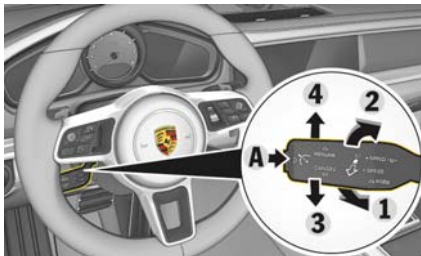


図 30：クルーズ・コントロールの操作

- A クルーズ・コントロールのON/OFF
 1 速度の設定/加速
 2 減速
 3 クルーズ・コントロールの中断(OFF)
 4 RESUME (クルーズ・コントロールの再開)

i インフォメーション

アクティブ・ダウンシフト機能とアクティブ・ブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。



警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により十分な距離と一定の速度での走行に適さない場合、クルーズ・コントロールの使用が事故の原因となる場合があります

す。

- ▶ 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）でクルーズ・コントロールを使用しないでください。

クルーズ・コントロールON (スタンバイ)

- ▶ コントロール操作レバーのボタン A を押してください。



クルーズ・コントロールON
 インstrument・クラスターのグレーのアイコンは使用可能状態を示します。

速度の設定 (維持)

- ▶ アクセル・ペダルの操作で希望する速度まで加減速してください。
- ▶ ステアリング・ホイールの操作レバーを前方 (図 30) 1 に押してください。



設定速度

現在の設定速度は赤いクルーズ・コントロール・アイコンの下に表示され、自動的に維持されます。

速度の変更

- ▶ 速度を上げる場合は、ハンドルの操作レバーを前方に押します。(図 30) 1。短く押す = 1km/h (1 mph)、長く押す = 10km/h (5 mph)。
- ▶ 速度を落とす場合は、ハンドル側に操作レバーを引きます (図 30) 2。短く引く = 1km/h (1 mph)、引き続ける = 10km/h (5 mph)。

新しく設定した速度がインストルメント・クラスターに表示されます。

i インフォメーション

通常走行と同じようにアクセル・ペダルを踏むと加速します。これにより保存された速度は変更されません。アクセルを緩めると保存した速度に戻ります。

クルーズ・コントロールの中断 (OFF)

クルーズ・コントロールを中断したときは、直前の設定速度が保存され、クルーズ・コントロール操作レバーを押すと設定速度を呼び出すことができます。

- ▶ 「クルーズ・コントロールの再開 (RESUME)」の章 (73ページ) を参照してください。
- ▶ コントロール操作レバーを下に押ししてください (図 30) 3。
 - または-
 - ▶ ブレーキを踏みます
 - または-
 - ▶ セレクター・レバーを作業モード N の位置に動かします。

次のような状況では、クルーズ・コントロールは自動的に中断されます。

- 車両速度は一定の間、設定速度の上下に維持されます。
- ボルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) が有効です。

クルーズ・コントロールの再開 (RESUME)

- ▶ 操作レバーを上押ししてください (図 30) 4。設定速度に加減速します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

クルーズ・コントロールOFF

- ▶ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン **A** を押してください。
設定速度が消去され、シンボルマークが消灯します

か



インフォメーション

イグニッションをOFFにすると保存した速度が消去されます。

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

けん引

i インフォメーション

- ▶ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- ▶ けん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引についての通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- ▶ 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキやステアリング・コラム・ロックを解除するために外部電源の接続が必要なことがあります。

けん引または押しがけによる始動

知識

けん引または押しがけによる始動は車両とトランスミッションに重大な損傷を与える危険があります。

- ▶ けん引または押しがけによる始動はしないでください。
- ▶ 車両をけん引しようとししないでください。
- ▶ ロードサイド・アシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。
- ▶ 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーで前輪と後輪の両方を使用して車両を輸送してください。
- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイールでのみ固定してください。テンション・ストラップをけん引フックにかけないでく

ださい。

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、まずバッテリーを交換するか、ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

- ▶ 「バッテリー」の章（196ページ）を参照してください。
- ▶ 「ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動」の章（126ページ）を参照してください。

けん引



図 31：けん引可能



図 32：けん引不可

けん引ロープまたはけん引バーの使用

⚠ 警告

パワー・アシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引される車両のエンジンが停止している場合、ステアリング・アシストが働きません。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要になります。

- ▶ けん引するときは十分注意してください。
- ▶ けん引ロープ/けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- ▶ 必ずけん引ロープまたはけん引バーの定格荷重を遵守してください。けん引ロープま

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

たはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。

- ▶ 車両をけん引する場合、この車両より車両重量の大きい車両はけん引しないでください。
- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ けん引するときは、最初にけん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープまたはけん引バーをけん引フックに取り付けてください。
 - ▷ 「けん引フックの使用」の章（76ページ）を参照してください。

けん引ロープを使用する

- ▶ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

けん引バーを使用する

- ▶ けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。

けん引フックの使用



図 33 : けん引フック

けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

- ▷ 「ラゲッジ・コンパートメント・ルーム」の章（253ページ）を参照してください。
1. バンパーの下端にあるプラスチック・カバーを押すか、適切な道具（ドライバーなど）を使用して慎重にプラスチック・カバーを取り外してください。
 2. プラスチック・カバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
 3. けん引フック A を反時計方向いっぱいにねじ込み（逆ねじ）、手で締め付けてください。

けん引フックの取り外し

1. けん引フック A を外してください（時計回りに回転させてください（逆ねじ））。
2. 開口部の下端にプラスチック・カバーを差し込んでください。
3. カバーをかぶせ、上端を押してバンパーにはめ込んでください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶、積載車での輸送

1. ロープ等で車両を固定するときは、ホイールでのみ固定してください。テンション・ストラップをけん引フックにかけないでください。
2. 室内モニタリング・システムと傾斜センサー*を解除してください。
 - ▷ 「警報システム」の章（113ページ）を参照してください。

格納式リヤ・スポイラー



図 34：格納式リヤ・スポイラー

リヤ・スポイラーは、高速走行時では走行安定性を向上させ、低速走行時では燃料消費を低減します。

Panamera ターボには追加フラップが取り付けられているため、空気力学的に優れ、より大きく効果的な形状の改良型リヤ・スポイラーが装備されています。

オートマチック・モード

リヤ・スポイラーの自動上昇および格納には様々な条件が関係します。

- リヤ・スポイラーの自動上昇：
- 約 90 km/h で **A** 位置に移動
 - 約 205 km/h で **B** 位置に移動

リヤ・スポイラーの自動下降：

- 約 180 km/h で **B** 位置から **A** 位置に移動
- 約 60 km/h で **A** 位置から最終位置に移動

自動コントロール・システムが故障した場合、インストルメント・クラスターにリヤ・

スポイラーの故障に関する警告メッセージが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。

▲ 警告

エアロダイナミクスの変化

リヤ・スポイラーの故障に関する警告メッセージが表示されると、リヤ・アクスルの揚力が上がるので高スピードでの運転安定性が下がります。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

マニュアル・モード

イグニッションが ON の場合、ダッシュボードのタッチ・ディスプレイでリヤ・スポイラーを手動で伸縮させることができます。マニュアル・モードでは、リヤ・スポイラーを自動で完全に格納することはできません。

手動でのリヤ・スポイラーの展開

1. ドライブ ▶ スポイラーを選択してください。
2. タッチ・ディスプレイで必要なスポイラー位置を選択してください。
車両モデルで現行のスポイラー位置が示されています。

手動での格納

1. ドライブ ▶ スポイラーを選択してください。
2. 現在のスピードが 15 km/h 未満の場合：リヤ・スポイラーが最終ポジションに達するまで、**格納** ボタンを押し続けてください。
- または -
現在のスピードが 15 km/h 以上の場合：ボタンを短時間押してください
格納。
リヤ・スポイラーはオートマチック・モードに切り替わります。

▲ 注意

リヤ・スポイラーの展開/格納

停車中にリヤ・スポイラーを手動で展開/格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ リヤ・スポイラーが可動する範囲に人がいないことを確認してください。

知識

リヤ・スポイラーを損傷する危険がありません。

- ▶ リヤ・スポイラーを持って車両を押ししないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

給油

一般情報



警告

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が発生する危険があります。

- ▶ 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。



警告

燃料蒸発ガスの吸引、および燃料の皮膚への付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

i インフォメーション

燃料によっては硫黄が多く含まれていることがあります。このため、エンジンで燃焼する際に特定の運転条件下で不快な臭い（いわゆる腐った卵の匂い）が発生する可能性があります。ボルシェ社にはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションを ON にすると、インストルメント・クラスターに燃料の残量が表示されます。

残量が一定量（モデルによって異なる）に達しない場合、インストルメント・クラスターに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。
- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 「テクニカル・データ」の章（288ページ）を参照してください。

適切な燃料の選択

知識

不適切な燃料を使用すると、燃料系統、およびエキゾースト・システムばかりでなく、エンジンそのものを損傷する恐れがあります。

- ▶ 下記の仕様に準拠する燃料のみを使用してください。
- ▶ メタノールを含む燃料を使用しないでください。

i インフォメーション

通常、燃料の品質（オクタン価など）に関する情報は、ガソリン・スタンドの給油機に掲載されています。ガソリン・スタンドのスタッフからも情報が得られます。

エンジンは 金属系添加物 を含まない無鉛プレミアム・ガソリンを使用した場合に最適に作動するよう設計されています。

モデル	推奨燃料	代替燃料
全てのガソリンエンジン車	少なくとも 98 RON / 88 MON	少なくとも 95 RON / 85 MON

この車両のエンジンはエタノール含有量10%以下の燃料の使用に対応しています。エタ

ノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。

i インフォメーション

推奨燃料が入り困難な場合は、緊急措置として無鉛ガソリン（オクタン価が 91 RON/82.5 MON の金属系添加物 を含まないもの）を使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価が 91 RON/82.5 MON以上の金属系添加物 を含まない無鉛ガソリン を使用してください。
- ▶ オクタン価が91 RON/82.5 MONの無鉛ガソリンを使用した場合は、フルロットルで走行しないでください。

低品質な燃料と添加剤の使用

知識

ボルシェ社が承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾースト・システムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ボルシェが承認した添加剤のみを使用してください。
- ▶ 給油前に添加剤を投入してください。

地域によっては、燃料の析出特性がボルシェ社の基準を満たしていないことがあります。ボルシェ社の基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ボルシェ部品番号： 000 043 209 02

- ▶ 混合比率は、添加剤に付属の取扱説明書に従ってください。
- ▶ 定期点検時期（サービス・インターバル）、特にオイル交換時期を遵守してください。

燃料の給油

知識

デコラティブ・フィルムに燃料が付着すると、フィルムが色褪せる原因になります。

- ▶ デコラティブ・フィルムに燃料が付着したときは、直ちに拭き取ってください。



図 35：フィルター・フラップのリリース（ハイブリッド・ドライブ）

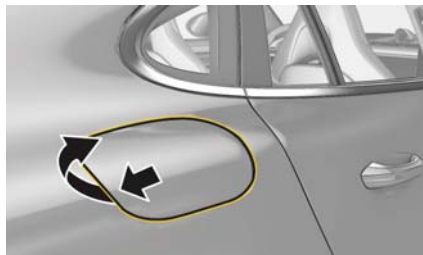


図 36：フィルター・フラップを開く



図 37：タンク・キャップを開く

- ✓ エンジンが停止状態である。
 - ✓ イグニッションがOFFになっている
 - ✓ ドア・ロックが解除されている。
- ▶ E-Hybrid 車両: 運転席ドアにあるフィルター・フラップのリリース・ボタン A を押してください。
1. フィラー・フラップの後部を押すと、フラップが開きます。この車両に使用できる燃料の種類については、フィルター・フラップの裏のステッカーに明示されています。
 2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
 3. 取り外したタンク・キャップはホルダーにかけてください。
 4. ハンドルを下に向けた状態で、給油ノズルを確実に給油口の奥まで差し込んでください。
 5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けしないでください。無理に給油すると、タンクの燃料が吹き返したり、燃料が温まったときにあふれ出したりすることがあります。
 6. 給油後は直ちにキャップを取り付けて、

- ロック音と手ごたえを感じるまで、しっかりと締め込んでください。
7. フィラー・フラップを閉じてフィルター・フラップの後部を押し、しっかりと閉じてください。

i インフォメーション

燃料タンクのタンク・キャップを紛失したときは、必ずボルシェ純正部品を使用してください。

フィルター・フラップの緊急解除



図 38：緊急時のフィルター・フラップのロック解除

フィルター・フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手動でフィルター・フラップを開くことができます。

- ▶ E-Hybrid 車両: 車両右側のラゲッジ・コンパートメント・トリム・パネルを取り外し

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

ます。緊急リリース・ストラップは、12V
バッテリーの左側にあります。

- ▶ 赤色の緊急リリース・ストラップを引いて
ください。
フィルター・フラップがロック解除されま
す。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

エアコン (2/4ゾーンクライメートコントロール)

概要 - エアコン

フロント・コントロール・パネル

この概要説明は包括的な記述に代わるものではありません。特に包括的な記述の中の「安全に関する指示」および「警告」は、この概要説明によって置き換えられるものではありません。

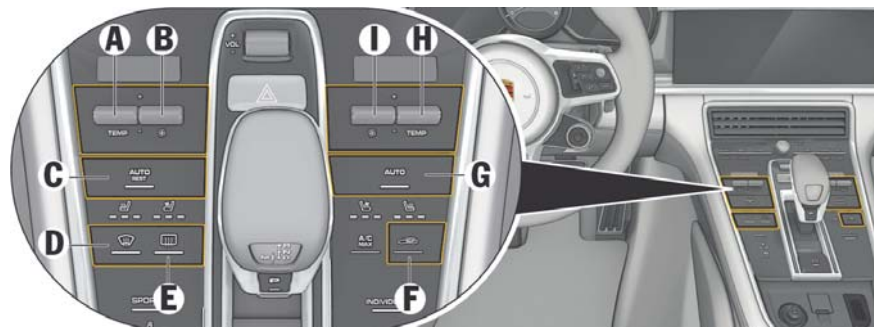


図 39 : 概要 - フロント・エアコン

希望する操作	その操作方法	操作場所
オートマチック・モードを ON にする	左側のボタン G または右側のボタン N を押してください。	▷ p. 83
温度の設定	左側のボタン A または右側のボタン H を押してください。	▷ p. 84
送風の強さをオートマチック・モードに設定する	エアコン ▶ 快適 ▶ スタイル	▷ p. 86
足元の温度の設定 ¹	エアコン ▶ 快適 ▶ フットウエル	▷ p. 86
風量を設定する	左側のボタン A または右側のボタン H を押してください。	▷ p. 84

1. 必要条件：4ゾーン・エアコン

希望する操作	その操作方法	操作場所
送風口を調節する	エアコン ▶ エア	▷ p. 85
センター・ベントを調節する	エアコン ▶ ベント	▷ p. 85
フロント・ウィンドウのデフロスターを作動させる	ボタン D を押してください。	▷ p. 87
リヤ・スクリーン・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーターを ON にする	ボタン E を押してください。	▷ p. 88
手で内気循環モードを ON にする	ボタン F を押してください。	▷ p. 86




リヤ・コントロール・パネル (4 ゾーン・エアコン)

この概要説明は包括的な記述に代わるものではありません。特に包括的な記述の中の「安全に関する指示」および「警告」は、この概要説明によって置き換えられるものではありません。



図 40：概要 - リヤ・エアコン

希望する操作	その操作方法	操作場所
オートマチック・モードを ON にする	左側のボタン C または右側のボタン D を押してください。	▷ p. 83
温度の設定	左側のボタン A または右側のボタン E を押してください。	▷ p. 84

希望する操作	その操作方法	操作場所
送風の強さをオートマチック・モードに設定する	CLIMATE ボタン▶快適  ▶スタイル	▷ p. 86
風量を設定する	左側のボタン B または右側のボタン F を押してください。	▷ p. 84
送風口を調節する	CLIMATE ボタン▶エア 	▷ p. 85
センター・ベントを調節する	CLIMATE ボタン▶ベント 	▷ p. 85

内部温度、日光、および空気品質などの様々な要素に依存して、空調装置は、自動モードで通気配分と気流を十分に自動的に制御します。

選択された適切な機能設定が手動で調節されるとすぐに、自動モードが解除されます。

エアコン・システムは、シート・コンソール上のボタンまたはダッシュボードおよび後部座席のタッチ・ディスプレイのタッチ・ディスプレイを介して、操作することができます(装備により異なります)。

空調装置は、窓が閉じた状態で最も有効に作動します。

車内に熱がこもった場合：

- ▶ 窓を開けて、内部に短い時間、風を入れてください。

外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。

蓄電池電圧が低すぎる場合、空調機能はまず制限され、次にOFFになります。

2ゾーン環境制御

温度、気流、通気配分、および環境制御のタイプは、**左**および**右**の気候ゾーンに対してそれぞれ設定できます。

4ゾーン環境制御

温度、気流、通気配分、および環境制御のタイプは**左前**、**右前**、**左後**および**右後**の気候ゾーンに対してそれぞれ設定できます。

空調装置のON/OFFの切り替え


車両全体の空調装置のON/OFFの切り替え

ダッシュボードのタッチ・ディスプレイ：

- ▶ エアコン ▶エア ▶OFF

リヤ・エアコン・システムのON/OFF

リヤのタッチ・ディスプレイ：

- ▶ **CLIMATE** ボタン▶エア ▶OFF

リヤ・ゾーンへの風量を少なくしたり、またはリヤ・エアコン・システムをOFFにすると、フロント・ゾーンの快適性が損なわれます。

オート・モードのスイッチをONにする



前部と後部のクライメート・ゾーンは、互いと無関係にオート・モードに切り替えることができます。

- ▶ 前部または後部コントロールパネルの適切なクライメート・ゾーンに対応するボタン **AUTO** を押します。ボタンのインジケーター・ライトが **AUTO** 点灯します。送風量および送風口が自動的に制御されます。

必要であればオート・モードの制御を手動調節できます。適切な機能ボタンが再び押されるまで、またはボタン **AUTO** が押されるまで、手動設定が保持されます。

冷房機能のON/OFF

冷房機能は空気を冷やしたり除湿します。オート・モードでは、冷房機能が常にONになります。冷房出力は自動的に制御されます。

- ▶ エアコン ▶エア ▶A/C
冷房機能の設定はONまたはOFFに切り替えることができます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

A/C MAXモード (最大冷房出力) のON/OFF

A/C MAXモードでは、エアコン・システムが最大出力で車内を冷却します。



図 41: A/C MAX モードの起動と解除

A/C MAXモードをONにする

- ▶ ボタン を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

最大冷房出力のスイッチをOFFにします

- ▶ ボタン を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

リヤのタッチ・ディスプレイで最大冷房出力のON/OFFを切り替える

✓ Executive 車両

- ▶ **CLIMATE** ボタン ▶ エア ▶ A/C MAX
エアコン・システムが最大出力で車内を冷却します。ここでは、リヤ・ゾーンのエアコン設定に注目します。

温度の設定

温度は 16° C から 29.5° C までの範囲に設定できます。推奨: 22° C。

設定温度を一時的に希望の温度より高くまたは低くしても、希望する温度に到達する時間は変わりません。

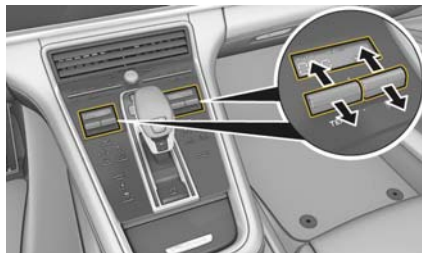


図 42: 前部における温度と気流の設定



図 43: 後部における温度と気流の設定 (4ゾーン環境制御)

温度の増減

- ▶ 適切なクライメイト・ゾーンのために上向きまたは下向きにボタン **TEMP** を押しします。
選択された温度は、適切なクライメイト・ゾーンのボタン上のディスプレイに表示されます。

ディスプレイに **LO** または **HI** が表示されると、システムは最大の冷却(LO)または加熱(HI)電力で作動しています。このときオート・モードはOFFになります。

1つの環境ゾーンが **LO** または **HI** に設定されると、他の環境ゾーンも **LO** または **HI** に切り替わります。

気流の設定

送風量上げる/下げる

- ▶ 該当する空調エリアのボタンを 上方向または下方向に押ししてください。
設定した風量はボタンの上部にあるエアコン・ディスプレイに表示されます 。バーの数が多くなるほど、送風量が多いことを示しています。

ボタンを押すと、**AUTO** オート・モードに戻ります。
エアコン・ディスプレイに **OFF** と表示されるほど、すべての空調エリアの風量を最小限までに下げると、外気導入が遮断され、エアコンが停止します。



警告

気流OFFで阻害された視覚

気流を **OFF** に設定すると、窓が曇ることがあります

- ▶ 再び気流を増加させるために、ボタン を上向きに押すか、再び自動モードのスイッチを入れてください。

風量調節

エア・ベントはダッシュボードおよびドア柱方向に向けられ、手動で開け閉めできません。送風方向も調節可能です。

前部と後部(設備に応じて)のセンター・エア・ベントは、タッチ・ディスプレイによって電子的にのみ調整できます。

知識

センター・エア・ベントの損傷の危険性。

- ▶ タッチ・ディスプレイによってのみセンター・エア・ベントを調整できます。
- ▶ センター・エア・ベントに物体を挿入しないでください。または、細長い薄板に付着しないでください。
- ▶ 電氣的な調整を阻止しないでください。

- ▶ 「センター・ベントの調整」の章(85ページ)を参照してください。

エア・ベントの開閉

- ▶ エア・ベントにぎざぎざがついた車輪を回転させてください。

送風方向の調節

- ▶ ルーバー角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

外気の取り入れを可能にします

- ▶ ボンネットとフロント・ウィンドウの間の外気導入口に雪、氷、木の葉などによる詰まりがないことを確認してください。

センター・ベントの調整

センター・ベントをON/OFFにする

1. エアコン ▶ エア
2. センターベント を選択してください。

気流の事前セットを選択

2つの事前定義プロファイル 集中 および 拡散を、気流に利用できます。

1. エアコン ▶ ベント
2. 適切なクライメイト・ゾーンに対して事前設定 集中 または 拡散 を選択してください。

個別の気流方向の調整

1. エアコン ▶ ベント
2. 希望する気流方向を選択するために、タッチ・ディスプレイ上の適切なクライメイト・ゾーンに対するスライダー を、ドラッグ&ドロップで左/右/上/下に移動させます。

センター・ベントの開閉、または気流の調整

1. エアコン ▶ ベント
2. 希望する気流を選択するために、タッチ・ディスプレイ上の適切なクライメイト・ゾーンに対するスライダー を、ドラッグ&ドロップで ON と OFF(前部) または OFF(後部)の間で連続的に移動させます。

通気配分の調整

前面の通気配分の調整

1. エアコン ▶ エア
2. 適切なクライメイトゾーンの通気配分を選んでください:

- フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。
- センターベントとサイドベントからの気流。
- 足元への送風を開始します。

手動による後部の通気配分の調整

1. ボタン CLIMATE ▶ エア
2. 適切なクライメイトゾーンの通気配分を選んでください:

- ドア柱内のセンターベントとサイドベントからの気流。
- 足下の空間およびドア柱の中のベントからの気流。

アッパー・ベンチレーション・パネル



図 44 : アッパー・ベンチレーション・パネル

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ダッシュボード上にあるベンチレーション・パネルでも車内へ換気ができます。ベンチレーション・パネルは、個別にON/OFFを切り替えることができます。エアコンは風量を自動的に調節します。

1. エアコン ▶ エア

2. ベントパネル を選択してください。

環境制御タイプの設定

気流は、自動モードのそれぞれの環境制御ゾーンの3つのステージで調整できます。

1. エアコン ▶ 快適 ▶ スタイル

2. 適切なクライメイト・ゾーンに、希望するタイプの環境制御を選んでください。

エコ・モードのON/OFFの切り替え

エコ・モードがONに設定されているときは、エアコン・システムはエネルギーを効率的に節電しながら作動します。低燃費で作動するために、車内の快適性が低下してしまうこともあるかもしれません(車内が暖まるまで、または冷えるまで少し時間がかかる場合もあります)。

ダッシュボードのタッチ・ディスプレイ:

▶ エアコン ▶ 快適 ▶ A/C ECO

足下の空間温度の設定

✓ (4ゾーン・エアコン装備車の場合)
フロント・ゾーンの車内温度とは別に、足元の温度は個別に設定できます。

ダッシュボードのタッチ・ディスプレイ:

1. クライメイト ▶ 快適 ▶ フットウェル

2. 該当する空調エリアでの希望する足元の温度を選択してください。

イオン化のON/OFFの切り替え

✓ イオナイザー装備車

大都市など空気が悪い地域では、イオナイザーを使用することで車内の空気を改善することができるかもしれません。イオナイザーから出てくる空気自体は無臭です。

▶ エアコン ▶ 快適 ▶ イオン

自動内気循環のON/OFFの切り替え

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。約5℃以下の外部温度で、内気循環モードは窓が曇るのを防ぐために自動的に解除されます。

ダッシュボードのタッチ・ディスプレイ:

▶ エアコン ▶ 快適 ▶ 自動内気循環

内気循環モードのON/OFFを手動で操作する



警告

手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを選択すると、ウィンドウが曇る恐れがあります。

▶ 手動内気循環モードは長時間ONにしないでください。



図 45：内気循環モードのON/OFF

手動で内気循環モードをオンにする



▶ ボタン を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

手動で内気循環モードをOFFにする

▶ ボタンを押してください 。
-または-
ボタンを押してください **AUTO**。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。


SYNC モード - 車両全体のエアコン設定を同期させる

ダッシュボードのタッチ・ディスプレイで SYNC モードを ON/OFF

- ▶ エアコン  ▶ エア  ▶ SYNC
SYNC モードは ON または OFF に設定されています。SYNC モードが作動している時は、表示される他の空調エリアのエアコン設定が運転席の設定と同期されません。

リヤのタッチ・ディスプレイで SYNC モードを ON/OFF

✓ Executive 車両



- ▶ **CLIMATE** ボタン ▶ エア  ▶ SYNC
SYNC モードは ON または OFF に設定されています。SYNC モードが作動している時は、表示される他の空調エリアのエアコン設定がリヤ右側の設定と同期されます。

1名乗車時に推奨するエアコン設定

- ▶ ダッシュボードのタッチ・ディスプレイで SYNC モードを ON にすると、車内が最も快適な状態に維持されます。
- 4ゾーン・エアコン リヤ・ゾーンへの風量を少なくしたり、またはリヤ・エアコン・システムを OFF にすると、フロント・ゾーンの快適性が損なわれます。



後席に最適化されたエアコンの ON/OFF

✓ Executive 車両

- ▶ **CLIMATE** ボタン ▶ エア  ▶ リヤ  ▶ プラス
後席のエアコン・コンフォートは最適化されています。

前部から後部のクライメイト・ゾーンを設定

4ゾーン空調の場合には、後部のクライメイト・ゾーンはダッシュボードのタッチ・ディスプレイを使用して調整できます。

1. エアコン  ▶ リア 
2. 必要に応じて設定を調整します。

グローブ・ボックスの冷却

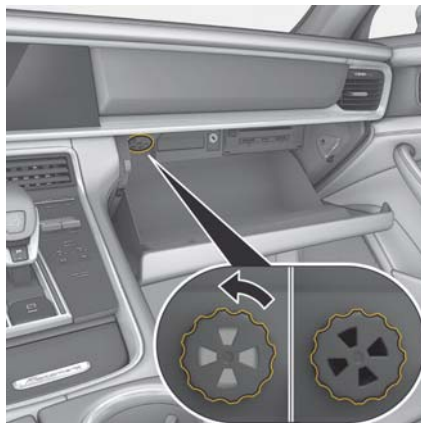


図 46 : グローブ・ボックスの開放空気口

- ▶ グローブ・ボックスを冷却するために、矢印方向に空気口を開いてください。

冷気は直接グローブ・ボックスに送り込まれます。

フロント・ウィンドウの除霜

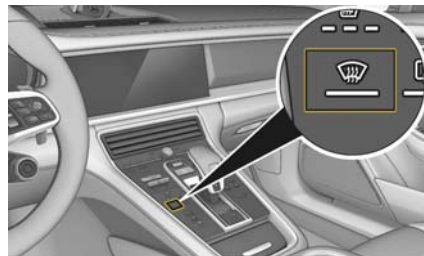




図 47 : フロント・ウィンドウの除霜

デフロスターをONにする

- ▶ ボタンを押してください 。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。
フロント・ウィンドウの曇りや氷結を素早く取り除きます。

デフロスター・モードでは、後部座席へのエアの供給は作動状態に応じて制御されており、曇りを取り除く効果を最大にします。
4ゾーン・エアコンエアコン・システム用リヤ・コントロール・パネルは無効になりました。

デフロスター・モードのスイッチをOFFにします

- ▶ ボタン  を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ ドア・ミラー・ヒーターのス イッチのオンオフ

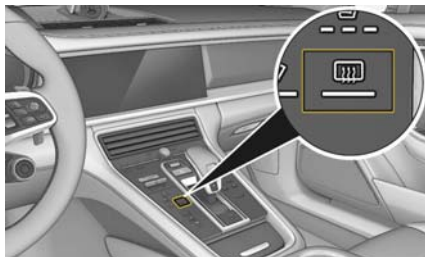


図 48：リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター

リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびド ア・ミラー・ヒーターをONにする

- ✓ エンジンを作動状態にする
- ▶ ボタン を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

外気温度によって、約5~20分後にリヤ・ウィンドウ/ドア・ミラー・ヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびド ア・ミラー・ヒーターをOFFにする

- ▶ ボタン を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

エンジン残余熱の使用 - RESTモード

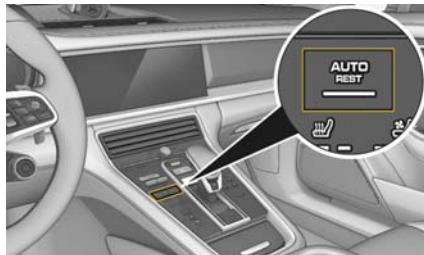


図 49：RESTモードのオン/オフ

イグニッションをOFFにしてから最大20分間は、エンジンの余熱を利用してヒーターで車内を暖めることができます。

- ✓ イグニッションをOFFにする
- ▶ 前面のコントロールパネルのボタン **AUTO REST** を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。RESTモードではエアコン・システムの設定を変更できません。
- ▶ 前面のコントロールパネルのボタン **AUTO REST** を押して、機能を停止させます。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

プレクール/ヒート・タイ マーおよび車内プレクーリ ング/ヒートイング (E-Hybrid) の使用

- ✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている (10%以上)
- ✓ まだ燃料レベル低下の状態ではありません。

プレクール/ヒート・タイマーのプログ ラミングおよび作動

車両プラグが挿入されていなくても、プレクール/ヒート・タイマーを使用して、選択した時間までに車内温度をあらかじめ調節できます (冷房/暖房)。

各プレクール/ヒート・タイマーは1回 (シングル・タイマー) または定期的 (反復タイマー) のいずれかに設定可能です。

1. HYBRID ▶ タイマー
2. プレクール/ヒートを選択してください。
3. 希望する出発時刻の日付もしくは日付と時刻を設定し、タイマー入力を**作動中**に設定してください。
車両停止時の設定に関係なく、風量、エア配分および温度設定を自動で調節することができます。
選択されたエアコン設定は、プログラムされた時間の最大10分後まで維持されます。風量、エア配分および温度設定はイグニッションがONになった後は個別に調整できます。

プレクール/ヒート・タイマーの停止

1. HYBRID ▶ タイマー
2. プレクール/ヒートを選択してください。
3. 作動中オブションを選択解除してください。

車内プレヒートイング/クーリングを ONにする

車内プレクーリング/ヒートイング・システムは、内燃エンジンが作動していない状態で

も、車内を暖めたり冷したりすることができません。

1. HYBRID ▶ タイマー

2. プレクール/ヒート開始を選択してください。

車内プレヒーティング/クーリングを ON にすると、電動走行可能距離が減少します。

車両が走行可能状態で停車している場合、車内プレヒーティング/クーリングは最大 30 分後に OFF になります。

インフォメーション

車内プレヒーティング/クーリングは動作時にイグニッションを OFF のままにしておくと、最も効果的に動作します。

車内プレヒーティング/クーリングを OFF にする

1. HYBRID ▶ タイマー

2. プレクール/ヒート停止を選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z







警告およびインフォメーション・メッセージ

警告メッセージが表示された際は、本書の該当する章を必ずお読みください！

一部の警告灯には、点灯すると警報も同時に鳴るものがあります。



すべての前提条件が満たされた場合にのみ、警告メッセージが表示されます。そのため、すべてのフルード・レベルを定期的に点検してください。

安全性


表示	メッセージ	意味および必要な措置
	エアバッグシステム故障 要整備	エアバッグ・システムが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	エアバッグシステム故障 走行可能 要修理	エアバッグ・システムが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ドア挟み込み防止故障	リヤ・ドア用チャイルド・ロックが故障しています。 ▶ チャイルド・ロックを OFF にしてから再度 ON にしてください。 ▶ 故障が継続する場合、ポルシェ正規販売店で修理してください。*
	ステアリングロックを解除します	ステアリング・ロックに大きな負荷がかかっています。 継続走行可能です。 ▶ ステアリングホイールを左右に回して、ステアリング・ロックを解除してください。
	ステアリングがロックされました 要整備	ステアリング・ロックが作動しています。 ▶ ステアリングホイールのロックを解除するには、車両のロックを解除してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ステアリングアシスト故障 操舵力増大 継続走行可	パワー・ステアリングは故障した / 機能が制限された / 不完全な状態です。 継続走行可能です。

表示	メッセージ	意味および必要な措置	あ
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	か
 点灯	 <p style="text-align: center;">ブレーキ液面 低下 安全な場所に 停車してください</p>	<p>ブレーキ液レベルが低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	さ
	 <p style="text-align: center;">ブレーキ ブースター故障</p>	<p>パワー・ステアリングは故障したか不完全な状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	た
 点灯	 <p style="text-align: center;">制動力配分 故障 安全な場所に 停車してください</p>	<p>ブレーキ力の配分にあります問題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	な
 点灯	 <p style="text-align: center;">ABS/PSM故障 慎重に走行 してください</p>	<p>ABSまたはポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) が故障しています。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	は
	 <p style="text-align: center;">ブレーキパッド 摩耗 ブレーキパッドを交換 してください 走行可能</p>	<p>ブレーキパッドが摩耗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちにポルシェ正規販売店でブレーキ・パッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	ま
 点灯	 <p style="text-align: center;">パーキング・ブレーキ 故障 走行可能</p>	<p>パーキング・ブレーキに故障があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	や
	 <p style="text-align: center;">電動パーキングブレーキ サービスモード*</p>	<p>パーキング・ブレーキがサービス・モードになっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	ら
			わ
			A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		<p>P位置使用不可 車両が動かないように 電動パーキングブレー キをかけてください</p> 	<p>トランスミッション・パーキング・ロック P 位置は使用できません。 ▶ 作動モード P を選択してください。 ▶ 「Pボタン」の章（176ページ）を参照してください。</p>
さ		 <p>レイン/ライト センサー故障 要整備</p>	<p>雨/光センサーが故障しています。 ▶ フロント・ワイパーおよびライトを手動で ON にしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
た な	 点滅	 <p>左/右 コーナリング・ライト故障 要整備</p>	<p>表示されたコーナリング・ライトが故障しています。 ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
は	 点灯	 <p>ドライビングライト 制御故障 ステータス：一時 走行可能</p>	<p>ドライビング・ライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
ま	 点滅	 <p>ヘッドライト・コントロール 故障 要整備</p>	<p>ヘッドライト・コントロールが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
や ら		<p>Example: 左リヤウィンカー 故障 ウィンカー 要点検</p> 	<p>表示されたライトが点灯していません。 ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
わ		 <p>ハイビームアシス ト使用不可 走行可能 ハイビームを手動で 作動させてください</p>	<p>ハイビームアシストが一時的に使用できません。 ▶ ハイ・ビームを手動で点灯してください。 故障が継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
A-Z			




表示	メッセージ	意味および必要な措置	あ
	 <p>ハイビームアシスト使用不可 カメラビューなし 必要に応じて フロントガラスを清掃</p>	<p>カメラが故障しているため、ハイビームアシストが一時的に使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 必要であればフロント・ガラスを清掃してください。 <p>故障が継続する場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	か
	 <p>PDLS+ 制限中 カメラ視野無 ウィンドウの清掃 (必要な場合)</p>	<p>カメラの故障により、ボルシェ・ダイナミック・ライト・システム (-PDLS プラス) は一時的に使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 必要であればフロント・ガラスを清掃してください。 <p>故障が継続する場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	さ
	 <p>ヘッドライトビーム調整故障 走行可能 要修理</p>	<p>ヘッドライト・レベリングが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた速度で運転してください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	た
	 <p>ワイパー故障 要整備</p>	<p>フロント・ワイパーが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	な
 点灯	 <p>タイヤを点検してください</p>	<p>1 つまたは複数のタイヤに著しい空気圧の低下があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「タイヤの損傷の検出」の章 (153ページ) を参照してください。 ▶ 必要に応じてタイヤ・シーラントで応急処置を行ってください <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「タイヤ・シーラントの充填」の章 (199ページ) を参照してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「タイヤ空気圧の充填」の章 (200ページ) を参照してください。 	は
 点灯	 <p>空気を充填してください</p>	<p>1 つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。</p>	ま

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か			<ul style="list-style-type: none"> ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 「タイヤ空気充填」の章（200ページ）を参照してください。
さ	 点滅または点灯	 <p style="text-align: center;">TPMS故障 要整備</p>	<p>タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムが故障しています。タイヤ空気圧は監視されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
た な	 点滅または点灯	 <p style="text-align: center;">システムが一時的に 使用できません ステータス：一時 走行可能</p>	<p>タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムに一時的な故障が発生しています。</p> <p>タイヤ空気圧は監視されません。</p> <p>故障が継続する場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
は	 点滅または点灯	 <p style="text-align: center;">TPMS無効 システムは xx km/h 以上でない と学習しません</p>	<p>タイヤ空気圧モニタリング (TPM) がタイヤの登録を完了するまでは、表示された速度で走行する必要があります。</p> <p>このプロセスを実行している間は、現在のタイヤ空気圧は表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。
ま や	 点滅または点灯	 <p style="text-align: center;">タイヤ交換が 検出されました アップデート選択</p>	<p>タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ タイヤ設定を更新してください。 ▷ 「タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) の設定」の章（142ページ）を参照してください。
ら	 点灯	 <p style="text-align: center;">コンフォートプレッシャー 減速してください</p>	<p>設定したコンフォートプレッシャーの最高速度を超過しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 減速してください。
わ		<p style="text-align: center;">歩行者警告 使用不可 要整備</p>	<p>歩行者警告は一時的に使用できません。</p> <p>故障が継続する場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
A-Z		<p style="text-align: center;">歩行者保護有効 フードを閉じてください</p>	<p>歩行者保護が起動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボンネットを閉じてください。

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	要整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「歩行者保護装置が起動した後のボンネットの閉鎖。」の章（237ページ）を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	歩行者保護システム故障 走行可能 要修理	<p>歩行者保護システムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	オイルレベル限界 xx リットル のオイルを直ちに補充してください	<p>オイルレベルが最低値を下回りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに安全な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けしないでください。 ▶ インストルメント・クラスターのオイル測定を呼び出す： <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「インストルメント・クラスター」の章（41ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「エンジン・オイル」の章（62ページ）を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	オイルレベル超過 レベル超過 走行可能 要整備	<p>エンジンオイルレベルが最大値を超過しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	油圧測定故障	オイルレベル測定に故障があります。

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か	走行可能 要整備		
さ		オイルレベル低下 レベル低下 エンジン・オイル xx リットルを補充してください	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* <hr/> <p>最低オイルレベルに達しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エンジン・オイルを補充してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「エンジン・オイル」の章（62ページ）を参照してください。
た な	油圧低下 安全な場所に 停車してください		
は ま		<ul style="list-style-type: none"> ▶ エンジン・オイル圧力が低すぎます。 ▶ 直ちに安全な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。 ▶ インストルメント・クラスターのオイル測定を呼び出す: <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「インストルメント・クラスター」の章（41ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「エンジン・オイル」の章（62ページ）を参照してください。 ▶ オイルレベルが適正でも警告メッセージが表示されるときは、運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	
や ら		油圧測定故障 走行可能 要整備	<p>油圧測定に故障があります。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ A-Z		エンジン油温 超過 要負荷軽減	<p>エンジン油温が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ インストルメント・クラスターのオイル測定を呼び出す:

表示	メッセージ	意味および必要な措置	あ
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「インストールメント・クラスター」の章（41ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 ▶ 「エンジン・オイル」の章（62ページ）を参照してください。 	か
	 <p>油温表示 故障 走行可能 要整備</p>	<p>エンジン油温計が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	さ
<p>クーラントの温度表示が最高マーク</p>	 <p>冷却水レベル低下 安全な場所に 停車してください</p>	<p>クーラント・レベルが低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ クーラント・レベルを点検してください： <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「クーラント（冷却水）」の章（71ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。 <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	た な は
	 <p>水温計 故障 走行可能 要整備</p>	<p>水温計故障。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	ま
<p>クーラントまたはエンジン・オイルの温度表示が最高マーク</p>	 <p>冷却水温度上昇 エンジン冷却のため 停車してください</p>	<p>クーラント温度またはエンジン油温が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ ラジエーターおよび車体内部と周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。 ▶ クーラントおよびエンジン・オイルのレベルを点検してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「エンジン・オイル」の章（62ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。 	ら わ A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か			<ul style="list-style-type: none"> ▷ 「クーラント（冷却水）」の章（71ページ）を参照してください。 故障が継続する場合: <ul style="list-style-type: none"> ▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
さ		 クーラントポンプ 故障	クーラント・ポンプが故障しています。 継続走行可能です。 ▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
た な		冷却フラップ 故障 全負荷回避 要整備	冷却フラップが故障しています。 継続走行可能です。 ▷ 全負荷を回避します。 ▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
は ま	 点灯	 エンジン出力減少 走行可能 要整備	エンジン出力が低下します。 継続走行可能です。 ▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や	 点灯	 エンジン制御 故障 安全な場所に 停車してください	エンジン制御システムが故障しています。 安全な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 運転を続けしないでください。 ▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら		 エンジン制御 故障 走行可能 要整備	エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ	* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。		

車両

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	車両電気システム故障 安全な場所に 停車してください	車両電気システムが故障しています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	電気利用のため 要エンジン作動 車両電気システム故障 安全な場所に停車	車両電気システムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	車両電気システム故障 または バッテリー低下 要整備	車両電気システムが故障しているか、バッテリーが低下しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	スタート/ストップ 故障	開始/停止機能が利用できません。 故障が継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	トランスミッション 故障 安全な場所に 停車してください	トランスミッションが故障しています。 次に停車するまでは走行が可能です。 運転を続けしないでください。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▶ 「けん引」の章（75ページ）を参照してください。
	トランスミッション 加熱 冷却のため 安全な場所に 停車してください	トランスミッションの温度が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車して、トランスミッションを冷やしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ

か

さ

た

な

は

ま

や




ら

わ




A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		トランスミッション 故障 リバースギヤが 使用できない 可能性があります	トランスミッションが故障しています。 リバース・ギヤに入らないことがあります。 ギヤシフトが制限されますが、継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
さ		トランスミッション 温度超過 要負荷軽減	トランスミッションの温度が高すぎます。 継続走行可能です。車両発進時に「異常を知らせる不自然な動き」が感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。 ▶ アクセル・ペダルで車両を保持せず、ブレーキを使用してください。 ▶ 警告が消えるまで作動モードを P または N の位置にしてエンジンをアイドルングさせてください。
は ま		整備通知トランスミッション	トランスミッションの追加のメンテナンスが必要です。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や		非常通報機能 有効 非常通報機能 情報準備状態 保持	車両から自動発信された緊急電話が SOC で確認されました (スマートフォン・アプリ「ポルシェ・カー・コネク」装備車用)。
ら		非常通報機能 故障 要整備	非常通報機能が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ		非常通報機能 非常通報機能 故障	車両からの緊急電話を、セキュリティ・オペレーティング・センター (SOC) に転送することができませんでした。
A-Z		非常通報機能 サービス契約 期間切れ	緊急電話サービス契約の期限が切れました。 ▶ Porsche サービス・ポータルのサービス契約を延長します。

表示	メッセージ	意味および必要な措置	あ
	 <p>XX 日中に定期点検を行ってください</p>	<p>サービス・インジケーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 表示されている距離/期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。なお、整備手帳に掲載されているサービス・インターバルを優先してください。 	か
	 <p>エンジン出力減少 走行可能距離情報を確認し、至急ガソリンを補充してください</p>	<p>燃料タンクが空です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 最寄りの給油所で給油してください。 ▷ 「給油」の章（78ページ）を参照してください。 	さ
 点灯	 <p>タンクキャップが開いています タンクキャップを閉めてください</p>	<p>タンク・キャップが完全に閉じていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ タンクのキャップを正しく取り付け、確実に閉じてください。 ▷ 「給油」の章（78ページ）を参照してください。 	た
	 <p>ドア開 または リヤリッド開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 表示されたドアまたはリヤ・リッドを閉じてください。 	な
	 <p>キーがないか故障しています 印のエリアに対してキーを保持します または  <p>または キーの位置を変更してください</p> </p>	<p>キーの電池が消耗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両を始動するには、フロント左のセンター・コンソールの小物入れにキーを配置します。 ▷ 「車両キーの電池が消耗している、または電波干渉を受けている際に車両を始動する場合」の章（70ページ）を参照してください。 ▶ 電池を交換してください。 ▷ 「ドライバー・キーのバッテリーの交換」の章（69ページ）を参照してください。 <p>または</p> <p>キーが故障 / 見つからない / 認識できません。 キー位置が正しくありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 可能性がある干渉ソースのスイッチを切ります。 ▶ この操作を行うときは、キーを携帯している必要があります。 - または - 	は ま や ら わ A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
			キーの位置を変更してください。
か		スポイラー故障 減速してください	走行安定性が損なわれます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
さ		スポイラー故障 または	走行安定性が損なわれます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
た	または	スポイラー制御 故障	エンジンを再始動させた後も、故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な		慎重に走行 してください	
は	* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。		

ドライビング・システム







ま	表示	メッセージ	意味および必要な措置
や		シャーシシステム 故障 慎重に走行 してください 要整備	シャーシが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出ます。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら		シャーシシステム 故障 要整備 慎重に走行 してください	シャーシが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出ます。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
わ		故障シャーシ システム	シャーシが故障しています。
A-Z			

表示	メッセージ	意味および必要な措置	あ か さ た な は ま や ら わ A-Z
	安全な場所に 停車してください	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	
	 車高が 低すぎます 発進せず、運転可能に なるまで待機	車高が低すぎます。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	
	 車高が 高すぎます 慎重に走行 してください	車高が高すぎます。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	
 点灯	 PSM システム故障 安全な場所に駐車	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) システムが故障しています。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	
 点灯	 PSM故障 要整備 慎重に走行 してください	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	
 点灯	 ABS/PSM故障 慎重に走行 してください	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	
 点灯	 PSM自動 作動	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) が自動的に ON になりました。	






あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		 PSMスポーツ 車両安定システムが 制限されています	車両安定性システムは、ボルシェ・スタビリティ・マネージメントシステム (PSM) スポーツが有効である制限された範囲でのみ利用可能です。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
さ			
た		PDCC 故障 PSM オン アダプター 走行可能	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な		 駆動力分配 システムエラー 慎重に走行 してください	ボルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) が故障しています。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合: ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
は			
ま		 駆動力分配 システム故障 または 駆動力分配 システム過負荷	ボルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) に一時的な不具合が発生しています。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合: ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や		後輪のみ駆動 慎重に走行 してください	
ら			
わ		 駆動力分配 システム温度限界 要負荷軽減	ボルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) の負荷が過大です。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合: ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
A-Z		 リヤデフロック 過負荷	ボルシェ・トラクション・マネージメント (PTM) の負荷が過大です。





表示	メッセージ	意味および必要な措置	あ
	<p>慎重に走行 してください</p>	<p>▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合: ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>	か
	<p> リヤデフロック 故障 または リヤデフロック 故障 慎重に走行 してください</p>	<p>ボルシェ トルクベクトリング プラス(PTV Plus) が故障している か、不完全な状態です。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>	さ た
	<p> リア アクセル ステアリング故障 または リア アクセル ステアリング故障 慎重に走行 してください</p>	<p>リア アクセルが故障したか、不完全な状態です。 継続走行可能です。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>	な は ま
	<p> ローンチコントロール 作動</p>	<p>ローンチ・コントロールが作動しています。 最大加速で発進します。 ▶ 「ローンチ・コントロールを使用した発進」の章（179ページ）を参照してください。</p>	や
	<p> カメラシステム 故障 要整備</p>	<p>車両カメラが故障しています。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>	ら
	<p> カメラシステム 使用不可 ステータス：一時 走行可能</p>	<p>アシスタントシステムまたは車両カメラが故障しています。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>	わ A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置	
か		カメラシステム 制限 カメラビューなし 必要に応じて フロントガラスを清掃	アシスタンス・システムまたはカメラが天候状態やフロント・ガラスの汚れにより、一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればフロント・ガラスを清掃してください。 故障が継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
さ		システム故障 走行可能 要修理	1つ以上の電気システムのシステムが故障している可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
た		パークアシスト 警告音故障 または メーターパネル 警告音 故障 走行可能 要修理	警告音およびパークアシストなどの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
は		フロント・パーキング・アシスタ ント 故障 または リヤ・パーキング・アシスタント 故障 走行可能 要修理	パーキング・アシスタントを使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時、故障を考慮してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
わ		故障 故障	パーキングアシストが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時、故障を考慮してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
A-Z			ACC/PAS 使用不可	車両前部のセンサーの汚れまたは天候によってアダプティブクルーズコントロール (ACC) が悪影響を受けている可能性があります。

表示	メッセージ	意味および必要な措置	あ
	<p>センサーが汚れています。清掃してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 必要であればセンサーを清掃してください。 <p>故障が継続する場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	か
	 <p>ACC/PAS 使用不可 要整備</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	さ
	 <p>ACC使用不可</p> <p>ドライバーの運転操作 が必要です</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) を使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ステアリング操作をしてください。 	た
	 <p>ACC使用不可</p> <p>または</p> <p>ACC+渋滞 アシスト使用不可</p> <p>ABS/PSM介入</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) またはトラフィックジャムアシストは、ABS または PSM 介入時は利用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 	は
	 <p>ACC 使用不可</p> <p>または</p> <p>ACC + トラフィック ジャムアシスト使用不可</p> <p>走行可能</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) またはトラフィックジャムアシスト・システムが故障しています。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 <p>故障が継続する場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	や
	 <p>ACC+渋滞 アシスト使用不可</p> <p>D またはMに 入れてください</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) は D または M 作動モードを選択しているときのみ利用可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 作動モード D、または M を選択してください。 	わ
			A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		 <p>ACC+渋滞 アシスト使用不可 センサーが汚れて います。清掃してください</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) またはトラフィックジャムアシストが、天候状態やセンサーの汚れにより一時的に使用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ センサーを清掃してください。
さ			<p>故障が継続する場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
た な		 <p>ACC+渋滞 アシスト無効 または 渋滞アシスト無効 ドライバーの運転操作 が必要です</p>	<p>ステアリング介入が行われなかったか、目標速度を超えていたため、アダプティブクルーズコントロール (ACC) およびトラフィックジャムアシストが無効になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ステアリングを引き継ぎ、トラフィックジャムアシストとACCを起動してください。 <p>ステアリングを引き継がない場合、車両が停止するまでブレーキがかかります。</p>
は ま		 <p>渋滞アシスト無効 シートベルトを 着用してください</p>	<p>ドライバーのシート・ベルトが締められていないため、トラフィックジャムアシストは無効になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ シート・ベルトを締め、トラフィックジャムアシストを起動してください。
や		 <p>渋滞アシスト 使用不可 走行可能 要整備</p>	<p>センサーが故障しているため、トラフィックジャムアシストを使用できません。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ら わ		<p>速度制限表示 現在制限中 カメラビューなし 必要に応じて フロントガラスを清掃</p>	<p>悪天候またはフロント・ガラスの汚れにより、制限速度表示が一時的に利用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 必要であればフロント・ガラスを清掃してください。 <p>故障が継続する場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
A-Z		<p>速度制限表示 使用不可 ステータス：一時</p>	<p>ナビゲーション・データを一時的に受信できなくなっています。</p> <p>継続走行可能です。</p> <p>故障が継続する場合:</p>

表示	メッセージ	意味および必要な措置	あ
	<p>走行可能 または サービスエリアの 範囲外です</p> <p>または 利用可能なバージョン データなし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	か
	<p>LCA使用不可</p> <p>走行可能</p>	<p>レーンチェンジアシスト (LCA) が天候状態により一時的に利用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボタンを押してレーンチェンジアシスト (LCA) を起動してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「レーン・チェンジ・アシスト (LCA)」の章 (270ページ) を参照してください。 	た な
	<p>LCA使用不可</p> <p>センサーが汚れています。清掃してください</p>	<p>レーンチェンジアシスト (LCA) センサーが、バイク・ラック、ステッカー、汚れ、氷結などにより遮断されています</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ センサーの故障を修理してください。 ▶ ボタンを押してレーンチェンジアシスト (LCA) を起動してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「レーン・チェンジ・アシスト (LCA)」の章 (270ページ) を参照してください。 	は ま や
	<p>レーンキープアシスト無効</p> <p>ドライバーの運転操作が必要で</p>	<p>ステアリングホイールが操作されていないため、レーンキープアシストは無効になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ステアリングを引き継ぎ、レーンキープアシストを起動してください。 	ら
	<p>レーンキープアシスト使用不可</p> <p>要整備</p>	<p>レーンキープアシストを使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。* 	わ
	<p>レーンキープアシスト制限</p>	<p>レーンキープアシストが天候状態やフロント・ガラスの汚れにより一時的に使用できなくなっています。</p>	A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		カメラビューなし 必要に応じて フロントガラスを清掃	▶ 必要であればフロント・ガラスを清掃してください。 故障が継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
さ		レーンキープ アシスト制限 ステータス：一時 走行可能	レーンキープアシストは一時的に使用できません。 故障が継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
た		ナイトビューアシスト 使用不可	ナイトビューアシストを使用できません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な		ナイトアシスト システム故障 走行可能	ナイトビューアシストを使用できません。 走行可能 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
は		ナイトビュー アシスト 歩行者検知 使用不可	歩行者検知は使用できません。 歩行者および大きい野生動物は検出されません。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
や	* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。		

ハイブリッド車両

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	ハイブリッド機能 使用不可 電気システム 加熱 走行を継続しないでください	ハイブリッド機能を使用できません。 ▶ 直ちに安全な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ハイブリッド システム故障 安全な場所に 停車して車両を 冷却してください	ハイブリッド・システムを使用できません。 ▶ 安全な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ハイブリッド システム故障 走行可能 要整備	ハイブリッド・システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ハイブリッドクーラ ントレベル低下 安全な場所に 停車して車両を 冷却してください	クーラント・レベルが下限を下回っています。 ▶ 安全な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	車両電気システム 故障 再始動不可 要整備	車両電気システム・システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	Eサウンド 故障 走行可能 要整備	Eサウンドが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	表示	メッセージ	意味および必要な措置
か		eローンチコント ロール使用不可	e ローンチを使用できません。 車両の温度が高すぎます ▶ エンジンを OFF にして冷やしてください。 または 高電圧バッテリーが十分に充電されていません。 ▶ 高電圧バッテリーを充電してください。
た な		バッテリー放電 保護有効 充電状態: xx %	高電圧バッテリー放電保護が有効です。 ▶ 高電圧バッテリーを充電してください。 長時間のアイドリング: ▷ 「高電圧バッテリーのお手入れ」の章（279ページ）を参照してください。
は		タンクシステム 故障 走行可能 要整備	タンク・システムの電動ロック解除が故障しています。 ▶ フィラー・フラップの緊急解除を実施してください。 ▷ 「」の章（ページ）を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ま	* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。		
や ら			
わ			
A-Z			

警報システム

警報システムは、次の警報接点を監視します：

- ドア、リヤ・リッド、およびボンネットの警報接点
- 室内モニタリング・システム：車両をロックした後の車内への侵入（例えばウィンドウを壊して車内に侵入したとき）
- 故障診断用ソケット
- トレーラー・ヒッチ・ソケット

これらの警報接点のいずれか1つでも作動すると、アラーム・ホーンが約25秒間鳴り、ハザード・ライトが約300秒間点滅します。その後、5秒間警報が中断され、再度警告音が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なる）。

警報システムのON/OFFを切り替える

- ▶ 車両をロックすると、警報システムが約30秒後に作動します。
- ▶ 車両をロック解除すると、警報システムが解除されます。

インフォメーション

ドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

作動した警報システムをOFFにする

- ▶ ドア・ロックを解除します。
-または-
- ▶ イグニッションをONにしてください。

室内モニタリング・システムをOFFにする

- ▶ 「ドアのロック」の章（136ページ）を参照してください。

警報システム機能表示

車両のロック状態は、ドアのインジケータ・ライトの点滅速度で示されます。

警報システムを起動させたとき

車両をロックしたときにインジケータ・ライトが素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

警報システムを起動させたとき（室内モニタリング・システムと傾斜センサー*がOFFのとき）

車両をロックしたときにインジケータ・ライトが素早く点滅し、28秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

セントラル・ロッキング・システムと警報システムの故障

車両をロックしたときにインジケータ・ライトが素早く点滅し、28秒間連続して点灯し、その後は通常の速さで点滅します。

盗難を防止するために

車両を離れる前に、常に：

- ▶ ウィンドウやパノラミックルーフシステムを閉じます。これはまた、内部監視システムにより誤警報を防止します。
- ▶ パーキング・ロックPとエレクトリック・パーキング・ブレーキを起動します。
- ▶ イグニッションをOFFにしてください。
- ▶ グローブ・ボックスを閉じてください。
- ▶ すべての小物入れを閉じてください。
- ▶ 車両に貴重品、車両書類、電話、家の鍵を置き忘れないようにしてください。
- ▶ ドアとリヤ・リッドを閉じてください。
- ▶ ボンネットを閉じてください。
- ▶ 車両をロックしてください。

イモビライザー

すべてのドライバー・キーには格納されたコードとトランスポンダ（電子部品）が含まれています。イモビライザーを無効にしエンジンを始動するために、認識されるドライバー・キーが必要とされます。

ステアリング・コラムのロック解除/ロック

自動ステアリング・コラムの解除

- ▶ 車両に乗り込み、運転席ドアを開けてください（キーは車内に置いてください）。
-または-
- ▶ イグニッションをONにしてください。

自動ステアリング・コラムのロック解除

- ▶ 運転席のドアを開けます（イグニッションOFFで）。
-または-
- ▶ 車両をロックしてください。

故障

ドライバーが駐車操作をしているとき、パーキング・アシスタントが車両と障害物の間の距離を表示と音で知らせます。

パーキング・アシスタントのパーキング・エイドがダッシュボードのタッチディスプレイに表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離がわかります。



警告

運転中または駐車中の不注意

パーキング・アシスタントにより操作の快適性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。パーキング・アシスタントを使用している場合も、ドライバーには駐車時や障害物に注意を払う責任があります。このシステムはドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

▶ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず確認してください。

パーキング・アシスタントは以下のものを検出できません。

- 音波を吸収する物体（例：粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など）
- 音波を反射する物体（例：ガラス面や平らな塗装面など）
- 非常に細い物体（細い支柱など）
- その他の超音波発生源（他の車のエア・ブレーキ、清掃機、削岩機など）も、障害物の検出を妨げることがあります。
- センサーやカメラの汚れが激しい場合、障害物は検出されません。

距離測定

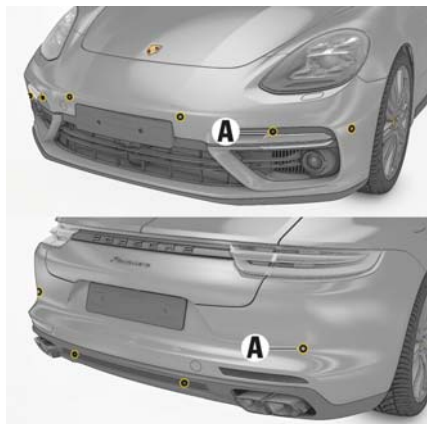


図 50：距離測定用超音波センサー

フロントおよびリヤ・バンパーの超音波センサー A（車両装備により異なる）が直近の障害物との距離を測定します。障害物を検出すると警告音が断続的に鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。障害物との距離が約 30 cm 未満になると、警告音が連続して鳴ります。センサーの上または下にある障害物は検出されません。

警告音の音量は、ダッシュボードのタッチディスプレイを使って調整できます。

▶ 「パーキング・アシスタントの警告音量を設定する」の章（115ページ）を参照してください。

パーキング・アシスタントの作動

自動作動（約 15 km/h (9 mph) の速度まで）

- ✓ イグニッションをONにする
- ✓ リバース・ギヤに入れる。
 - または -
- ✓ 前方の距離は約 80 cm 以下です。
 - または -
- ✓ パーキング・アシスタントが車両の後退を検出したとき

手動での作動

▶ アシスト  ▶ 制御  ▶ パーキング・アシスタント

ダッシュボードのタッチディスプレイの表示



図 51: パーキング・アシスタントのカラー・コーディング

色	前方の距離	後方の距離
緑色	< 120 cm	< 180 cm
黄色	< 80 cm	< 80 cm
赤色	< 40 cm	< 40 cm
赤色と連続音	< 30 cm	< 30 cm

i インフォメーション

パーキング・アシスタントがトレーラーを検出する場合、後方の距離情報は提供されません。

i インフォメーション

Porsche Communication Management の操作に関する情報 (PCM):

- ▶ 「ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)」の章 (224 ページ) を参照してください。

パーキング アシストの停止

自動停止

- ✓ セレクター・レバーの P ボタンが作動します。

手動での停止

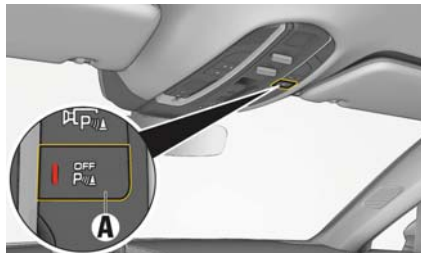


図 52: パーキング・アシスタントの停止

- ▶ オーバーヘッド・コンソールのボタン A を押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

ダッシュボードのタッチディスプレイには表示されません。ダッシュボードのタッチディスプレイで、表示を手動で起動することはできません。

パーキング・アシスタントの警告音量を設定する

- ▶ アシスト ▶ 設定 ▶ パーキング・アシスタント

リバース・カメラ

リバース・カメラは、駐車操作時に車両後方の確認を補助するシステムです。ダッシュボードのタッチディスプレイにリバース・カメラの映像が表示されます。

警告 怪我をする恐れがあります。

カメラに映し出される障害物は実際とは異なって見えます。リヤビュー・カメラの映像は、車両後方エリア全体を映し出すことはできません。

- ▶ 常に車両周囲の状況に十分注意を払ってください。
- ▶ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず確認してください。

リバース・カメラの作動

自動

- ✓ リバース・ギヤに入れてイグニッションを ON にする
- または -
- ✓ パーキング・アシスタントが車両の後退を検出したとき

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

手動

- ▶ アシスト  ▶ 制御  ▶ パーキング・アシスタント

リバース・カメラの自動停止

- ✓ 速度 15 km/h を超過した場合。
- または -
- ✓ セレクター・レバーの P ボタンが作動します。

サラウンドビュー(RTV)



図 53：サラウンドビュー・カメラの位置

- A センターおよびフロント・エプロンのカメラ
- B 両方のドア・ミラーのカメラ
- C パンパーのライセンス・プレート・ライトの間に
あるカメラ

⚠ 警告

傷害のリスク

リバース・カメラに映し出される障害物は実際とは異なって見えます。多くの場合、画面の映像では、車両周辺全体を映し出すことはできません

- ▶ 常に車両周囲の状況に十分注意を払ってください。
- ▶ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず確認してください。




サラウンドビューは車両を上面からみた映像で、車両周辺のエリアを映し出したものです。複数のカメラで障害物や路面のマーキングと車両の正確な位置を検出します。サラウンドビューが作動しているときは、明るさを確保するためカーテシー・ライトのスイッチが ON になります。


Surround View (サラウンドビュー) を有効にする


自動

- ✓ パーキング・アシスタントが再び作動します。

手動

- ▶ オーバーヘッド・コンソールのボタン  を押してください。
- または -
- ▶ アシスト  ▶ 制御  ▶ パーキング・アシスタント

該当するシンボル・マークまたはオーバーヘッド・コンソールのサラウンドビュー・ボタン  を使用して、希望のビュー (リヤなど) を選択します。有効になっているビューのシンボルは赤色で強調されます。

シンボル	ビュー
	フロント
	後部座席
	ページ
	パノラマ、フロント
	パノラマ、リヤ

i インフォメーション

フロントおよびリヤ・カメラのビューにはガイドラインが重ねられて表示されます。これらのガイドラインは、車両が現在位置のハンドルで走行できる方向を示します。ガイドラインは、フロント・ホイールの位置とともに変化します。

Surround View (サラウンドビュー) を無効にする

- ▶ パーキング・アシスタントの停止

シート

正しいシート位置の選択

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢が重要です。運転者にフィットするよう運転席シート位置を調整するには、以下の手順を実施してください。

1. シートの高さを頭上の空間に余裕があり、周囲がよく見える高さに調節してください。
2. シートの前後位置を調節し、ブレーキ・ペダルをいっばいに踏み込んだときに、脚が伸びきらず脚がペダル面にしっかり接している状態になる位置に調節してください。
3. ステアリング・ホイールの上部分を握ってください。バックレストの角度と、ステアリング・ホイールの位置を肘が少し曲がる位置に調節してください。このとき、肩をバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要に応じて、シートの前後位置を調節してください。



警告

運転中のシート調節

運転中にシート調節を行うと、シートが必要以上に大きく動き、運転操作を誤る危険があります。

- ▶ 運転中はシート調節を行わないでください。

電動シートの調節機能は走行中は制限されません。



注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の部位が圧迫

されたり挟まれたりする恐れがあります。

- ▶ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。

知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

フロント・シートの調節

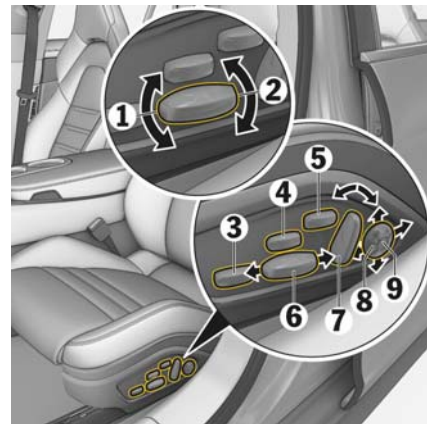


図 54：フロント・シートの電動調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 サイサポート調節
- 4 シートのサイド・サポートの調節
- 5 バックレストのサイド・サポートの調節
- 6 シートの前後調節
- 7 バックレストの角度調節
- 8 腰サポートの調節
- 9 マッサージ機能の ON/OFF の切り替え

- ▶ 希望の位置、あるいは最後の位置になるまで、矢印の方向にボタンを押してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

リヤ・シートの調節

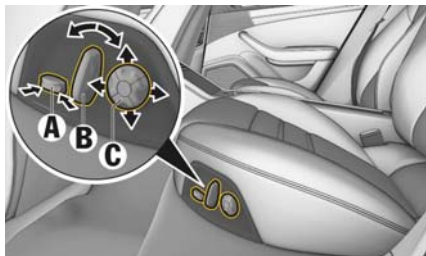


図 55：リヤ・シートの調節

- A 座面の深さ調節
B バックレストの角度調節
C ランバー・サポートの調節

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

リヤ・シートのバックレストを前方に折り畳む、垂直位置に戻す

リヤ・シート・バックレストはラゲッジ・ルームをより広く使用するため、個々に倒すことができます。

知識

リヤ・シートに置いた物によりリヤ・シートが損傷する恐れがあります。

- ▶ バックレストを倒すときは、シートに物を置かないでください。

リヤ・シート・バックレストを前方に倒す

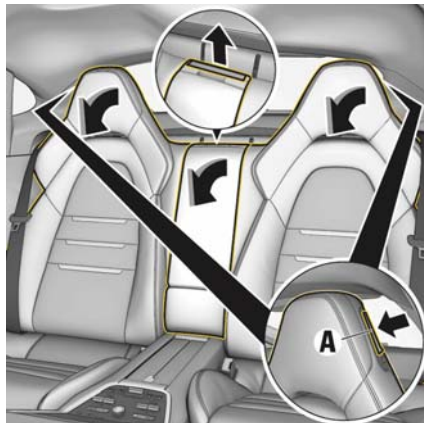


図 56：リヤ・シート・バックレストを前方に倒す

4ゾーン・エアコン装備車:

- ▶ 運転席ドアのアームレストにあるセーフティー・ボタンを押してから、シートのバックレストを前方に倒してください。
 - ▶ 「リヤでの操作を無効にする - チャイルド・プロテクション」の章（121ページ）を参照してください。

ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

リヤ・センター・コンソールのコントロール・パネルおよびリヤ・ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチは機能しません。

1. フロント・シートを前方に動かしてください。
2. 解除ボタン A を押しながらバックレストを前に倒してください。

車両装備によっては、リヤ・シートの間にあるバスルー開口部も前方に倒すことができます。

リヤ・シートのバックレストを垂直位置に戻す

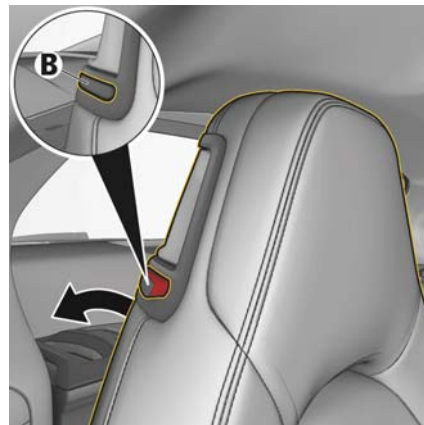


図 57：リヤ・シートのバックレストを垂直位置に戻す

警告

バックレストが正しく固定されていない

リヤ・シートのバックレストが正しく固定されていない場合、車両が動いているときに意図しないでも前方に倒れる恐れがあります。赤いマーク B が見えているときは、バックレストが正しくロックされていません。

- ▶ バックレストを起こした後、赤いマーク B が見えていないことを確認してください。
- ▶ 必要な場合、再度バックレストを倒してもう一度固定してください。

- ▶ バックレストを接続音が聞こえるまで起こしてください。
シートベルトを挟み込まないように注意してください。

シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション:

- ▶ 「[パーソナル設定]」の章(202ページ)を参照してください。

シート・ヒーター/シート・ベンチレーターの使用

シート・ヒーター/シート・ベンチレーターのON/OFF



図 58：フロント・シート・ヒーター/フロント・シート・ベンチレーターのON/OFF



図 59：リヤ・シート・ヒーター/リヤ・シート・ベンチレーターのON/OFF

シート・ヒーター/シート・ベンチレーターをONにする

- ✓ エンジンを作動状態にする
- ▶ 必要に応じてボタン A (シート・ヒーター) またはボタン B (シート・ベンチレーター) を繰り返し押します。
選択した設定に応じた数のインジケーター・ライトが点灯します。

シート・ヒーター/シート・ベンチレーターをOFFにする

- ▶ 必要に応じてボタン A (シート・ヒーター) またはボタン B (シート・ベンチレーター) を繰り返しインジケーター・ライトがすべて消えるまで押します。

i インフォメーション

室内の温度が高いときはシート・ヒーターを使用できません。

室内の温度が低いときはシート・ベンチレーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、最初はシート・ヒーター/シート・ベンチレーターの作動が制限され、その後 OFF になります。

シート・ヒーター/シート・ベンチレーターの調節

シート・ヒーターとシート・ベンチレーションについて、シート・クッションとバックレストのバランスを設定することができます。

ダッシュボードのタッチ・ディスプレイ:

1. 車両 ▶ 制御 ▶ 車両 ▶ シート設定 ▶ 運転席シートヒーター/助手席ヒーター/運転席エアコンシート/助手席エアコンシート

2. バランスの設定

リヤのタッチ・ディスプレイ:

1. **SEAT** ボタン ▶ コンFORT ▶ シート・ヒーター/シート・ベンチレーター
2. バランスの設定

フロント・マッサージ機能の使用

フロント・マッサージ機能のON/OFFの切り替え

- ✓ イグニッションがONのとき

1. 動作させるシートのボタン 9 (図 54) を押してください。
マッサージ機能の ON と OFF が切り替わります。
2. 希望のプログラムを選択してください。
3. 希望の強さを選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や



ら

わ

A-Z



フロント・マッサージ・プログラムの調節

マッサージ・システムは運転席と助手席で別々に調節できます。

1. 車両  ▶ 制御  ▶ プログラム
2. 希望のマッサージ・プログラムを選択してください。

フロント・マッサージの強さの調節

マッサージの強さは運転席と助手席で別々に調節できます。

1. 車両  ▶ 制御  ▶ 強さ
2. 希望のマッサージの強さを選択してください。

リア・マッサージ機能の使用

リア・マッサージ機能の選択およびマッサージ機能のON/OFF

マッサージ・プログラムはリアの左シートと右シートで別々に調節できます。

1. ボタン **SEAT** ▶ マッサージ ▶ プログラム
2. 希望のマッサージ・プログラムを選択してください。

リア・シートのマッサージの強さの設定

マッサージの強さはリアの左シートと右シートで別々に調節できます。

1. ボタン **SEAT** ▶ マッサージ ▶ 強さ
2. 希望のマッサージの強さを選択してください。

イージー・エントリー機能を使用する

イージー・エントリー機能は、車両への乗り降りをしやすくするための装備です。

▲ 注意 運転席シートの自動調節

自動シート調節により、運転席の後ろにいる乗員や動物がシートに挟まれる恐れがあります。

- ▶ 運転席の真後ろに乗員がいるときはイージー・エントリー機能を OFF にしてください。

知識

リヤ・シートを前方に倒した状態で設定を呼び出すと、車両を損傷する恐れがあります。シートが後退し、損傷する恐れがあります。

- ▶ リヤ・シートを前方に倒しているときはイージー・エントリー機能をOFFにしてください。

降車するとき

- ✓ 機能が作動します。
- ▶ イグニッションをOFFにし、そして運転席ドアを開いてください。ステアリング・ホイールが上方に移動します。
- 以下の操作を行うと、シートが後方に移動します。

乗車するとき

- ✓ 機能が作動します。
- ✓ 乗車前、運転席シートおよびハンドルはイージーエントリー位置にあります。

- ▶ 運転席ドアを閉めて、イグニッションをONにしてください。運転席シートとステアリング・ホイールが保存した位置まで戻ります。

i インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびハンドルはそのキーに保存された位置に移動します。



i インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、イージー・エントリー機能が中断します。

- ▶ シート位置の手動設定。

運転席シートからの助手席シートの調節

ダッシュボードのタッチ・ディスプレイ:

1. 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ シート設定 ▶ 助手席シート位置 ▶ 助手席シートを調整する
2. 運転席シートのコントロールを使用した助手席シート位置の設定 (図 54)。

調節を終える:

- ▶ シート調整を完了する。

リヤからの助手席シートの調節

- ✓ 機能が作動します

リヤのタッチ・ディスプレイ:

1. **SEAT** ボタン▶コンフォート▶助手席
2. 後ろに倒す、前に倒す、後方に移動、および前方に移動の機能を使用して、助手席シートを調整します。

リヤでの操作を無効にする - チャイルド・プロテクション



図 60：リヤ・ドア操作を無効にする

運転席ドア・コントロール・パネルのセーフティ・ボタンを押すと、リヤ・ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチ、リヤ・センター・コンソールのコントロール・パネル、リヤ・シートの電動コントロールが無効になります。

チャイルド・プロテクションのON/OFF

- ▶ セーフティ・ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。リヤ・コントロール・パネルで行われたシート設定は保持されます。リヤ・コントロール・パネルの機能が停止します。

シート・ベルト

⚠ 危険

シート・ベルトを着用していない、または正しく使用していない

シート・ベルトを着用していない場合、事故の際に保護効果を発揮できません。シート・ベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシート・ベルトを着用することが義務付けられています。
- ▶ 1本のシート・ベルトを同時に2人で使うことは、絶対に避けてください。
- ▶ 厚手の衣類は脱ぐようにしてください(例: ジャケット)。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください(例: メガネ、ボールペン、携帯等)
- ▶ シートベルトのねじれやたるみがないことを確認してください。
- ▶ 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

⚠ 危険

損傷したシートベルト

損傷したシート・ベルト、強い負荷のかかったシート・ベルト、または摩耗したシート・ベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルト・プリテンショナー・システムは一回のみ作動させることができます。一旦作動したシステムは、交換する必要があります

す。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルトのバックルと取り付け部が正しく機能するかを確認してください。
- ▶ ベルト・バックルの汚れを防いで清潔に保ちます。
- ▶ 損傷したシートベルトや事故で極度の負荷がかかったシートベルト、またシートベルト・プリテンショナー・システムおよびフォース・リミッターが作動したシートベルトは、早急に交換してください。さらに、シートベルトのアンカー・ポイントも点検しておく必要があります。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。

シートベルト・プリテンショナー



シート・ベルト・プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。シート・ベルト・プリテンショナーの作動条件

- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が転倒した場合

i インフォメーション

シート・ベルト・プリテンショナー・システムが作動すると煙が発生しますが、これは異常ではありません。この煙は車両火災の兆候ではありません。

シートベルト警告灯および警告シンボルを確認する

イグニッションをONにすると、インストルメント・クラスターの赤色の警告灯  が、機能点検のために数秒間点灯します。警告灯は運転席シートベルトを着用するまで点灯し続けます。インストルメント・クラスターにも警告メッセージが表示されます。速度が約24km/hを超えると、インストルメント・クラスターの赤色の警告灯  が点滅し、警告音が鳴ります。

シート・ベルトの調節



図 61：シートベルトの高さを調節する

フロント・シートのシート・ベルト引き出し口は、高さを調節できます。

- ▶ シート・ベルトを着用したときに首にかかることのないように、肩の中央を通して上

半身を斜めに横切るよう、ベルト引き出し口のの高さを調節してください。

- 上げる - シート・ベルト引き出し口を押し上げてください。
- 下げる - ロック・ボタン A を押しながらシート・ベルト引き出し口を下げてください。

シートベルトを着用する

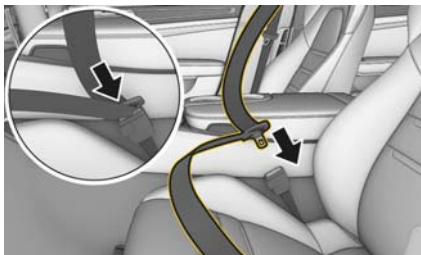


図 62：シートベルトを着用する

- 正しい位置に座っていることを想定します。
▷ 「シート」の章（117ページ）を参照してください。
- シート・ベルトを着用したときに、ベルトが肩の中央を通して上半身を斜めに横切るように、シートのバックレストを調節してください。
- シート・ベルトのラッチを手で持ち、ゆっくりと一定の速さで引き出して、腰の低い位置および胸部にかかるように着用してください。
- ベルト・ラッチをシート内側の適切なシー

ト・ベルト・バックルに挿入し、カチッと音がするまではめ込みます。

- シート・ベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
- 腰ベルトは必ず腰の低い位置（骨盤）にぴったりとかかるように確認してください。そのため、シート・ベルトを装着した後、肩ベルトを上引張ってください。妊娠している女性の場合：腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けるようにしてください。
- 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトが緩まないようにしてください。

i インフォメーション

坂道など傾斜地に停車しているときや、シート・ベルトを急に引いたときは、シート・ベルトがロックされて引き出せないことがあります。

加速中や減速中、コーナリング中、および上り坂を走行中も、シート・ベルトがロックされて引き出せないことがあります。

シートベルトの取り外し

- シート・ベルトのラッチを手で持ってください。
- シート・ベルト・バックルの赤色のボタンを押してください。
- シート・ベルトのラッチをシート・ベルト引き出し口に持って行きます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム

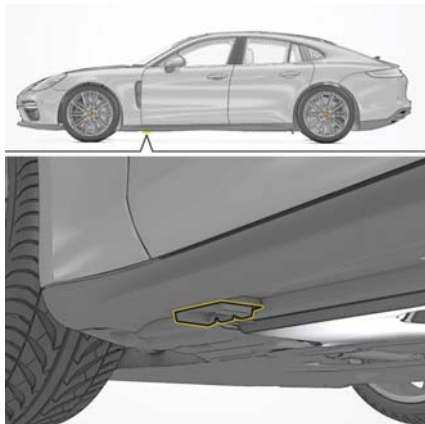


図 63：フロント側のリフティング・プラットフォームとジャッキのジャッキ・ポイント

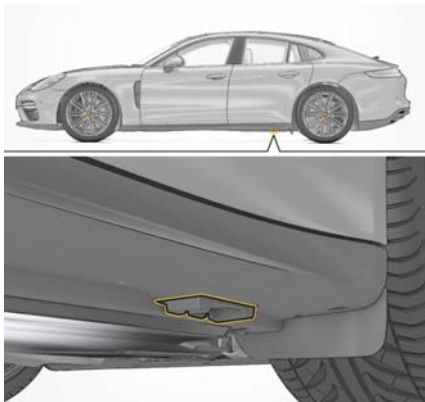


図 64：リヤ側のリフティング・プラットフォームおよびジャッキ用のジャッキ・ポイント



警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定していない、または正しく固定されていない場合、予期せず動き出したり、ジャッキやリフトなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

す。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
- ▶ エンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。更に、トランスミッション・ロック P を作動させてください。

- ▶ 「ホイール交換」の章（155ページ）を参照してください。



警告

レベル・システムの操作

レベル・システムが作動している車両は不意に動いたり、ジャッキやリフトなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ リフト・アップ前に、手動でノーマル・レベルに設定し、その後レベル・コントロール・システムを OFF にしてください。

- ▶ 「エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きボルシェ・アクティブ・サ

スペンション・マネージメント(PASM)の章（58ページ）を参照してください。

i インフォメーション

タイヤ交換に必要な工具は車両に標準装備されておりません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動

バッテリーが上がったときは、ジャンパー・ケーブルで他の車両のバッテリーを外部電源として使用してエンジンを始動することができます。両方のバッテリーの公称電圧が12Vでなければなりません。支援車側のバッテリーの容量(Ah)が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べて小さすぎないよう確認してください。上がったバッテリーを車両の電気系統に正しく接続する必要があります。

▷ 「バッテリー」の章(196ページ)を参照してください。

通常の作動状態でジャンパー・ケーブルによる始動を繰り返し行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。

警告

適合しないジャンパー・ケーブルと不適切な手順:

不適切なジャンパー・ケーブルを使用した場合、ジャンパー・ケーブルによる始動が適切に行われなかった場合、ショートする危険があります。ショートは火災の原因となります。

▶ ジャンパー・ケーブルはエンジン始動に適した製品を使用し、バッテリー容量に対して十分な断面積があることを確認してください。また、端子接続部のクリップが完全に絶縁体で覆われているものを使用してください。ジャンパー・ケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してくだ

- い。
- ▶ 車両同士を接触させないでください。電流が流れ、ショートする危険性があります。
 - ▶ 指輪、ネックレス、時計バンドなど、電気を通す装飾品が車両の通電部に触れないように注意してください。
 - ▶ 充電用ケーブル/ジャンパー・ケーブルは絶対にバッテリーや他の電気部品へ直接接続しないでください。ジャンパー・ケーブルは、ジャンプ・スタート用端子にのみ接続してください。

警告

凍結または損傷したバッテリーのジャンプ・スタート

凍結または損傷したバッテリーをジャンプ・スタートすると、爆発したり酸による火傷を負う危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーは絶対にジャンパー・ケーブルで始動しないでください。

注意

腐食性のある電解液

鉛バッテリーには極めて強い腐食性のバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動

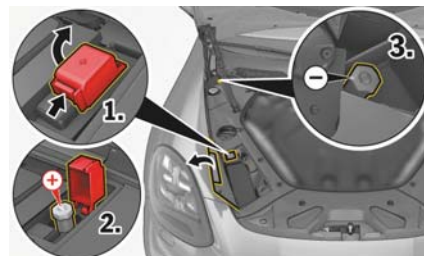


図 65: ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動

1. ボンネットを開いてください。
2. プラスチック・カバーを取り外してください。
3. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス(+)
端子カバーを開いてください。
4. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス(+)
端子に赤色のプラス・ケーブルを接続してください。
5. 赤色のプラス・ケーブルを支援車バッテリーのプラス端子に接続してください。
6. 黒色のマイナス・ケーブルを支援車バッテリーのマイナス端子に接続してください。
7. 黒色のマイナス・ケーブルをアース・ポイントに接続してください。
8. 支援車のエンジンを始動し、回転数を上げてください。
9. エンジンを始動してください。ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを15秒以上作動させないでください。始動に失敗したときは、1分以上待ってから再試行してください。
10. エンジンが作動状態のまま、

黒色のマイナス・ケーブルを、まずアース・ポイント **B** から外し、次に支援車バッテリーのマイナス端子から外してください。

11. エンジンが作動状態のまま、赤色のプラス・ケーブルを、まず支援車バッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパー・ケーブル始動用のプラス (+) 端子から外してください。
12. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス (+) 端子カバーを閉じてください。
13. プラスチック・カバーを元の位置に取り付けてください。

ステアリング・ホイール

ステアリング・ホイールの調整



警告

運転中のステアリング・ホイールの調節

運転中にステアリング・ホイールの調節を行うと、ステアリングが予期せず大きく動き、運転操作を誤る危険があります。

- ▶ 運転中はステアリング・ホイールの調節を行わないでください。

ステアリング・ホイールの手動調節



図 66：ステアリング・ホイールの調節レベルの固定

1. ロッキング・レバーを下向きに回転させてください。
2. ステアリング・ホイールを垂直および水平に移動させて、ステアリング・ホイールの位置を、背もたれと座席の位置の傾きに合わせて調節します。
3. ステアリング・ホイールが確実に固定されるまで、ロック・レバーを元の位置まで戻してください。

ステアリング・ホイールの電氣的調整



注意

メモリ設定による自由な復旧

調整中に人または動物がステアリング・ホイールの稼働範囲内にいる場合、車体部品が稼働できず、圧搾される危険性があります。

- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。



図 67：ステアリング・ホイールの調整スイッチ

- ▶ 所望位置に到達するまで、適切な方角にステアリング・コラムの下のスイッチを動かしてください。

ステアリング・ホイール設定の保存

ステアリング・ホイール設定の保存と検索に関する詳細情報に関して：

- ▶ 「パーソナル設定」の章（202ページ）を参照してください。

ステアリング・ホイール・ヒーターのON/OFF



図 68：ステアリング・ホイール・ヒーターボタン

- ✓ エンジンを作動状態にする
- ▶ メッセージがインストルメント・クラスタに簡潔に現われるまで、(図 68) 中央のステアリング・ホイールボタンを押します。

スポーツクロノ・ストップウォッチ

スポーツ・クロノ・ストップウォッチを使用することで、あらゆる場面で時間を計測できます。

ダッシュボード、ダッシュボードのタッチディスプレイ、インストルメント・クラスターにあるストップウォッチでラップ・タイムを表示することができます。

以下の情報を保存および評価することができます。

- ラップ回数
- ラップ距離
- ラップ・タイム
- オプション：その他の各種データ(車両位置や速度など)

記録中、以下の項目を表示することができます。

- 現在のラップ回数
- 最速ラップ・タイムおよび、それと比較した現在のラップ・タイム
- 基準ラップに関して走行した距離の割合
- 現在のラップ・タイムが最新のラップ・タイムより速いか、遅いか、または同一かを表示するカラー・レート
- 現在の燃費の残量で走行可能な残りの距離およびラップ回数
- 残りの記録時間
- オプション：現在のラップのトラック進捗状態と基準ラップ

ダッシュボードのストップウォッチ

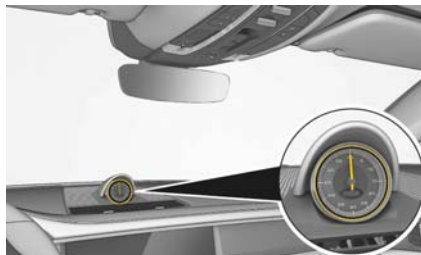


図 69：スポーツクロノ・ストップウォッチ

アナログ・ポインターは秒を表します。デジタル表示は 1/100 秒まで正確に示します。デジタル・ディスプレイおよびダッシュボードとインストルメント・クラスターのタッチ・ディスプレイのディスプレイには、99 時間 59 分 59.99 秒まで表示できます。

ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示とライトの設定

▶ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。

PCM のストップウォッチ

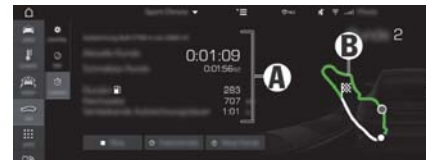


図 70：PCM のストップウォッチ

- A 記録情報(例: 現在の燃費の残量で走行可能な残りの距離およびラップ回数)。
 B 走行した距離またはラップ・カウンターのサークル・ディスプレイ: 基準ラップと比較して走行した距離。現在のラップ・タイムが基準ラップ・タイムより速いか(緑)、同一か(黄)、または遅いか(赤)を表示するカラー・コーディング。

計時の開始

- ▶ 車両 ▶ CHRONO ▶ 開始
 データの記録が開始されます。基準ラップがまだロードされていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。
 ページの「」の章を参照してください。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されている

- ▶ 車両 ▶ CHRONO ▶ 停止

計時の継続

- ✓ 計時が停止されている

あ

か

さ

た

な

は

ま



や

ら

わ

A-Z



あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ 続ける

ラップの停止/新しいラップの開始



1回のセッションで最大99ラップを保存することができます。

✓ 計時が開始されている

- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ 新しいラップ
ラップ・カウンターが1ずつ増えます。走行した最速ラップの時間は、その時間が許容距離内である場合に、最速ラップ時間として記録されます。
ページの「」の章を参照してください。



中間ラップの保存

✓ 計時が開始されている

- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ スプリット
中間タイムが短時間表示されますが、保存はされません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

ストップウォッチ・タイムのリセット




✓ 計時が停止されている

- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ リセット
すべてのストップウォッチの時間表示はゼロにリセットされ、実行中の記録が停止します。

基準ラップのロード



- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ ラップ読込

基準ラップの保存

- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション
 ▶ Sport Chrono表示 ▶ 分析 ▶ 希望の




記録を選択する ▶ ゴーストラップとして保存

基準ラップのリセット


- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ 基準ラップをリセット




記録および記録統計の表示および編集

1回のセッションで最大99ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。最大で10時間の記録が可能です。

- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション
 ▶ Sport Chrono表示 ▶ 分析

記録および基準ラップの名前変更、削除、インポート、およびエクスポート




- ✓ オプション  ▶ Sport Chrono評価で選択できます。
- ✓ SDカードが挿入されているか、またはUSBメモリーが接続されています。メモリーのデータはスポーツ・クロノ用のフォルダーに保存する必要があります。
 - ▶ 「グローブ・ボックス内のドライブの使用」の章（231ページ）を参照してください。

- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション


スポーツ・クロノの設定




追加データの記録の起動およびトラック進捗の表示

ラップの長さおよびラップ・タイムに加え、他の走行データ（速度など）を1秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。

- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション
 ▶ Sport Chrono設定 ▶ 追加データの記録




許容距離差の設定

基準ラップの長さとして任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。




- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション
 ▶ Sport Chrono設定 ▶ 許容距離差

評価の最大時間偏差の設定

記録時に速度が同一（黄色マーク）と評価されたラップ間の最大のタイム差を表示します。

- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション
 ▶ Sport Chrono設定 ▶ 評価の最大タイム差

最速ラップの車両位置の表示 (ゴースト・カー)

- ▶ 車両  ▶ CHRONO  ▶ オプション
 ▶ Sport Chrono設定 ▶ 基準ラップを表示

インストルメント・クラスタのストップウォッチ

ストップウォッチは、「車両&情報」ディスプレイに表示されます。

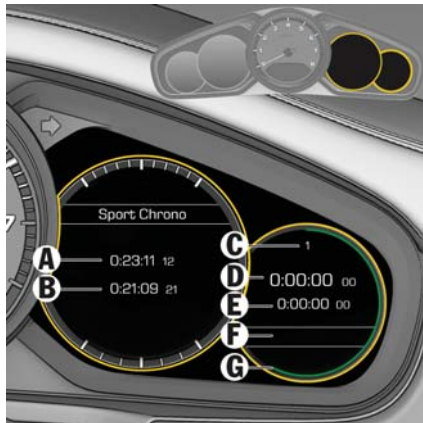


図 7-1: インストルメント・クラスタのストップウォッチ

- A 前回のラップ・タイム
- B 最速のラップ・タイム
- C ラップ・メーター
- D 現在のラップ・タイム / 暫定中間タイム
- E 基準ラップ・タイムまたは最速ラップ・タイム
- F オプションとコントロール・コマンド(スタート、ストップなど)
- G サークル・ディスプレイ: 基準ラップと比較して走行した距離。現在のラップ・タイムが基準ラップ・タイムより速いか(緑)、同一か(黄)、または遅いか(赤)を表示するカラー・コーディング。

計時の開始

- ▶ Sport Chrono ▶ 開始

データの記録が開始されます。基準ラップがまだロードされていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

130ページの「基準ラップのロード」の章を参照してください。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されている

- ▶ Sport Chrono ▶ 停止

計時の継続

- ✓ 計時が停止されている

- ▶ Sport Chrono ▶ 続ける

ラップの停止/新しいラップの開始

現在のストップウォッチ・タイムはラップ・タイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

1回のセッションで最大99ラップを保存することができます。

- ✓ 計時が開始されている

- ▶ Sport Chrono ▶ ラップ

ラップ・カウンターの値 C が 1 ずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップ・タイム B として保存されません。

中間ラップの保存

- ✓ 計時が開始されている

- ▶ Sport Chrono ▶ 中間タイム

中間タイム D が短時間表示されますが、保存はされません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

サークル・ディスプレイ G の数字が設定された中間タイムを示します。

ストップウォッチ・タイムのリセット

- ✓ 計時が停止されている

- ▶ Sport Chrono ▶ リセット

すべてのストップウォッチの時間表示がゼロにリセットされます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

スモーカーズ・パッケージ

灰皿の使用



警告

可燃物による火災

灰皿に紙類を入れると発火するおそれがあります。

- ▶ 可燃物を灰皿に入れないでください。

フロントの灰皿の使用

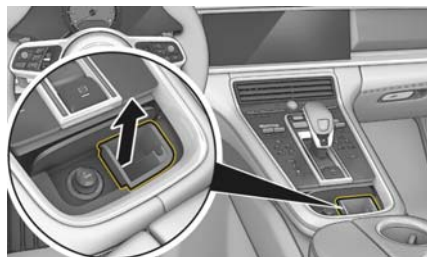


図 72：フロントの灰皿の使用

灰皿を開く

- ▶ 灰皿のリッドを素早く押してください。リッドは自動で開きます。

灰皿を空にする

1. 灰皿のリッドを開き、慎重に押し下げてください。
2. 灰皿のインサートを引き上げて取り外してください。
3. 灰皿を掃除した後は、元に戻してカチッと音がするまで所定の位置に押し込んでください。

リヤの灰皿の使用



図 73：リヤの灰皿の使用

灰皿を開く

1. リヤ・センター・コンソールを開きます。
2. 灰皿のリッドをハンドル・リセスで開いてください。

灰皿を空にする

1. 灰皿インサートのリッド部分を持って、取り外してください。
2. 灰皿の中を掃除した後、灰皿インサートを押し込んでください。

シガレット・ライターを使用する



警告

高温のシガレット・ライター

シガレット・ライターの光る端は、使用時非常に熱くなります。

- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。
- ▶ ヒーター・エレメントまたはシガレット・ライターの側面部は絶対に触れないでください。
- ▶ 作動ボタン以外で高温のシガレット・ライターを持たないでください。

車両装備により、リヤ・センター・コンソールにシガレット・ライターがあります。

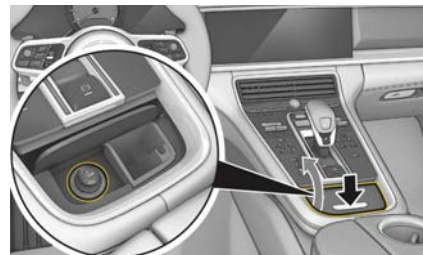


図 74：シガレット・ライターを使用する

シガレット・ライターはイグニッションの位置に関係なく使用できます。

1. 作動ノブを押し込んでください。ライターのフィラメントが赤熱すると、ライターが元の位置まで飛び出します。
2. シガレット・ライターを取り外してください。

シガー・ライター・ソケットで充電アダプターを使用する際のインフォメーション：

- ▶ 「充電アダプターの接続」の章（180ページ）を参照してください。

セントラル・ロック・システム

概要 - 車外からのドアの開閉操作とロック

この概要説明は「セントラル・ロッキング」に記載されている詳しい情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 75 : キー

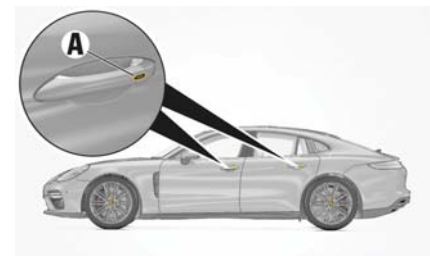




図 76 : ボルシェ・コンフォートアクセス

希望する操作	その操作方法は？	その結果は？	どこですか？
ロック解除	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの  ボタンを押してください。 ボルシェ・コンフォートアクセスによる <ul style="list-style-type: none"> ▶ ドア・ハンドルをしっかり握ってください。 	ハザード・ライトが1回点滅します。 ドアを開くことができます。	▶ p. 135
ロック	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの  ボタンを押してください。 ボルシェ・コンフォートアクセスによる <ul style="list-style-type: none"> ▶ ドア・ハンドルのボタン A を押してください。 	ハザード・ライトが2回点滅します。ドアおよびリヤ・リッドはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。 室内モニタリング・システム装備車の場合：インナー・ドア・ハンドルを引いて車内からドアを開	▶ p. 136

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	希望する操作	その操作方法は？	その結果は？	どこですか？
か			くことができません（セーフロック）。	
さ	<p>人 / 動物を車両に残してロックする (室内モニタリング・システム装備車の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> セーフロックの作動を無効にする および 室内モニタリング・システムをOFFにする: 	<p>キーを使用する:</p> <ul style="list-style-type: none"> キーの Ⓜ ボタンを2回(約2秒以内) 押ししてください。 <p>ボルシェ・コンフォートアクセスによる</p> <ul style="list-style-type: none"> ドア・ハンドルのボタン A を2回(約2秒以内) 押ししてください。 	<p>ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。</p> <p>すべてのドアとリヤ・リッドがロックされます。</p> <p>一方で、車内からは、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより開くことができます。</p>	<p>▷ p.136</p>
た	<p>アラーム・システムのアラーム音をOFFにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> キーの Ⓜ ボタンを押してください。 —または— イグニッションをONにしてください。 	<p>アラーム音がOFFになります。</p>	<p>▷ p.113</p>
な				

セントラル・ロッキング・システムの使用

i インフォメーション

- ▶ 車両が視界にある場合のみ、キーを使用してください。

車両装備により、キーまたはボルシェ・コンフォート・エントリー装備車ではキーを使用せずにドアのロックおよびロック解除ができます。

車両のロックを解除するときに、運転席ドアとフィラー・フラップのみをロック解除するか、車両全体を解除するかを設定できます。

- ▶ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。

設定にかかわらず、すべてのドアのロックを解除します：

- ▶ キーの **Ⓜ** ボタンを5秒以内に2回押ししてください。

i インフォメーション

ここでは初期設定の機能をもとに説明しています。



ボルシェ・コンフォート アクセス¹

ボルシェ・イーゼーエントリー装備車は、キーを使用せずにロックおよびロック解除ができます。キーをズボンのポケットなどに常に携帯していなければなりません。未許可の第三者が車両をロック解除したり始動したりできないように、キーを使用して

1. コンフォート アクセスシステムには、最新の技術が集約されています。とはいえ、ラジオ・キーのキー・コードが傍受され、車両を開けたり盗んだりする際に使用される場合もあります。

イージーエントリー機能を一時的に停止することができます。

キーを使用したコンフォート アクセスの停止

- ▶ 同時に  と  のボタンを押し、キーのインジケータ・ライトが常時点灯するまで両方のボタンを押し続けます。

キーのインジケータ・ライトが常時点灯すると、キーを使った停止が確定します。

キーのボタンを押すと、イージーエントリーが自動的に有効になります。

- ▶ キーを強い電磁波にさらさないでください。ポルシェ・イージーエントリーに悪影響を与える場合があります。

ドア・ロックの解除

インフォメーション

車両のロックを解除し、ドアまたはリヤ・リッドを 45 秒以内に開かなかった場合には、車両が自動的に再ロックされます。警報システムは起動します。再度ロックされた後は、室内モニタリング・システムが再び作動します。


インフォメーション

エアバッグが作動する事故が起きた場合、救助者が車両に入りやすくするために車両全体が自動的にロック解除されます。ハザード・ライトも自動的に作動します。

キーによるドア・ロックの解除



図 77：キーによるドア・ロックの解除

1.  ボタンを押してください。ハザード・ライトが1回点滅します。設定次第では、車両がロック解除されません。
2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

ドア・ハンドルの近接センサーでドアをロック解除する



図 78：ポルシェ・イージーエントリーによるドア・ロックの解除

- ✓ ポルシェ・イージーエントリー
- ✓ キーをズボンのポケット等に入れて携帯します。


- ✓ キーを携帯して運転席または助手席側のドアに近づくと、ドア・ロックを解除することができます。

1. ドア・ハンドルをしっかりと握ってください。ハザード・ライトが1回点滅します。設定次第では、車両がロック解除されます。
2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

インフォメーション

バッテリーを節約するために、不要なコンフォート機能は OFF にしておきます。その後、キーを使用して車両のロックを解除できます。

車内からのドア・ロックの解除

- ▶ ドア・パネルの  ボタンを押してください (図 80)。
 - または -
- ▶ インナー・ドア・ハンドルを引っ張ってください。すべてのドアとリヤ・リッドのロックが解除されます。インジケータ・ライト A が消灯します。

インフォメーション

セーフロックの作動中に車両をロックした場合、またはエマージェンシー・キーを使用して車両をロックした場合には、車内からドアを開くことはできません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

車両の自動ロック解除

ドアが開いている場合、またはドア・パネルのセントラル・ロックング・ボタンを押した場合には、車両が自動的にロック解除されます。

ドアのロック

セーフロックの使用



警告

車外からのドアのロック

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります(セーフロック)。そのため、ロックする前に車両に人や動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

- ▶ 車両をロックするときは車内に人や動物がいないことを確認してください。

セーフロックは、ロックされた車両のインナー・ドア・ハンドルとセントラル・ロックング・ボタンを無効にし、不正な車内への侵入を難しくします。

室内モニタリング(セーフロック)装備車では、インナー・ドア・ハンドルを引いて車内からドアを開くことができません。

室内モニタリング・システム非装備車: ドアおよびリヤ・リッドはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことで車内からドアを開くことができます。

人や動物が車内に残った状態で車両をロックする場合は、セーフロックを解除します。

キーによるドアのロック

- ✓ 作動モード P を選択してください。

- ✓ すべてのドアを開けてください。

1. ボタンを 1 回押してください。
ハザード・ライトが2回点滅します。

ロックされた車両のセーフロックを解除する

- ▶ ボタンを 2 秒以内に 2 回押してください。
ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。

ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、内側から開くことができます。

- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

インフォメーション

ドア、ボンネット、またはリヤ・リッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザード・ライトの点滅が終了します。

インフォメーション

車両をロックする際に車内にキーがある場合は、車両が再度ロック解除されます。車両からブザー音が 2 回鳴り、4 回点滅します。ドアまたはリヤ・リッドを約 45 秒以内に開かなかった場合に限り、車両はロックされます。スベア・キーを使用した場合のみロック解除が可能です。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にないことを確認してください。

ドア・ハンドルの近接センサーでドアをロックする

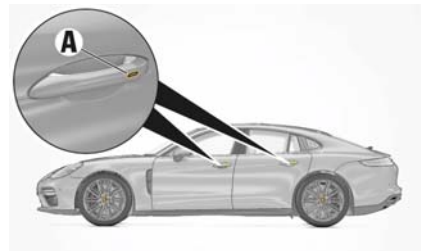


図 79：ボルシェコンフォート アクセスによるドアのロック

- ✓ ボルシェコンフォート アクセス
- ✓ 作動モード P を選択してください。
- ✓ キーをズボンのポケット等に入れて携帯します。
- ✓ すべてのドアを閉じてください。
- ▶ ドア・ハンドルのボタン A を押してください。
ハザード・ライトが2回点滅します。
一時的にドア・ハンドルでドアを開けられなくなります。車両がロックされたかどうかを確認するには、ドア・ハンドルを引いてください。

ロックされた車両のセーフロックを解除する

- ▶ ドア・ハンドルのボタン A を 2 秒以内に 2 回押してください。
ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。
- ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、内側から開くことができます。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

i インフォメーション

- ドア、ボンネット、またはリヤ・リッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザード・ライトの点滅が終了します。
- ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。

車内からのドア・ロック

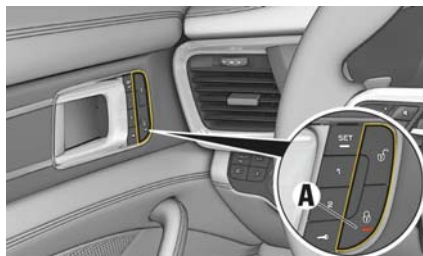



図 80：ドア・パネルのセントラル・ロックング・ボタン

- ✓ ドアを閉じる
 - ▶ ドア・パネルの  ボタンを押してください。
- すべてのドアとリヤ・リッドがロックされます。フィラー・フラップはロックされません。インジケーター・ライト **A** が点灯します。インナー・ドア・ハンドルを引くことによつてのみ、車内からドアを開くことができます。

車両の自動ロック (オート・ロック)

- ✓ 機能が作動します

速度が約 15 km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。

- ▶ 「車両設定」の章 (141 ページ) を参照してください。

チャイルド・ロック機能の作動/解除

室内からリヤ・ドアが開かないようにできます。

リヤ・ドア開口部のキャッチの近くに、チャイルド・ロックを作動/解除するためのキー・スイッチがあります。

ソフト・クローズ非装備車のチャイルド・ロック機能の作動/解除

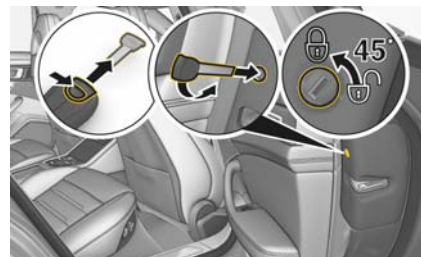


図 81：右リヤ・ドアのチャイルド・ロック

作動：

- ▶ エマージェンシー・キーを使用して、右リヤ・ドアのチャイルド・ロックを約 45 度反時計回り (図 81) に回し、左リヤ・ドアのチャイルド・ロックは約 45 度時計回りに回してください。
- チャイルド・ロックが作動すると、スロットが縦位置になります。
- リヤ・ドアを内側から開くことはできません。

停止する

- ▶ エマージェンシー・キーを使用して、右リヤ・ドアのチャイルド・ロックを約 45 度時計回り (図 81) に回し、左リヤ・ドアのチャイルド・ロックは約 45 度反時計回りに回してください。
 - ▶ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」の章 (69 ページ) を参照してください。
- リヤ・ドアを内側から開くことができます。

ソフト・クローズ機能装備車のチャイルド・ロック機能の作動/解除

- チャイルド・ロック機能はチャイルド・プロテクション作動時に作動します。
- ▶ 「リヤでの操作を無効にする - チャイルド・プロテクション」の章 (121 ページ) を参照してください。
- チャイルド・ロックが故障している場合、インストルメント・クラスターに警告メッセージが表示されます。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章 (90 ページ) を参照してください。

ドアを閉じる (ソフト・クローズ機能装備車)

ソフト・クローズ機能装備車には、4 つすべてのドアにパワー・クローズング・メカニズムが装備されています。

注意

パワー・クローズング・メカニズム

ドアが押されるかまたはロックに穏やかに引かれる場合、ドアは自動的にロックされるま

- で完全に引かれます。
- ▶ ドアと車両固定部間に指を挟まないように注意してください。
 - ▶ パワー・クロー징・メカニズムの可動部品（ロックのロータリー・ラッチ）の近くに物を置いたり、手足を近づけないでください。
 - ▶ お子様のみを車内に残さないでください。
-
- ▶ ドアを軽く押す、または引いてロックしてください。
ドアは自動的に引き込まれて閉じます。

緊急時の閉作動の中断

- ▶ インナー・ドア・ハンドルを引いてください
- または -
▶ アウター・ドア・ハンドルを引いてください

緊急時のドアのロック / ロック解除

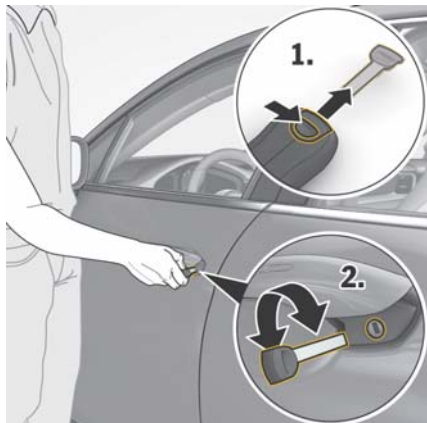



図 82：緊急時のロック解除 / 緊急時のロック

ドライバーのキーのリモコンが機能しない場合、リモート・コントロール無しでもドアのロック解除およびロックを行うことができます。

緊急ドア・ロック解除の実施

- ▶ リヤ・ウィンドウの右上にキーを置き、同時に  ボタンを押してください。
車両のロックがまだ解除できない場合：
- 1. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
 - ▶ 「エマージェンシー・キーを使用する

場合」の章（69ページ）を参照してください。

2. ドア・ハンドルを引いたままにしてください。
3. エマージェンシー・キーをドア・ロックに挿入し、反時計回りに90度しっかりと回し、再度キーを元の方向に回してから抜き取ってください（図）。
4. 警報システムの作動を回避するため、15秒以内にイグニッションをONにしてください。

インフォメーション

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

緊急ドア・ロックの実施

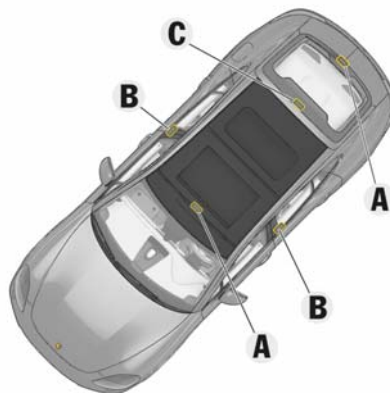
1. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
 - ▶ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」の章（69ページ）を参照してください。
2. ドア・ハンドルを引いたままにしてください。
3. エマージェンシー・キーをドア・ロックに挿入し、時計回りに90度回し、キーを元の方向に回してから抜き取ってください（図）。
4. 車両がロックしていることを確認してください。

i インフォメーション

セントラル・ロック・システムに異常があるときは、運転席ドアのドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んでロックすると、正常に機能しているロックのみが作動します。

- ▷ 「セントラル・ロック・システムが故障した場合のドアの緊急ロックの実施」の章（139ページ）を参照してください。
- ▷ セントラル・ロック・システムの故障を修理してください。
- ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェコンフォート アクセス



ポルシェコンフォート アクセスのアンテナの取り付け位置

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車は、リモート・コントロール付きキーと車両のアンテナが電波で通信することで、ドアやトランク・リッドをロック/ロック解除できます。

植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器を装着されているお客様へ

⚠ 警告

埋め込み型の心臓ペースメーカーおよび除細動器をご利用のお客様は、車室内のアンテナAまたは車両の外側に装備されているアンテナBから22センチの範囲内に、埋め込み型の心臓ペースメーカーおよび除細動器が来るこ

とがないようにしてください。

- ▶ 埋め込み型の心臓ペースメーカーおよび除細動器をご利用のお客様は、車室内のアンテナAまたは車両の外側に装備されているアンテナBから22センチの範囲内に、埋め込み型の心臓ペースメーカーおよび除細動器が来るがないようにしてください。アンテナは電磁波を発しており、電磁波が埋め込み型の心臓ペースメーカーおよび除細動器の機能に影響を及ぼす恐れがあります。
- ▶ 埋め込み型の心臓ペースメーカーおよび除細動器以外の医療用電子機器をご利用のお客様は、電磁波がその機器に影響を及ぼすかどうかについて医師または医療用電子機器の製品メーカーに事前に確認してください。電磁波は医療用電子機器の機能に影響を及ぼす恐れがあります。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

セントラル・ロック・システムが故障した場合のドアの緊急ロックの実施

1. 右側ドアを開いてください。

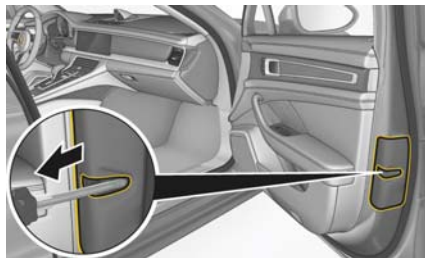


図 83：助手席ドア・カバーの取り外し

2. クリップを外し、カバーを取り外してください。



図 84：助手席ドアの緊急ロックの実施

3. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
4. エマージェンシー・キーを使用して、

キー・スイッチを車両の外側方向に回してください。

5. リヤ・ドアについても同様の作業を行ってください。
6. カバーを再度取り付けてください。

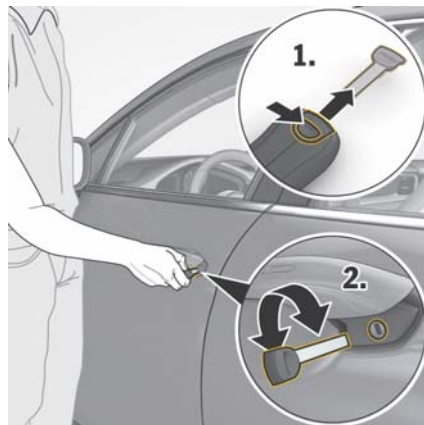


図 85：運転席ドアの緊急ロックの実施



7. ドア・ハンドルを引いたままにしてください。
8. エマージェンシー・キーをドア・ロックに挿入し、時計回りに 90 度しっかりと回し、再度キーを元の方向に回して抜き取ってください。
9. すべてのドアがロックしているか確認してください。
ドアはインナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両設定を調整できます。ここで挙げられている車両設定がすべてのモデル、国別仕様および装備仕様で利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

車両の設定は、イグニッションがOFFにされたときも保存されます。メモリ・パッケージ装備車では、設定は運転席のドアとドライバー・キーのメモリー・ボタンに保存することができます。

▷ 「パーソナル設定」の章（202ページ）を参照してください。

希望する操作	選択する項目 車両  ▶ 制御  ?	どこですか？
ロック/ロック解除オプションの設定	▶ 車両 ▶ ロック	
ライト、フロント・ワイパー、ドア・ミラーの調整	▶ 車両 ▶ ライトと視界	
シート・ヒーター、シート・ベンチレーター、シート・ポジションの調節	▶ 車両 ▶ シート設定	
タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定	▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング	▷ p. 142
マルチファンクション・ステアリング・ホイールの◇ボタンの設定	▶ 車両 ▶ ステアリング ホイール ボタン	
ジャッキおよびスノー・チェーン・モードの設定	▶ 車両 ▶ シャシー	
車両と Porsche Car Connect アプリ間の通信の停止	▶ 車両 ▶ Porsche Car Connect アプリ	▷ p. 143
疑似エンジン音を出力する	▶ 車両 ▶ Eサウンド	
PCM ディスプレイの変更	▶ ディスプレイ ▶ PCM を表示	
インストルメント・クラスター・ディスプレイの変更	▶ ディスプレイ ▶ インストルメントクラスターの表示	
インストルメント・クラスターのカスタマイズ表示の変更	▶ ディスプレイ ▶ インストルメントクラスターの表示 ▶ 内容 ▶ カスタマイズ表示	
	車両情報のさまざまな項目は、ドラッグ・アンド・ドロップで4つのフィールドに割り当てることができます。車両情報の1つの項目を複数のフィールドに同時に割り当てることはできません。	

あ	希望する操作	選択する項目 車両  ▶ 制御  *?	どこですか？
か	日付と時刻の設定	▶ システム ▶ 日付と時刻	
	単位の設定	▶ システム ▶ 単位	
さ	ボイス・コントロール・システムの設定	▶ システム ▶ ボイスコントロール	
	言語の設定設定	▶ システム ▶ 言語 (Language)	
た	警告音量および駐車アシストの調節	▶ システム ▶ 警告シグナル	
な	工場出荷時の設定に戻す	▶ システム ▶ 工場設定 工場設定に戻すと、選択したすべての設定が削除されます。	

タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) の設定



警告

不適切な設定

タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの有無にかかわらず、タイヤ空気圧を適切に維持し、車両の設定を常に更新することは運転者の責務です。入力情報が不足していたり、設定を誤ったりすると、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼします。

- ▶ ご使用のタイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ TPM メニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび積載重量と一致しているか点検してください (特にホイール交換

後や積載重量の変更後)。

- ▶ タイヤ/ホイールを交換したときは、新しく装着したタイヤ/ホイールの種類とサイズが従来と同一であっても、TPM メニューで改めて設定を選択しなければなりません。

空気圧の差を表示する

- ✓ 停止しているとき

▶ 車両  ▶ 制御  * ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ タイヤ空気圧

積載量、タイヤの種類/サイズの設定、および規定空気圧、該当するホイールの規定空気圧との圧力差が表示されます。

Example: 右リヤ・ホイールの位置に **-0.1 bar** と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充してください。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、画面に表示される空気圧の差、または該当するタイヤ空気圧警告のみを使用すべきです。タイヤをまだ登録していない場合、現在の圧力差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

タイヤの種類とサイズの設定

i インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルやタイヤの種類により異なります。このため本書で説明している選択項目の中には、利用できないものが含まれている場合があります。

- ▶ TPMメニューで選択できないサイズのタイヤとホイールを装着するときは、装着の前に不足している情報を追加する必要があります。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ボルシェが認定したタイヤとホイールのみを使用してください。

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ タイヤ選択

全積載または部分積載の選択

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 全負荷

- 全負荷**
全積載が選択されます。
- 全負荷**
部分積載が選択されます。
- ▶ 選択した荷重タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。

i インフォメーション

もしオプション **全負荷** が表示されない場合、指定されたタイヤの空気圧はすべてのタイプの車両負荷で有効です。

コンフォートまたは標準プレッシャーの選択

タイヤ空気圧は乗り心地を向上させるために減圧することができます。

「コンフォート・プレッシャー」を選択した場合、タイヤ空気圧モニタリングシステムはタイヤ空気圧をモニターして自動的に低い空気圧の値を使用します。


▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ コンフォートプレッシャー

- コンフォートプレッシャー**
コンフォート・プレッシャーが選択されます。
- コンフォートプレッシャー**
標準プレッシャーが選択されます。
- ▶ コンフォート・プレッシャーまたは標準プレッシャーにタイヤ空気圧を合わせてください。

タイヤ空気圧モニタリングシステムに登録する

タイヤ/ホイールを交換、ホイール・トランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリング・システムが

各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。このプロセス中、PCMに冷間時(20°C)の規定タイヤ空気圧が表示され、インストールメント・クラスターにメッセージが表示されません。

すべてのタイヤの登録が完了するまで、インストールメント・クラスターのタイヤ空気圧警告灯  は点灯したままです。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章(90ページ)を参照してください。

充電

高電圧バッテリーの充電

電動モーター駆動周波数が最大の場合:

- ▶ 車両を夜間駐車するときなどは、高電圧バッテリーを充電してください。

⚠ 危険

不適切な充電

間違った充電プロセス、一般に適用される安全上の注意事項を遵守しない、および高電圧バッテリーの不適切な取り扱いにより、感電、短絡、爆発、火災、または火傷が発生する危険があります。

- ▶ 車両を始動する前に、車両充電ケーブルを外し、カバーおよび充電ポート・リッドを閉じ、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
- ▶ 高電圧バッテリーの充電時は、必ず規定の順序を遵守してください。充電プロセス中は、電気ソケットから車両充電ケーブルを外さないでください。充電プロセスが終了してから、車両充電ケーブルを電気ソケットから外してください。
- ▶ ポルシェ充電装置の取扱説明書の安全に関する指示を参照してください。
- ▶ 充電プロセス中は車内または車両の作業を実施しないでください。

⚠ 危険

不適切または損傷した電気ソケットや車両充電ケーブル

不適切または損傷した電気ソケットや車両充電ケーブルの使用、および高電圧バッテリーの不適切な取り扱いにより、感電、短絡、爆発、火災、または火傷が発生する危険があり

ます。

- ▶ プラグイン・ハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、メーカーにより点検され承認された車両充電ケーブルのみを使用してください。
- ▶ 車両充電ケーブルを接続する電気ソケットの取り付けは必ず専門家が行ってください。
- ▶ 損傷した、または汚れた電気ソケットに車両充電ケーブルを接続しないでください。
- ▶ 損傷した車両充電ケーブルを使用しないでください。
- ▶ 延長ケーブル、ケーブル・リール、電源タップ、またはトラベル・アダプターを使用しないでください。
- ▶ 電気部品を改造または修理しないでください。
- ▶ 電気ソケットおよびプラグ接続は水、湿気およびその他のフルードや液体を避けてください。
- ▶ 充電ソケットから汚れ、氷、雪を取り除く際に、鋭いものや先の尖ったものを使用しないでください。

⚠ 警告

固定されていない車両充電ケーブル

車両充電ケーブルを固定していない、正しく固定していない、または不適切な位置に置いていると、ブレーキ/ステアリング操作中や事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 車両充電ケーブルは、車内で固定していない状態で運搬しないでください。常にラゲッジ・コンパートメントの充電バッグ内

に収納してください。

- ▶ 車両充電ケーブルは常にラゲッジ・コンパートメント内に収納し、決して乗員スペース（シート前方やシートの上など）には置かないでください。

⚠ 警告

エンジン・コンパートメント・ブロワーおよびエンジン周りの可動部品

エンジン・ルームで作業を行うときは、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪などがエンジン・ルーム・ブロワーやドライブ・ベルトなどの可動部品に絡まる恐れがあります。エンジン・コンパートメント・ブロワーはエンジン・カバーに取り付けられています。充電プロセス中に高電圧バッテリーやオンボード充電器の過熱を回避するために、エンジン・コンパートメント・ブロワーが回転する可能性があります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンをOFFにして充電を停止し、身体の一部、衣服の一部、または装飾類がラジエーター・ファン、エンジン・コンパートメント・ブロワー、ドライブ・ベルト、その他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

知識

電源の過電圧による充電装置および車両の損傷の恐れ

- ▶ 雷雨のときは車両充電ポートを使用して高電圧バッテリーを充電しないでください。
- ▶ 可能であれば、雷雨のときは充電装置を主電源から外してください。

高電圧バッテリーの充電に関する指示

- プラグイン・ハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、点検および承認済みの車両充電ケーブルのみを使用してください (IEC 62196-2、SAE J1772 または GB/T 20234-2 に準拠して標準化された車両プラグ、および IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 (モード 2 および 3) に従った充電プロセス)。また、法規に適合した車両充電ケーブルのみを使用してください。
- ボルシェ・ユニバーサル・チャージャー (AC) と、ボルシェ充電ドックまたはウォール・マウント・ベースの併用を推奨いたします。ボルシェ充電装置の取扱説明書 (別冊) および車両充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。
- 保護機能の付いていない車両充電ケーブル (IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 (モード 1) に準拠して標準化) には対応していません。
- 充電プロセス中の車両の温度は約 -20℃～+40℃ でなければなりません。

車両プラグを車両充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する



図 86 : 充電ポート・リッドを開く

- ✓ トランスミッション・パーキング・ロック P を起動する。
 - ✓ イグニッションを OFF にする
 - ✓ 車両をロック解除する
 - ✓ 車両充電ケーブルを主要電源に接続する。
1. ボルシェ充電装置の取扱説明書 (別冊) および車両充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。
 2. 充電ポート・リッドの後部を押して、充電ポート・リッドを開いてください (図 86)。

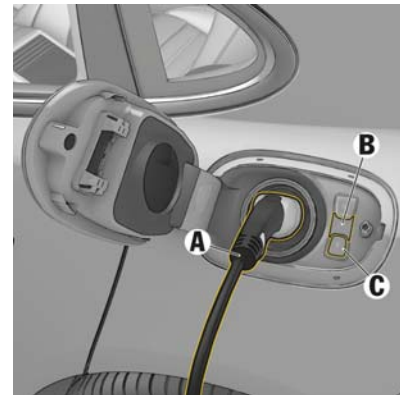


図 87 : 挿入された車両プラグ

3. 車両プラグ A を充電ポートに完全に挿入してください。
車両プラグはロックされ、充電プロセスが開始します。インジケータ・ライト B およびボタン C のインジケータ・ライトは、高電圧バッテリーの充電状態と車両プラグの接続状態を表示します。

- ▷ 「車両充電ポートの充電と接続ステータスの表示」の章（146ページ）を参照してください。

i インフォメーション

- 車両をロックしたときに車両プラグが挿入されていた場合、車両プラグはロックされたままになります。
- 充電が開始すると、イグニッションをONにできます。
- 充電プロセス中にコントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置 **2** に回すと、充電プロセスが中断されます。車両プラグを外さなければ、充電プロセスは約20秒後に再開します。
- 充電タイマー機能を起動した場合、タイマーが充電プロセスの開始時刻を制御するため、車両プラグを挿入してロックをかけてもすぐに充電が始まらないことがあります。

充電プロセスの終了および車両プラグの車両充電ポートからの取り外し

1. ドアをロック解除してください。
2. 車両充電ポートの **C** ボタンを押してください。
車両プラグのロックが解除されます。充電プロセスが開始していた場合、中断されません。
3. 約20秒以内に車両プラグを車両充電ポートから外してください。
4. 車両充電ケーブルを電源から外し、安全な場所に収納してください。
5. 充電ポート・リッドを閉じてください。

i インフォメーション

- 高電圧バッテリー充電のための規定順序を遵守してください。
- 充電が終了した後に電気ソケットから車両ケーブルを切り離してください。
- 高電圧バッテリーの充電の安全に関する指示を遵守してください。





車両プラグの取り外しが検出されない場合(エンジン始動不可)、車両プラグの検出はリセットすることができます。

✓ **C** ボタンのインジケータ・ライトが速く点滅します。

1. **C** ボタンのインジケータ・ライトの点滅頻度がゆっくりになるまで **C** ボタンを押し続けてください。
2. エンジンの始動

車両充電ポートの充電と接続ステータスの表示

インジケータ・ライト **B** は高電圧バッテリーの充電状態を表示し、**C** ボタンのインジケータ・ライトは車両プラグの接続状態を表示します。

B	C	意味
off	off	車両プラグが挿入されていないか、主電源への接続が確立されていません。 または 車両プラグが挿入されていて、車両はアイドルリング状態です。現在の接続状態および充電状態を確認するには、キーの  または  ボタンを押してください。
off	点滅	車両プラグが挿入されていて、ロックされていません(車両プラグの不適切な電圧など)。
 点灯	点灯	車両プラグが挿入され、ロックされています。主電源への接続が確立されています(タイマーによる充電など)。
 点滅	点灯	車両プラグが挿入され、ロックされています。高電圧バッテリーは充電されています。点灯時間は現在の高電圧バッテリーの充電状態に応じます。

B	C	意味
■点 灯	点灯	車両プラグが挿入され、ロックされています。充電プロセスは終了しています。
■点 灯	点灯	高電圧バッテリー充電中にエラーが発生しました。

充電プロセスがまだ始まっていない場合:

- ▶ 車両プラグが正しく挿入されているか確認してください。
- ▶ ポルシェ充電装置の取扱説明書(別冊)および車両充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。
- ▶ 車両プラグを取り外してからもう一度挿入してください。

充電タイマー機能の使用

出発タイマー機能が作動しているとき、高電圧バッテリーはプログラミングされた時間に完全に充電されています。事前にエアコンを作動させて、車内を適切な温度に調節しておくことができます。

高電圧バッテリーの現在の充電状態が車両のインストルメント・パネルのバッテリー充電状態表示に表示されます。

出発タイマーのプログラミングと作動

出発タイマーのプログラミングと作動はPCMによって行われます。

各出発タイマーは1回(シングルタイマー)または定期的(反復タイマー)のいずれかに設定可能です。また、車内温度を選択した時間まであらかじめ調節できます(冷房/暖房)。


- ✓ 出発時間は未来時刻に設定します。

- ✓ 車両プラグを差し込みます。
 - ✓ プレクール/ヒート・タイマー: まだ燃料レベル低下の状態ではありません。
- 公共の充電ステーションがこれらの要件を満たしていない場合は、乗車タイマーをプログラミングしても充電プロセスを開始できません。

1. HYBRID タイマー

2. 希望の出発タイマーを選択してください。

3. 希望する出発時刻の日付もしくは日付と時刻を設定し、タイマー入力を作動中に設定してください。

4. 該当する場合、 オプションによってプレクール/ヒート・タイマー(車内プレヒーティング/クーリング)を作動もしくは停止します。車両停止時の設定に関係なく、風量、エア配分および温度設定を自動で調節することができます。選択されたエアコン設定は、プログラムされた時間の最大10分後まで維持されます。風量、エア配分および温度設定はイグニッションがONになった後は個別に調整できます。

インフォメーション

車内プレヒーティング/クーリングは動作時にイグニッションをOFFのままにしておく、最も効果的に動作します。

出発タイマーの停止

1. HYBRID  タイマー 

2. 希望の出発タイマーを選択してください。

3. 作動中オプションを選択解除してください。



図 88 : 充電タイマー機能

手動による充電タイマー機能の開始

- ✓ 出発タイマーのプログラミングと作動はPCMで行われます。
- ✓ 車両をロック解除する
- ✓ 車両プラグを差し込みます。
- ✓ プレクール/ヒート・タイマー: まだ燃料レベル低下の状態ではありません。
- ▶ ボタン A を押します。
ボタン A のインジケータ・ライトが点灯します。

充電タイマー機能では、いつ充電プロセスを開始するのかを定義します。高電圧バッテリーはプログラムした時間までには充電されています。
出発タイマーがプログラミングされていない場合は、A ボタンのインジケータ・ライトが3回点滅して、消灯します。

充電タイマー機能の解除

- ✓ 車両プラグを差し込みます。
- ✓ 充電タイマー機能が作動しています。
- ▶ ボタン A を押します。
A ボタンのインジケータ・ライトが消灯します。
高電圧バッテリーの充電が即時に開始します。
高電圧バッテリーが充電されるまでの残り時間がインストルメント・クラスターに表示されます。

充電時間

家庭用電気ソケット

接続	3.6 kW での充電時間	7.2 kW での充電時間
EU	約 6.0 時間	約 6.0 時間
米国	約 12.5 時間	約 12.5 時間
日本	約 15.7 時間	約 15.7 時間
中国、スイス、オーストラリア、ブラジル	約 7.7 時間	約 7.7 時間

工業用電気ソケット

接続	3.6 kW での充電時間	7.2 kW での充電時間
EU 230 V、16 A	約 4.0 時間	約 3.9 時間
EU 230 V、32 A	約 4.0 時間	約 2.4 時間
EU 230/400 V、16/32 A	約 4.0 時間	約 2.4 時間
米国 240 V、30 A	約 4.0 時間	約 2.8 時間
米国 240 V、50 A	約 4.0 時間	約 2.4 時間
米国 240 V、100 A (常時接続)	約 4.0 時間	約 2.4 時間
日本 200 V、16 A	約 4.4 時間	約 4.4 時間
日本 200 V、30 A	約 4.4 時間	約 2.7 時間
日本 200 V、80 A (常時接続)	約 4.4 時間	約 2.6 時間
中国 220 V、30 A	約 4.0 時間	約 2.4 時間

充電時間に関する詳細情報については、
▶ ボルシェ充電装置の取扱説明書の「充電時間」のセクションをお読みください。

充電ポート・リッドの緊急解除



図 89：充電ポート・リッドの緊急解除

電動ロック解除機構が故障したときは、充電ポート・リッドを手動で開くことができます。

- ▶ ラゲッジ・コンパートメント左側のトリム・パネル裏側にある緊急解除ストラップを矢印の方向（図 89）に引いてください。
- 充電ポート・リッドのロック解除機構を点検してください。
- ▶ 有資格者のいる修理工場にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報

と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両プラグの緊急解除

車両プラグをキーで解除できない場合（キーの電池が消耗しているなど）、緊急操作を実施しなければなりません：

1. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置 **2** に回してください。
車両プラグが自動的に解除され、充電が約 20 秒間中断されます。
2. 約 20 秒以内に車両プラグを車両充電ポートから外してください。
約20秒後、車両プラグが再度ロックされ、充電プロセスが再開されます。

重要な注意事項：

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、充電中の機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合があるため、以下を必ずお守りください。

- 充電器に近づかない。
- 充電器を使用する場合は、操作を他の人に依頼する。

その他の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響がないかご確認ください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

接続

データ接続の確立

ボルシェ専用SIMカードを使用してデータ接続を確立する

知識

SIM カード・アダプタを使用する場合、振動で SIM カードがアダプタから落下し、カードの構成部品がドライブに引っかかるおそれがあります。

- ▶ SIMカード・アダプターは使用しないでください。

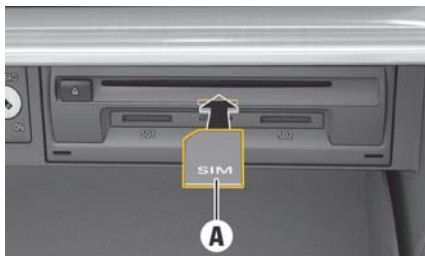


図 90 : SIMカードの挿入および取り出し

- ✓ グローブ・ボックスが開きます。

1. SIM カード A を挿入します (ミニ SIM、寸法: 25 x 15 mm)。切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にします。
2. PIN 付き SIM カード:
 - a. SIM カードの PIN を入力し OK で確定します。
 - b. PIN を保存 を選択してください。
3. プロンプトを確認してデータ接続を確立します。

データ接続が確立されます。

4. SIM カードを取り出すには、挿入されているカードを押して取り出します。

データ接続の設定に関するインフォメーション:

- ▶ 「デバイス・マネージャーの設定を変更する」の章 (168ページ) を参照してください。

インフォメーション

データ接続が確立できない場合、以下の点を点検します:

- SIM カードのデータ容量が十分にあり、正しく挿入されている。
- SIM カードに損傷がなく、正常に作動している。
- APN 設定 (インターネット・アクセス) が正しい。APN 設定は、通信事業者に問い合わせ確認できます。
- 車両がネットワークを十分に受信できるエリアにある (遮蔽された場所でない)。
- 必要に応じて PCM を再起動します。

接続の利用

Porsche Connect ポータルでのサービスの有効化

Porsche Connect サービスを初めて利用する前に、有効化 / 設定を行う必要があります。

- ▶ Porsche Connect ポータルで、Porsche Connect サービスを有効化します。サービスの有効化 / 設定に関する追加情報:
 - ▶ www.porsche.com/connect にアクセスしてください。

ナビゲーション・システムおよびボイス・コントロール・システムのサービスの利用

- ✓ 挿入された SIM カードにより、データ接続が正常に確立されました。
- Porsche Connect ポータルからナビゲーションの目的地を入力し、ポータル施設情報または他の施設情報カテゴリを読み込んだ場合のオンライン検索。
- 追加地図の表示。
- インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報

「アプリ」メニューのサービスを利用する

- ✓ 挿入された SIM カードにより、データ接続が正常に確立されました。

- ▶ **アプリ** を選択してください。選択可能なサービスが表示されます。



Porsche Connect アプリを使用する

ポルシェ・コネクト・アプリの機能に関するインフォメーション:

- ▶ www.porsche.com/connectにアクセスしてください。



PCMでPorsche Connectにログインする

Porsche Connect ポータルからパーソナル設定を呼び出すには、一部のサービスでPCMにペアリング・コードを入力する必要があります。



1. アプリ オプション  ▶ 
2. ログイン ▶ 新しいポルシェIDをリンクさせる ▶ ペアリングコード入力。
3. サービスの起動 / 構成が成功したら、Porsche Connect ポータルで表示されるペアリング・コードを入力します。

PCMでPorsche Connectからログアウトする



- ✓ APorsche Connect ユーザーが作成されました。

- ▶ アプリ オプション  ▶  ▶ ログアウト
現在ログインしているユーザーがログアウトします。

目次を更新する

- ▶ アプリ オプション  ▶  ▶ 再読み込み
購入したサービスのコンテンツが更新されます。

サービス情報の表示

- ▶ アプリ オプション  ▶  ▶ サービス情報
購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。



インフォメーション

- Porsche Connect サービス (カー・コネクト・サービスを含む、セーフティおよびセキュリティ・サービスを除く) にはサービス無料期間があります。それぞれのサービス・パッケージやお住いの国によってサービス無料期間の長さは異なりますが、必ず3か月以上です。無料期間とその後のお客様の国で利用可能な各種サービスとその料金に関する詳しい情報は、オンライン www.porsche.com/connect、またはポルシェ・パートナーにお問い合わせください。
- Porsche Connect サービスを利用するには、データ通信可能なSIMカードが必要になります。そのためには、携帯電話プロバイダーと別途有料の契約を結ぶ必要があります。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては、インターネットからデータ・パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ・プランのご利用をお勧めします。
- サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは国、年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。

PCMデータ接続を利用する (ワイヤレス・インターネット・アクセス)

ホットスポットには最大8個までWiFiデバイスを接続できます。

- ✓ SIMカード経由でデータ接続が確立されている

1. デバイス オプション  ▶  ▶ PCM
ホットスポット
PCMのWiFiアクセス・データ (デバイス名およびWiFiパスワード) が表示されません。
2. PCMのWiFiアクセス・データをデバイスのWiFi設定に入力してください。
PCMのワイヤレス・インターネット・アクセスへの接続が確立されます。

インフォメーション

無線インターネット接続を使用する場合、使用されているデバイスのデータ保護、ウイルス対策保護、およびデータ損失保護を保証する予防措置が講じられていることを確認してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

タイヤとホイール

タイヤの寿命は、空気圧やホイール・アライメント以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使用する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤのトレッド面の摩耗を早める原因です。

積載重量と速度の維持

- ▶ 適切な速度で運転してください。
- ▶ 過積載を避け、ルーフに積載する場合は注意してください。
- ▶ 「テクニカル・データ」の章（288ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧の点検

知識

タイヤ空気圧が不足していると、タイヤが過熱して目に見えない損傷が発生します。

- ▶ このような損傷が発生した場合は、空気圧を調整しても正常な機能を回復できません。
- ▶ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない（空気を抜かない）でください。タイヤの温度が上昇すると、空気圧も高まります。温度が下がったときに空気圧が不足する原因になります。



図 91：タイヤ空気圧プレート

規定の空気圧を維持してください。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき（20°C）を基準にしています。

- ▶ タイヤ空気圧プレート（図 91）を注意して見てください。
- ▶ 少なくとも2週間に1回、タイヤが冷えているときにタイヤ空気圧を点検してください。
- ▶ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。

タイヤ空気充填

⚠ 注意

高温充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

- ▶ 作業用手袋を着用してください。

圧力計付きコンプレッサーは、進行方向左側のラゲッジ・コンパートメントの床下に収納されています。

- ▶ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。

1. 充填ホースをタイヤ・バルブにねじ込んでください。

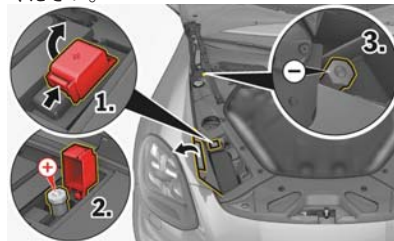


図 92：ジャンパー・ケーブル接続の極性

2. コンプレッサーの電源クリップをジャンパー・ケーブル接続用の端子に接続してください。必ず下記の手順に従ってください：
 - a. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス (+) 端子カバーを開いてください。
 - b. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス (+) 端子にプラス・ケーブル (赤) を接続してください。
 - c. ジャンパー・ケーブル接続用のマイナス (-) 端子にマイナス・ケーブル (黒) を接続してください。
3. コンプレッサーをONにしてください。タイヤに空気が充填されます。
4. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば調整してください。もう1回タイヤ空気圧を点検してください。
5. コンプレッサーをOFFにしてください。
6. コンプレッサーの充填ホースをタイヤ・バルブから取り外してください。

タイヤ空気圧を下げる

1. コンプレッサーをOFFにしてください。
2. 充填ホースのエア抜きスクリューを規定のタイヤ空気圧になるまで開いてください。

タイヤ表記の読み取り



図 93：タイヤ表記

- A タイヤ幅 (mm)
- B 偏平率 (%)
- C タイヤの構造記号
- D リム径 (インチ)
- E ロード・インデックス
- F 速度記号

速度記号 F は、そのタイヤの許容最高速度を示します。

H	210 km/hまで
V	240 km/hまで
W	240 km/hまで

Y 300 km/hまで

(Y) 300 km/hまで (Y記号タイヤの場合) タイヤのロード・インデックス (最大積載容量) の85%までを積載した状態で300km/h以上の速度で走行することが可能です (300km/h以上で走行する場合はタイヤ・メーカーの確認が必要です)。

タイヤの損傷の検出

警告

見えないタイヤ損傷とリム・フランジの損傷

- ▶ 定期的にタイヤの状態 (側面も含めて) を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがないか確認してください。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体 (石など) に強くぶつかったり乗り上げたりするように注意してください。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき (特に内側) は、専門家による点検を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回の、最寄りの修理工場までの短距離移動を

可能にします。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかった可能性があるとき

タイヤとホイールの交換

▶ ホイールを交換するときは、イグニッションをOFFにしてください。

警告

グリップしない

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ そのため、最初の 200 km は控えめな速度で走行して新しいタイヤを慣らしてください。こうすることでタイヤの寿命を伸ばし、性能を最大限に引き出すことができません。
- ▶ 4輪に装着するタイヤは同一メーカーの同一仕様(N0、N1...)に統一してください。
- ▶ 新しいタイヤを取り付ける前に、最新の認可事情についてポルシェ正規販売店にお尋ねください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- ▶ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は30%を超えないようにしてください。
- ▶ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- ▶ トレッド溝の深さの差を原因とする車両操作への不必要な影響を避けるため、同一ア

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

クスル上の両方のタイヤは同時に交換してください。

- ▶ タイヤの交換は、必ず専門の整備工場を実施してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) のタイヤ空気圧センサーが取り付けられているタイヤのみを使用します。
- ▶ この車両のTPMシステムに適合するホイールであることを確認してください。適正ホイールとTPMに関する情報：ボルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

フロントまたはリヤ・タイヤのみを交換した場合は、前後タイヤのトレッド溝の深さに差があるため、それまでの走行とはっきりした違いが感じられます。この違和感は特にリヤ・タイヤを交換した場合に顕著になります。この違和感は、走行距離が伸びるにつれて次第に減少します。

バルブおよびバルブ・キャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用のボルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブ・キャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブ・インサートの汚れを防ぐため、必ずバルブ・キャップをしっかりと閉めてください。バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブ・キャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブ・キャップのみを使用してください。

ウィンター・タイヤを使用する



警告

最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
- ▶ タイヤの側面に「M+S」の表示があるタイヤに限り、許容最高速度がこの車両の最高速度に満たないウィンター・タイヤを装着できます。オール・シーズンおよびオールラウンド・タイヤも速度制限の対象となり、これが表示されています。

り、これが表示されています。

- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。国別の法規を順守してください。
- ▶ 制限速度を最高速度として設定します。

- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンター・タイヤを装着してください。

- ▶ ボルシェ社がテストを行い、承認したタイヤのみを使用してください。

- ▶ 新しいタイヤを取り付ける前に、最新の認可事情についてボルシェ正規販売店にお尋ねください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

i インフォメーション

タイヤを気温が低い時、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にジャダー・ノイズが発生することがあります。

サマー・タイヤの走行性能は、気温が7℃を下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ボルシェ社では気温が7℃を下回る時期にはウィンター・タイヤへの交換を推奨しています。

−15℃以下の極端に低い外気温度は、サマー・タイヤに恒久的な損傷を生じることがあります。

ウィンター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になるともはや、適合できません。

スノー・チェーンを使用する

スノー・チェーンはリヤ・タイヤのみに装着してください。また「テクニカル・データ」のリストに掲載されている、スノー・チェーン

ンの装着に適したタイヤ/ホイールの組み合わせを使用しなければなりません。

- ▶ スノー・チェーンとホイール・ハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ボルシェが認定したスノー・チェーンのみを使用してください。
- ▶ リアアクセルステアリング装備車のスノー・チェーン・モードを起動します。
 - ▷ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。
- ▶ スノー・チェーンを装着する前に、ホイール・ハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。

タイヤ・トレッドの点検

- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に調べてください。
- ▶ 多くのタイヤはトレッド中央分にウェア・インジケータを備えています。ウェア・インジケータは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の1.6mmになると現れます。安全のため、ウェア・インジケータが現れる前にタイヤを交換してください。ウインター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

トレッド溝の深さの測定

- ▶ 市販のトレッド溝ゲージまたはキャリパーをタイヤ・トレッドに挿入し、タイヤ・トレッドの深さを測定してください。

i インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの保管

- ▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温度 -15°C 未満の場所にサマー・タイヤを保管したり、サマー・タイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。
- ▶ 製造から6年以上が経過したタイヤは使用しないでください。年数が経過すると、ゴムに伸縮性を与えるために添加している化学薬品の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。例えば、最後の4つの数字が3016の場合、そのタイヤは2016年の30番目の週に製造されたことを示します。

ホイールのバランス調整

安全のために、サマー・タイヤは春に、M+Sタイヤは冬に入る前に、認証を受けたボルシェ正規販売店でホイール・バランスの調整を受けてください。

- ▶ 有資格者がいるワークショップにご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受け

た経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイール交換



警告

車両の下に入っている作業

ジャッキから車両が滑り落ちる危険があります。

- ▶ ジャッキ・アップしてタイヤを交換する前に、すべての乗員を降ろしてください。
- ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面（上り坂や下り坂など）や道路脇に駐車されている場合は絶対にジャッキ・アップしないでください。
- ▶ ジャッキは、タイヤ交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強力なサポート・スタンドで車体を支えてください。

i インフォメーション

- ホイール交換に必要な工具（ジャッキ、ホイール・ボルト・レンチ、組み付け補助工具など）は車両に標準装備されていません。
- ▶ 必要な工具に関するインフォメーション：ボルシェ正規販売店にご相談ください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

i インフォメーション

タイヤおよびホイールのサイズは両側で異なります。ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- ▶ 認可されたサイズの前輪/後輪用ホイール/タイヤを必ず使用してください。

ホイール取り付け面の手入れ

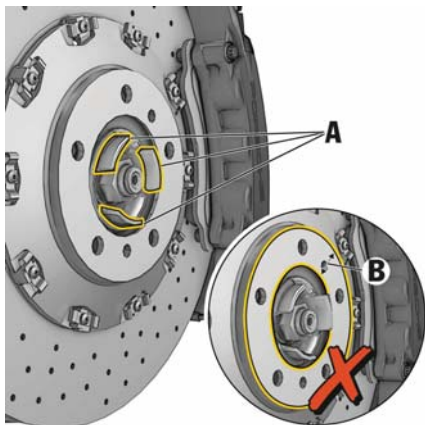


図 94：ホイール取り付け面

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する危険があります。

- ▶ ブレーキ・ディスクのホイール取り付け面 B とホイール・ハブ本体の取り付け面にはグリースを絶対に塗布しないでください。
- ▶ A部分のみにグリースを塗布することができます。グリースを薄く塗布してください。Optimoly® TA：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。他の油脂類は使用しないでください。

ホイール・ボルトのお手入れ

- ▶ ホイール・ボルトは取り付けの前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイール・ボルトには油脂類を塗布しないでください。
- ▶ 損傷したホイール・ボルトは交換してください。この車両専用のボルシェ純正ホイール・ボルト、またはボルシェ仕様と生産要件を満たす同等品質の部品を必ず使用してください。
- ▶ ホイール・ボルトは 160 Nm の締め付けトルクで締め付けてください。
- ▶ インパクト・ドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。

盗難防止ホイール・ボルトの使用



図 95：盗難防止ホイール・ボルト・アダプター

盗難防止ホイール・ボルト用アダプターは、工具セットに収納されています。

- ▶ 盗難防止ホイール・ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール・ボルトとホイール・ボルト・レンチの間に入れて使用してください。
- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイール・ボルトの歯がしっかりと噛み合っていることを確認してください。

ホイール交換

車両の準備

1. P ボタンを使用してトランスミッション駐車ロックを起動させてください。
2. エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
3. イグニッションをOFFにしてください。
4. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
5. 交換するホイールのホイール・ボルトまたはホイール・ナットをわずかに緩めてください。

警告

レベル・システムの操作

レベル・システムが作動している車両は不意に動いたり、ジャッキやリフトなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ リフト・アップ前に、手でノーマル・レベルに設定し、その後レベル・コントロール・システムを OFF にしてください。
- ▶ 「エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きボルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)」の章 (58ページ) を参照してください。
- 6. 車両のリフト・アップは必ず所定のジャッキアップ・ポイントで行ってください。
 - ▶ 「ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム」の章 (124ページ) を参照してください。
- 7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

ホイール交換



図 96 : 組み付け補助工具 1 本を使用 (PCCB 非装備車)

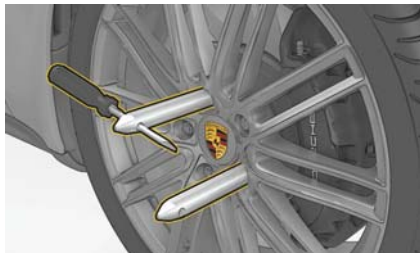


図 97 : 組み付け補助工具 2 本を使用 (PCCB 装着車)

1. PCCB 非装備車: ホイール・ボルトを 1 つ外して、組み付け補助工具を 1 つ取り付けてください。
-または-
1. PCCB 装備車: ホイール・ボルトを 2 つ外して、組み付け補助工具を 2 つ取り付けてください。

知識

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキ・ディスクを損傷する恐れがあります。特にPCCB装備車の場合は注意してください。

- ▶ ホイールを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。

2. 残りのホイール・ボルトを取り外してください。
 - ▶ 「ホイール・ボルトのお手入れ」の章 (156ページ) を参照してください。
3. ホイールを取り外してください。

- ▶ 「ホイール取り付け面の手入れ」の章 (156ページ) を参照してください。
- 4. 新しいホイールを取り付けてください。
- 5. ホイール・ボルトを挿入し、対角線方向の順に少しだけ締め付けてください。
- 6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイール・ボルトを仮締めしてください。すべてのホイール・ボルトを対角線方向の順に少し締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
- 7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
- 8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
- 9. ホイール・ボルトを対角線方向の順に完全に締め付けてください。インパクト・レンチなどの電動ツールは使用しないでください。
- 10. ホイールを変えたら、直ちにトルク・レンチを使用して、ホイール・ボルトが規定の 160 Nm の締め付けトルクになっているかチェックしてください。
- 11. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の現在の設定が表示されます。
 - ▶ 「車両設定」の章 (141ページ) を参照してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

チャイルドシート・システム(チャイルド・シート)

⚠ 危険

チャイルド・シート装置の誤った使用

チャイルド・シートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

車種に適さないチャイルド・シートを使用した場合、またはチャイルド・シートを車両に正しく取り付けしていない場合は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ チャイルド・シートは道路交通法に従って使用してください。
- ▶ ボルシェ社が推奨するチャイルド・シートのみを使用してください。ボルシェ社推奨のチャイルド・シートは、ボルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。推奨外のチャイルド・シートはテストされておらず、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合は、助手席エアバッグをオフにしてください。
- ▶ リヤ・シートに後ろ向きに着座するタイプのチャイルド・シートを使用するとき: 装備車の場合はボルシェ・リヤ・シート・エ

ンターテイメントを取り外してから、チャイルド・シートを装着してください。

ボルシェ社では、Porsche Tequipment製品のチャイルド・シートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション:

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ 「チャイルド・シート・システムの使用-車両シート・ベルトによる固定」の章(160ページ)を参照してください。
- ▶ 「チャイルド・シート・システムの使用-ISOFIXシステムによる固定」の章(162ページ)を参照してください。

⚠ 危険

チャイルド・シートの助手席での使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と最低限の体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、または体格が小柄な乗員が助手席に乗車している場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷またはいた命傷を負う危険があります。

- ▶ チャイルド・シートを助手席に取り付けるときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ 助手席シートとチャイルド・シートが確実に接するように助手席シートのバックレスト角度を調節すること。

- ▶ 「助手席エアバッグのON/OFF」の章(164ページ)を参照してください。
- ▶ チャイルド・シートを取り付けるときは、常にシート・ヒーターのスイッチをOFFにしてください。



図 98 : エアバッグ警告ラベル

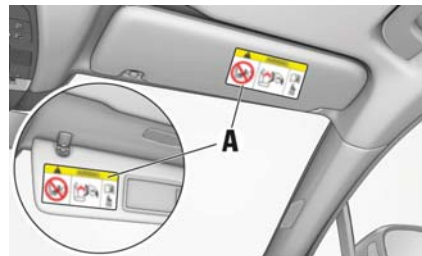


図 99 : サンバイザーのエアバッグ警告ステッカー

- ▶ エアバッグの警告ステッカーまたは危険信号を、取り外したり、傷つけたり、(A) 不明瞭な表現に変更したりしないでください。

チャイルド・シートの体重グループによる分類



図 100 : ECEチャイルドシート・システム・ステッカーの例

- A サイズ分類
- B 「ユニバーサル」または「セミユニバーサル」の印
- C 体重グループ

体重グループ0、0+のお子様：13 kg まで

このグループ中のお子様は、後ろ向きに設置されるチャイルドシート・システムを取り付けなければなりません。

このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

体重グループIのお子様：9 ~ 18 kg

このグループ中のお子様は、前向きに設置されるチャイルドシート・システムを取り付けなければなりません。

特別な状況に限り、後ろ向きに着座するタイプのチャイルド・シートを使用することができます。このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

体重グループIIのお子様：15 ~ 25 kg

このグループ中のお子様は、前向きに設置されるチャイルドシート・システムを取り付けなければなりません。

このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

体重グループIIIのお子様：22 ~ 36 kg

このグループ中のお子様は、前向きに設置されるチャイルドシート・システムを取り付けなければなりません。

このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

チャイルド・シート・システムの使用-車両シート・ベルトによる固定

推奨するチャイルド・シート-シート・ベルトによる固定

▷ 「チャイルド・シートの使用-シートベルトによる固定」の章（161ページ）を参照してください。

体重グループ	メーカー	タイプ	承認番号	ポルシェ部品番号	リヤ・シートへの取り付け ¹	助手席への取り付け
グループ0 および0+: 13 kg まで	Britax-Römer	Porsche Babyseat GO +	E1 04301146	955.044.805.94	可能	<ul style="list-style-type: none"> - 後ろ向きに取り付けること。 - 助手席エアバッグをOFFにすること。 - 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。¹
グループI: 9 ~ 18 kg	Britax-Römer	Porsche Junior Seat ISOFIX G1	E1 04301199	955.044.805.92	可能	<ul style="list-style-type: none"> - 前向きに取り付けること。 - 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループII: 15 ~ 25 kg	Britax-Römer	Porsche Junior Plus G2 + G3	E1 04301169	955.044.805.90	可能	<ul style="list-style-type: none"> - 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。¹
グループIII: 22 ~ 36 kg	Britax-Römer	Porsche Junior Plus G2 + G3	E1 04301169	955.044.805.90	可能	<ul style="list-style-type: none"> - チャイルド・シートのベルト・ガイドが助手席シートベルト引き出し口よりも前側および下側に位置していることを確認すること。 - 助手席シートとチャイルド・シートが確実に接するように助手席シートのバックレスト角度を調節すること。

1. フロント・シートとその後方に座っている乗員との間に十分な距離を確保すること。

チャイルド・シートの使用 - シートベルトによる固定

下表は、ECE-R16規格を遵守し、シートベルトで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。

「汎用(ユニバーサル)」または「準汎用(セミ・ユニバーサル)」の名称は、チャイルド・シートのECEラベル(オレンジ色)に表示されています。(図100)

- ▷ チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▷ 「チャイルド・シートの取り付け」の章(164ページ)を参照してください。

体重グループ	リヤ・シートで使用できるチャイルド・シート ¹	チャイルド・シートの助手席での使用 ^{2,3}
グループ0: 10 kg まで	U / L	U / L
グループ0+: 13 kg まで	U / L	U / L
グループI: 9 ~ 18 kg	U / L	U / L
グループII: 15 ~ 25 kg	U / L	U / L
グループIII: 22 ~ 36 kg	U / L	U / L

U: この体重グループに属する「汎用(ユニバーサル)」カテゴリのチャイルド・シートに適しています。

L: p. 160に記載されている特別なチャイルド・シート、および「準汎用(セミ・ユニバーサル)」のチャイルド・シートに適しています。チャイルド・シートに付属の適応車種一覧表、およびインターネット上でチャイルド・シート・メーカーが公開している適応車種一覧表を参照してください。

1. 全てのチャイルド・シートが、リヤ・シートのコンフォート・ヘッドレスト(特に伸長可能なヘッドレスト)と同時に使用できるわけではありません。
2. 助手席エアバッグをOFFにすること。
3. 助手席へのチャイルド・シート取り付けに関する指示に従ってください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

チャイルド・シート・システムの使用-ISOFIXシステムによる固定

推奨するチャイルド・シート - ISOFIX システムによる固定

▷ 「チャイルド・シートの使用-ISOFIX システムによる固定」の章（163ページ）を参照してください。

体重グループ	メーカー	タイプ	承認番号	ポルシェ部品番号	リヤ・シートへの取り付け ¹	助手席への取り付け ²
グループ0 および0+: 13 kg まで	Britax-Römer	Porsche Babyseat GO + 使用部品: Base ISOFIX	E1 04301146	955.044.805.94 使用部品: 955.044.805.95	可能	<ul style="list-style-type: none"> - 後ろ向きに取り付けること。 - 助手席エアバッグをOFFにすること。 - 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。¹
グループI: 9 ~ 18 kg	Britax-Römer	Porsche Junior Seat ISOFIX G1	E1 04301199	955.044.805.92	可能	<ul style="list-style-type: none"> - 前向きに取り付けること。 - 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループII: 15 ~ 25 kg	Britax-Römer	Porsche Junior Plus ISOFIT G2 + G3	E1 04301198	955.044.805.96	可能	<ul style="list-style-type: none"> - 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。¹ - チャイルド・シートのベルト・ガイドが助手席シートベルト引き出し口よりも前側および下側に位置していることを確認すること。
グループIII: 22 ~ 36 kg	Britax-Römer	Porsche Junior Plus ISOFIT G2 + G3	E1 04301198	955.044.805.96	可能	<ul style="list-style-type: none"> - 助手席シートとチャイルド・シートが確実に接するように助手席シートの

1. フロント・シートとその後方に座っている乗員との間に十分な距離を確保すること。

2. 助手席にISOFIX用のリターニング・ラグが装備されている場合、「準汎用(セミ・ユニバーサル)」と記載されているチャイルド・シートを助手席に取り付けることができます。

体重グループ	メーカー	タイプ	承認番号	ボルシェ部品番号	リヤ・シートへの取り付け ¹	助手席への取り付け ²
--------	------	-----	------	----------	---------------------------	------------------------

バックレスト角度を調節すること。

チャイルド・シートの使用 - ISOFIX システムによる固定

下表は、ECE-R16 規格に従って ISOFIX システムで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。

「汎用(ユニバーサル)」または「準汎用(セミ・ユニバーサル)」の名称は、チャイルド・シートの ECE ラベル(オレンジ色)に表示されています。(図 100)

- ▶ チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ 「チャイルド・シートの取り付け」の章(164ページ)を参照してください。

体重グループ	サイズ分類	固定具	ISOFIX リテーニング・ラグ	
			リヤ・シートで使用できるチャイルド・シート ¹	チャイルド・シートの助手席での使用 ^{2,3}
ベビー・シート(左向き または右向きチャイルド・シート)	F	ISO/L1	X	X
	G	ISO/L2	X	X
グループ 0: 10 kg まで	E	ISO/R1	IL	IL
グループ 0+: 13 kg まで	E	ISO/R1	IL	IL
	D	ISO/R2	IL	IL
	C	ISO/R3	IL	IL
グループ I: 9 ~ 18 kg	D	ISO/R2	IL	IL

1. フロント・シートとその後方に座っている乗員との間に十分な距離を確保すること。
2. 助手席に ISOFIX 用のリテーニング・ラグが装備されている場合、「準汎用(セミ・ユニバーサル)」と記載されているチャイルド・シートを助手席に取り付けることができます。
1. 全てのチャイルド・シートが、リヤ・シートのコンフォート・ヘッドレスト(特に伸長可能なヘッドレスト)と同時に使用できるわけではありません。
2. 助手席エアバッグを OFF にすること。
3. 助手席へのチャイルド・シート取り付けに関する指示に従ってください。

あ	体重グループ	サイズ分類	固定具	ISOFIX リテーニング・ラグ
か		C	ISO/R3	IL
		B	ISO/F2	IL/IUF
		B1	ISO/F2X	IL/IUF
		A	ISO/F3	IL/IUF
さ	グループII: 15 ~ 25 kg			IL
	グループIII: 22 ~ 36 kg			IL

X: このサイズ分類のチャイルド・シートには適していません。

IL: p. 162に記載されている特定のISOFIXチャイルド・シート、および「準汎用(セミ・ユニバーサル)」のISOFIXチャイルド・シートの取り付けに適しています。チャイルド・シートに付属の適応車種一覧表、およびインターネット上でチャイルド・シート・メーカーが公開している適応車種一覧表を参照してください。

IUF: この体重グループへの使用が認可され、ISOFIXシステムおよび「トップ・テザー」固定ストラップで固定する「汎用(ユニバーサル)」分類の前方きタイプのチャイルド・シートに適しています。

チャイルド・シートの取り付け

ベビー・キャリア

サイズ・カテゴリ-FおよびG(例えばベビーカー)の平面型チャイルドシート・システムは、一般的に座席バージョンでは使用されません。

163ページの「チャイルド・シートの使用 - ISOFIXシステムによる固定」の章を参照してください。

ポルシェ社では、ポルシェテックイップメント製品のチャイルド・シートを使用することを推奨いたします(例:Porsche Babyseat ISOFIX GO+)。

160ページの「推奨するチャイルド・シート - シート・ベルトによる固定」の章を参照してください。

162ページの「推奨するチャイルド・シート - ISOFIXシステムによる固定」の章を参照してください。

助手席エアバッグのON/OFF



危険

助手席エアバッグをOFFにする

助手席エアバッグをOFFにしたままにしておく、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

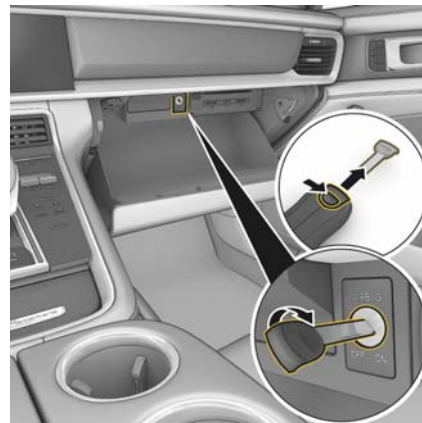


図 101: 助手席エアバッグをOFFにする

✓ イグニッションをOFFにする

- グローブ・ボックスを開いてください。
- エマージェンシー・キーをキーから取り外して
してください。
 - ▶ 「エマージェンシー・キーを取り出す」の章（69ページ）を参照してください。

知識

助手席エアバッグ・スイッチまたはエアバッグ・システムが損傷することがあります。

- ▶ エマージェンシー・キーは必ず、キー・スイッチにいっぱいまで押し込んでから回してください。
- キー・スイッチは過大な力をかけなくても回せるはずです。
- ▶ 助手席エアバッグはイグニッションがOFFのときのみ、ONまたはOFFに切り替えてください。

- エマージェンシー・キーを、キー・スイッチにいっぱいまで押し込んでください。
- エマージェンシー・キーを使用して、助手席エアバッグをOFF(スイッチ位置:OFF)もしくはON(スイッチ位置:ON)にしてください。

⚠ 危険

助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

- キー・スイッチにエマージェンシー・キーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシー・キーが不意に回転し、エアバッグが作動する危険があります。
- ▶ エマージェンシー・キーを助手席エアバッグ・スイッチに挿入したまま走行しないでください。

- エマージェンシー・キーをキー・スイッチから抜き取ってください。
- グローブ・ボックスを閉じてください。

PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケータ

助手席エアバッグ OFF/ON インジケータはルーフ・コンソールにあります。

OFF 点灯 ライト作動点検

イグニッションをオンにすると、ライト作動点検のために PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケータが約5秒間点灯します。

OFF 点灯 助手席エアバッグをOFFにする

助手席エアバッグの作動をOFFにしたときにイグニッションをオンにするか、エンジンが回転しているときは、PASSENGER AIR BAG OFF インジケータが常時点灯します。

ON 点灯 助手席エアバッグをONにする

助手席エアバッグがONになったとき、PASSENGER AIR BAG ON インジケータが、イグニッションがONになってから約1分点灯し、その後消灯します。

⚠ 危険

助手席エアバッグの故障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときにPASSENGER AIR BAG OFF 警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。
- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具

や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ISOFIXチャイルド・シートの取り付け

- ▶ 「推奨するチャイルド・シート-ISOFIXシステムによる固定」の章（162ページ）を参照してください。
- ▶ チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

チャイルド・シートの助手席への取り付け

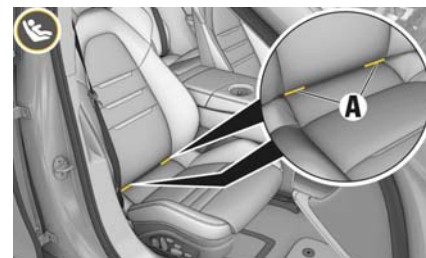


図 102：助手席シートのISOFIX リテーニング・ラグ(装備により異なります)

ISOFIX チャイルド・シートを固定するリテーニング・ラグ A の位置を示すマークは助手席シートの背もたれと座面の間にあります(装備により異なります)。

- エマージェンシー・キーを使用して、助手席エアバッグをOFFにしてください。オーバーヘッド・コンソールの助手席エアバッグOFF警告灯が点灯します。
- チャイルド・シートを付属の説明書に従っ

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

てリテーニング・ラグ A に固定してください。

3. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。

チャイルド・シートのリヤ・シートへの取り付け

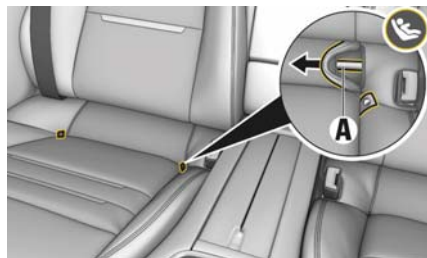


図 103 : リヤ・シートの ISOFIX リテーニング・ラグ

ISOFIX チャイルド・シートを固定するリテーニング・ラグ A の位置を示すマークはリヤ・シートの座面にあります。

1. チャイルド・シートを付属の説明書に従ってリテーニング・ラグ A に固定してください。
2. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。

ISOFIX トップ・テザー付きチャイルド・シートの取り付け

- ▶ ISOFIX トップ・テザー付きチャイルド・シートを使用する場合は、トップ・テザーをリヤ・シート後部の固定位置に装着してください。

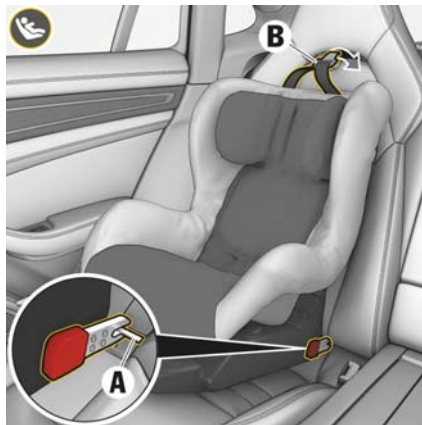


図 104 : ISOFIX トップ・テザー付きチャイルド・シートの取り付け

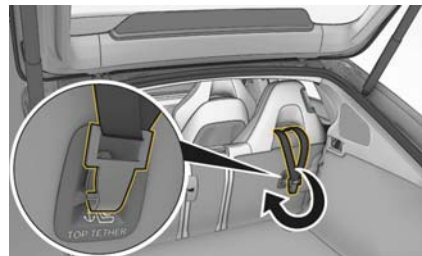


図 105 : ISOFIX トップ・テザーの装着

1. チャイルド・シートを付属の説明書に従ってリテーニング・ラグ A に固定してください。
2. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。
3. ISOFIX トップ・テザー B をヘッドレストに通してください。
4. ISOFIX トップ・テザー B をバックレスト後方の固定箇所に取り付け、テザー・ストラップを締め付けてください。

テスト・スタンドでの点検

テスト・スタンドでの点検



警告

有毒な排気ガスの吸引

排気ガスを吸引して中毒を起こす危険があります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす危険があります。

- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するとき、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。



警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定していない、または正しく固定されていない場合、予期せず動き出したり、ジャッキやリフトなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。ジャッキで車両を支えるのは危険です。おやめください。
- ▶ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

パフォーマンス・テスト

ボルシェ社ではローラー・タイプ・テスト・スタンドでのパフォーマンス・テストを承認していません。

ブレーキ・テストの実施

- ▶ ブレーキ・テストには、ローラー・タイプ・テスト・スタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください。

- 測定速度: 7.5km/h 以下
- 測定時間: 20 秒以内

エレクトリック・パーキング・ブレーキのテスト

- ▶ ブレーキ・テスト・スタンドでエレクトリック・パーキング・ブレーキをテストするときは、**イグニッションのみを ON にし、セクター・レバーをニュートラル (トランスミッション・ロック作動) にしなければなりません。**

車両が自動的にブレーキ・テスト・モードに切り替わり、エレクトリック・パーキング・ブレーキのテストが可能になります。インストルメント・クラスターにメッセージが表示されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら




わ

A-Z

デバイス・マネージャー

デバイスマネージャーを開く

デバイス・マネージャーは利用可能なデバイスとその接続ステータスの概要を提供します。

- ▶ **デバイス**  を選択してください。
- または -
ヘッダーの  または  を選択します (接続ステータスによって異なります)。


接続ステータスの表示

シンボルの色と意味


- 緑色のシンボル: 接続が有効
- 白色のシンボル: 接続は可能だが、有効になっていない
- シンボルがない: 接続は不可能

利用可能な機能:

-  **電話:** Bluetooth® 経由で接続された携帯電話。181ページの「電話」の章を参照してください。
-  **ミュージック:** Bluetooth® を介して接続された外部 Bluetooth® メディア・ソース。244ページの「メディア」の章を参照してください。
-  **データ:** SIMカード経由でデータ接続を確立する150ページの「接続」の章を参照してください。
-  **App:** WiFi 経由で接続されたボルシェ・コネクト・アプリ。
Porsche Connect App に関する詳細: www.porsche.com/connect にアクセスしてください。

-  **リンク:** iPhone® は USB で接続され、Apple® CarPlay へのアクセスが許可されています。281ページの「Apple® CarPlay」の章を参照してください。

新しい機器を Bluetooth® で接続する



1. **デバイス**  ▶ **新しいデバイスの検索** を選択します。
2. リストからデバイスを選択します。6桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM とデバイスに表示されます。
3. PCM とデバイスに表示された Bluetooth® コードを比較します。
4. PCM とデバイスの Bluetooth® コードが一致する場合、確定します。携帯電話の接続に成功すると、デバイスのリストに表示されます。

インフォメーション

Porsche Communication Management の操作に関する情報 (PCM):

- ▶ 「ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)」の章 (224ページ) を参照してください。

デバイス・マネージャーの設定を変更する

- ▶ **デバイス**  ▶ **オプション**  を選択します。
- **電話:** 181ページの「電話」の章を参照してください。
- **Bluetooth:**

- **Bluetooth**をONにする/BluetoothをOFFにする
- PCMのBluetooth名を適用します。
- **WiFi:**
 - **WiFi**を起動/WiFiを停止
 - PCMのWiFiホットスポットを設定: PCMのWiFiアクセス・データを表示し、設定します。このデータはデバイス(携帯電話など)をWiFi経由でPCMに接続したり、WiFiホットスポットを使用したりするために必要です。
 - **接続されたデバイス:** 登録済みのWiFiデバイスのリスト
- **データ接続:**
 - **データ接続の起動/停止**
 - **データ接続の共有:** WiFiデバイス用のデータ接続を可能にします。
- **PCMホットスポット:** ワイヤレス・インターネット・アクセスでデバイスに接続します。
- **ペアリングされたデバイスを削除**

ドライビング・データの表示（トリップ情報）

走行時間など、広範囲のトリップ情報をタッチ・ディスプレイのトリップ・メニューとインストルメント・クラスターに表示できます。走行距離、平均速度を表示 平均燃費を表示

タッチ・スクリーンおよびインストルメント・クラスターの操作に関するインフォメーション:

- ▷ 「インストルメント・クラスターの操作」の章（44ページ）を参照してください。
- ▷ 「ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）」の章（224ページ）を参照してください。

インストルメント・クラスターのドライビング・データ表示

「車両 & 情報」ディスプレイにドライビング・データを表示する



1. トリップ・メニューを選択してください。
2. リストからディスプレイを選択してください。

ドライビング・データをリセットする




1. トリップ ▶ リセット
2. リストからディスプレイを選択してください。

ダッシュボードのタッチディスプレイのドライビング・データ表示




ドライビング・データを表示する

1. 車両  ▶ トリップ 
2. 必要なディスプレイにスクロールします。

パーソナル・トリップの設定

1. 車両  ▶ トリップ  ▶ オプション 
▶ 走行をカスタマイズする
2. 車両情報のさまざまな項目は、ドラッグ & ドロップで4つのフィールドに割り当てることができます。ドライビング・データの1つの項目を複数のフィールドに割り当てることはできません。

ドライビング・データをリセットする


1. 車両  ▶ トリップ  ▶ オプション 
▶ 走行データをリセットする
2. リストからディスプレイを選択してください。

リヤ・タッチディスプレイのトリップ情報の表示

ドライビング・データを表示する

1. NAV ボタン ▶ トリップ
2. 必要なディスプレイにスクロールします。

ドライビング・データをリセットする

1. NAV ボタン ▶ トリップ ▶ オプション 
▶ 走行データをリセットする
2. リストからディスプレイを選択してください。

ドライブ・モード

機器によっては、車両は総合的な運転体験のためによりスポーティーな普遍モードを備えています。

ノーマル、スポーツ、スポーツ・プラスおよび個別モードにおける車両のセットアップの詳細については：


- ▶ 「選択したドライブモードの車両設定の概要」の章（171ページ）を参照してください。

E-Hybrid 車両における走行モードの選択および E-POWER、HYBRID AUTO、E-CHARGE および E-HOLD モードの設定に関するインフォメーション：

- ▶ 「モード・スイッチを使用した走行モードの選択」の章（194ページ）を参照してください。

ドライブ・モードの選択

ダッシュボード内のタッチディスプレイによるドライブ・モードの選択

1. ドライブ を選択します .
2. タッチディスプレイで必要なモードを選択します。

センター・コンソール内でドライブ・モードを選択します

- ✓ スポーツ・クロノ・パッケージなしの車両

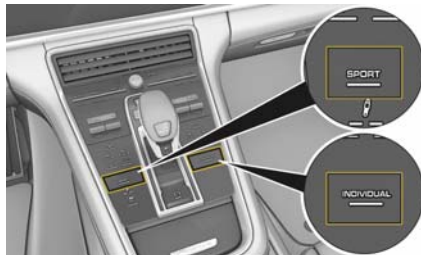


図 106：センター・コンソール内のドライブ・モードのボタン

- ▶ ボタン、または **SPORT** ボタンを押します **INDIVIDUAL**。
ドライブ・モードが起動されると、ボタンのインジケータ・ランプが点灯します。

インフォメーション

ドライブ・モードが起動されていない場合、車両は自動的にノーマル・モードに戻ります。

イグニッションがOFFにされた後、選択したドライブ・モードは自動的にノーマル・モードに切り替わります。

モード・スイッチを使用した走行モードの選択

- ✓ スポーツクロノ・パッケージ装備車

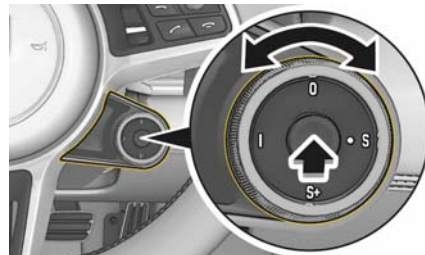


図 107：ステアリングホイールのモード・スイッチ



- 0** NORMAL モード
- S** スポーツ・モード
- S+** スポーツ・プラス・モード
- I** INDIVIDUAL モード
- スイッチ中央スポーツ・レスポンス・ボタン

- ▶ モード・スイッチを左または右に回して、希望の走行モードを選択します。
選択した走行モードのインジケータ・ライトが点灯し、デジタル・スピードメーターに走行モードが表示されます。

個別ドライブ・モードの設定

INDIVIDUAL 走行モードでは、シャシー、レベル、スポーツ・エキゾースト・システム、オート・スタート/ストップ機能 (E-Hybrid 車両は除外) およびリヤ・スпойラーの設定を、NORMAL、SPORT、SPORT PLUS の各モードに基づいて個別に組み合わせることができます。保存した組み合わせは、次の車両始動時に、モード・スイッチを I 位置に回すか **INDIVIDUAL** ボタンを使って再び呼び出すことができます。

個別モード下での設定の保存

1. ドライブ を選択します .
2. タッチ・ディスプレイで必要な設定を選択します。
3. 設定を保存するためには、ヘッダーの  を選択します。

スポーツ・レスポンス・モードの使用

- ✓ スポーツクロノ・パッケージ装備車



図 108 : スポーツ応答表示タイマー

スポーツ・レスポンス・モードでは、エンジンとトランスミッションは、タイマー制御で最大応答に設定されています。

スポーツ・レスポンス・モードの作動

- ▶ モード・スイッチのスポーツ・レスポンス・ボタンを押してください。
「車両および情報」ディスプレイ内のタイマーは、この機能が有効な残り時間を示しています。約20秒が経過すると、車両は前に選択していたモードに戻ります。

スポーツ・レスポンス・モードの作動停止

- ✓ スポーツ・レスポンス・モードが作動している
- ▶ モード・スイッチのスポーツ・レスポンス・ボタンを再度押してください。
車両は前に選択していたモードに戻りません。

選択したドライブモードの車両設定の概要

- ▶ 車両の各機能に関しては、関連のセクションを参照してください。

ドライブ・モード	NORMAL/ HYBRID	スポーツ	スポーツ・プラス	個別
ドライブ				
レスポンス	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス	事前選択：

あ	ドライブ・モード	NORMAL/ HYBRID	スポーツ	スポーツ・プラス	個別
か	リミッター	ノーマル	スポーツ	スポーツ	NORMAL/ HYBRID、 SPORT または SPORT PLUS
	アイドル回転数の増加	—	作動	作動	
さ	シフトダウン時のスロットル・ブリップ	—	作動	作動	
	車内のエンジン・サウンド最適化	—	作動	作動	
た	バックファイアー	—	作動	作動	
	ローンチ・コントロール	—	—	作動	
な	PDK	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス	
	エレクトリック・ブースト (E-Hybrid 車両)	ノーマル	スポーツ	スポーツ	
は	ショートターム V _{max} (E-Hybrid 車両)	—	—	作動	
	オート・スタート/ストップ・ボタン	on	off	off	ON/OFFボタン
ま	シャーシ				
	PTM	ノーマル	ノーマル	パフォーマンス	
	PTVプラス	ノーマル	ノーマル	パフォーマンス	
ら	アダプティブ・エア・サスペンション付きPASM	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス	事前選択： NORMAL/ HYBRID、 SPORT または SPORT PLUS
	PDCC	ノーマル	ノーマル	パフォーマンス	
わ	リヤ・アクスル・ステアリング	ノーマル	ノーマル	パフォーマンス	
A-Z	PSM	センター・コンソール上のPSMボタンを経由した「PSMスポーツ」機能と「PSM OFF」			
	その他				

ドライブ・モード	NORMAL/ HYBRID	スポーツ	スポーツ・プラス	個別
ライト・システム	ノーマル	スポーツ	スポーツ	事前選択： NORMAL/ HYBRID、 SPORT または SPORT PLUS
アダプティブ・クルーズ・コントロール (Porsche InnoDrive 装備)	ノーマル	スポーツ	スポーツ	
スポーツ排気システム	off	on	on	ON/OFFボタン
リヤ・スポイラー	ドライビング速度に依存			拡張/収納

ノーマル

日常の運転時に、快適さと燃費のバランスの観点による制御システム。

スポーツ


日常の運転時に、より情熱およびダイナミズムに向けて調整された制御システム。

パフォーマンス

レーストラックのような動きのための最大性能。

スポーツ・エキゾースト・システムのON/OFF

スポーツ・エキゾースト・システムはPCMで排気音最適化モードに切り替えることができます。

- ▶ ドライブ  ▶ スポーツ エキゾーストシステム

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

トラフィック ジャム アシスト

交通渋滞アシストは、交通渋滞時や約 65 km/h 未満の速度で低速走行する交通状態で、ドライバーの運転をサポートします。

交通渋滞補助は、システムが計算した車線を車両が維持できるようにします。ACC が ON である場合は、システムの制限内で、システムが車両のハンドル操作を自動で行います。交通渋滞補助は補助システムであるため、ドライバーはいつでも車両のハンドル操作ができるように、常にステアリング・ホイールを握っていないけません。ドライバーはいつでも思い通りにステアリングを操作することができます。

このシステムは、高速道路やよく整備された郊外道路での運転向けに設計されています。



トラフィック ジャム アシスト ON/OFF を切り替える

トラフィック ジャム アシストは PCM で ON/OFF を切り替えることができます。



- ▶ アシスト  ▶ 制御  ▶ トラフィック ジャム アシスト

システムが作動中、ACC 操作レバーでアダプティブ クルーズ コントロールと共にトラフィック ジャム アシストを起動/停止することができます。32ページの「アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACCACC) の操作」の章を参照してください。ACC が作動している場合は、インストルメント・クラスターにトラフィック ジャム アシストのステータス画面が表示されます。

トラフィック ジャム アシストのステータス表示

表示	意味
	トラフィック ジャム アシストのスイッチは ON ですが無効です。横方向の制御は発生しません。
	トラフィック ジャム アシストのスイッチは ON であり有効です。車両が前方に検出され、その他すべての条件も満たされました。車両はコントロール介入を実行します。

i インフォメーション

交通渋滞アシストも同時に作動している場合は、レーン・キープ・アシストの白色の記号  の代わりに交通渋滞アシストの白色の記号  が表示される場合があります。なぜなら、PCM で最後に作動したシステムが表示されるからです。

- ▶ 「レーン・キープ・アシスト」の章 (269 ページ) を参照してください。

トラフィック ジャム アシストが ON の場合、ドライバーのステアリング操作は監視されています。ステアリングが操作されない場合、短時間でインストルメント・クラスターに警告メッセージが表示されます。システムはドライバーに、警告音とインストルメント・クラスターのテキスト・メッセージによって積極的にステアリング操作を行うように促します。一定時間内にドライバーが反応しない場合、

トラフィック ジャム アシストは停止中に切り替わります (交通渋滞補助ステータス表示を参照)。この状況で、システムは車両を減速させ停止させることができます。減速中は警告音が鳴り、インストルメント・クラスターには警告が表示されます。ドライバーのステアリング操作によってトラフィック ジャム アシストは再び ON になります。



警告

注意の欠如および環境要因の変化

トラフィック ジャム アシストのおかげで運転は非常に快適になりますが、無謀な運転は避けてください。車線を守ることおよび交通状況を常に正しく判断することは、ドライバー本人の責任です。

- ▶ 常にステアリング・ホイールに手を置き、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。
- ▶ 以下の状況では、交通渋滞アシストを決して使用しないでください：
 - ドライバーに普通以上の注意が必要とされる時。
 - 雪や大雨などの悪天候
 - オフロードまたは未舗装の道路。交通渋滞アシストは、舗装した道路で使用することを想定して設計されています。
 - 市街地や道路工事区画。
 - 狭い車線。
 - ジャンクションや料金所などの不安定な交通状況。
- ▶ アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) とレーン・キープ・アシストの制限や情報について：

- ▷ 「レーン・キープ・アシスト」の章（267ページ）を参照してください。
- ▷ 「アダプティブクルーズコントロール（ACC）」の章（31ページ）を参照してください。

知識

システムは必ずしも車両を車線の中央や列の最後尾の車両の真後ろに誘導するとは限りません。交通渋滞アシストは、道路上の障害物を避けて運転することを想定していません。

この種の物体は、センサーで障害物として検出されません。

警告メッセージへの対応

トラフィックジャムアシストの警告およびインフォメーションメッセージに関するインフォメーション:

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。

トランスミッション

Porsche Doppelkupplung (PDK) による走行

Porsche Doppelkupplung (PDK) は、自動および手動変速モードを備えた8速トランスミッションです。

自動変速モード (モード D)では、ギア変更が自動的に行われます。ステアリング・ホイール上のギア・シフトパドルは、自動から手動変速モードに一時的に切り替えるために使用します。

手動変速モード (モード M)は、ステアリング・ホイール上でセレクター・レバーまたはシフト・パドルを使用してギアを変更できます。

運転中に望むように、**D**と**M**モードの切り替えができます。

- ▶ ステアリング・ホイール上のギアシフト・パドルが自動と手動変速モードを誤っていないことを確認してください。意図しないギアシフトを引起こします。



図 109 : 作動モードの変更

- 1 ロック解除ボタン
- 2 トランスミッション・パーキング・ロック (P ボタン)

モードの変更

イグニッションがOFFの時、**P**モードが有効で、セレクター・レバーをシフト・ゲートで自由に動かすことが可能です。

作動モードは、セレクター・レバーのリリース・ボタン(1)を押した場合のみ変更できます。作動モード**P**または**N**から切り替える場合には、リリース・ボタンに加えてブレーキ・ペダルを踏む必要があります。作動モード**D**からのみ**M**に切り替えることができません。作動モード**P**に切り替えるには、セレクター・レバーの**P**ボタン(2)を押すか、イグニッションをOFFにする必要があります。

各々の操作に続いて、セレクター・レバーは元の中央の位置に戻り、選択されている作動モードはインストルメント・クラスターに表示されます。

- ▶ 「セレクター・レバー・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーターを読み取る」の章(177ページ)を参照してください。

ロック解除ボタン

セレクター・レバー上のリリース・ボタンは、(1)は意図しないギアシフトを防止します。モードを変更するときに必ず押す必要があります。

Pボタン

セレクター・レバーの**P**ボタン(2)を押すと、トランスミッション・パーキング・ロックが作動します。イグニッションをOFFにしたときに、作動モードが**D**、**M**または**R**の場合は、トランスミッション・パーキング・ロックが自動的に作動します。

i インフォメーション

車両から離れたとき(運転席シート・ベルトを着用しておらず、運転席ドアが開いており、ブレーキ・ペダルを踏んでいない場合)に作動モードが**D**、**M**または**R**である場合も、トランスミッション・パーキング・ロックが作動します。

運転席ドアが開き、運転席シート・ベルトが外れた状態でも、エレクトリック・パーキング・ブレーキを手動で解除し、必要に応じて希望の作動モード**D**、**M**または**R**に切り替えれば、車両を移動させることができます。この場合、パーキング・ブレーキは解除され、希望の作動モード**D**、**M**または**R**が選択された状態であるため、トランスミッション・パーキング・ロックは自動的に作動しません。

- ▶ 「エンジンの停止」の章(60ページ)を参照してください。

エンジンの始動

ブレーキペダルを踏み、モード**P**または**N**が有効である場合にのみ、エンジンを起動することができます。

E-Hybrid 車両の始動に関するインフォメーション:

- ▶ 「車両の始動」の章(192ページ)を参照してください。

i インフォメーション

E-Hybrid 車両: 電動モーター走行のための作動条件(バッテリー電圧、温度など)が満たされている場合、内燃エンジンが始動していても車両はスタンバイ状態になります。

発進

- ▶ 唯一、エンジンをアイドリングさせたまま、ブレーキ・ペダルを押し続けると、所望の発進モードを選択できます (D, M または R)。
- ▶ ギアが係合すると車両は動く (クリーブ) ので、ブレーキを離すだけで発進します。

坂道発進

- ▶ 「HOLD機能：停止制御」の章 (283ページ) を参照してください。

車両の停止

- ▶ 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクター・レバーを作動モード D のまま保持し、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
- ▶ 上り坂ではアクセル・ペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキ・ペダルを踏むか、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- ▶ 車両から離れる前に必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキをかけて、P モードにしてください。

駐車

- ▶ アクセル・ペダルは慎重に操作してください。
- ▶ 特に、狭い場所で駐車や移動をする場合は、フット・ブレーキを使用して速度を調節してください。

セレクター・レバー・ポジション・インジケータおよびギヤ・ポジション・インジケータを読み取る



図 110：インストルメント・クラスターのモードと係合ギアのインジケータ

エンジンが始動している場合、モードおよび係合しているギアが表示されます。

ブレーキが適用されることなく (故障や誤操作などのために)、セレクターレバーが誤って P または N から別のモードに移行した場合、このモードがフラッシュし、パワー・トランスミッションは適用されません。

- ▶ 発進のために、ブレーキを適用しながら、セレクターレバーを P または N から所望のモードに再度移行します。

インストルメント・クラスター内のモード R または D のフラッシュ

パワー・トランスミッションは行われません。

影響：

- フット・ブレーキを適用せずに、セレクター・レバーを係合した。
- セレクター・レバーが許容速度の制限を超えてまたは進行方向に反して R または D に移行した。

処置：

- ▶ フット・ブレーキを押して、N から再び必要なモードに係合します。

作動モード

P - パーキング・ロック

- ▶ 車両が完全に停止してから P ボタンを使ってパーキング・ロックをかけてください。作動モード P が点滅している場合、パーキング・ロックがかかっていません。車両が不意に動き出す危険があります。もう一度 P ボタンを押すか、イグニッションを OFF にしてください。

R - リバース・ギヤ

- ▶ 車両が完全に停止した状態で、ブレーキをかけてからシフトしてください。

N - ニュートラル

たとえば、自動洗濯機を使用するときなどは、作動モード N を選択してください。

- ▶ 希望する走行作動モード (D, M または R) は、エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときにのみ選択してください。

D - オートマチック・ギヤ・シフト・モード

- ▶ 「通常」の走行時には、作動モード D を使用してください。車速とアクセル・ペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

インフォメーション

ステアリング・ホイール上のギアをシフトすることで、自動変速モード **D** から、手動変速モード **M** へ一時的に切り替えることができます。

例：

- カーブの前とビルドアップ領域に入るときのシフトダウン
- 下り坂走行時のダウンシフト（エンジンブレーキ効果）
- ショート・バーストのためのシフトダウン
次の場合は、マニュアル・モードが維持されます：
 - オーバーランの間
 - 車両が静止しているとき、例えば交差点で手動変速モードが改めて終了します：
 - およそ6秒後に自動的に（オーバーランがない中）

M - マニュアル・ギヤ・シフト・モード



図 111：セレクター・レバーのマニュアル選択モード

ステアリング・ホイールのシフト・パドルまたはセレクター・レバーの操作により、8速前進ギヤを快適かつ正確に選択することができます。

- ▶ セレクター・レバーを **D** から **M** の位置に押してください。
- 現在のギヤは、**D** から **M** にシフトしてもそのまま維持されます。
- M** から **D** に変更した場合は、現在のドライブング・スタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤが選択されます。



図 112：シフト・パドル付きステアリング・ホイール

セレクター・レバーまたは右「+」シフト・パドルでのシフトアップ

- ▶ セレクター・レバーまたは右側シフト・パドルを手前に引いてください。
- セレクター・レバーまたは左「-」シフト・パドルでのシフトダウン
- ▶ セレクター・レバーを前方に押してください。または左側シフト・パドルを手前に引いてください。

シフト・パドルを使用したクラッチの開操作

- ✓ ACC またはクルーズ・コントロールが作動していない
- ▶ 両方のシフト・パドルを同時に引いて、すぐに放してください。

トランスミッションがクラッチを開きます。車両はエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果は得られません。ギヤ・インジケータの数は

値は消灯し、最後に作動した作動モード (**D** または **M**) が点滅します。いずれかのシフト・パドルを引くか、セレクター・レバーを操作すると、再びクラッチが閉じます。

低燃費走行のためのシフトアップ・インジケータ

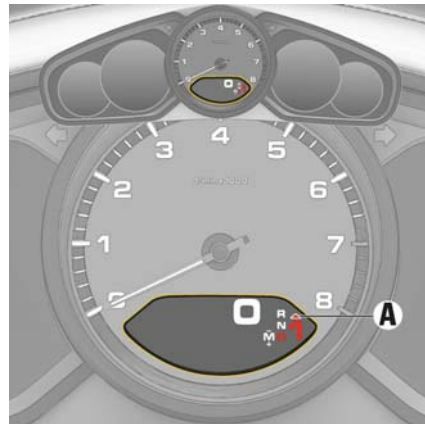


図 113：シフトアップ・インジケータ A

燃費重視の運転を促すシフトアップ・インジケータ **A** は、ドライバーが経済的な運転するのに役立ちます。現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてシフトアップ・インジケータが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップ・インジケータが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

キックダウン機能の作動

キックダウン機能は、**D**モードで有効です。

- ▶ 例えば、追い越し時の最適な加速のために、できるだけ速く進むために、アクセルペダルを踏み込みます（キックダウン）。走行速度とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンします。シフトアップは可能な限り最高のエンジン速度で行われます。

惰性走行モードで走行する

✓ E-Hybrid 車両以外

惰性走行とは、車両がエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果が得られない状態をいいます。この標準機能は、燃費と乗り心地の向上を目的として自動的に作動します。アクセル・ペダルを通常通り完全に放すと惰性走行モードになります。加速するためにアクセル・ペダルを踏み込むと、エンジンが素早く再始動し、惰性走行が終了します。

自動惰性走行モードの前提条件

- ✓ 作動モード D で走行している
- ✓ PSM が作動している
- ✓ クルーズ・コントロールが作動していない
- ✓ エンジン、トランスミッション、バッテリーが作動温度に達している
- ✓ ゆるやかな上り/下り勾配
- ▶ ゆっくりとアクセル・ペダルから足を放してください。

エンジンは切り離され、アイドル回転数で走行します。走行中、エンジン・ブレーキの効果は得られません。

惰性走行モードを手動で開始する

交通状況に応じて、惰性走行を手動で開始し、慎重に運転することで効率を向上することができます。例えば、前走車や赤信号に接近するときは、エンジン・ブレーキを積極的に使用してください。ブレーキをより強く踏むか、シフト・パドルまたはセレクター・レ

バーを操作することで、エンジンへの燃料供給を効果的に節約できます。

- ▶ ギア・シフト・パドルまたはセレクター・レバーを使用して、可能な限り高いギヤに手動でシフトアップしてください。

ローンチ・コントロールを使用した発進

ローンチ・コントロール機能は、停車状態から最大加速度で発進する際に使用します。

⚠ 警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

いくつかの状況（悪い道路状況、ドライバーの不注意など）では、車両の制御が失われ、他の道路利用者が、結果として危険にさらされる可能性があります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限りローンチ・コントロールを使用してください。
- ▶ ローンチ・コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

i インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

- ✓ エンジンが作動温度に達している
- ✓ スポーツ・プラス・モードが作動している
- 1. 左足でブレーキ・ペダルを踏んでください。
- 2. 素早くアクセル・ペダルをいっぱい踏み込んで、そのまま保持してください。エンジン回転数が自動的に均一になります。ローンチ・コントロール機能が作動し

ていることを示すメッセージがインストルメント・クラスターに表示されます。

3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

e-Launch を使用した発進

✓ E-Hybrid 車両

e-Launch 機能は、停車状態から電気のみを使用して最大加速度で発進する際に使用します。

- ✓ 高電圧バッテリーが最大限に充電されている必要があります。

1. E-POWER モードを起動します。
2. 左足でブレーキ・ペダルを踏んでください。
3. アクセル・ペダルを E-POWER のプレッシャー・ポイント（抵抗を感じる位置）までいっぱい踏み込んで、そのまま保持してください。

e-Launch 機能が作動していることを示すメッセージがインストルメント・クラスターに表示されます。

4. 数秒以内にブレーキを解除してください。

i インフォメーション

E-POWER モードでは、アクセル・ペダルにハイブリッド特有のプレッシャー・ポイント（抵抗を感じる位置）があり、電気駆動力を最適に調節できるようになっています。このプレッシャー・ポイントを越えると、内燃エンジンが ON になります。

電気ソケット



感電、ショートまたは火災

車両の通電部品に触れると感電する恐れがあります。

ソケットの不適切な使用は、回路をショートさせる場合があります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。
- ▶ 液体がソケットに入らないようにしてください。ソケットに液体が入った場合は、使用する前にソケット内が完全に乾燥し、液体が残っていないことを確認してください。
- ▶ アダプターまたは延長ケーブルを使用しないでください。アダプターまたは延長ケーブルを使用すると、230Vソケットのチャイルド・プロテクション機能が無効になり、通電されます。

知識

接続した機器が損傷する恐れがあります。

- ▶ 230V用に設計された機器のみを接続してください。
- ▶ ソケットに接続した機器の消費電力が150Wを超えないようにしてください。
- ▶ 蛍光灯を含むライト類を接続しないでください。

i インフォメーション

接続した機器が加熱する恐れがあります。これにより過電流保護回路が起動することが妨害される場合があります。

- ▶ 機器の電源を外し、約10秒後に再度接続してください。

車両の装備仕様により、次のいずれかの位置にソケットが取り付けられています：

- センター・コンソールおよびリヤ・コンソールに12V
- リヤ・センター・コンソールに100V

100VソケットにはJIS規格プラグの機器を接続可能です。プラグが挿入されているときは、ソケット・ライトのインジケータ・ライトが緑色に点灯します。過電流または過熱が発生すると、ソケットへの電源供給がOFFになり、インジケータ・ライトが赤色に点灯します。ソケットへの電源供給は、温度が下がるともう一度ONになります。

充電アダプターの接続

知識

電気系統を損傷する危険があります。

- ▶ 適切な充電アダプターのみを使用してください。不適切な充電アダプターを使用すると、12Vプラグ・ソケットを損傷する場合があります。

i インフォメーション

- 12Vプラグ・ソケットはイグニッションがオフのときでも機能します。電装品がオンになっていると、バッテリーは放電します。バッテリーを節約するため、約30分経つと電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションをもう一度ONにする必要があります。
- 12Vプラグ・ソケットおよびシガレット・ソケットの最大電流値20Aです。複数の電装品を同時にオンにする場合は、12Vプラグ・ソケットまたはシガレット・ライターそれぞれの電流が10Aを超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、ラジオ、TVおよび車両電装品に対する電波干渉の原因となることがあります。

A



B



図 114：12Vプラグ・ソケットおよびシガー・ライター用の充電アダプター

A: 使用可能な充電アダプターは、グラウンド端子部から充電アダプター上端までの距離Xが約16mm未満です。

B: 使用不可能な充電アダプターは、グラウンド端子部から充電アダプター上端までの距離Xが約16mm以上です。

電話

概要説明 - 電話

この概要説明は詳細を網羅した情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。

Porsche Communication Management の操作に関する情報 (PCM):

- ▷ 「」の章 (ページ) を参照してください。

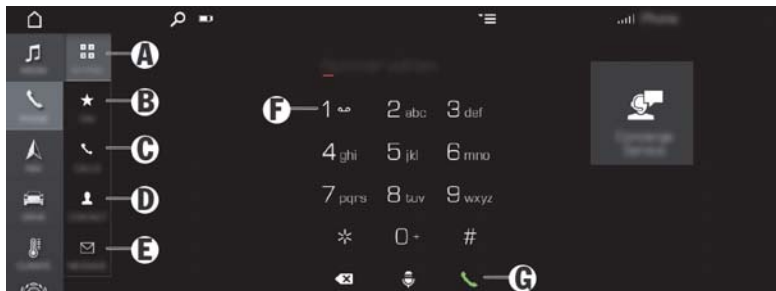
























図 115 : 電話番号を入力する

希望する操作	その操作方法は？	操作場所
携帯電話を Bluetooth® 経由で接続する (携帯電話の準備)	▷ 電話 ▶ 新しい電話を 検索 または 既知の電話を選択してください。	▷ p.
コンシェルジュ・サービスを開始する	▷ 電話 ▶ キーパッド (Aを参照) ▶ ポルシェ コンシェルジュ を選択してください。	▷ p.
接続した 2 台の携帯電話を切り替える	▷ ヘッダーの右上で現在接続されている携帯電話を選択します。すでに接続している 2 つのデバイスが表示されます。▷ 希望する携帯電話を選択してください。	▷ p.
データ接続の確立	▷ SIM カード経由でデータ接続を確立します。	▷ p.
番号をダイヤルする	▷ 電話 ▶ キーパッド (Aを参照) ▶ を選択します (Gを参照)。	
着信に応答する / 拒否する	▷ OK または 拒否 を選択してください。	
通話を終了する	▷ フッターまたは電話メニューの を選択してください。	



あ	希望する操作	その操作方法は？	操作場所
か	連絡先をお気に入り登録する	▶ 電話  ▶ お気に入り  (Bを参照) ▶ お気に入りを追加 ▶ リストから任意の連絡先を選択する ▶  を選択します。	▶ p.
さ	ボイスメールを聞く	▶ 電話  ▶ キーパッド  (Fを参照) ▶ ボタン1を押し続けてください。	
た	通話履歴を表示する	▶ 電話  ▶ 通話  (Cを参照)。	
な	メッセージを表示する	▶ 電話  ▶ メッセージ  (Eを参照) ▶ 任意のフォルダ (例えば、テキストメッセージ) を選択します。	▶ p.
は	連絡先を表示する	▶ 電話  ▶ 連絡先  (Dを参照)。	
ま	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">警告</div> 携帯電話を使用することによる事故の危険	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;">i インフォメーション</div> 適合する携帯電話の一覧はウェブサイト (www.porsche.com) から入手することができます。	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;"></div> EDGE携帯電話ネットワーク(GSM)経路でデータ接続が確立されています。
ま	走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。運転操作を誤る危険があります。		<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;"></div> 電話機能用の電話ネットワーク受信強度を示しています。
や	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">警告</div> 携帯電話を使用することによる事故の危険	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;">接続ステータスの表示</div> ヘッドラインに次の内容が表示されます。	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;">お気に入りの保存および編集</div> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;">お気に入りの保存</div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電話  ▶ お気に入り  2. 最近の連絡先エリアから希望する連絡先を選択して、その連絡先をドラッグ&ドロップでお気に入りエリアに移動します。
ら	ガソリン・スタンド、燃料貯蔵所、化学工場、およびの爆破作業の近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は車両の装備品と電波干渉を起こすことがあります。	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;"></div> 電話が接続されていません。	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;">お気に入りを整理する</div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電話  ▶ お気に入り  2. 希望する連絡先を選択して、ドラッグ&ドロップで希望する場所に移動します。
A-Z	▶ 必ず取扱説明書の指示に従うと同時に、各地域で定められている制限事項や法的規制を順守してください。	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;"></div> SIMカードが挿入されていること	
		<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;"></div> LTE携帯電話ネットワークなどを経由してデータ接続が確立されています。	
		<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;"></div> UMTS/HSPA携帯電話ネットワーク(3G)経路でデータ接続が確立されています。	

お気に入りの削除

1. 電話 ▶ お気に入り


- 希望する連絡先を選択して、お気に入りディスプレイからドラッグ & ドロップで上に移動します。
– または –
利用可能な場合には、 アイコンを選択します。

通話中に利用可能な各種機能

- ✓ 電話  ▶ キーパッド  が選択されています。

マイクのミュート


- ✓ 通話中である

- ▶ マイクをミュートするには、 を選択してください。

通話の保留

- ✓ 通話中である

- ▶  を選択してください。

- ▶ 通話を再開するには、 を選択してください。

電話情報をインストルメント・クラスターに表示する

- ▶ インストルメント・クラスターの「車両 & 情報」ディスプレイで使用したい機能を選択します。
 - ▶ 「D-「車両 & 情報」ディスプレイ」の章（42ページ）を参照してください。
- 着信: ステアリング・ホイールの電話ボタンを使用して、着信を応答または拒否します。
- 前回の通話: ステアリング・ホイールの電話ボタンとロータリー・ノブを使用して、最近かけた番号のリストを表示します。
- 会議: ステアリング・ホイールのロータリー・ノブや電話ボタンを使用して、通話中に別の電話をかけたリ電話会議の参加者を追加したりできます。

インストルメント・クラスターの操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「マルチファンクション ステアリングホイールを使用するインストルメント・クラスターの操作」の章（44ページ）を参照してください。




メッセージの表示および編集

携帯電話が Bluetooth® メッセージ・アクセス・プロファイルに対応している場合、テキスト・メッセージ (SMS) や E メールを読んだり、メッセージを読み上げたり、メッセージに含まれる電話番号に電話をかけることが可能です。携帯電話はテキスト・メッセージ機能に対応しているも、Eメール機能には対応していないことがあります。この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。




インフォメーション

- 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されているテキスト・メッセージしか表示できない場合、車両で受信したテキスト・メッセージは携帯電話のメッセージ・リストに表示されない場合があります。
- PCM はマルチメディア・メッセージング・サービス (MMS) に対応していません。

テキスト・メッセージやEメールの作成

1. 電話  ▶ メッセージ  ▶ テキストメッセージ/Eメール
2.  を選択します。
3. (電話番号を入力または連絡先を選択することにより) 受信者を追加します。
4. 入力フィールドにテキストを入力し、OKで確定します。
5. 送信を選択します。

テキスト・メッセージやEメールの返信または転送

1. 電話  ▶ メッセージ  ▶ テキストメッセージ/Eメール
2. 返信または転送するテキスト・メッセージまたはEメールを選択します。
3.  ▶ 返信/転送を選択します。

携帯電話の収納



図 116：アームレスト内の収納ボックス

アームレスト内またはリヤ・センター・コンソールの収納ボックス (Executive 車両) には、



携帯電話を充電し、PCMに接続するためのUSBポートが装備されています。

✓ 携帯電話のキーパッド/コード・ロックが有効になっています。

- ▶ アームレスト内の収納ボックス: 携帯電話をサイド・トレイに置く場合は、携帯電話の画面が助手席側に向くようにしてください。トレイと携帯電話の間に何も物を置かないでください。
- ▶ リヤ・センター・コンソールの収納ボックス (Executive 車両): 携帯電話を収納ボックスに置く場合は、携帯電話の画面を上向きにし、滑らないように固定します。トレイと携帯電話の間に何も物を置かないでください。

電話設定の変更

初期設定

- ▶ 電話  ▶ オプション  ▶ 電話設定 ▶ 任意の設定を選択します。

通話を消去

✓ 携帯電話が Bluetooth® 経由で接続されません。

- ▶ 電話  ▶ 通話  ▶ オプション  ▶ 通話を消去

連絡先の管理




- ▶ 電話  ▶ 連絡先  ▶ オプション  ▶ 任意の設定を選択します:

- 連絡先メモリー: 使用している連絡先メモリーを表示します。
- ソート基準: 連絡先を姓または名で並び替えます。

- 連絡先を転送する: Bluetooth® 経由で接続されている携帯電話、または SIM カードの連絡先を PCM に手動で転送することが可能です。

- お気に入りリストに追加: 選択された連絡先をお気に入り保存します。

メッセージの編集

- ▶ 電話  ▶ メッセージ  ▶ テキスト・メッセージやEメール・フォルダ ▶ オプション  ▶ 任意の設定を選択します:

- メッセージを読み上げ
- 詳細を使用: メッセージ内容を使用します (電話番号など)。
- 消去: 選択したメッセージを削除します。
- 新しいメッセージ
- フォルダ概要: フォルダ概要 (受信箱など) を選択します。
- メッセージを削除: 削除するメッセージを選択します。

ナイトビューアシスト



図 117：ナイト・ビュー・アシストのサーマルイメージ

ボルシェのナイト・ビュー・アシストには、以下の機能がついています：

- サーマルイメージの表示
- 歩行者と動物の警告

ナイト・ビュー・アシストのサーマル・イメージング・カメラは車両フロント部にあり、周囲のサーマル・イメージを表示します。画像は、インストルメント・クラスターの車両および情報ディスプレイに表示することができます。このシステムは、ヘッドライトが照らす範囲外にいる人や動物を検出でき、カメラ画像の中でそれらを強調表示します。

サーマル・イメージング・カメラは、放射熱の較差のみを感知します。そのため、カメラ画像は人間の目に知覚できる映像とは大幅に異なる場合があります。ナイト・ビュー・ア

シストは、周囲がかなり暗く、周囲の温度が 28℃ 以下の場合に人と動物を検出します。衝突が起こりそうな状況、または走行中に人に危険なほど接近して通り過ぎる状況で、システムの制限の限界内で警告します。この場合、システムはドライバーに視覚および聴覚で警告します。カメラ画像では、人が赤でマークされて表示されます。ボルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス装備車両では、危険にさらされている人を点滅表示し、認識しやすいようにしています。

郊外で動物との衝突が起こりそうになる前にも、システムの限界内で警告します。この場合、システムはドライバーに視覚および聴覚で警告します。カメラ画像では、動物が赤でマークされて表示され、ドライバーが危険物の位置を認識するのをサポートします。

警告

ナイト・ビュー・アシスト利用時の注意
不足および物体を見落とす過失。

このシステムで走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。事故を起こす恐れがあります。

- ▶ 以下の点にご注意ください。
 - ナイト・ビュー・アシストはサポート・システムであり、すべての状況下で衝突を防げるものではありません。運転中の状況に応じて適切にブレーキをかけることおよび適切に照明を用いることは、ドライバーご自身の責任です。
 - すべての状況ですべての歩行者および動物を検出できるわけではありません。進行方向の状況に常に気を配ってください。
 - 豪雨、降雪、凍結などの環境要因によって、カメラの動作が低下する場合があります。結果として衝突リスクの検出も低下する場合があります。

- ナイト・ビュー・アシストの歩行者および動物警告は、運転の状況が複雑な場合、システム内部の限界ゆえに誤動作して警告してしまう可能性があります。

注意

制限される、または利用できないナイト・ビュー・アシスト

駐車時の接触などのバンパーへの衝撃または損傷によって、カメラが移動している可能性があります。これは、システム性能を損なう可能性があります。

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

歩行者警告



図 118：インストルメント・クラスターの歩行者警告

システムが、歩行者との衝突の危険を検知した場合、スピードが約 250 km/h の範囲内であれば、警告音およびインストルメント・クラスターの適切な警告表示でドライバーにお知らせします。歩行者が走行車線内で立ち止まっている場合、もしくは走行車線内へ移動している場合に警告が発せられます。ボルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス装備車両では、危険にさらされている人を点滅表示し、検知しやすいようにしています。この警告が発せられた場合でも、歩行者を避けるために進路を変え、急ブレーキをかけて衝突を回避する必要があるかもしれません。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが異なることがあります。

動物警告



図 119：インストルメント・クラスターの動物警告

動物警告は、大きい野生動物（市街地外にいる鹿など）によって引き起こされる危険に反応します。走行予定の車線内に動物がいたり、危険を及ぼすほど接近したりする場合に動物警告が発せられます。動物警告は市街地では自動で無効になり、リードにつながれた犬などによって警告が誤作動するのを防止します。

ナイト・ビュー・アシストの ON/OFF の切り替え



▶ アシスト  ▶ 設定  ▶ ナイトビューアシスト

衝突警告と画像修正の調整

ナイト・ビュー・アシストの衝突警告と画像修正のための警告時間は、PCMで調整できません。

▶ アシスト  ▶ 設定  ▶ ナイトビューアシスト

ナイト・ビュー・アシスト状態の表示

シンボル	インストルメント・クラスター	意味
	速度とアシストの表示	ナイト・ビュー・アシストは、バックグラウンドで起動されます。
	車両および情報ディスプレイ	カメラ画像が表示される場合、周囲の全体的な条件（外気温度と明るさ）のために、システムが人や動物を確実に検出できないことを示します。この警告機能は、現在使用できません。

ナビ

概要説明 - ナビゲーション

この概要説明は詳細を網羅した情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。

Porsche Communication Management の操作に関する情報 (PCM):

- ▶ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)」の章 (224ページ) を参照してください。

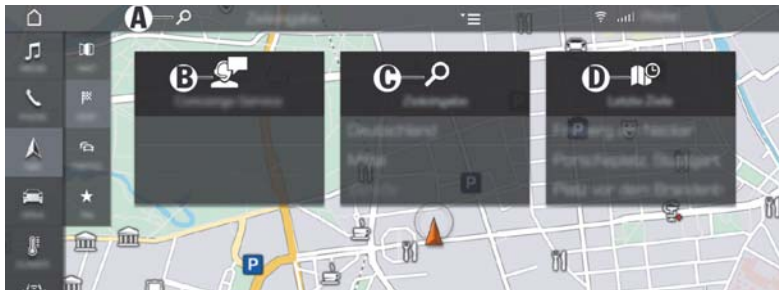


図 120 : 目的地の入力 / 検索

希望する操作	その操作方法は？	操作場所
目的地を検索する	▶ ナビ ▶ をヘッダーで選択してください (A を参照)。 - または - ナビ ▶ 目的地 ▶ オンライン検索 ¹	
コンシェルジュ・サービスを選択してください。	▶ ナビ ▶ ポルシェ コンシェルジュ (B を参照) ▶ ポルシェコンシェルジュ ▶ P.	
目的地住所を入力してください	▶ ナビ ▶ 目的地 ▶ 目的地入力 (C を参照)	
最終目的地を選択してください	▶ ナビ ▶ 目的地 / お気に入り ▶ 目的地履歴 (D を参照)	
施設情報を入力してください	▶ ナビ ▶ 目的地 ▶ 施設情報	
保存した目的地を選択してください	▶ ナビ ▶ お気に入り ▶ 保存した目的地	

1. 必要条件: データ接続が確立されています。

あ	希望する操作	その操作方法は？	操作場所
か	連絡先から目的地を選択してください	▶ ナビ ▶ お気に入り ▶ 連絡先	
さ	ルート案内の開始 / 停止	▶ ナビ ▶ 目的地を入力し、▶ ルート案内を開始 または停止 します。	
た	マップ・ビューを開く	▶ ナビ ▶ マップ	▶ p.
な	交通情報を表示する	▶ ナビ ▶ VICS	▶ p. 190
は	ルートオプションを表示する (代替ルート)	▶ ナビ ▶ マップ ▶ オプション ▶ ルートオプション	
ま	ETC 支払を表示します	▶ 車両 ▶ ETC 2.0 ▶ 支払履歴	
や	<div style="background-color: #f96; padding: 5px; display: inline-block;"> 警告</div> 交通規則を無視することによって高まる事故のリスク	ります。 ▶ 常に地形に注意を払ってください。	<div style="background-color: #f96; padding: 5px; display: inline-block;"> 警告</div> コンシェルジュ・エージェントが呼び出されます。
ら	案内されたルートが施行されている交通規則と反する場合は、必ず国別の法規を順守して走行してください。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。	<h3>コンシェルジュ・サービスの開始</h3> コンシェルジュ・サービスは、ナビゲーション・データを使ってドライバーにサポートを提供するパーソナル・アシスタントです。	2. 目的地を要求します。
わ	<div style="background-color: #f96; padding: 5px; display: inline-block;"> 警告</div> システムに関連する不正確さと誤動作に起因する事故の危険性	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SIM カード経由でデータ接続が正常に確立されました。 ✓ 携帯電話は Bluetooth® 経由で PCM に接続されました。 ✓ Apple® CarPlay は使用されていません。 	3. コンシェルジュ・エージェントが通話を終了させた後に、ナビゲーション・データが PCM に送信されます。そのため、先に通話を切らないでください。
A-Z	衛星に基づくナビゲーション中に、不正確な指示と誤動作を除外することはできません。ドライバーは常に安全運転に努める責任があ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ナビ ▶ ボルシェ コンシェルジュ ▶ ボルシェコンシェルジュに連絡を選択してください。 	4. POI (施設情報) または個々の目的地を選択し、 を選択してください。

i インフォメーション

- 現在位置や、ナビゲーション目的地の地理的な位置などのコンシェルジュ・サービス・データの使用時にて、車両識別データおよび言語設定がコンシェルジュ・コンタクト・センターに転送される場合があります。
- コンシェルジュ・サービスから、最大5つの目的地のナビゲーション・データをPCMに送信することができます。

地図からの目的地入力

1. ナビ ▶ マップ
2. 地図上で目的地を選択してください。
3. を選択して、ルート案内を開始します。

後部座席から運転席に目的地を送信する

ナビゲーション目的地を、後部座席のタッチ・ディスプレイからセンター・コンソールのタッチ・ディスプレイに送信することができます。

1. 後部座席のタッチ・ディスプレイで **NAV** ▶ お気に入り ボタンを選択してください。
2. 目的地履歴または保存した目的地からナビゲーション目的地を選択します。
3. 目的地を送信を選択し、選択した目的地をタッチ・ディスプレイに送信します。

1. 必要条件：データ接続が確立されています。

ツアーの計画 (経由地の入力)

ツアーは1つの目的地、および1つ以上最大8までの経由地で構成されます。

ツアーの入力および開始

1. ナビ ▶ 目的地を入力し、ルート案内を開始してください。
2. オプション ▶ ルートを編集 ▶ 新しい経由地
3. 経由地を入力または選択します。
4. 経由地として追加 ▶ ツアー開始

ツアーを保存する

✓ ツアーが開始しました。

- ▶ オプション ▶ ルートを編集 ▶ オプション ▶ ツアーを保存

ツアーの呼び出し

✓ ツアーが保存されている。

1. ナビ ▶ お気に入り ▶ 保存した目的地
2. ツアー ▶ 希望するツアーを選択してください。

i インフォメーション

た、後で途中下車を再編成することができません。オプションナビ ▶ 目的地 ▶ を選択した後、 ▶ ルートを編集 適切な途中目的地を押し保存し、希望の場所へ移動してください

地図コンテンツの設定

1. ナビ ▶ マップ ▶ オプション
2. 希望の地図コンテンツを一の有効 / 無効を切り替えます。

- 3Dマップ: 3D マップ・ビュー (と 2D ビュー) の表示 / 非表示を切り替えます。
- オートズーム: 地図のオートズーム機能の有効/無効を切り替えます。
- オンライン交通!: リアルタイムの交通情報の表示 / 非表示を切り替えます。 緑色のライン: 円滑に流れる交通状態、橙色のライン: ゆっくりと流れる交通状態、赤色のライン: 渋滞
- Google Earth!: オンライン・データの表示 / 非表示を切り替えます。 この画面は車両が停止中のみ表示可能です。
- ルート情報: 現在のルートを表示 / 非表示を切り替えます。
- 施設情報を表示: 地図上の施設情報の表示 / 非表示を切り替えます。
- コンパス: 地図上のコンパスの表示 / 非表示を切り替えます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

交通情報の表示


地図上に交通情報を表示

地図上で、現在地または選択したルートに関する次の交通情報を表示することができます：

- 斜線区間: 交通渋滞の長さを示します。
- 色付き警告シンボル: 選択したルート上に差し迫った交通渋滞 ルート案内が有効でない場合は、現在発生しているすべての交通の混乱がカラー表示されます。
- グレー表示の警告シンボル: 選択したルート上ではない交通渋滞



VICS/ITS スポット交通情報リストの表示

1. ナビ ▶ オプション



VICS  アイコンに表示される数字は、選択したルートでの交通事故の数を示しています。

2. 交通事故 を選択してください。



交通渋滞をダイナミックに回避

▶ ナビ  ▶ オプション  ▶ ルートオプション ▶ ダイナミックルート を有効にします。

- または -

▶ ナビ  ▶ オプション  ▶ ルートオプション ▶ 手動ダイナミック・ルートを選択します

交通案内を表示

▶ ナビ  ▶ オプション  ▶ ルートオプション ▶ 交通案内 を表示 を有効にします。

交通案内は、ラジオ放送局またはオンライン・コンテンツ・プロバイダーから発信されます。したがって、この情報の完全性および正確性に対してボルシェ社では責任を負いません。

マップ・ビューおよびナビゲーション情報をインストルメント・クラスターに表示する

インストルメント・クラスターの操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「マルチファンクション ステアリングホイールを使用するインストルメント・クラスターの操作」の章（44ページ）を参照してください。

地図画面の表示および設定

1. インストルメント・クラスターの「車両 & 情報」ディスプレイでマップ・ビューを選択します。
2. マルチファンクション・ステアリング・ホイールで希望のビュー・オプションを選択してください。
 - マニュアルズーム: 地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
 - 自動ズーム: 地図の縮尺が自動的に調節されます。
 - 3D マップ: 3次元地図を表示します。
 - ノースアップ: 常に地図の上方が北になります。

- コウサテン: インストルメント・クラスターの「車両および情報」ディスプレイでマップ・ビューを選択していない場合、ナビゲーションのタイミングで自動的にマップが表示されます。
- メーター オフ: インストルメント・クラスターの「速度およびアシスト」ディスプレイで「ナビゲーション」メニューを選択していない場合、ナビゲーションのタイミングで自動的にマップが表示されます。

オフロード・モードを利用する

オフロード・モードでは、データとして記録されている道やルートから離れて走行している時でもルートを記録（トレース、追跡）することができます。この記録は複数の通過点を設定することにより行います。


オフロード・モードの作動 / 解除

1. ナビ  ▶ マップ  ▶ オプション  ▶ ナビ設定

2. オフロードモード を作動 / 解除します。

ルートの記録および保存

✓ オフロード・モードが作動されました。



1. ナビ  ▶ マップ  ▶ トレースを開始する

2. 中間地点 を選択してください。通過点を幾つか登録できます。

3. 停止 ▶ 保存 を選択してください。

ルートの呼び出しおよび走行

✓ 走行軌跡が保存されます。

1. ナビ  ▶ お気に入り  ▶ 保存した目的地を選択してください。



2. 希望のトラックを選択してください。

3. ルート案内を開始

4. 希望の項目を選択してください：

- 前にトレース
- 後ろにトレース
- スタートから
- ここから

ナビゲーション設定の変更

▶ ナビ  ▶ オプション  ▶ ナビ設定 ▶ 希望の設定を選択してください。

道路通行料自動徴収システム (ETC) の使用

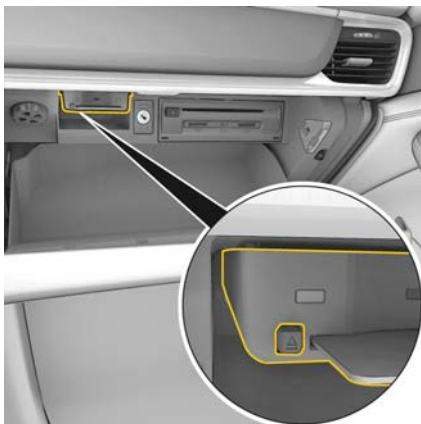




図 121：グローブ・ボックス内のETCカード・リーダー

ETC カードの挿入および取り出し

1. 有効な ETC カードをカード・リーダーにロックされるまで差し込んでください。
2. ETC カードを取り出すには、 ボタンを押してください。
カードの紛失またはカードのエラーを示すアイコン  はヘッダーに表示されます。

ETC の設定

✓ ETC カードが挿入されました

▶ 車両  ▶ ETC 2.0 ▶ 支払履歴

- または -

▶ 車両  ▶ ETC 2.0 ▶ 支払い方法

- 通行料通知
- 料金案内音声
- ETC 2.0警告
- カード抜き取りリマインダー

ハイブリッド車両

警告ラベル

エンジン・ルームのフロント・クロスメンバーおよび高電圧バッテリーに黄色の警告ラベルが貼付されており、ハイブリッド・システム構成部品に触れないよう警告しています。



ハイブリッドシステムの構成部品には、構成部品や高電圧部に触れないよう警告する 2 枚一組の警告ラベルが貼付されています。



- ▶ 警告ラベルや警告表示の表面は、絶対に汚したり読み取りできない状態にしないでください。
- ▶ ハイブリッド・システム構成部品の警告ラベルが貼付されたカバーは、どのような場合であっても取り外さないでください。

イラストの示す意味



正しい使用方法を守らなかった場合、感電する恐れがあります。



危険な電圧に関する警告



危険！



ハイブリッドシステムの構成部品に記載された説明や、取扱説明書の指示を参照してください。

両が速度オーバーした場合、下り坂を走行した場合などに、自動的に高電圧バッテリーに充電します。

エレクトリック・ドライブ・システムの作動条件

- ✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている。
 - ✓ エンジン油温が約 0° C 以上である。
 - ✓ 高電圧バッテリーの温度が異常に低下または上昇していない。
 - ✓ モーター・ジェネレーターの温度が高すぎない。
 - ✓ ボンネットが閉じている。
- この条件が満たされていない場合、インストルメント・クラスターに警告メッセージが表示されます。

車両の始動

- ✓ 車両プラグが車両充電ポートに挿入されていません。
1. フットブレーキを踏んでください。
 2. セレクター・レバーの **P** ボタンを押すか、作動モードの **N** を選択してください。
 3. アクセル・ペダルは踏まないでください。
 4. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置 **2** に一時的に回してください。
- インストルメント・クラスターに **READY** が表示されます。

i インフォメーション

車両プラグが車両に挿入されている状態で車両を始動すると、メッセージがインストルメント・クラスターに表示されます。

- ▶ 約 20 秒以内に車両プラグを車両充電ポートから外してください。

走行中のハイブリッド機能と作動モード

ハイブリッド機能と作動モードは、各走行モードにおいて車両コントロール・システムにより自動的に設定されます。これにより、車両が各ドライブモードで常に最良の作動モードになるよう制御されます。パラレル・プラグイン・ハイブリッド走行により、車両は次のハイブリッド作動モードで走ります：

- モーター・ジェネレーターによる走行。
- 内燃エンジンによる走行。
- モーター・ジェネレーターと内燃エンジンによる走行。モーター・ジェネレーターが内燃エンジンを補助して車両を駆動します (ブースト)。
- 回生しながらの走行 (エネルギー回収)：モーター・ジェネレーターは、ブレーキをかけた場合、内燃エンジンを作動させたまま車

降車時の作動

エンジンの自動停止時(運転席シート・ベルトを着用しておらず、運転席のドアが開いており、ブレーキ・ペダルを踏んでいない場合)に降車すると、エンジンは自動的に始動しません。さらに、作動モード D、R、または M になっている場合:

- エレクトリックパーキングブレーキをかけます。209ページの「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」の章を参照してください。
- トランスミッション・パーキング・ロック P に入れます。176ページの「Pボタン」の章を参照してください。

運転席ドアが開き、運転席シート・ベルトが外れた状態でも、エレクトリックパーキングブレーキを手動で解除すると車両を移動させることができます。この場合、パーキングブレーキは解除され、トランスミッション・レンジは選択された位置のままになります。

降車後 30 秒以内に以下の条件のうちの 1 つが検出された場合、オート・スタート/ストップ機能が再開します。

- ブレーキ・ペダルを踏み、さらに運転席ドアを閉じるか、運転席シート・ベルトを着用した場合。
 - または -
- 運転席ドアを閉じ、運転席シート・ベルトを着用した場合。
 - または -
- エレクトリック・パーキング・ブレーキを手動で解除され、かつ車両の作動モードが D、R または M の場合。
 - または -
- ブレーキ・ペダルが踏まれ、かつ作動モードが変更された場合。
 - または -

- 車両が約 2 km/h 以上の速度で走行し、ペダルが踏まれている場合。

上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて 30 秒後にエンジンを手動で始動する必要があります。エンジンを手動で始動する必要があることを示すメッセージが、インストルメント・クラスターに表示されます。

- ▷ 「エンジンの始動および停止」の章(60ページ)を参照してください。

降車時の車両の作動は、運転席シート・ベルトの正しい使用に応じて変化します。

- ▷ 「シート・ベルト」の章(122ページ)を参照してください。

エネルギーフローの表示

ハイブリッド・エネルギーフロー表示は、内燃エンジン、高電圧バッテリーおよび駆動輪の間のエネルギーの流れを表示します。

ダッシュボードのタッチ・ディスプレイ:

- ▶ HYBRID  ▶ E-フロー 

インストルメント・クラスター:

- ▷ 「インストルメント・クラスター」の章(41ページ)を参照してください。

PCMにゼロ・エミッションを表示する

ハイブリッド・ゼロ・エミッション表示は、車両が内燃エンジンを使用せずに走行した時間をパーセンテージで表示します。

- ▶ HYBRID  ▶ 統計 

インストルメント・クラスターに E-Drive アシストを表示する

E-Drive アシストは、電気駆動力の調節補助として使用されます。

緑の部分はアクセル・ペダルの動きを表示します。アクセル・ペダルを踏み込むとより多くの電力が出力されます。内燃エンジンは出力しきい値 E max に達すると始動します。出力しきい値は選択した走行モードによって異なります。

目盛りの中央部には、おおよその電動走行可能距離の情報が表示されます。上下の矢印は、表示されている走行可能距離が、現在の運転スタイルや現在作動している電気機器の負荷のもとで実現されるかどうかを知らせます。

インストルメント・クラスターに E 燃費を表示する

E 燃費は、車両走行やコンフォート機能(エアコンなど)による平均電気消費量を、車両の始動後もしくは累積のデータとして表示します。

インストルメント・クラスターにブーストアシストを表示する

ブーストアシストは加速に使用した電気モーター駆動の比率を表示します。十分にブーストができないときには目盛りはグレーになっています。ブーストが充電している時には、最大に達するまで目盛りは白になります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

モード・スイッチを使用した 走行モードの選択

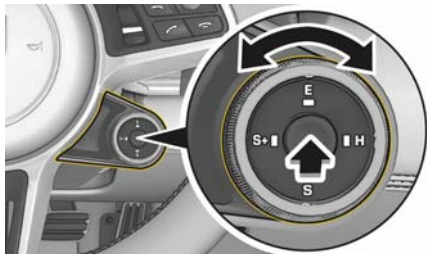


図 122：ステアリング・ホイールのモード・スイッチ

- E E-POWER モード
 - H ハイブリッドモデル (Hybrid Auto、E-Hold、E-Charge)
 - S スポーツ・モード
 - S+ スポーツ・プラス・モード
- スイッチ中央スポーツ・レスポンス・ボタン

- ▶ モード・スイッチを左または右に回して、希望の走行モードを選択します。選択した走行モードのインジケータ・ライトが点灯し、デジタル・スピードメーターに走行モードが表示されます。

i インフォメーション

各走行モードはPCMでも選択できます。

▶ HYBRID ▶ モード

E-POWER 走行モード

E-POWER モードは初期設定で作動しています。このモードでは、約 140 km/h までの速度および最大 50 km までの可走距離で、電動モーターのみでの走行が可能です。

走行スタイル、エアコン使用状況およびエネルギーを大量に必要とする機器の使用の程度によって、電動モーターによる走行可能距離は左右されます。

環境に配慮した運転およびエネルギーを大量に必要とする機器の使用を控えることは、電動モーターによる走行可能距離を延ばすための重要なポイントです。

E-POWER モードの作動

- ▶ モード・スイッチを E の位置に回してください。

選択した走行モードのインジケータ・ライトが点灯し、デジタル・スピードメーターに走行モードが表示されます。

E-POWER モードのための前提条件が満たされていない場合 (高電圧バッテリーの充電不足など)、メッセージが E-POWER 作動後、インストルメント・クラスターに表示されます。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章 (90 ページ) を参照してください。

E-POWER モードのステータス表示

電動モーターのみでの走行が可能かどうかはインストルメント・クラスターのパワーおよびドライブゲージに表示されます。



E-POWER モードが作動し、車両は電動モーターのみで走行していません。

ハイブリッド走行モード

ハイブリッドモードでは 3 段階で作動モードを調節できます: HYBRID AUTO、E-HOLD および E-CHARGE。

HYBRID AUTO モード

HYBRID AUTO モードはスイッチが H の位置で作動するよう初期設定されています。ナビゲーション・システムおよび現在の速度から得たルート固有データを頭脳において予測される最も効率的な車両の走行を可能にします。HYBRID AUTO モードは高電圧バッテリーの充電が E-POWER モードで走行するには低すぎる場合自動的に作動します。

E-HOLD モード

E-HOLD モードは、例えば、現在使用可能な高電圧バッテリーの充電が意図的に維持されるようにして、後で車両が電動モーターのみで走行できるようにします。プースティングおよび制限された電動モーター走行は、このモードでも可能ですが、充電状態が変動することがあります。

E-HOLD モードの作動



▶ HYBRID ▶ モード ▶ E-HOLD

E-CHARGE モード

E-CHARGE モードで走行中に高電圧バッテリーを充電します。このモードは内燃エンジンの駆動走行時に電動モーターによる走行可能距離を延ばす目的に特に役に立ちます。高電圧バッテリーを高速道路走行中に充電し、市街地などで電動モーターのみの走行ができます。

E-CHARGE モードの作動 E-CHARGE モード

- ✓ 高電圧バッテリーが完全に充電されていない場合。

▶ HYBRID  ▶ モード  ▶ E-CHARGE

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。

スポーツおよびスポーツ・プラス走行モード

SPORT、SPORT PLUS および INDIVIDUAL 走行モードの車両の設定に関する追加情報:

- ▶ 「選択したドライブモードの車両設定の概要」の章（171ページ）を参照してください。

スポーツ・モード

SPORT モードでは、内燃エンジンは常に作動しています。エンジンとトランスミッションがスポーティーな設定になります。高電圧バッテリーの充電は、ブースト機能を使用するために最少レベルになります。

スポーツ・プラス・モード

SPORT PLUS モードでは、内燃エンジンは常に作動しています。エンジンとトランスミッションが最もスポーティーな設定になります。高電圧バッテリーは、より頻繁に長い時間ブーストできるように、なるべく早く完全に充電されます。最高速度での走行が可能です。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

バッテリー

▲ 警告

感電、ショートまたは火災

車両の通電部品に触れると、感電する危険があります。車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス・ケーブルの端子を外してください。
- ▶ 工具や電気を通す装身具（指輪、ネックレス、時計バンドなど）が、車両の電気部品と接触しないように注意してください。

▲ 警告

火災または爆発

燃料、エンジン・オイル、トランスミッション・オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する恐れがあります。バッテリー充電中は爆発性の高い混合ガスが発生することがあります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス・ケーブルの端子を外してください。
- ▶ 静電気の帯電を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- ▶ バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
- ▶ バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- ▶ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

▲ 注意

腐食性のある電解液

鉛バッテリーには極めて強い腐食性のバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。

知識

回路のショート、火災、またはオルタネーター、電気系統、および構成部品を損傷する危険があります。

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス・ケーブルの端子を外してください。

12V バッテリーは、ラゲッジ・コンパートメント・フロア下の個別のプラスチック・カバー下にあります。

E-Hybrid 車両: 12V バッテリーは、車両右側のラゲッジ・コンパートメント・トリム・パネル裏にあるラゲッジ・コンパートメント内にあります。

- ▶ ジャンパー・ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。

- ▶ 「ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動」の章（126ページ）を参照してください。
- ▶ 「バッテリーの充電」の章（197ページ）を参照してください。

バッテリー取り扱い上の注意

説明を読んでください



保護眼鏡を必ず着用してください。



お子様を絶対に近づけたりしないでください。



爆発の危険があります。

バッテリー充電中は爆発性の高い電解質のガスが発生します。そのため、



火気、火花、裸火を近づけたり、そばで喫煙したりすることは絶対に避けてください。



電気配線や電装品を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。ガス抜きホースが付いたバッテリーは、ホース出口から高濃度の電解質ガスが放出されます。ガス抜きホースによじれや詰まりがないようにしてください。

酸による火傷の危険があります。バッテリー液には極めて強い腐食性があります。保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。ガス抜き穴からバッテリー液が漏れる恐れ



があるため、バッテリーを傾けないでください。

応急処置

バッテリー液が目にかかった場合、速やかに水で数分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚、衣服にかかった場合、直ちに石鹼水で中和し、多量の水で洗い流してください。万一バッテリー液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医者の診察を受けてください。

廃棄

古いバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。



バッテリーのお手入れ

i インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。バッテリーが充電不足だと 0° C 程度の温度でも凍結することがあります。完全に充電されている場合は -40° C まで凍結しません。

希望する操作	その操作方法
バッテリー上がりを防ぐには	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 短距離の運転時は、不要な電気装備類をOFFにしてください。 ▶ 車両から離れたときは、イグニッションをOFFにしてください。
バッテリーのお手入れ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。 ▶ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。
冬季の走行に備えて	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 冬になる前に、ボルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。
バッテリーの充電	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 凍結または損傷したバッテリーは決して充電しないでください。 ▶ 「バッテリーの充電」の章（197ページ）を参照してください。
車両を保管するとき	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、ドアやリッド類を確実に閉じてください。 ▶ イグニッションをOFFにしてください。

▶ 「警報システム」の章（113ページ）を参照してください。

i インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ 機能を正常に保つには、約 6 週間ごとに充電するか、AGM (Absorbent Glass Mat) バッテリーに適したトリクル充電器を使用する必要があります。ボルシェでは、ボルシェテックイップメントの充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。

バッテリーの充電

⚠ 警告 凍結または損傷したバッテリーの充電

凍結または損傷したバッテリーを充電すると、爆発や酸による火傷を負う危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーは決して充電しないでください。

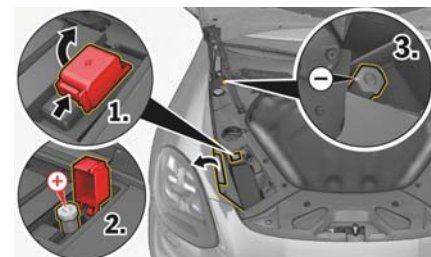


図 123：バッテリーの充電

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

- ▶ 充電器メーカーの取扱説明を順守してください。
 - ▶ バッテリーの充電中は必ず十分に換気を行ってください。
 - 1. ボンネットを開いてください。
 - 2. プラスチック・カバーを取り外してください。
 - 3. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス (+) 端子カバーを開いてください。
 - 4. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス (+) 端子にバッテリーの赤色のプラス・ケーブルを接続してください。
 - 5. 充電器の黒色のマイナス・ケーブルをアース箇所-に接続してください。
 - 6. 充電器の電源をONにしてください。
 - 7. バッテリーの充電が完了したら、充電器の電源をOFFにしてから、ケーブルを外してください。
 - 8. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス (+) 端子カバーを閉じてください。
 - 9. プラスチック・カバーを元の位置に取り付けてください。
- 適切な充電器についてのお問い合わせは：
▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。

バッテリーの交換

バッテリー本体に表示された規格/仕様のみでは、そのバッテリーがボルシェ社の要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- ▶ バッテリーの交換は専門知識がある修理工場でのみ実施してください。
- ▶ バッテリーを交換するときは、車両の所定の要件を満たした AGM (Absorbent Glass Mat) バッテリーのみを使用してください。

- ボルシェ純正バッテリーの使用を推奨いたします。
- ▶ 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロール・ユニットでの登録が必要です。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
 - ▶ バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

電源遮断後の車両の再使用

一時的に電源が遮断された後に、一部の装置を再初期化する必要があります。

1. パワー・ウィンドウの停止位置を保存してください。
 - ▶ 「ウィンドウ停止位置の保存」の章（53ページ）を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムにホイールとタイヤを登録してください。
 - ▶ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。

パンクしたとき

タイヤ空気圧モニタリング・システムの警告メッセージに対応する

タイヤ空気圧モニタリングが著しい空気圧低下を検出した場合、警告メッセージがインストルメント・クラスターに表示されます。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。
- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。

安全な駐車

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザード・ライトを点滅させてください。
3. エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
4. P ボタンを使用してトランスミッション駐車ロックを起動させてください。
5. フロント・ホイールを直進位置にしてください。
6. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。周囲の交通状況に注意してください。
7. 停止表示板を適切な場所に設置してください。
8. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。

損傷したタイヤの補修。

▲ 警告

一時的なタイヤの補修

タイヤ・シーラントで補修した損傷タイヤのまま不適切な速度、または連続的な負荷状態で走行すると、バースト（破裂）または空気圧が低下する恐れがあります。

- ▶ タイヤ・シーラントを使用したタイヤの補修は、緊急の場合の応急処置であり、最寄りの修理工場までの短距離の移動のみを使用してください。
- ▶ タイヤ・シーラントは 4 mm 以下の切傷や刺傷にのみ使用してください。
- ▶ ホイール・リムが損傷している場合は、タイヤ・シーラントを使用しないでください。
- ▶ 速やかにボルシェ正規販売店でタイヤを交換してください。タイヤ・シーラントを使用したことを専門整備工場に伝えてください。
- ▶ タイヤを修理しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 許容最高速度 80 km/h を超えて走行しないでください。
- ▶ タイヤ・シーラントおよびコンプレッサーに添付されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

タイヤがパンクした場合、車両に装備されているタイヤ・シーラントで損傷したタイヤを応急処置することができます。

タイヤシーラント・セットはラゲッジ・コンパートメントに収納され、以下が含まれます。

- 充填ホース
- バルブ回し

- スペア・バルブ・インサート
- 許容最高速度表示用ステッカー
- 操作説明

コンプレッサーはラゲッジ・コンパートメント内にあります。

- ▶ 「ラゲッジ・コンパートメント・ルーム」の章（253ページ）を参照してください。

タイヤ・シーラントの充填

▲ 警告

人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。

- ▶ タイヤ・シーラントを取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ シーラントの蒸気ガスを吸い込まないようにしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

▲ 注意

タイヤ・シーラントが付着したとき：

タイヤ・シーラントが付着すると炎症やアレルギーを引き起こすことがあります。

- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤ・シーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ パンク修理剤でアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ タイヤ・シーラントを誤って飲み込んだときは、大量の水で口をゆすぎ、さらに大量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

▲ 警告

タイヤの空気圧が検出されない

タイヤ・シーラントが付着したタイヤ空気圧センサーは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

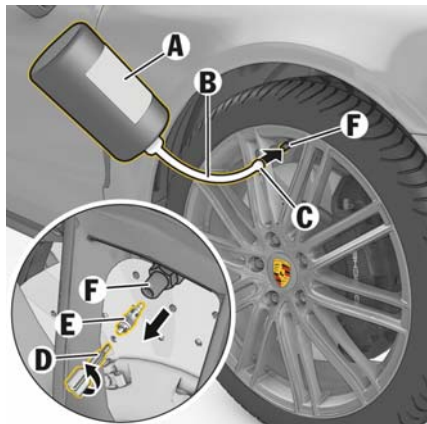


図 124：タイヤ・シーラントの充填

- A 充填ボトル
- B 充填ホース
- C 充填ホース・プラグ
- D バルブ回し
- E バルブ・インサート
- F タイヤ・バルブ

充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. ラゲッジ・コンパートメントからタイヤ・シーラントおよび付属のステッカーを取り出してください。
 - ▶ 「ラゲッジ・コンパートメント・ルーム」の章（253ページ）を参照してください。
3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

タイヤ・シーラントの充填

▶ タイヤ・シーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. 充填ボトル A をよく振ってください。
2. 充填ホース B を充填ボトルに取り付けてください。充填ボトルを開封してください。
3. タイヤ・バルブ F からバルブ・キャップを取り外してください。
4. バルブ回し D を使用して、バルブ・インサート E をタイヤ・バルブから取り外してください。交換用バルブ・インサートがない場合、バルブ・インサートを乾いた汚れのない場所に置いてください。
5. 充填ホース B からプラグ C を取り外してください。
6. 充填ホースをタイヤ・バルブに押し付けてください。
7. 充填ボトルをタイヤ・バルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. 充填ホースをタイヤ・バルブから引き抜いてください。
9. バルブ回し D があればそれを使用して、交換用バルブ・インサートまたはバルブ・インサート E をタイヤ・バルブに確実にねじ込んでください。

タイヤ空気の充填

- ▶ コンプレッサーの別冊取扱説明書に従ってください。
 - ▶ 「タイヤ空気の充填」の章（152ページ）を参照してください。
1. コンプレッサーを車両のソケットに接続し、圧力が2.5 bar (36 psi) 以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイ

ヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けしないでください。

2. バルブ・キャップをタイヤ・バルブFにねじ込んでください。

タイヤ空気圧の点検

- ▶ 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が1.5bar (22 psi) 以下の場合は、運転を中止してください。タイヤ空気圧が1.5 bar (22 psi) 以上の場合は、指定のタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ 「」の章（ページ）を参照してください。

タイヤ交換

- ▶ 「タイヤとホイールの交換」の章（153ページ）を参照してください。

ホイールを交換した後、タイヤ空気圧モニタリング設定を更新してください。

- ▶ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

パーソナル設定

概要 - 個人用設定



この概要説明は包括的な記述に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 125：運転席ドア・メモリー・ボタン (運転席およびコンフォート・メモリー・パッケージ)



図 126：助手席ドア・メモリー・ボタン

どうすれば個人用設定の保存/呼び出しができますか？	メモリー・パッケージでは、どのような個人用設定の保存/呼び出しができますか？	どこですか？
<p>運転席ドアのメモリー・ボタン1 または 2 (装備によっては: 助手席側ドア、後部ドア) を使用します。</p>	<p>人間工学に基づいた設定</p> <ul style="list-style-type: none"> - 運転席メモリー・パッケージ: 運転席シート、外部ミラー - コンフォート・メモリー・パッケージ: 運転席シート、助手席シート、後部席シート (装備による)、外部ミラー、ステアリング・ホイール 	▷ p. 203
<p>運転席ドアのキーボタン を介したキー上。</p>	<p>人間工学に基づいた設定</p> <ul style="list-style-type: none"> - 運転席メモリー・パッケージ: 運転席シート、外部ミラー - コンフォート・メモリー・パッケージ: 運転席シート、外部ミラー、ステアリング・ホイール <p>コンフォート設定 (コンフォート・メモリー・パッケージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> - ライト、フロント・ワイパー、エアコン、セントラル・ロック <p>設定は運転席ドアのキー・ボタン およびキーに保存されます。</p>	▷ p. 203

パーソナル設定の保存と呼び出し



注意

シート、ミラー、およびステアリング・ホイールの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫される恐れがあります。

- ▶ メモリー・ボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押し、必要に応じて設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。


運転者キーへの設定の保存

運転席ドアの運転席キー・ボタンを押す

✓ イグニッションがONのとき

1. SET ボタンを押してください。

ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

2. 10秒以内にキー・ボタン を押してください。

人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定 (運転者キーに固有) が保存されます。保存されると確認音が鳴り、SET ボタンのLEDが消灯します。



インフォメーション

各メモリーの情報は最大で4本の運転者キーに保存することができます。運転者キーがもっとある場合は、最後に車両に登録されたキーのメモリー情報が適用されます。


キーから設定を呼び出す

車両ロック解除による自動呼び出し


- ▶ 車両をロック解除し、運転席ドアを開いてください。

使用中のキーから現在の設定が呼び出されません。

運転席ドアの運転席キー・ボタン を押す

- ▶ すべての設定が呼び出されるまで キー・ボタンを押し続けてください。

- または -

- ✓ イグニッションをOFFにしてください。
 - ✓ 運転席ドアが開いている
 - ▶ キー・ボタン を短く押してください。
- 使用中のキーから現在の設定が呼び出されません。

メモリー・ボタン1、2または3への設定の保存

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリー・ボタン1と2に割り当てることができます。

助手席シートとリヤ・シートの設定は、助手席ドアまたはリヤ・ドアのボタン1、2および3に個別に割り当てることができます。

あ

✓ イグニッションをONにする

1. SET ボタンを押してください。

ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

2. 該当するメモリー・ボタン1、2または3を10秒以内に押してください。

設定が保存されます。

か

さ

保存されると確認音が鳴り(運転席ドアのみ)、SET ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

た

メモリー・ボタン1、2または3による設定の呼び出し

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリー・ボタン1と2を使って呼び出すことができます。助手席シートとリヤ・シートの設定は、助手席ドアまたはリヤ・ドアのボタン1、2および3を使って呼び出すことができます。

な

は

▶ すべての設定が呼び出されるまで該当するメモリー・ボタン1,2または3を押し続けてください。

-または-

ま

✓ イグニッションをOFFにしてください。

✓ 運転席のドア、助手席ドアまたは該当するリヤ・ドアが開かれました。

や

▶ 該当するメモリー・ボタン1、2または3を短く押してください。

設定が自動的に呼び出されます。

ら

わ

A-Z

ヒューズ

▲ 警告

ショート

車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス・ケーブルの端子を外してください。

▲ 警告

不適切な処置および
不適切なアクセサ
リー

ヒューズボックスへの不適切な処置、または不適切なアクセサリーの使用は、電気/電子回路に損傷や不具合を発生させる恐れがあります。

- ▶ ここでリストされるヒューズを除いていかなる電気部品も(例えばリレー)置き換えることを試みないでください。
- ▶ 有資格者のいる修理工場にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ボルシェ社によって認証されアクセサリーのみを使用してください。認定アクセサリーに関する情報: ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

点検およびヒューズの交換

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。

ラゲッジ・コンパートメントの進行方向右側にヒューズ・ボックスが1個あります。さらに2個のヒューズ・ボックスが運転席側、助手席側両方のダッシュボード端部にあります。装備によって、更なるヒューズボックスが、専門修理工場のみがアクセス可能な車両の様々な位置にあります。

ヒューズ定格

色		電流定格
■	薄茶色	5 A
■	茶色	7.5 A
■	赤色	10 A
■	青色	15 A
■	黄色	20 A
■	白色 / 透明	25 A
■	緑	30 A
■	青緑色	35 A

点検およびヒューズの交換

ヒューズ・スロットの番号付けは、印刷されているかまたはヒューズ・キャリアの、または、それ上のカバーの中で、内側にエンボス加工されています。割り当てられていないヒューズ・スロットは、以下の概要にリストされません。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品をOFFにしてください。
 2. ヒューズ・ボックス・カバーを開いてください。
 3. プラスチック製のヒューズ・リムーバーを使用して、慎重にヒューズを抜き取ってください。必要に応じてヒューズを交換してください。
 4. ヒューズを点検するため、黄色のプラスチック製ヒューズ・リムーバー (図 127) を使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
 5. 新しいヒューズを差し込んでください。交換ヒューズは、それが置き換えているものと同じ定格電流を有しなければなりません。
 6. 紫のプラスチック片を元の位置にはめてください。
- 同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。
- ▶ 有資格者のいる修理工場にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ダッシュボードのヒューズ・ボックスを開ける

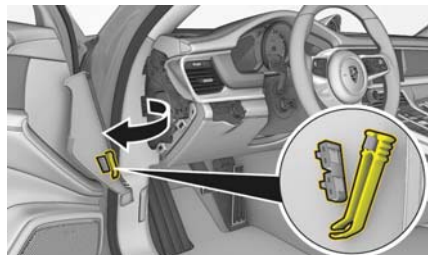


図 127：運転席側のヒューズ・ボックス

- ▶ 適切なもの（ドライバーなど）を使用して、プラスチック・カバーを慎重にこじって取り外してください。

運転席側

番号	負荷
2	インストルメント・クラスター
3	ステアリング・コラム・ロック
4	オンボード診断 (OBD)
5	右ハンドル: アナログ時計
6	リヤ・センター・コンソールの操作
7	ステアリング・コラム・スイッチ ステアリング・ホイール・ヒーター
8	リヤのタッチ・ディスプレイ
9	ステアリング・ホイールの電動調節

番号	負荷
10	ロシア: ERA-Glonass
11	フロント・センター・コンソールの操作
12	エレクトリック・パーキング・ブレーキ・スイッチ ライト・スイッチ

助手席側

番号	負荷
2	PCM
4	補助オーディオ / ビデオ接続ユニット
5	左ハンドル: アナログ時計
6	ロシア: ERA-Glonass
8	エアコン・コントロール・ユニット
9	ダッシュボードのタッチ・ディスプレイ

足元のヒューズ・ボックスを開く

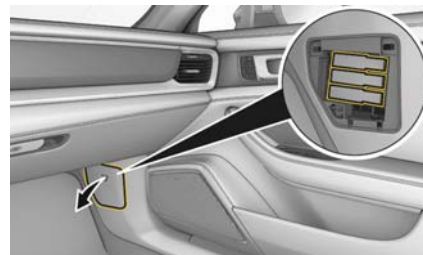


図 128：助手席足元のヒューズ・ボックス

- ▶ 穴に指を入れて、カバーを外してください。

B列

番号	負荷
1	クーラント・ポンプ・リレー
3	E-Hybrid パワー・エレクトロニクス
5	E-Hybrid バッテリー制御
6	E-Hybrid E-エンジン
6	スイッチ・パネル
7	酸素センサー
8	ホーン

番号	負荷
9	BCMコントロール・ユニット
10	電気ソケット
11	スマートフォン・トレイ、フロント

C列

番号	負荷
1	シート・ベンチレーション、フロント・シート
2	シート・ベンチレーション、リヤ・シート
3	イオン化装置、日射センサー
4	PSMコントロール・ユニット
5	ロシア: ERA-Glonass
6	電気トリック・ブレーキ・ブースタ
7	画像処理コントロール・ユニット
8	ヘッドライト・エレクトロニクス
9	サウンド・アクチュエータ・コントロール・ユニット
10	エアコン・システム

番号	負荷
11	ナイト・ビュー・アシスト・コントロール・ユニット
12	PVTSコントロール・ユニット

エンジン・コンパートメントのヒューズ・ボックス・カバーを開く



図 129: エンジン・コンパートメントのヒューズ・ボックス

1. ラゲッジ・コンパートメントの進行方向右側にあるプラスチック・カバーをはずす
2. 必要に応じて適切な道具 (ドライバーなど) を使って、ヒューズ・ボックス・カバーを慎重に開けて取り外してください。

A列

番号	負荷
1	ガソリン・エンジン: イグニッション・コイル ディーゼル・エンジン*: 高圧ポンプ・コントロール・バルブ
2	エンジン・電気トリック
3	タンク漏れ自己診断
4	ディーゼル・エンジン*: エンジン・コントロール・システム、酸素センサー
5	E-Hybrid タンク漏れ検出 ディーゼル・エンジン*: システム・コントロール・ユニットの予熱
6	エンジン・電気トリック
7	ディーゼル・エンジン*: ウォーター・ポンプ (補助ヒーター)
8	ディーゼル・エンジン*: 大流量センサー
9	ラジエーター・ファン、冷却ルーバ
10	排気システム・フラップ

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ	番号	負荷	番号	負荷
	11	ガソリン・エンジン: シリンダー・カットオフ	9	エンジン取付、サーモスタット、タンク換気、エンジン制御
か	B列		11	フューエル・ポンプ・コントロール・ユニット
さ	番号	負荷		
た	1	ガソリン・エンジン: エンジン制御システム ディーゼル・エンジン*: 酸素センサー		
な	2	ブレーキ・ライト・スイッチ		
は	7	エンジン制御システム		
ま	8	クーラント追い込みポンプ		
や				
ら				
わ				
A-Z				

ブレーキ

エレクトリック・パーキング・ブレーキ

エレクトリック・パーキング・ブレーキは、後輪に作用し、静止しているときの車両を固定に使用されます。



図 130: エレクトリック・パーキング・ブレーキを
作動させる

パーキング・ブレーキを作動させる

- ▶ スイッチを引きます ②。
スイッチ上のインジケータ・ライトとブレーキ警告灯 ① が点灯します。

警告灯およびインジケータ・ライトに関するインフォメーション:

- ▶ 「インストルメント・クラスター」の章 (41ページ) を参照してください。

手でパーキング・ブレーキを解除します

- ✓ イグニッションがONのとき
- 1. ブレーキ・ペダルを踏んでください。
- 2. ボタンを押します ②。
ブレーキ警告灯 ① が消灯します。

パーキング・ブレーキの自動解除

- ✓ エンジン作動 / 車両の作動準備が完了している (E-Hybrid 車両)。
- ✓ 運転席ドアが開いている。
- ✓ 運転席シート・ベルトを着用している、または作動モード **D**、**R** または **M** が選択されている。

パーキング・ブレーキをかけたままでも通常のように発進することができます。エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。

これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック・パーキング・ブレーキが自動解除されません。

インストルメント・クラスターにメッセージが表示されます。ブレーキ警告灯 ① およびスイッチのインジケータ・ライトが ② 点滅します。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章 (90ページ) を参照してください。

パーキング・ブレーキの自動ロック

- ✓ 停車しているとき
 - ✓ 作動モード **D**、**R**、または **M** が選択されている。
 - ✓ 運転席ドアが開いている。
 - ✓ 運転席シート・ベルトを着用している。
- エレクトリック・パーキング・ブレーキが自動的に入ります。
- スイッチのインジケータ・ライト ② とインストルメント・パネルのブレーキ警告灯 ① が点灯します。

警告灯およびインジケータ・ライトに関するインフォメーション:

- ▶ 「インストルメント・クラスター」の章 (41ページ) を参照してください。

i インフォメーション

エレクトリック・パーキング・ブレーキの自動係合が手動解除により中断された場合、再びドアを開けたか、運転席のシートベルトが外された場合のみ、機能は利用可能になります。

緊急ブレーキ機能を作動させる

▲ 警告 急激な減速

緊急ブレーキは非常に高い制動力を生じます。これは、後続の交通を危険にさらし、車両の制御を失う可能性があります。

- ▶ 緊急時のみ緊急ブレーキ機能を使用します。
- ▶ 通常運転時には緊急ブレーキ機能は使用しません。

通常のブレーキが故障した場合には、車両を十分に減速させ、エレクトリック・パーキング・ブレーキを使用して停止させます。

- ▶ ボタン ② を引いて、引いたままにします。
ブレーキ警告灯 ① とスイッチのインジケータ・ランプ ② がフラッシュします。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を無効にするには、ボタンを解放します ②。

警告シンボルへの対応

エレクトリック・パーキングブレーキが、静止した車両に完全に適用できなかった場合は、スイッチのインジケーター・ランプ (C) とブレーキ警告灯 (D) がフラッシュします。

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章 (90ページ) を参照してください。

フット・ブレーキ



警告

ペダル操作の妨げ

不適当なまたは誤って敷かれたフロアマットや他の障害は、ペダルの動きを制限したり、ペダルの動作を妨げます。

- ▷ フロアマットや他の障害が、ペダルの動きを妨げないように確認します。



警告

ブレーキ・ブースターの機能停止

ブレーキ・ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンOFF時やブレーキ・ブースターの負圧が低下している場合は、ブレーキ・ペダルを踏み込むときに強い力が必要になります。

- ▷ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▷ 「けん引」の章 (75ページ) を参照してください。



警告

ブレーキ・ディスクに付着した水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があ

ります。

- ▶ 前方の車両からより大きな制動距離をとり、周期的にブレーキを踏んでブレーキを乾かす事が大切です。常に背後の交通に影響を与えないことを確認します。



警告

制動力の低下

凍結防止剤 (塩分) が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなる可能性があります。

車両を長期に渡り駐車したまま放置した場合、ブレーキ・ディスクの腐食は避けられません。その結果、ブレーキは「引きずり」が発生します。

- ▶ ブレーキ・ディスクの腐食を避けるため、「ブレーキを乾燥させてから」駐車してください (Porscheセラミック・コンポジット・ブレーキ装備車を除く)。
- ▶ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ボルシェ正規販売店でブレーキ・システムを点検してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 急斜面でのブレーキ・システムを使いすぎないために、適切な時に低いギアにシフトします (エンジン・ブレーキ効果)。斜面上のエンジン・ブレーキの効果が多分でない場合には、適当な間隔でフット・ブレーキを使用します。連続的制動は、ブレーキのオーバーヒートを引き起こすおそ

れがあり、ブレーキの有効性が損なわれます。

ブレーキ・フルードとブレーキ液レベルをチェックに関する情報:

- ▷ 「ブレーキ・フルード」の章 (212ページ) を参照してください。

ブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスク

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

高性能ブレーキシステムは、すべての速度および温度で可能な限り最高の制動効果を保証するよう設計されています。

制動ノイズが、速度、制動力、周囲条件 (例えば、温度、湿度) に応じて、発生することがあります。

警告シンボルへの対応

ブレーキ・パッドが摩耗限度に達すると、警告シンボルが表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章 (90ページ) を参照してください。
- ▶ ブレーキパッドはすぐに交換しましたか。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

Porscheセラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)

高性能ブレーキシステムは、すべての速度および温度で可能な限り最高の制動効果を保証するよう設計されています。

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクなどのブレーキ・システムの様々な構成要素の摩耗は、主に、個々の運転スタイルと使用条件に依存し、したがって、走行距離で表すことはできません。

Porscheによって引用された値は、一般的な交通条件に沿った通常の使用に基づいています。車両がレース・トラックで使用されたり、ドライビング・スタイルが激しい場合、摩耗は大幅に増加します。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ブレーキ・フルード

- ▶ 「エンジン・コンパートメント・フィルター開口」の章（25ページ）を参照してください。



図 131：ブレーキ・フルード・コンテナー

警告シンボルへの対応

ブレーキ・フルード・レベルが低すぎる場合は、**(D)**シンボルが、インストルメント・パネルに表示され、メッセージがマルチ・ファンクション・ディスプレイに表示されます。警告灯が点灯し、ペダルにより多くの力が必要になった場合、これはブレーキ・システムの故障を示すことがあります。

- ▶ 安全なところで、すぐに停止して、運転を止めてください。
- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具

や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。

ブレーキ液量の点検

- ▶ ブレーキ液タンクのブレーキ液量を読み取ってください。フルード液量は常に**MIN**マークと**MAX**の間に維持されなければなりません。
- ▶ ブレーキ液量が**MIN**マークより下にある場合は、ブレーキ液を補充してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキ・フルードの交換

ブレーキ・フルードは、定期的にチェックし、サービスの一部として交換します。

- ▶ 「安全性とドライビング・プレジャー」の章（4ページ）を参照してください。

フロント・ワイパー

概要 - フロント・ワイパー

この概要説明は、「フロント・ワイパー」に記載されている完全な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 132：フロント・ワイパー操作レバー

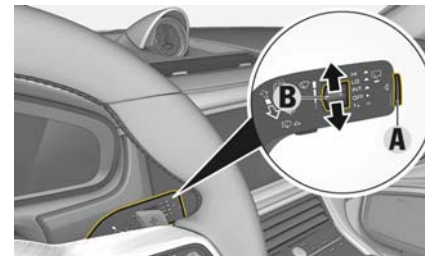


図 133：リヤ・ワイパーのスイッチ (A) およびレイン・センサー感度のスイッチ (B)

希望する操作	その操作方法は？	操作場所
フロント・ワイパー自動作動 (レイン・センサー作動)	▶ 操作レバーを 1 の位置にしてください。	▶ p. 214
レイン・センサー感度の設定	▶ 操作レバー B を上方向 (作動回数が増える) または下方向 (作動回数が減る) に押してください。	▶ p. 215
フロント・ワイパー作動	▶ 低速：操作レバーを 2 の位置にしてください。 ▶ 高速：操作レバーを 3 の位置にしてください。 ▶ ワンタッチ：操作レバーを 4 の位置に押ししてください (4 の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。	▶ p. 214
フロント・ワイパー & ウォッシャー作動	▶ 操作レバーをステアリング・ホイール方向 5 に引いて、保持してください。	▶ p. 214
リヤ・ワイパー (間欠作動)	▶ ボタン A を押しってください。	▶ p. 216

希望する操作	その操作方法は？	操作場所
リヤ・ワイパー (ワンタッチ)	▶ ボタン A を短く 2 回続けて押してください。	▶ p.216
フロント・ワイパーを立てる アイス/サン・シールドの装着およびワイパー・ブレードの交換	▶ イグニッションを OFF にして、ワイパー操作レバーを下方向 4 に 1 回押してください。フロント・ワイパーが上方に約 4° 移動します。	▶ p.216

警告

ワイパーの不意の作動

レイン・センサー・モードでは、フロント・ウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイパー作動を行います。

- ▶ 不意に作動することのないよう、フロント・ウィンドウを清掃する前に必ずワイパーを OFF にしてください。

知識

ボンネット、フロント・ガラス、およびワイパー・システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ フロント・ガラスが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はガラスの擦り傷の原因になります。
- ▶ ワイパー・ブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロント・ガラスから剥がしてください。
- ▶ 凍結時はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ (レイン・センサー機能により) 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント・ワイパーを OFF にして

ください。

- ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。
- ▶ フロント・ワイパーの長さの違いに注意してください。
- ▶ ボンネットを開く前に、必ずフロント・ワイパーを OFF (ワイパー・レバーを 0 の位置) にしてください。イグニッション・スイッチが OFF で、ワイパー・アームが停止位置にない場合、ボンネットを開くとワイパーアームが停止します。エンジン・コンパートメント・リッドを閉じ、ワイパーシステムを OFF にしてから再度 ON にするまで、この位置が保持されます。

フロント・ワイパーの操作



図 134：フロント・ワイパー操作レバー

0 - フロント・ワイパー OFF

フロント・ワイパーまたはイグニッションを OFF にすると、ワイパー・アームが通常位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパー・ブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。

1 - レイン・センサーの作動 (フロント・ワイパー)

- ▶ ワイパー・レバーを 1 段目の位置まで上方向に押してください。

2 - ワイパー低速作動

- ▶ ワイパー・レバーを 2 段目の位置まで上方向に押してください。

3-ワイパー高速作動

- ▶ ワイパー・レバーを3段目の位置まで上方向に押ししてください。

4-フロント・ワイパーのワンタッチ機能

- ▶ ワイパー操作レバーを下方向に短く押ししてください。
フロント・ワイパーが1回作動します。
- ▶ ワイパー操作レバーを下方向に押し続けてください。
フロント・ワイパーは高速で作動します。

5-フロント・ワイパーおよびウォッシャー・システム

- ▶ ワイパー・レバーをステアリング・ホイールの方向に引いてください。
レバーを手前に引いている間、ウォッシャー・システムとワイパーが作動します。ワイパー操作レバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。フロント・ウィンドウ・ワイパーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。

i インフォメーション

噴霧される水の量は、走行速度およびワイパー軸がどれくらい作動するかに依存しません。

i インフォメーション

- ▶ フロントガラスがひどく汚れている場合は、洗浄を繰り返してください。
- ▶ 頑固な汚れ（昆虫の死骸など）は定期的に清掃してください。

車両のお手入れに関するインフォメーション:

- ▶ 「お手入れ」の章（275ページ）を参照してください。
良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパー・ブレードが不可欠です。
- ▶ 「フロント・ウィンドウ・ワイパーの手入れ」の章（276ページ）を参照してください。

レイン・センサー作動の調節

レイン・センサーが作動すると、フロント・ウィンドウに付着する水滴の量を検知します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。
フロント・ワイパーを ON にしている（ワイパー操作レバーが2の位置）ときに速度が約4 km/h 以下になると、レイン・センサーは自動的に作動します。速度が約12 km/h を超えると、ワイパーの動きがレバーで設定した速さに復帰します。

i インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、ワイパー・レバーが既に1の位置にあった場合、速度が約4km/h (2.5 mph) を超えたとでレイン・センサーは作動します。
- イグニッションをONにしたときに、すでにワイパー・レバーが2または3の位置にある場合、フロント・ワイパーはワイパー・レバーを操作しなければ作動しません。

レイン・センサー感度の手動調節 感度を高くする

- ▶ スイッチ B を上方向に押しってください。
フロント・ワイパーが1回ワイブ作動を行い、感度が切り替わったことを知らせます。

感度を低くする

- ▶ スイッチ B を下方向に押しってください。

ヘッドライト・クリーニング・システムを操作する



図 135: ヘッドライト・クリーニング・システムのボタン (C)

- ✓ ロー/ハイ・ビームが作動している
- ▶ ワイパー操作レバーの下側のボタン C を押しってください。

i インフォメーション

フロント・ウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。ロー・ビームを消灯すると、フロント・ウィンドウ・ウォッシャーの作動回数カウントがリセットされ、再度ゼロからカウントします。

リアワイパーの操作



図 136: リア・ウィンドウ・ワイパー用のボタン (A) およびインジケーター・ライト (D)

リアワイパーの間欠作動をONにする

- ▶ ボタン A を押してください。操作レバー上のインジケーター・ライト D が点灯します。

リアワイパーの間欠作動をOFFにする

- ▶ ボタン A を押してください。操作レバー上のインジケーター・ライト D が消灯します。

i インフォメーション

フロント・ワイパーが作動しているときにリバース (後退) ギヤを選択すると、リアワイパーが自動的に作動します。PCM でこの機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

- ▶ 車両 ▶ 制御 ▶ 車両 ▶ ライトと視界

ワイパー・ブレード

知識

ワイパー・アームが不意に倒れるとフロント・ウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。

知識

フロント・ワイパーは低温で凍結することがあります。

- ▶ 走行する前にフロント・ワイパーの凍結を溶かしてください。

知識

不適切な清掃をすると、フロント・ウィンドウ・ワイパーのグラフィイト層が損傷する恐れがあります。

れがあります。

- ▶ 高圧洗浄水をワイパー・ブレードに向けて直接噴射しないでください。
- ▶ ワイパー・ブレードは布やスポンジで清掃しないでください。
- ▶ ワイパー・ブレードは必ずきれいな水で洗浄してください。

ワイパー・ブレードの交換

ワイパー・ブレードは1年に2回 (冬季の前) またはワイパーの払拭性能が低下したときや、ワイパー・ブレードが損傷した場合に交換してください。

知識

ワイパー・ブレードを交換したときに、ブレードが確実に取り付けられていないと、走行中に緩むことがあります。

- ▶ ワイパー・ブレードは、ワイパー・アームに正しく固定されていなければなりません。
- ▶ ワイパー・ブレードが正しく取り付けられているか点検してください。

ワイパーを展開する

✓ イグニッションがOFFになっている

1. ワイパー操作レバーを下方に1回押ししてください (位置 (図 134) 4)。フロント・ワイパーが上方に約4° 移動します。
2. ワイパー・ブレードの交換は、ワイパー・ブレードに付属の取扱説明書を参照してください。ワイパー・ブレードを交換する場合は、左右でワイパー・ブレードの長さが異なるので注意してください。

ワイパーを格納する

- ✓ イグニッションをONにする
- ▶ ワイパー・レバーを下方方向に約1秒間押してください（図134）（位置4）。
フロント・ワイパーは通常の位置に戻ります。

i インフォメーション

必要な場合は、有資格者のいる修理工場に交換作業を依頼してください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ボイスコントロール



警告

正常に機能しない音声認識

声はストレスの多い状況で変化することがあります。そのため特定の状況下では、電話接続の要求が認識されずに失敗したり、接続に時間を要してしまう場合があります。

- ▶ 緊急時はボイス・コントロールを使用しないでください。
- ▶ タッチ・ディスプレイから緊急電話番号をダイヤルしてください。

数多くのナビゲーション、メディアおよび電話機能を、ボイス・コマンドで起動することができます。車両機能およびエアコンの設定は、ボイス・コマンドでは操作できません。ボイス・コントロールは話者に適し、最初の会話から学習を開始します。ボイスコントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。

i インフォメーション

Porsche Communication Management の操作に関する情報 (PCM):

- ▶ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネジメント (PCM)」の章 (224ページ) を参照してください。

ボイスコントロールの呼び出し

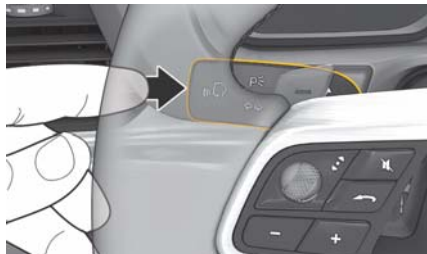





図 137: コントロール・レバーのボイス・コントロール・ボタン

ボイスコントロールの作動


- ✓ イグニッションがONになっている
- ✓ 電話を使用していない状態にする
- ✓ パークアシストを使用していない

1. コントロール・レバー (図 137) の  を短く押してください。
起動音が鳴り、ボイス・コントロールのシンボル  が PCM に表示されます。
2. ボイス・コマンドを発話してください。

ボイスコントロールを無効にする

- ✓ ボイス・コントロールが作動している
- ▶ コントロール・レバー (図 137) の  を押してください。
終了音が鳴ります。

ボイス・コントロール・ボタンのその他の機能

コントロール・レバーの  (図 137) ボタンは、アプリケーションに応じて様々な機能を起動します。

- 短く押すと、案内の次のパートにスキップします。
- 短く押すと、現在の会話を中断します。
- 長押しすると、Siri® ボイス・コントロール・システムが起動します。
- ▶ 「Siri® を有効にする」の章 (281ページ) を参照してください。



インフォメーション

- 対話中は、ナビゲーション案内および交通情報が中断されます。
- ボイスコントロールが有効のとき、リスト項目をボイスコントロール、ロータリー・プッシュ・ボタン、またはタッチスクリーンによって選択することができます。
- 発話されたボイス・コマンドが理解できない場合、または意味が解釈できなかった場合、ボイスコントロールは **もう一度お願いします** と応答するので、再度ボイス・コマンドを繰り返してください。2回目以降は PCM が操作を支援します。

ボイス・コントロールを用いたコミュニケーション時の注意

ボイス・コントロールを使用する際は、以下の点に注意してください:

- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。
- 高速走行時は少し大きな声で発話してください。
- 長い間をおかずにむらなくボイス・コマンドを強調してください。
- ボイスコントロールがアナウンスをしているときは発話しないでください。

- ドア、ウインドウ、スライディング・ルーフを閉じ、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ハンズフリー・マイクはドライバー側に向いているため、ボイス・コマンドを発するのはドライバーだけにしてください。

ボイス・コントロールの調節


1. 車両  ▶ 制御  ▶ システム ▶ ボイスコントロール

2. 以下から希望の設定を選択してください。


- ショートダイアログ: 音声応答には短いアナウンスが伴います。
- ヘルプテキスト: 発話可能なコマンドが表示されます。

ボイス・コマンドの発話

3種類のボイス・コマンドがあります:

- グローバル・ボイス・コマンドは、いつでも使用することができます。例えば、ナビ  メイン・メニューが表示されてい

て、ボイス・コマンド「ラジオ放送局XY」と発話すると、その放送局が呼び出されます。

- 一般ボイス・コマンドは会話中いつでも発話することが可能です。
 - 新規項目
 - 修正: 例えば、電話番号をいくつかのブロックに分けて発話した場合(0711 911 など)、このボイス・コマンドは最後に発話したブロックを取り消します。
 - 一時停止: ボイス・コントロールを一時停止します(メッセージを口述するときなど)。ボイスコントロールは、最大5分間一時停止できます。この時間が経過すると、会話は自動的に終了します。
 - ヘルプ: 使用可能なボイス・コマンドを示す入力支援が表示されます。ボイス・コマンドは、 アイコンを選択することによっても表示できます。
 - キャンセル
- 対話関連ボイス・コマンドは、PCMとの会話が始まるとすぐに必要になりま

す。例えば、行1、次のページ、前のページ、はい、いいえです。

音声でリストを使用する

リストをブラウズする

- ▶ リストを前/後にスクロールするには、次のページ/前のページと発話してください。
 - または -
 - タッチ・ディスプレイまたはロータリー・プッシュ・ボタンによってリスト内を移動します。

リスト項目の発話

ダッシュボードのタッチ・ディスプレイで青色の印の付いているリスト項目および行番号を発話できます。

- ▶ ボイス・コマンド行1と発声してください。

ラジオのボイス・コマンド

希望する操作	どのように発話するのか?	知識
受信範囲を切り替える	チューナー 例: FM/AM/TV (設定 / スイッチ ON)	
放送局を選択する	放送局を選択する	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。

あ	希望する操作	どのように発話するのか？	知識
か	現在受信が可能な放送局を選局する	放送局 例: 放送局 XY (スイッチ ON)	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
	周波数の入力	周波数 例: 91.1XY (再生)	必要な場合は、周波数の直接選択により、受信範囲が変更されます。

メディアのボイス・コマンド

た	希望する操作	どのように発話するのか？	知識
な	メディア・ソースを変更	再生 例: ディスク /SD カード /USB/AUX/ ジュークボックス /Bluetooth/DVDチェンジャー	
	アーティスト / アルバム / トラック / ジャンルを選択する	アーティストを再生 例: Allan Taylor アルバムを再生 例: Songs for the Road トラックを再生 例: Let the Music Flow ジャンルを再生 例: ロック	有効なメディア・ソース内にあるアーティスト / アルバム / トラック / ジャンルのみを発話することができます。
は	現在再生している曲と類似の音楽を選択する	類似の曲を再生	

電話のボイス・コマンド

- ✓ 電話は PCM に接続されています。
- ▷ 「電話」の章（181ページ）を参照してください。

ら	希望する操作	どのように発話するのか？	知識
わ	リダイヤル機能を開く	リダイヤル	
	電話番号を入力する	番号をダイヤル	次のステップで、システムが電話番号を尋ねます。
A-Z	ボイスメールに電話する	ボイスメールに電話する	

希望する操作	どのように発話するのか？	知識
連絡先に発信する	連絡先にダイヤル / 電話帳を表示	次のステップで、システムが連絡先の名前を尋ねます。
通話履歴を呼び出す	通話履歴 / 不在着信 / 着信 / 発信番号	ボイス・コマンドは、選択または通話が可能な項目から通話履歴全般を表示します。
保存されている連絡先に発信する	電話 例: 山田 (プライベート / 職場 / メイン)	連絡先が1つ以上の場合、このコマンドにより会話が開始します。名、姓、またはその両方を発話することができます。特定の電話番号を選択することも可能です。
Eメール / テキスト・メッセージを読み上げる	(新しい) Eメール / (新しい) テキスト・メッセージを読む	✓ 接続された携帯電話は Bluetooth® メッセージ・アクセス・プロファイルに対応しており、データ接続が確立されています。

ナビゲーションのボイス・コマンド

希望する操作	どのように発話するのか？	知識
新しい目的地を入力する	例えば、ルート案内 ロンドン、 Downing 街 10 番地 / 住所を入力 / 新しい目的地を入力	ルート案内を一言で、または少しずつ発話することによってナビゲートできます。
コンシェルジュ・サービスの開始	コンシェルジュ	
最終目的地を選択してください	最新の目的地/保存した目的地	
目的地として自宅/職場を選択する	自宅へ帰る/職場へ行く	保存されている住所へのナビゲーションが開始されます。
目的地または施設情報を検索する	検索 (施設情報) 例えば、ポルシェ・サービス	ブランド名や施設情報のカテゴリーを発話することができます (例えば、検索 施設情報 空港)。
目的地をオンライン検索する	オンライン検索/インターネット検索	✓ データ接続が確立されています。 言語および市場によっては、このサービスを利用できない場合があります。

あ	希望する操作	どのように発話するのか？	知識
か			150ページの「データ接続の確立」の章を参照してください。
さ	都道府県 / 市区町村を選択する	都道府県 / 市区町村を入力	
た	レストラン/休憩所/トイレ/ガソリンスタンドを検索する	次の レストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリンスタンド	付近にある各検索項目を表示します。
な	ルート案内を開始/終了する	ルート案内を開始 / 終了する	
は	残りの燃料を計算する	走行可能距離 / 残りの距離 / タンク情報	
ま	到着時間を要求する	予定到着時間 / 到着時間	✓ ルート案内を開始している

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ボルシェ・カー・コネクト*

スマートフォン・アプリケーション「ボルシェ・カー・コネクト」を使用して、移動通信システムを利用して車両に接続することが可能です。これにより、車両の情報をスマートフォン経由で直接読み取ることが可能になり、アプリを使用して選択した設定を車両で実行することが可能になります。

ボルシェ・カー・コネクト・アプリケーションのインストール、機能および管理に関する詳細情報はwww.porsche.com/connectまたはボルシェ正規販売店から入手できます。

車両とアプリケーション間の通信の停止

PCMでお客様の車両とボルシェ・カー・コネクト・アプリ間の通信を無効にすることができます。

- ▷ 「ボルシェ・カー・コネクトに関する一般インフォメーション」の章（143ページ）を参照してください。



警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリケーションを使用すると、運転に対する注意力が低下することがあります。運転操作を誤る危険があります。

- ▶ 操作、設定の変更は必ず車両を停止させてから行ってください。



インフォメーション

Porsche Car Connect アプリを使用すると車両固有データおよびその他の機能にアクセスすることができます。第三者による不正なアクセスを防いで、このデータを保護することが推奨されています。



インフォメーション

Porsche Car Connect アプリを使用すると、モバイル通信ネットワークでデータが送信されるため、ご利用のサービス・プロバイダーから追加料金を請求される場合があります。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)

概要 - PCM

この概要説明は、本項に記載された完全な情報に代わるものではありません。


操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。







図 138 : PCM ロータリー・プッシュ・ボタンおよびボリューム・スイッチ



図 139 : タッチ・ディスプレイ・エリア

希望する操作	その操作方法は？	操作場所
PCM を ON にする	▶ イグニッションを ON にするか、ボリューム・スイッチ B を押してください。	
PCM を OFF にする	▶ イグニッションを OFF にするか、ボリューム・スイッチ B を押し続けてください。	
音量を調節する	▶ ボリューム・スイッチ B を回してください。ミュート: ボリューム・スイッチ B を短く押してください。	
メイン・メニューおよびサブ・メニューの内容を使用する	▶ メニュー・エリア C およびインタラクション・エリア E を使用します。	▶ p.
検索機能およびオプション、ディスプレイ接続、ステータス・シンボル、戻る機能を使用する	▶ ステータス・エリア D を使用します。	▶ p.
ホーム画面を開く	▶ ステータス・エリア D  を選択します。	▶ p.

希望する操作	その操作方法は？	操作場所
情報ウィジェットを開いて使用する	▶ 全てのメニュー中の情報ウィジェット F を開いて使用します。	▷ p.
ホーム画面および情報ウィジェットを設定する	▶  ▶ オプション  ▶ ホームを設定 / インフォウィジェットを設定する	▷ p.
システムおよび車両設定を変更する	▶ 車両  ▶ 制御 	▷ p. 141

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ダッシュボードのタッチ・ディスプレイ

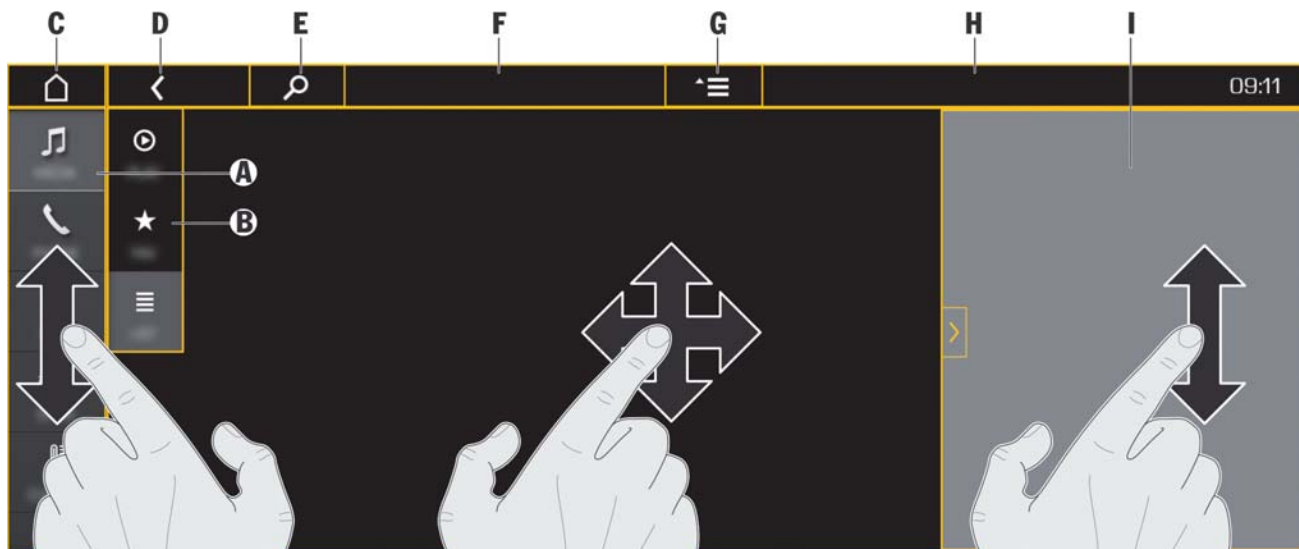


図 140：ダッシュボードのタッチディスプレイ・コントロール

A - メイン・メニュー

イに近づくと、メイン・メニューが表示されます。

B - サブ・メニュー

設定によっては、サブ・メニューは非表示になっており、操作者の手がタッチディスプレイ

に近づくと、「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。

C - ホーム画面

工場出荷時に設定された機能および個別に設定された機能が表示されます。

D - 戻る

E - コンテキスト依存検索

F - クイック選択機能付きのヘッドライン


例えば、選択したメディア・ソースが表示されます。タップすると、クイック選択が開きます。

G - 各メニュー項目のオプションおよびショート・オプション (重要設定)。

H - 接続およびステータス・シンボル

各種の機能および温度や時間などが表示されます。タップすると、クイック選択が開きます。

I - 情報ウィジェット

開くと、 工場出荷時に設定された機能および個別に設定された機能が表示されます。情報ウィジェットは上下にスワイプすると変わります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

リヤのタッチディスプレイ

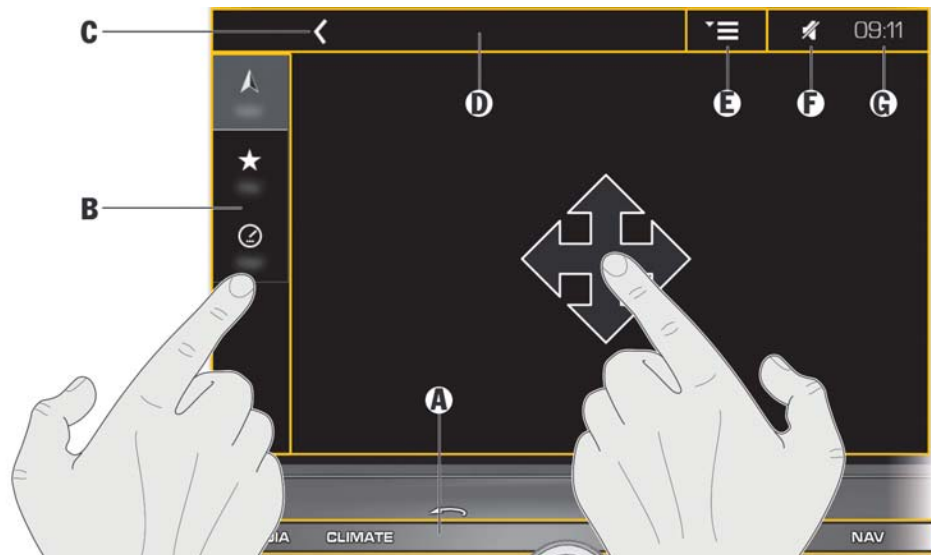


図 141 : リヤのタッチディスプレイ・コントロール

A - メイン・メニュー

B - サブ・メニュー

C - 戻る

D - ヘッドライン

例えば、選択したメディア・ソースが表示されます。タップすると、クイック選択が開きます。

E - 各メニュー項目のオプション

F - ボリューム・コントロール

G - 時刻または温度ディスプレイ

操作に関する重要なインフォメーション

ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) はセントラル・コントロール・ユニットです。バッテリーを保護するため、

PCMはイグニッションをOFFにしてから数分経過すると自動的にOFFになります。安全の理由で、車両が固定されているときしか使用できない機能も一部あります。



警告

運転中の設定と操作

運転中にマルチファンクション・ステアリング・ホイールやインフォテインメント・センターなどの設定と操作を行うと、運転から注意がそらされる可能性があります。運転操作

を誤る危険があります。

- ▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。
- ▶ 安全を確保できない場合は、車両を適切な場所に停車してから複雑な操作を行い、設定を行うのは停車中だけに行ってください。

タッチディスプレイの操作

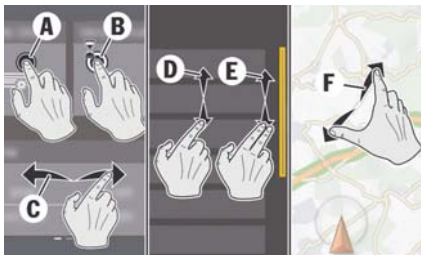


図 142：タッチディスプレイの操作

A - タッチ (選択)

タッチディスプレイを指で素早くタップしてください。Example: 機能を選択する、またはボックスをチェックする/チェックを外す。

B - 長押し

タッチディスプレイを指で長くタッチしてください。Example: メディア・メイン・メニューで放送局を保存します。

C - 左右にスワイプ

タッチディスプレイを指で長くタッチしてください。Example: メディア・メイン・メニューで放送局を保存します。

D - 上下にスワイプ (スクロールおよび切り替え)

タッチディスプレイを指で上下にスワイプしてください。Example: 手動でリストを探す、または情報ウィジェットを切替えます。

E - 上下にスワイプ (切り替え)

タッチ・スクリーンを2本の指で上下にスワイプしてください。Example: 特定のメイン・メニュー項目を切り替えるために、この操作を行います。

F - ズーム

2本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めてください。タッチディスプレイを2回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。

ロータリー・プッシュ・ボタンの操作




図 143：ロータリー・プッシュ・ボタンの操作


1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリー・プッシュ・ボタンを回してください。
2. ハイライトされた機能を有効にするには、ロータリー・プッシュ・ボタンを押してください。

メニューを開く

メイン・メニューを開く

- ▶ センター・コンソールのボタン (例: **NAV**) またはタッチ・ディスプレイのボタン (例: ナビ ) を押してください。

サブ・メニューの呼び出し


- ▶ タッチ・ディスプレイのボタン (例: マップ ) を押してください。

有効な機能の設定を開く

✓ 希望するメニューが選択されました。

- ▶ **E** オプションを選択してください。該当するメニューの設定および他の機能が表示されます。

時刻または温度ディスプレイの設定

- ▶ ヘッドラインの時刻  または温度を選択して、ディスプレイを調節します。

PCM およびディスプレイの明るさを調節するには:

- ▶ 「車両設定」の章 (141ページ) を参照してください。

テキストおよび文字を入力する

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要があるときは、入力フィールドが表示されます。PCM では、キーボード言語をひらがな、カタカナ、ローマ字、または漢字に設定できます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▶ 「車両設定の概要」の章 (141ページ) を参照してください。



図 144 : タッチ・ディスプレイ・キーボード

- A 現在のカーソル位置
- B 文字、数字および特殊文字の入力の切り替え
- C キーボードの表示/非表示
- D 手書き文字認識機能 (タッチ・ディスプレイを使用してアルファベットや文字を入力する)
- E スペースを挿入する
- F 入力を決断する
- G 入力データを削除する
- H 結果リスト

テキストおよび文字を入力するために、様々な方法があります。



キーボードによる入力

1. 入力フィールドを選択します。
タッチ・ディスプレイ・キーボードが表示されます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。

ロータリー・プッシュ・ボタンによる入力

1. 希望のアルファベットや文字がハイライト

されるまで、ロータリー・プッシュ・ボタン (図 143) を回します。


2. ロータリー・プッシュ・ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。
3. ボタン  を使用して、文字入力フィールドから結果リストにジャンプします。
4. ボタン  を使用して、結果リストから入力フィールドにジャンプします。

手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。



図 145 : 手書き入力

1.  をクリックして手書き入力を開きます。
2. 指で希望のテキストや文字を書いてください。
3. スペースを入れるには、左から右に指でスワイプしてください。
4. 入力データを削除するには、右から左に指でスワイプしてください。

ボイス入力での入力

ボイスコントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例: 電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。

- ▶ 「ボイスコントロール」の章 (218ページ) を参照してください。

各種ドライブと外部接続機器に関する諸注意

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション:

- ▶ 「ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)」の章 (303ページ) を参照してください。
- 記憶媒体に多くのファイル、フォルダまたはプレイリストが含まれている場合、最初にトラックを読み込むのに時間がかかる場合があります。
 - オーディオ・ファイルの再生時は、保存された追加情報 (アーティスト、トラック、アルバム・カバーなど) が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、Gracenote® データベースを利用します。¹です。それでも個々の追加情報が表示されない場合があります。
 - USB延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
 - USBハブには対応していません。
 - ボルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。
 - 外気温が異常に高いまたは低いときは、一時的にCD/DVDが再生できなくなる場合があります。CD/DVDおよびスキャン・

1. Gracenote® は、米国またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標

レーザーを保護するために、熱保護回路が搭載されています。

- PCMは、コピー・プロテクト機能付きのCD/DVDまたは規格に準拠していないCD/DVDを再生できない場合があります。

グローブ・ボックス内のドライブの使用

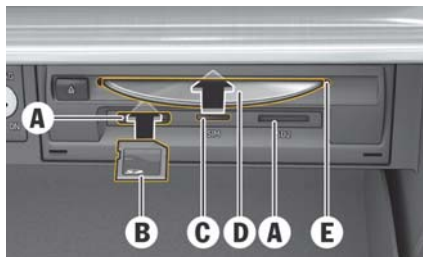


図 146 : PCMドライブ

- A SDカード・リーダー
- B SDカード
- C SIMカード・リーダー
- D CD/DVD
- E CD/DVDスロット



注意

怪我をする恐れがあります。

ハウジングが開いている場合や損傷した場合は、目に見えないレーザーが照射される危険があります。PCMはクラス1レーザー製品です。

- ▶ ハウジングを分解しないでください。メンテナンス作業が必要になった場合は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。

SDカードを挿入する

知識

SDカードを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

SDカード・アダプターを使用すると、振動によりSDカードがアダプターから外れてSDカードやアダプターがSDカード・リーダーに詰まる恐れがあります。

- ▶ SDカード・アダプターは使用しないでください。

1. SDカードBのラベル面を上にして、SDカード・リーダー1または2A(図)にカチッと音がするまで差し込みます。
2. **SOURCE** ボタンを押して、希望のメディア・ソースを選択します。

SDカードの取り出し

- ▶ 挿入されているSDカードB(図)を押して、SDカードを取り出します。

CD/DVDを挿入する


知識

CD/DVDを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

- ▶ 直径12cmの丸型、標準タイプのCD/DVDのみを使用してください。
- ▶ CD/DVDに触れるときは、必ず端を持ってください。ラベルのない面を手で触れないでください。
- ▶ CD/DVDへの汚れの付着を避け、必要な場合には清掃してください。
- ▶ CD/DVDには何も貼り付けしないでください。
- ▶ CD/DVDを変形させないでください。
- ▶ CD/DVDをドライブに無理に押し込んだり、取り出したりしないでください。

1. CD/DVD Dのラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまでスロットE(図)に押し込みます。
2. **SOURCE** ボタンを押して、希望のメディア・ソースを選択します。

CD/DVDを取り出す

- ▶  ボタンを押して、CD/DVDを取り出します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

SIMカードの挿入および取り出し

▷ (150ページの図 90)

ラゲッジ・コンパートメント内のDVDチェンジャーの使用

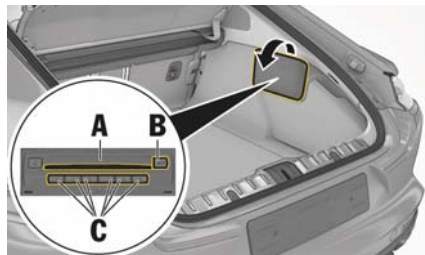


図 147 : DVD チェンジャー

- A CD/DVDスロット
- B CD/DVDロード・ボタン
- C CD/DVDポジション・ボタン

⚠ 注意

怪我をする恐れがあります。

ハウジングが開いている場合や損傷した場合は、目に見えないレーザーが照射される危険があります。PCMはクラス1レーザー製品です。

- ▶ ハウジングを分解しないでください。メンテナンス作業が必要になった場合は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。

CD/DVDの挿入およびロード

知識

CD/DVDを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

- ▶ 直径12cmの丸型、標準タイプのCD/DVDのみを使用してください。
- ▶ CD/DVDに触れるときは、必ず端を持ってください。ラベルのない面を手で触れないでください。
- ▶ CD/DVDへの汚れの付着を避け、必要な場合には清掃してください。
- ▶ CD/DVDには何も貼り付けしないでください。
- ▶ CD/DVDを変形させないでください。
- ▶ CD/DVDをドライブに無理に押し込んだり、取り出したりしないでください。

1. CD/DVDロード・ボタンB (図 147) を押してください。
CD/DVDのロードの準備ができれば、CD/DVDスロットAのインジケータ・ライトが緑色に点滅します。CD/DVDチェンジャーの準備ができていない場合、CD/DVDスロットAのインジケータ・ライトは赤色に点灯します。
2. CD/DVDのラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまでCD/DVDスロットAに挿入してください。
CD/DVDが自動的に最初のポジションにロードされます。該当するポジション・ボタンCのインジケータ・ライトが点滅します。
-または-
CD/DVDを特定のポジションにロードするには、該当するポジション・ボタンCを押し、CD/DVDをCD/DVDスロットAに押し込んでください。

CD/DVDを取り出す

1. **▲** ボタンを押してください。
2. 取り出したいCD/DVDのボタンを押してください。
3. CD/DVDを取り出します。
4. すべてのCD/DVDを取り出すには、ボタン**▲**を約3秒間押し続けてください。

外部機器をUSBまたはAUXを介して接続する



図 148 : センター・コンソールのUSBおよびユニバーサル・オーディオ (AUX) ポート

1. センター・アームレストを開いてください。
 2. 外部機器 (iPod® や USB フラッシュ・ドライブなど) をUSBまたはオーディオ (AUX) ポートに接続してください。
 3. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディア・ソースを選択します。
 4. 外部機器およびPCMの音量を必要に応じて調節してください。
- リア・センター・コンソールにもさらにUSBポートがあります。USBポートおよび

Apple® CarPlay の機能に関するインフォメーション:

- ▶ 「Apple® CarPlay」の章 (281ページ) を参照してください。

PCM でマニュアルを開く

✓ 停止しているとき

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ マニュアル

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ボルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM)

PSMは、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブ・コントロール・システムです。エンジンが始動すると自動的に有効になります。PSMは、アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)とエンジン・ドラッグ・トルク・コントロール・システム(MSR)の機能と同様にオートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD)とアンチスリップ・コントロール(ASR)システムの両方を利用します。

警告

車両コントロールの喪失

PSMは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSMが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

- ▶ PSMを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

以下の条件でPSMコントロールの作動を知ることができます。

- インストルメント・クラスターのPSM警告灯が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえます。
- PSMがブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキ・ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。最大の制動力を得るため、

ブレーキ・ペダルに振動を感じたら更に強く踏み込んでください。

オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD)

いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

アンチ・スリップ・コントロール(ASR)

アンチ・スリップ・コントロールがエンジン出力を制御することで、ホイールのスリップを防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール(MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジン・ドラッグ・トルク・コントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

ステアリング・トルク・パルス

ステアリング・トルク・パルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかける場合に運転者のステアリング・アシストを行います。カウンター・ステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

PSMスポーツの作動

✓ スポーツ・クロノ・パッケージ装備車
PSMスポーツ・モードでは、システムが特定のスポーツ・モードに切り替わります。

警告

PSM サポート制限

PSMスポーツ・モードの場合、ABS制御の範囲外になるような過酷な走行状況ではPSMサポートが制限されます。

- ▶ 「通常」走行では常にPSMスポーツをOFFにすることをお勧めします。
- ▶ コラプシブル・スペア・ホイールを装着して走行している場合は、絶対にPSMスポーツを有効にしないでください。
- ▶ 警告ボタンを短く押してください(図 149)。
ボタンのインジケーター・ライトとPSM OFF 警告灯がインストルメント・クラスターで点灯します。
インストルメント・クラスターにPSMスポーツが作動していることを示すメッセージが表示されます。

PSMをOFFにする



図 149：センター・コンソールのPSM OFFボタン



警告

PSMアシストの停止

PSMをOFFにすると、ABS制御範囲外の厳しい走行状況でPSMサポートが行われません。

- ▶ 「通常」走行では常にPSMをオンにすることを推奨します。
- ▶ コラプシブル・スペア・ホイールを装着して走行している場合は、PSMをOFFにしないでください。

- ▶ ボタンを短く押してください(スポーツ・クロノ・パッケージ装備車: ボタンを2秒以上押してください)。

ボタンを押してから実際にPSMがOFFになるまでには、若干の遅れがあります。

ボタンのインジケーター・ライトとPSM OFF 警告灯 がインストルメント・クラスターで点灯します。

インストルメント・クラスターに PSM が作動しなくなったことを示すメッセージが表示されます。



インフォメーション

ABSコントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSMがOFFの状態でも車体は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSMをOFFにしている場合でもブレーキをかけて空転を抑制します。

ただし次の場合は、例外として一時的にPSMをOFFにすることが有効です：

- ぬかるんだ路面、または積雪が多い場合
- ぬかるみなどから脱出するとき。



インフォメーション

PSMスポーツ・モードが作動しているとき、PSMを事前にONにしていた場合のみPSM OFFモードへの切り替えが可能です。

PSMを再度ONにする

- ▶ ボタン を押してください。直ちにPSMが復帰します。
- ▶ インストルメント・クラスターの、ボタンのインジケーター・ライトと PSM OFF 警告灯 が消灯します。
- ▶ インストルメント・クラスターに PSM が作動していることを示すメッセージが表示されます。

警告シンボルへの対応

ABS警告灯に関する情報 :

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章 (90ページ) を参照してください。

ABSブレーキ・システム (アンチロック・ブレーキ・システム)



警告

車両コントロールの喪失

ABSは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABSが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールするこ

とはできません。

- ▶ ABS を過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

ABSの特徴：

- ステアリングの操作性の確保：安定したステアリング・コントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性：ホイール・ロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮：ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
- ホイール・ロックの回避：ホイールがロックしたときに生じるタイヤのフラット・スポットを回避できます。

機能

ABSが最も効果を発揮するのは、緊急回避が必要な状況でブレーキをかけたときです。このような状況下でABSは走行安定性を確保し、安定したステアリング・コントロール性を維持します。

ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までホイール・ロックを回避します。

ホイールがロックする傾向が見せた時ABSは作動し始めます。

このブレーキ・コントロールは、大変小刻みなポンピング・ブレーキをかけるのと同じような状態です。この脈動するブレーキペダルや振動音は、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。

最大制動力が必要な場合：

急ブレーキ操作が必要な場面では、ブレーキ・ペダルが振動してもしっかりとブレーキ・ペダルを踏み続けてください。ペダルを踏む力をゆるめないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

警告シンボルへの対応

ABS警告灯に関する情報 (☹) :

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章 (90ページ) を参照してください。

マルチコリジョン・ブレーキング

マルチコリジョン・ブレーキングは、事故が起こった際に自動的にブレーキをかけ、衝突後の車両の横滑りや多重事故のリスクを軽減し、ドライバーを補助します。

前提条件

マルチコリジョン・ブレーキングは以下の場合にのみ作動します:

- 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時。
- エアバッグ・コントロール・ユニットが事故の際に作動しきい値を検出したとき。
- 約 5 mph (10 km/h) より速い速度での事故。

i インフォメーション

事故の時にPSMや電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSMが自動的に油圧ブレーキを作動させ減速させます。

例外条件

以下の状況では、事故があっても自動的にブレーキは作動しません:

- ドライバーが強くアクセル・ペダルを踏んだとき。
- ドライバーがブレーキ・ペダルを踏み込んだときのブレーキ圧がシステムのブレーキ圧より高いとき。

ボンネット

ボンネットを開く

知識

ボンネットを開くとき、フロントガラス・ワイパーが前方へ折り畳まれていないと、ワイパーまたはボンネットを破損させる可能性があります。

- ▶ ボンネットを開くとき、フロントガラス・ワイパーが前方へ折り畳まれていないことを確認してください。
- ▶ ボンネットを開く前に、常にフロントガラス・ワイパーのスイッチを切ってください（位置0）のワイパー軸）。イグニッション・スイッチがOFFで、ワイパー・アームが停止位置にない場合、ボンネットを開くと自動的にワイパー・アームが停止位置まで移動します。
- ▶ ボンネットを閉じ、ワイパーをOFFにしてから再度ONにするまで、この位置が保持されます。
- ▶ 213ページの「フロント・ワイパー」の章を参照してください。



図 150：ボンネットのロックを解除する

1. 運転席ドアを開いてください。
2. リリースレバー（図 150）を引きます。



図 151：ボンネットを開く

3. ボンネットを少し持ち上げ、リリースレバー（図 151）を押します。
4. ボンネットを完全に開いてください。

ボンネットを閉じる

注意

重いボンネット

半分開いているボンネットを閉める場合、ボンネット自体の重量でロックします。

- ▶ ボンネットの可動部品（ヒンジ）の近くに物を置いたり、指を近づけないでください。
1. 半分開いている場合、半分開いているボンネットを落下させて、ロックします。必要な場合、ロック範囲で手のひらで押してボンネットを閉じてください。
 2. ボンネットが正確にロックされ、リリースレバーが最初の位置（図 150）に戻っていることを確認してください。
 - ▶ ボンネットが正しく閉じていない場合は、インストルメント・クラスターに警告メッセージが表示されます。ボンネットを再度開いて、ロック部に落としてロックしてください。必要に応じてロック周囲部分を手

のひらで押し、ボンネットを確実にロックしてください。

歩行者保護

フロントバンパーのセンサーは、乗客または同様の物体との衝突を検出します。その後、ボンネットの後部部分が、衝突の力を減少させるために飛び出ます。

注意

歩行者保護システムの解除

衝突後に歩行者保護装置が起動しない場合、システムが故障している可能性があります。

- ▶ 起動した場合でなくとも、歩行者保護装置システムを確認してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

歩行者保護装置が起動した後のボンネットの閉鎖。

歩行者保護装置が起動した場合、メッセージがインストルメント・クラスターに表示されません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。



図 152 : 歩行者保護

1. 各側面でボンネットの後部を下へ連続的に強く押し、ヒンジが作用するよう（図 152）にします。
2. ボンネットの後部部分を持ち上げて、正確に作用していることを確認してください。
3. 契機となった歩行者保護装置システムを交換してください。
 - ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

歩行者保護システムの故障

故障の場合には、警告メッセージがインストルメント・クラスタに表示されません。

- ▶ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章（90ページ）を参照してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具

や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

保管

荷物の収納

⚠ 警告

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

荷物を固定しなかったり不適切な位置に積載すると、ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

知識

収納ネットへの損傷のリスク。

- ▶ 収納ネット内には重たい荷物や大きな荷物を積載しないでください。

車両の装備仕様により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- グローブ・ボックス
- フロントおよびリアのカップ・ホルダー
- フロント・シートのバックレスト背面のマップ・ポケット
- リヤ・グラブ・ハンドルの衣類用フック
- ラゲッジ・コンパートメント・フロア下の収納スペース
- フロントおよびリア・アームレストの小物入れ
- フロントおよびリア・ドア・パネルの小物入れおよびボトル・ホルダー

- フロントおよびリア・センター・コンソールの小物入れ
- フロント・シート下の小物入れ

グローブ・ボックスの開閉

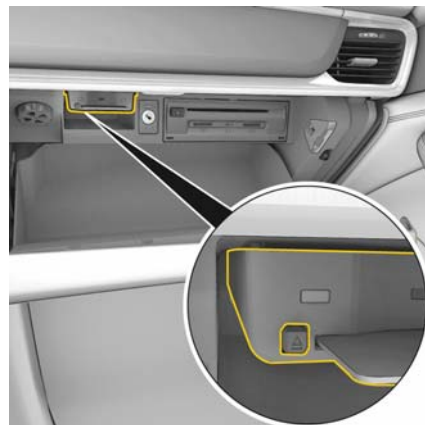
グローブ・ボックスを開く

- ▶ ハンドルを引っ張ります。
グローブ・ボックスは自動的に開きます。

グローブ・ボックスを閉じる

- ▶ 上から押してカバーを閉じてください。
グローブ・ボックスは、必要な場合には、エマージェンシー・キーを使用してロック/ロック解除ができます。

- ▶ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」の章（69ページ）を参照してください。
- グローブ・ボックスのクーラー機能に関するインフォメーション：
- ▶ 「グローブ・ボックスの冷却」の章（87ページ）を参照してください。



ETC 受信機

耐熱防音ガラスを装備した車両のフロント・ウィンドウの内側にETC 受信機を取り付けた場合、受信状態が制限され、作動に影響します。

- ▶ 受信状態を最適にするために、ETC受信機をフロント・ウィンドウの内側のマーク位置(図)に合わせて取り付けます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

アームレストの小物入れを開く

フロント・アームレストの小物入れを開く



図 153：フロント・アームレストの小物入れを開く

- ▶ アームレストのドライバー側にあるボタンを押します。
リッドは自動で開きます。

リア・アームレストの小物入れを開く

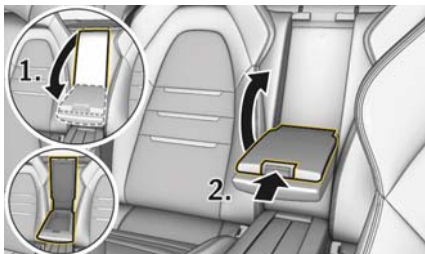


図 154：リア・アームレストの小物入れを開く

1. アームレストをたたみます。
2. ボタンを押してふたを開けます。

リア・センター・コンソールの小物入れを開く

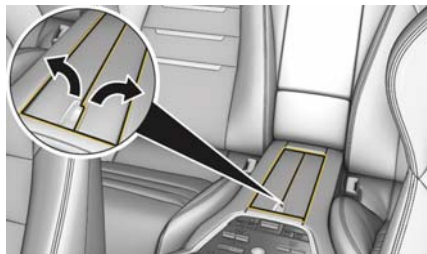


図 155：リア・センター・コンソールの小物入れを開く

- ▶ リッドを左右どちらかにハンドル・リセスでスライドさせてください。
リッドは自動で開きます。

格納式テーブルの使用

- ✓ Executive 車両



警告

ケガをする恐れがあります

格納式テーブルが開かれていると、ステアリング操作時や事故時にブレーキをかけた際に、怪我の原因になります。走行中に、テーブル上の物やテーブルの一部が飛び出してしまうことがあります。

- ▶ 走行中に格納式テーブルを開いたり、使用したりしないでください。



注意

火傷、挟み込み、締め付けの危険性

格納式テーブル上の荷物が重すぎると、テーブルが折れ、身体の一部が挟まれる、または締め付けられる恐れがあります。熱い飲

み物がこぼれると火傷をする場合があります。

- ▶ 10kg を越える物を格納式テーブルに置いてはいけません。
- ▶ 熱い飲み物を格納式テーブルに置かないでください。

知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- ▶ 中身がいっぱいに満たされた容器を格納式テーブルに置かないでください。



インフォメーション

格納式テーブルに載せられるのは、最大 10kg です。負荷がかかりすぎると格納式テーブルは下に折れますが、また閉じることができます。オーバーロード・プロテクションが 25 回作動したら、格納式テーブルは交換する必要があります。

格納式テーブルを開く

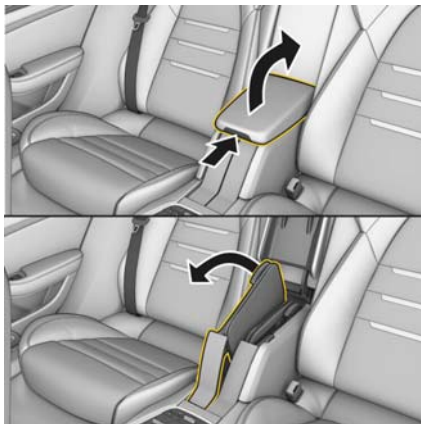


図 156：格納式テーブルを開く

1. ボタンを押し、リヤ・センター・コンソールを開きます。
2. 格納式テーブルを掴み、固定されるまで進行方向に向かって広げます。

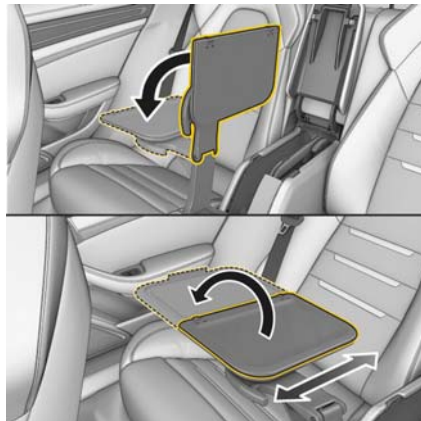


図 157：格納式テーブルの調整

1. テーブル・トップを開きます。開く際に、テーブル・トップを傷付けないようにしてください。
2. 必要に応じて、リヤ・センター・コンソールを閉じます。
 - ▶ テーブル・トップは縦横に動かすことができます。

格納式テーブルをしまう

- ▶ 格納式テーブルをしまうには、上記と逆の手順を実行します。しまう際に、格納式テーブルを下まで押してください。

ミラー

⚠ 警告

外部ミラーは周囲の状況が実際の状態から歪められた形で写るため、交通状況の判断を誤る可能性があります。

- 凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。
- ▶ 後続車との距離を判断するときや、駐車するときなどは、歪みを念頭に置いてください。
 - ▶ 距離の判断はルーム・ミラーと併用して行ってください。

⚠ 注意

電解液流出

- 破損したミラーから電解液が漏れ出すことがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。
- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
 - ▶ 必要に応じて医師の診察を受けてください。

知識

- 塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。
- 電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。
- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

知識

洗車機で洗車を行う場合にドア・ミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機を使用する前にドア・ミラーを格納してください。
- ▶ 電動ドア・ミラーの格納/復帰を手動で動かさないでください。

外部ミラーの使用

後方視野を広くするため、助手席側ミラーは凸面形、運転席側ミラーは非球面形になっています。

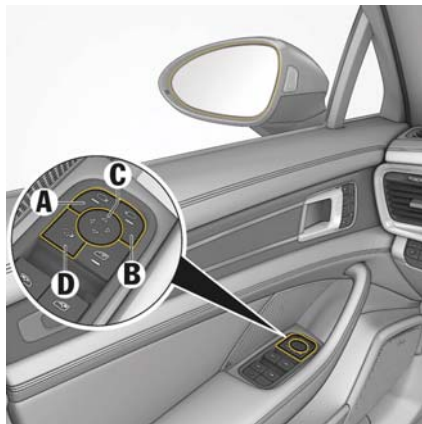


図 158: 外部・ミラー・コントロール・パネル

- A 外部・ミラーの選択 - 運転席側
- B 外部・ミラーの選択 - 助手席側
- C 外部・ミラーの調節
- D 外部・ミラーの格納/復帰

外部・ミラーの調節



図 159: 外部・ミラーの調節

- ✓ イグニッションを ON にするか
 - ✓ イグニッションを OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態 (最大 10 分以内)。
1. ボタン A または B を押して、希望するドア・ミラーを選択します。
選択したボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
 2. 調節ボタン C を操作して、外部・ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

電動格納機能が故障した場合

- ▶ ミラー表面を手で押して角度を調節してください。

外部・ミラーの格納/復帰

車内からのドア・ミラーの格納/展開

- ✓ 最高速度が約 50 km/h。

- ▶ ボタンDを押してください(図158)。ドア・ミラーが格納または復帰します。
- ▶ ドア・ミラーの格納または復帰を手動で行わないでください。

ドア・ミラーの自動的な格納/復帰

ロック時にドア・ミラーを格納する

- ▶ キーのボタンを少なくとも2秒間押し続けるか、運転席ドア・ハンドルの近接センサー(装備による)に少なくとも2秒間触れ続けてください。
- ドア・ミラーが格納されます。

ドア・ミラーの自動格納

- ✓ 機能が作動していること。
 - ▶ 「車両設定」の章(141ページ)を参照してください。
 - ▶ 車両をロックしてください。
- ドア・ミラーが格納されます。

ドア・ミラーの自動復帰

- ▶ ドアをロック解除してください。
- ドア・ミラーが復帰します。

インフォメーション

すでに手動でドア・ミラーを復帰してある場合は、車両ロックを解除しても自動的に元の位置に復帰しません。

駐車時の助手席ミラー・ガラス下向き自動切り替え

リバース(後退)ギヤを選択すると、助手席側ミラー・ガラスが自動的に少し下向きになり、助手席側の車体後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

ミラー・ガラスを自動で下向きにする

- ✓ イグニッションがONのとき
- ✓ 機能が作動していること。
- ▶ 「車両設定」の章(141ページ)を参照してください。

ミラー・ガラスを手動で下向きにする

1. ギヤをリバース(後退)に入れてください。
- 運転席外部・ミラーを調節するためのボタンAのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 助手席ドア・ミラーを調節するためのボタンBを押してください。
- 助手席のミラー・ガラスが下向きになります。

ミラー・ガラスの下向き角度の個別調整

- ▶ ボタンCを操作して、ドア・ミラー・ガラスの角度を希望の位置に調節してください。

ミラー・ガラスを通常位置に戻す

次の場合、ミラー・ガラスが通常位置に戻ります:

- リバース(後退)以外のギヤを選択してから一定時間が経過した後、または
- 速度が15km/h(9mph)以上になったとき。

手動操作で助手席のドア・ミラーを通常位置に戻す

- ▶ 運転席ドア・ミラーのボタンAを押してください。

ドア・ミラー設定の保存

ドア・ミラー設定の保存と呼び出しに関するインフォメーション:

- ▶ 「パーソナル設定」の章(202ページ)を参照してください。

自動防眩機能の使用

明るい光がルーム・ミラーに当たるとすぐに、ルーム・ミラーおよびドア・ミラーはそれぞれ自動的に暗い位置に変わります。リバース・ギヤに入れた場合、またはルーム・ライトが点灯している場合は、ミラーの自動防眩機能は作動しません。ルーム・ミラーに当たる光やフロント・ウィンドウを通してフロント・ライト・センサーに照射される光をさえぎらないようにしてください。

- ▶ ルーム・ミラーの前のフロント・ガラス、またはリア・ウインドウにはいかなるステッカーも添付しないでください。
- ▶ ラゲッジ・コンパートメント・カバーの上に物を置いたまま運搬しないでください。
- ▶ ラゲッジ・コンパートメントに荷物を安全に格納して、ラゲッジ・コンパートメントのふたを閉じてください。

メディア

概要説明 - メディア

この概要説明は詳細を網羅した情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。

Porsche Communication Management の操作に関する情報 (PCM):

- ▶ 「ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)」の章 (224ページ) を参照してください。

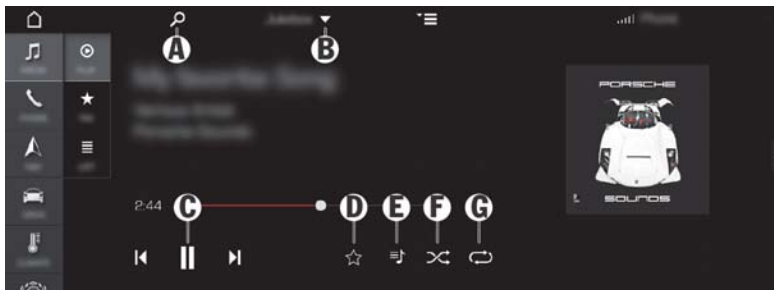


図 160 : メディアの再生

希望する操作	その操作方法は？	操作場所
メディア・ソースを読み込む	<ul style="list-style-type: none"> - CD/DVD を挿入してください。 - メディア・コンテンツをジュークボックス (内部メモリー) にインポートしてください。 - SDカードを挿入してください。 - 外部機器をUSBまたはAUX経由で接続してください。 - 外部デバイスをBluetooth®経由で接続してください。 - Porsche Connect App でオンライン・ラジオ・サービスを呼び出してください。 	▶ p.
メディア・ソース / 受信範囲を選択してください。	▶ メディア ▶ 再生 ▶ メディア・ソースを呼び出す (Bを参照) ▶ メディア・ソースを選択する (例:FM または Jukebox)。	
放送局 / トラック / アルバムを探す (検索結果は現在選択されているメディア・ソースに関連したものです)	▶ メディア ▶ メディア・ソースを呼び出す (Aを参照) ▶ 希望の放送局 / トラックを入力します。	
音楽を再生 / 一時停止する	▶ メディア ▶ 再生 ▶ または を選択します (Cを参照)。	

希望する操作	その操作方法は？	操作場所
次 / 前の放送局 / トラックを再生する	▶ メディア ▶ 再生 ▶ または を選択します。	
放送局 / トラック / アルバムのお気に入りを保存する	▶ メディア ▶ (D を参照)	▶ p.
放送局 / トラックのリストを表示する	▶ メディア ▶ リスト 選択したメディア・ソースに応じて、プレイリスト、アーティストなどのサブフォルダを利用できます。	
周波数帯または番号を入力して放送局を選局する	▶ メディア ▶ チューン ▶ または を選択します。	

メディアの再生

利用できるラジオおよびメディア・ソース

ラジオは、AM および FM の周波数帯をサポートしています。

車両の装備仕様により、次のメディア・ソースを利用できます。CD/DVD ドライブ、CD/DVD チェンジャー、TV、ジュークボックス、SD カード、または USB、AUX、Bluetooth® 経由の外部デバイス、オンライン・メディア・サービス

サポートされているメディアとファイル形式の詳細については：

- ▶ 「ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)」の章 (303 ページ) を参照してください。

メディア再生中のその他の機能

概要説明の機能に加え、以下の機能を利用できます。

- ✓ メディア ▶ 再生 が選択されています。

- ▶ ランダム再生を有効にする: を選択します (F (図) を参照)。

- ▶ トラックをもう一度再生する: を選択します (G (図) を参照)。

- ▶ 類似の音楽を提案する: **Play More Like This** を選択します。

- ▶ 現在の再生リストを表示する: を選択します (E (図) を参照)。

お気に入りの保存および編集

お気に入りの保存

1. メディア ▶ お気に入り
2. 新しいトラック・エリアから希望する放送局 / 曲を選択して、ドラッグ & ドロップでお気に入りエリアに移動させます。

お気に入りを整理する

1. メディア ▶ お気に入り
2. 希望する放送局 / 曲を選択して、ドラッグ & ドロップで希望する場所に移動させます。

お気に入りの削除

1. メディア ▶ お気に入り
2. 希望する放送局 / 曲を選択して、ドラッグ & ドロップでお気に入りエリアから上に移動させます。
- または -
お気に入りエリアから以前保存したお気に入りを削除するには、アイコン を選択します (利用可能な場合)。

ジュークボックスの使用

USB フラッシュ・ドライブまたは SD カードのオーディオおよびビデオ・ファイルをジュー

クボックスにインポートすることができます。

オーディオ / ビデオ・ファイルのインポート

✓ メディア・ソース (SD など) が選択されています。

1. メディア ▶ オプション ▶ Jukebox に音楽をインポート

2. 現在のトラックをコピーまたは現在のアルバムをコピーを選択してください。

▶ 選択したメディア・ソースからすべてのファイルをインポートするには、全てをインポートを選択してください。

記憶容量 (空き領域 / 使用領域) を表示する

✓ メディア・ソース Jukebox が選択されています。

1. メディア ▶ オプション ▶ メディア設定

2. Jukebox 詳細を選択してください。

オーディオ / ビデオ・ファイルの消去

✓ メディア・ソース Jukebox が選択されています。

1. メディア ▶ オプション ▶ 消去

2. 現在のトラックを消去または現在のアルバムを削除を選択してください。

▶ ジュークボックスのすべてのファイルを消去するには、すべてを消去を選択してください。

プログラムガイドの呼び出し

プログラムガイドを表示する

✓ メディア・ソース TV が選択されています。

▶ メディア ▶ リスト ▶ オプション ▶ プログラムガイド (EPG) デジタル・プログラムの情報が表示されます。

プログラムガイド内を移動する

✓ プログラムガイドが表示されます。

▶ 矢印ボタンを操作して、ページ内を移動します。

▶ 黄色でマーキングされた番組情報の詳細を表示するには、OK を選択します。

▶ 番組プレビューを表示するには、-24 / +24 を選択します。

▶ 表示を拡大 / 縮小するには、 を選択します。

メディア設定の変更

▶ メディア ▶ オプション ▶ 希望の設定を選択します。

チャイルド・ロック

✓ ディスクまたは TV がメディア・ソースとして選択されています。

1. メディア ▶ オプション ▶ チャイルドロック

2. 再生を制限するには、パスワードを入力し、OK を選択して確認します (デフォルトのパスワード: 1234)。

3. 安全レベルを選択してください。安全レベルの設定が必要ない場合は、レベル 0 を選択してください。

4. 新規パスワードは、パスコードを変更を介して、チャイルド・ロック用に設定できます。

チャイルド・ロックのパスワードを間違って3回入力した場合:

▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。




ライト

ライトの概要

この概要は、包括的説明の代わりではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全に関する指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 161：ライト・コントロール・パネル

希望する操作？	その操作方法は？	どこで？
自動ヘッドライトのスイッチをONにする	▶ ボタン  AUTO を押してください。 オートマチック・ヘッドライトと Porsche Dynamic Light System (PDLS/PDLS Plus) が ON になっています。	▶ p. 248
駐車灯のスイッチをONにする	▶ ボタン  を押してください。 ライセンス・ライト、インストルメント・ライト、パーキング・ライトが点灯します。	-
前照灯のスイッチをONにする	✓ イグニッションをONにする ▶ ボタン  を押してください。 ロー・ビームが ON になっています。オートマチック・ヘッドライト、デイトタイム・ドライビング・ライトおよび Porsche Dynamic Light System (PDLS/PDLS Plus) が OFF になっています。	-

あ

か

さ

た

な

は




ま

や

ら

わ

A-Z

希望する操作？	その操作方法は？	どこで？
リヤフォグライトのスイッチをONにする	▶ ボタン  を押してください。	-
外部ライトを完全にOFFにする	▶ ボタン  を約2秒押してください。 ボタン  のインジケーター・ライトが消灯します。エクステリア・ライトは、10 km/h 以下または 100 m 以下の走行のときには完全に消灯したままです。	▶ p.248


オートマチック・ヘッドライト/エクステリア・ライトのONとOFFを切り替える

▲ 警告 無灯火での走行

ライトを点灯しないで走行するとドライバーの視界を著しく制限するのみでなく、他のドライバーの視認性を大きく妨げます。


- ▶ オートマチック・ヘッドライトを注意深くモニターして、必要ならば手動で前照灯のスイッチを入れてください。
- ▶ 前照灯で運転する際の各国固有の法規を遵守してください。

オートマチック・ヘッドライトをONにします。

- ▶ ボタン  を押してください。オートマチック・ヘッドライトがONになっています。

以下のいずれかの状況で前照灯のスイッチは自動的にONになります：

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時



前照灯のスイッチがONの場合、インストルメント・クラスタ上の表示灯  がつきます。

i インフォメーション

オートマチック・ヘッドライトは、霧を感じしません。

- ▶ 霧の場合には、前照灯と後部フォグライトのスイッチを手動で入れてください。

エクステリア・ライトを完全にOFFにします

- ▶ ボタン  を約2秒押してください。ボタン  のインジケーター・ライトが消灯します。

自動ライトのスイッチは、以下の状況(国による)で再び入れられます：

- 10km/hの速度から
- エクステリア・ライトのスイッチを切った後に、100m以上の距離を走行した場合

雨天時の機能

継続的なワイパー操作が検出される場合、前照灯のスイッチは自動的に入れられます。ワイパーが休止した場合、前照灯はOFFに切り替えられます。

i インフォメーション

気温と湿度により、車両のエクステリア・ライトが曇ることがあります。十分な距離を走行することで、この曇りは取れます。

オートマチック・カミング・ホーム・ライトの調整

- ✓ オートマチック・ヘッドライトが点灯しています。

暗闇での視界が改善され、車両からの乗り降りができるように、以下のライトのスイッチは一定期間ONのままです。

- デイタイム・ドライビング・ライト*
- 折り畳まれた外部ミラーのドア車内灯
- 前部と後部のサイド・マーカー・ライト
- ライセンス・ライト

ウェルカム・ホーム機能（遅延消灯）

車両がロックされている場合、遅延消灯の間、ライトのスイッチをONのままにします。

▶ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。

エントリー/イグジット機能

車両がロックされていない場合、設定された遅延消灯の間、車両周辺の領域が照らされます。以下の場合は、ライトが消灯します：

- イグニッションがONになっている。
- オートマチック・ヘッドライトのスイッチOFF

▶ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム（PDLS）

- ✓ PDLS を含む LED ヘッドライト。
- ✓ オートマチック・ヘッドライトが点灯しています。

スタティック・コーナーリング・ライト

最大130km/hの速度で、ハンドルを回転させると、静的コーナーリング・ライトのスイッチをONにします。

スタティック・コーナーリング・ライトは、方向指示灯を作動させるときに、速度が約40km/h以下で走行した場合にも点灯します（国別仕様による）。

ダイナミック・コーナーリング・ライト

約5km/hの速度以上で、前照灯またはハイビーム・ヘッドライトは、車両の速度とハンドルが向けられる範囲に応じて、道路をより明確に照らすために曲がる方向に回転します。

状況ライト配光

国によって、状況ライトコントロールは、都市、田舎道、または高速道路ドライブに対する前照灯またはハイビーム・ヘッドライトのライト配光に適應されます。

悪天候ライト

後部フォグライトのスイッチがONになった場合、前照灯の配光が、約60km/h未満の速度で変わります。ライトビームは広がり、眩しさが低減します。

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス（PDLS Plus）

- ✓ PDLS Plus を含むLEDマトリックスヘッドライト。
- ✓ オートマチック・ヘッドライトが点灯しています。

PDLS Plus 機能も含PDLS されます。

▶ 「ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム（PDLS）」の章（249ページ）を参照してください。

ジャンクション・ライト*

ナビゲーション・データが交差点と合流点を検出して、ライト配光を修正し、これらを照らします。

ダイナミック・ハイ・ビーム

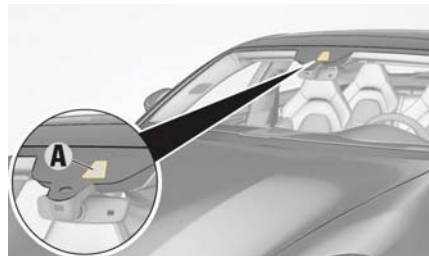


図 162：フロントガラス・カメラ

内部ミラー近くのカメラ A、光源と他の道路使用者を検出できます（図 162）。他の車両の位置、速度、および他の環境状況と交通条件に依存して、ハイビーム・ヘッドライトのそれぞれのLEDセグメントは有効化または無効化されます。車両前方の領域のビームは下方を向きますが、残りはハイのままです。他の道路使用者を眩しくすることなく、最適な効力を保証します。ダイナミック・ハイ・ビームは、ナビゲーション・データに応じて30km/hから60km/hの間で点灯します。カメラが街路灯を検出すると、ハイ・ビームもロー・ビームに切り替わります。



警告

ダイナミック・ハイ・ビームを使用し
て運転する際の注意

ダイナミック・ハイ・ビームを過信せず、走行時の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じてハイ・ビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。次のような場合に

- は手動での設定が必要になることがあります:
- 悪天候 (雨水、霧、雪、氷、多量の水しぶきなど)
 - 対向車を確認しにくい道路 (高速道路など)
 - 明るさが弱いライトの他車 (自転車など) が走行している場合
 - 狭いカーブ、尾根部、または窪地
 - 明かりが少ない市街地
 - 光を強く反射する物体 (看板など) がある道路
 - フロント・ウィンドウのカメラの視界が曇り、汚れ、凍結、またはステッカーで覆われている
 - ▶ 十分注意して運転してください。
 - ▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
 - ▶ 必要な場合、ライト、視界条件、および交通条件に手動でハイビームを調整してください。
-
- i** **インフォメーション**
- 検出挙動を妨害しないようにすること:
- ▶ ルーム・ミラーのカメラの視界をステッカーなどで遮らないでください。
 - ▶ カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。
-
- パッシング・ライト**
- ✓ 対向車なし。
 - ✓ 前走車あり。
 - ▶ 運転中に追い越す場合、方向指示灯を動作させてください。
- 前走者の横のエリアが明るく照らされず、走行する道が見やすくなります。

方向指示灯が解除された場合または対向車が検出されると、パッシング・ライトは再び自動で消灯します。

検知ライト

- ✓ 前走車なし。
 - ✓ ヘッドライトを点灯した対向車の検出。
- 走行中のレーンが明るく照らされるように、配光特性が素早く変わります。走行中のレーンの進行方向がはっきりします。対向車のドライバーの幻惑を軽減します。

標識の眩しさの軽減

- ✓ ダイナミック・ハイ・ビームが ON になっています。
- 反射式の交通標識や他の標識の眩しさによって (特にハイ・ビームを使用して運転する際) ドライバーが幻惑する場合があります。標識の眩しさ軽減機能により、適切に、そして素早く車両のロー・ビームまたはハイ・ビーム・ヘッドライトの各 LED セグメントが防眩されます。ドライバーの、反射式の交通標識や他の標識による幻惑を軽減します。

方向指示灯/ハイ・ビーム・レバーの操作

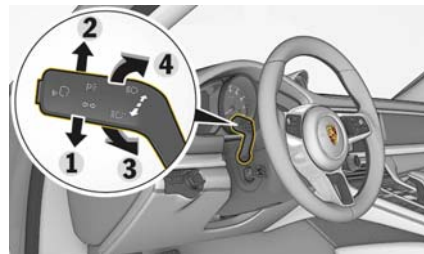


図 163: 方向指示灯、ハイビーム、およびヘッドライト自動点滅器の操作

- 1 方向指示灯/左駐車灯
- 2 方向指示灯/右駐車灯
- 3 ハイビーム/動的ハイビーム
- 4 ヘッドライト・パッシング

方向指示灯の操作

- ▶ 圧点 1 または 2 を越し、操作レバーを押します。ハンドルを回すとき、手動または自動で操作レバーがホームポジションに戻るまで、方向指示灯はアクティブなままです。

コンフォート方向指示器


- ▶ 圧点 1 または 2 に操作レバーを再度押します。
- 方向指示灯が3回点滅します。
- ▶ コンフォート方向指示を中断するためには、反対方向に操作レバーを押します。

ハイビーム・ヘッドライトのONとOFFの切り替え


- ✓ されていない車両 PDL5 Plus
- または -

LEDマトリックスハイビームアシスト非アクティブに調整

ONにする

- ▶ 圧点 3 に操作レバーを再度押します
表示灯  がつきます。



OFFにする

- ▶ 圧点 4 に操作レバーを再度押します。
表示灯  が消えます。


ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止

- ✓ PDLs Plus 装備車。
- ✓ オートマチック・ヘッドライトが点灯しています。
- ✓ LEDマトリックスハイビームアシスト調整が作動。
- ▶ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。

作動：


- ▶ 操作レバーを 3 段階目まで 1 回動かしてください。
インジケーター・ライト  が点灯します。他の車両の位置やスピードなど様々な要素に応じて、ハイ・ビーム・ヘッドライトの各 LED セグメントの ON/OFF を切り替えることができます。ハイ・ビームの一時的な点灯時または完全な点灯時には、インジケーター・ライト  が点灯します。

停止する


- ▶ 操作レバーを 4 段階目まで 1 回動かしてください。
インジケーター・ライト  が点灯している場合にのみ、ダイナミック・ハイ・ビームを解除できます。

ダイナミック・ハイ・ビームの条件が満たされなかった場合、ハイ・ビーム・ヘッドライトは手動操作で点灯および消灯できます。


手動で点灯する

- ▶ 操作レバーを 3 段階目まで 2 回動かしてください。
インジケーター・ライト  が点灯します。

手動で消灯する

- ▶ 操作レバーを 4 段階目まで 1 回動かしてください。
インジケーター・ライト  が消灯します。

ヘッドライト・パッシングを作動する

- ▶ 圧点 4 に操作レバーを再度短く押します。
表示灯  が短くつきます。

パーキング・ライトの点灯/消灯

- ✓ イグニッションをOFFにします
- ▶ 圧点 2 または 1 を越し、操作レバーを押して、左または右の駐車灯のスイッチをそれぞれONにします。
駐車灯がオンの場合、点火のスイッチが切られた後、メッセージがインストルメント・クラスタに表示され、ドアが開きます。

ハザード・ライトのON/OFF

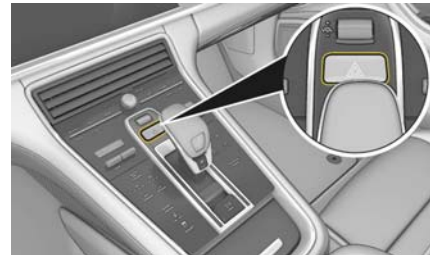


図 164：ハザード・ライトのON/OFF

ハザード・ライトのON/OFF

- ▶ センター・コンソールのハザード・ライト・ボタンを押してください。
すべての方向指示灯とボタンがフラッシュします。

非常ブレーキ後のハザード警告ライトの解除

- 約 70km/h 以上での走行中、停車するまで急ブレーキをかけるとハザード・ライトが自動的に作動します。ブレーキをかけるとブレーキ・ライトが点滅します。
- ▶ センター・コンソールのボタンを押して、ハザード・ライトを停止させてください。
車両が再び移動し始めると、危険警報灯が解除されます。

事故後のハザード・ライト

衝突時、エアバッグが作動するとハザード・ライトが自動的に作動します。

海外モードの起動

車両通行帯（右側通行または左側通行）が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトの配光特性を調節する必要があります。これにより

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ロー・ビームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。

ライト配光の適応は、通常はナビゲーション・データに基づいて自動的に行われます。変換後は、点火スイッチが入るたびに、メッセージがインストルメント・クラスタに表示されます。

変換が自動的に起こらない場合:

- ▶ 「車両設定」の章（141ページ）を参照してください。
- ▶ 帰国した時は、ヘッドライトを元に戻すことを忘れないでください。

バルブの交換

室内灯と共に車両照明にも、発光ダイオードと長命LEDが装備されています。LEDは個別に交換できません。

ランプの取り外しと取り付けは少々労力を必要とします。

- ▶ 常に、資格のある専門工場で、欠陥のある電球とランプを交換または修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

摩耗と過剰な温度は、ヘッドライトの損傷につながる可能性があります。

- ▶ ヘッドライト・エリアにカバー（ストーン・ガードやフィルムなど）を装着しないでください。

i インフォメーション

マトリックス・ビームを備えたLEDヘッドライトを特色とする車両で、前照灯の設定をチェックするためには、ボンネットを開けなければなりません。

- ▶ ヘッドライトの調整は、専用の調整装置を使用している整備工場のみで実施してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します

ラゲッジ・コンパートメント・ルーム

荷物の積載



危険

有毒な排気ガスの吸引

エンジンが作動している状態、または正しく閉じられていない場合でテールゲートを開いていると、排気ガスが室内に侵入する危険があります。

- ▶ エンジンが作動しているときは、必ずリヤ・リッドを閉じてください。
- ▶ テールゲートを開いたまま走行しないでください。



警告

積載時の車両の操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。



警告

固定されていない、正しく固定されていない、または不適切な位置にある荷物

荷物を固定していない、正しく固定していない、または不適切な位置に置いていると、ブレーキやステアリングの操作時や、事故の際に荷物が飛び出して、乗員がケガをする恐れ

があります。

- ▶ ブレーキやハンドル操作、事故等の際に飛び出さないように、積み荷は必ず固定してください。
- ▶ 荷物は常にラゲッジ・コンパートメントに積載してください。乗員スペース（シート前方やシートの上など）には置かないでください。
- ▶ 荷物は可能な限りシート・バックレストで支えてください。バックレストは常に所定の位置でロックしてください。
- ▶ 重い荷物は必ずリヤ・シート・バックレストを立てて、ロックした状態で積載してください。
- ▶ 荷物は可能な限り乗員が着座していないシートの後方に積載してください。
- ▶ 重い荷物はできるだけ床の前方に積載し、その背後に軽量の荷物を収納します。
- ▶ 荷物はシート・バックレストの上端を越えないように置いてください。
- ▶ ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットで乗員スペースを常に保護してください。
- ▶ ラゲッジ・コンパートメント・カバーの上に物を置いたまま走行しないでください。
- ▶ リヤ・シートに乗員がいない場合は、シートベルトを使用してシート・バックレストを補助的に支えることができます。外側座席のシートベルトを斜めに渡し、反対側のバックルにはめてください。
- ▶ オープン・ストレージ・コンパートメントではいかなる重い荷物も搬送してはなりません。
- ▶ 走行中は必ず小物入れのカバーを閉じてください。



警告

不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が正常でない場合、安全な走行に支障をきたす恐れがあります。

- ▶ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧を変更した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定を更新してください。
- ▶ ページの「」の章を参照してください。

知識

リヤ・ウィンドウ・ヒーターの熱線およびアンテナ・ワイヤーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物が当たることによるリヤ・ウィンドウ・ヒーターの熱線およびサイド・ウィンドウのTVアンテナの損傷に注意してください。

ラゲッジ・コンパートメントの最大許容積載量は 200 kg です。床面全体に荷重がかかるように荷物を積載してください。

タイダウン・ベルトで荷物を固定する

- ▶ 荷物を固定するために、伸縮性のあるベルトやストラップを使用しないでください。
- ▶ ベルトやストラップを鋭利な部分にかけないでください。
- ▶ せん断強さが 700 kg 以上、幅が 25 mm 以内のベルトのみを使用してください。
- ▶ 荷物の上でベルトを交差させてください。
- ▶ タイダウン装置を使用する方向、および注意事項を遵守してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

停止表示板と応急処置セットの取り外し（日本仕様は非搭載）

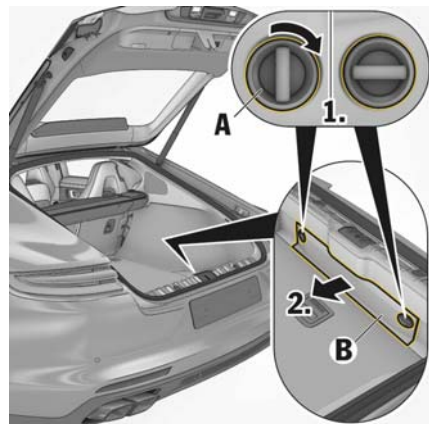


図 165：停止表示板の取り外し

- ✓ リヤ・リッドが開いている
- 1. ロック A を90度ねじります
- 2. カバー B を開きます。

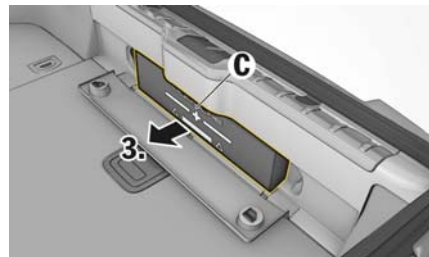


図 166：応急処置セットの取り外し

- 3. 停止表示板と応急処置セット C の取り外し。

ラゲッジ・コンパートメント・フロアの開閉

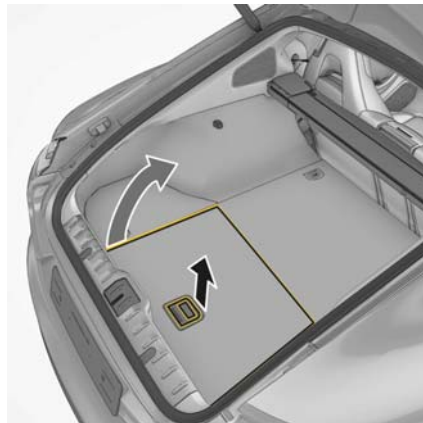


図 167：ラゲッジ・コンパートメント・フロアを開く

ラゲッジ・コンパートメント・フロアを開く

- ▶ ハンドルのフロントを下方方向に押してから引き上げ、ラゲッジ・コンパートメント・フロアを持ち上げます。

ラゲッジ・コンパートメント・フロアを閉じる

- ▶ ラゲッジ・コンパートメント・フロアを持ち上げ、閉じます。

車載工具の取り外し

車載工具はラゲッジ・コンパートメントの床下に収納されています。

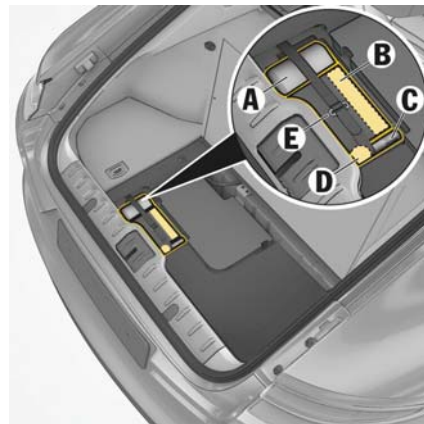


図 168：車載工具の取り外し

- A タイヤ・シーラント
- B 工具セット
- C けん引フック
- D 盗難防止ホイール・ボルト用のソケット
- E コンプレッサー

✓ E-Hybrid 車両

車載工具は、ラゲッジ・コンパートメント・フロアの下、および進行方向左側のサイド・ウォール内に保管されています。

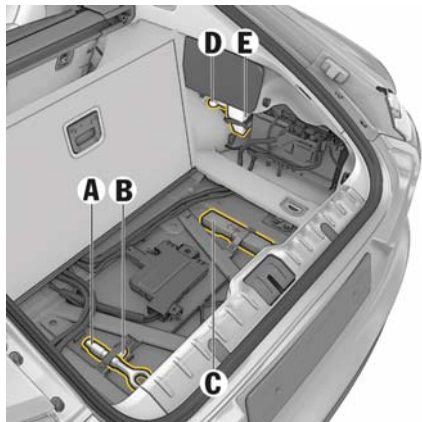


図 169: 車載工具の取り外し (E-Hybrid 車両)

- A けん引フック
- B 盗難防止ホイール・ボルト用のソケット
- C 工具セット
- D タイヤ・シーラント
- E コンプレッサー

i インフォメーション

ホイールを交換するための必要工具は、車両に標準搭載されていません。

- ▷ 「ボルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM)」の章 (234ページ) を参照してください。

コンプレッサー / タイヤ・シーラントの取り外し

コンプレッサーとタイヤ・シーラントはラゲッジ・コンパートメントの床下にあります (図 168)。

コンプレッサーを使用したタイヤ空気充填に関するインフォメーション:

- ▷ 「タイヤ空气の充填」の章 (152ページ) を参照してください。
タイヤ・シーラントの使用に関するインフォメーション:
- ▷ 「損傷したタイヤの補修。」の章 (199ページ) を参照してください。

タイダウン・リングの使用



図 170: タイダウン・リングの使用

タイダウン・ストラップは、滑りを防止するためにラゲッジ・コンパートメントに荷物を固定するタイダウン・リングに締結することができます。

- ▷ 荷物を固定するときは各リングに均等に荷重がかかっていることを確認してください。

i インフォメーション

タイダウン・リングは事故の際の大きな負荷に耐えるようには設計されていません。重量物を支えることはできません。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーの使用

⚠ 警告

ラゲッジ・コンパートメント・カバー上の荷物

ブレーキをかけたリステアリングを操作したとき、または事故の際に荷物が乗員スペースに飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ ラゲッジ・コンパートメント・カバーの上には物を置かないでください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーは、リヤ・シート後方の左右に固定された取り外し可能な装備です。ラゲッジ・コンパートメント・カバーは必要に応じて取り外すことができ (清掃時など)、開いたテール・ゲートから車外に取り出すことができます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

**ラゲッジ・コンパートメント・カバーの
取り外しおよび取り付け****ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り
外す**

図 171: ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り外す

1. 両側の固定フックを外します。
2. ラゲッジ・コンパートメント・カバーをホルダーから矢印の方向に引き抜いてください。

**ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り
付ける**

1. ラゲッジ・コンパートメント・カバーをホルダーの中へ進行方向に差し込みます。
2. 両側の固定フックを取り付けてください。

**格納式ラゲッジ・コンパートメント・カ
バーの引き出しおよび格納**

格納式ラゲッジ・コンパートメント・カバーはリヤ・ロールアップ式ブラインド内にあります。



図 172: 格納式ラゲッジ・コンパートメント・カ
バーの引き出し

**格納式ラゲッジ・コンパートメント・カ
バーの引き出し**

- ▶ 格納式ラゲッジ・コンパートメント・カバーを引き出し1、リヤ・リッド2の左側/右側のガイドに差し込みます。

**格納式ラゲッジ・コンパートメント・カ
バーの収納**

- ▶ 格納式ラゲッジ・コンパートメント・カバーをリヤ・リッドのガイドから外し、カバーをリトラクター・ローラーに慎重に巻き取らせてください。

**リヤ・ロールアップ式ブラインド・ホル
ダーの取り外し / 取り付け**

ラゲッジ・コンパートメント・カバーはリヤ・ドアから取り外しと取り付けを行います。

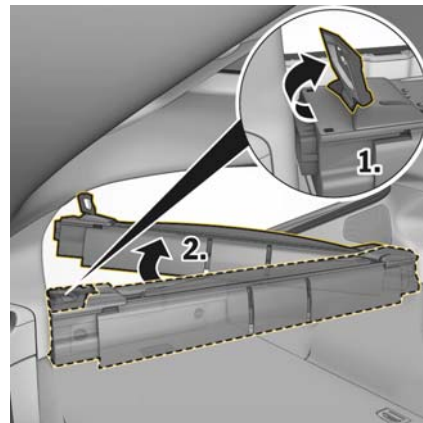
**リヤ・ロールアップ式ブラインド・ホル
ダーの取り外し**

図 173: リヤ・ロールアップ式ブラインド・ホル
ダーの取り外し

- ✓ リヤ・ロールアップ式ブラインドを格納します。
- ✓ リヤ・シート・バックレストを前方に折りたたみます。
- ✓ ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り外します。
-または-
- ✓ 格納式ラゲッジ・コンパートメント・カバーを格納します。

1. リリース・ハンドルを操作しながら、カバーを矢印の方向に引いてください。
2. リヤ・ロールアップ式ブラインド・ホルダーを車両右側の取り付け位置から上方向に取り外します。
3. リヤ・ロールアップ式ブラインド・ホルダーを車両左側の取り付け位置から上方向に取り外し、ラゲッジ・コンパートメント内に固定します。
4. リヤ・ロールアップ式ブラインド・ホルダーを開いた車両のドアから取り外してください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り付ける

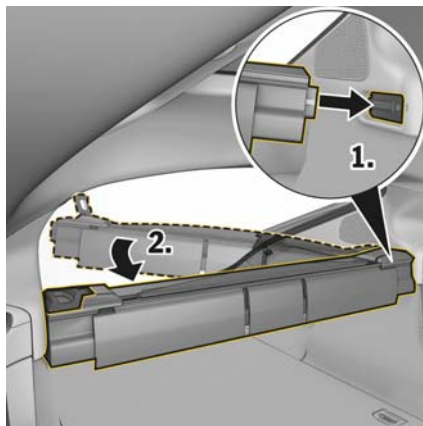


図 174：リヤ・ロールアップ式ブラインド・ホルダーの取り付け

- ✓ リヤ・シート・バックレストを前方に折りたたみます。

1. リヤ・ロールアップ式ブラインド・ホル

2. リヤ・ロールアップ式ブラインド・ホルダーをリリース・ハンドルの位置でリヤ・シート握って、車両右側の取り付け位置に上から押し込んでください。リリース・ハンドルがしっかり固定されていることを確認してください。
3. バックレストを垂直位置に戻してください。

スキー・バッグの使用

スキー板やスノー・ボードなどを車室内を損傷することなく、安全に運搬することができます。

知識

荷物の鋭い端（スノー・ボードなど）によってスキー・バッグが損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物の鋭い端部を保護してください。

スノー・ボードやスキー板をスキー・バッグに収納する

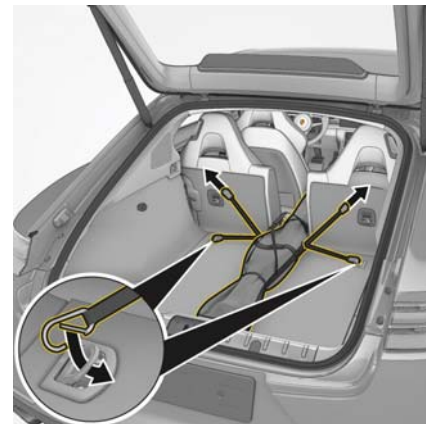


図 175：スキー・バッグの使用

スキー・バッグはトランク・ルーム内の所定のギア・バッグの中に収納されています。

1. スノー・ボードやスキー板の端部にプロテクターを取り付けてください。
2. スノー・ボードやスキー板をスキー・バッグに入れて、バッグを閉じてください。スキーは後端を前方にしてスキー・バッグの中に入れておく必要があります。スキー・バッグのファスナーは車両後方に向けてください。
3. スキー板を締め付けストラップで締め付けてください。スキー・ビンディングはこのストラップの後方になければなりません。
4. リヤ・シートの間のパススルー設備を倒します。
5. タイダウン・リングにテンション・ストラップのスプリング・フックを掛けます。
6. テンション・ストラップを締めます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

リヤ・リッド


危険

有毒な排気ガスの吸引

エンジンが作動している状態、または正しく閉じられていない場合でテールゲートを開いていると、排気ガスが室内に侵入する危険があります。

- ▶ エンジンが作動しているときは、必ずリヤ・リッドを閉じてください。
- ▶ テールゲートを開いたまま走行しないでください。


警告

オートマチック・リヤ・リッドの不用意な開閉

オートマチック・リヤ・リッドが不用意に開閉することによりケガを負う恐れがあります。

- ▶ 停車中にのみリヤ・リッドを開閉してください。
- ▶ リヤ・リッドの作動範囲内に人や動物がいないことを確認してからリヤ・リッドを開閉してください。
- ▶ 万一のときはいつでも作動を中断できるように、リヤ・リッドの開閉作動から目を離さないでください。

知識

オートマチック・リヤ・リッドが不意に開閉することにより損傷する恐れがあります。

開閉時、リヤ・リッドがガレージの天井や荷物に衝突することがあります。

- ▶ 車両の後方や上方に十分なスペースがあることを確認してください（ルーフ・トランスポート・システムやガレージの天井など）。
- ▶ 積み荷がラゲッジ・コンパートメントから突き出したり、はみ出したりしないようにしてください。

ボタンでリヤ・リッドを車外から開閉する

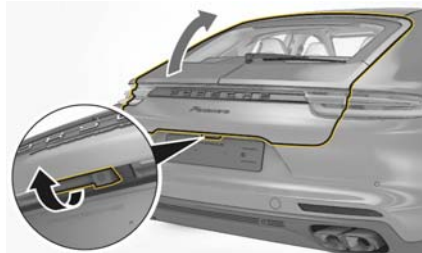



図 176：リヤ・リッドのロック解除ボタン

- ✓ ロック解除された車両 (Porsche コンフォート・アクセス非装備車)。
 - または —
 - ✓ キーを携行している (Porsche コンフォート・アクセス装備車)
 - ▶ ボタンを押してください (図 176)。
- 設定次第では、車両のロックが解除されます。

リヤ・リッドは、設定した高さまで開きます。259ページの「リヤ・リッドを開く高さの設定」の章を参照してください。

キーでリヤ・リッドを開く

- ✓ イグニッションがOFFになっている
 - ▶ キーのボタン  を少なくとも1秒間押し続けてください。
- 設定次第では、車両のロックが解除されます。
- リヤ・リッドは、設定した高さまで開きます。259ページの「リヤ・リッドを開く高さの設定」の章を参照してください。

車両がロックされている際にキーのボタンを1秒未満押し続けられれば、車両のロックは解除されません (設定により異なります)。リヤ・リッドは自動で開きません。

足の動きでリヤ・リッドを開く



図 177：足動作コントロール

- ✓ Porsche コンフォート・アクセス。
 - ✓ イグニッションがOFFになっている
 - ✓ キーを携行します。
 - ✓ 車両までの距離は最大 75 cm とします。
1. 車両の後方中央に立ってください。
 2. 足を車両後方に向けて前後に一回の動作で動かします。

リヤ・リッドは、設定した高さまで開きます。259ページの「リヤ・リッドを開く高さの設定」の章を参照してください。

i インフォメーション

次のような状況では、足動作機能は利用できないかもしれません：

- 悪天候の場合（雨、雪または氷）
- パンパーが汚れている場合。
- 車両キーの信号が電波干渉の影響を受けている場合。

運転席ドアのボタンを操作してリヤ・リッドを開きます。

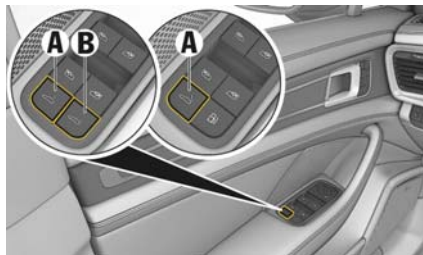


図 178：運転席ドアのリヤ・リッド・ボタン


- A 開く
開閉操作とロック (E-Hybrid 車両)
B 閉じる

- ▶ 運転席ドアのボタン A を押してください。リヤ・リッドは、設定した高さまで開きます。259ページの「リヤ・リッドを開く高さの設定」の章を参照してください。

リヤ・リッドを開く高さの設定

リヤ・リッドを開く高さは個別に設定できません。

レベル・コントロール装備車は、必ず車両が最も高い状態にある時にリヤ・リッドの高さを調整してください。

1. 車両の後方に立ってリヤ・リッドを開いてください。
2. 開作動を中断するには、リヤ・リッドのトリム・パネル内またはキーのボタン  を押します。
3. リヤ・リッドを設定したい高さまで動かします。
4. リヤ・リッドのトリム・パネルの内のボタン A (図 179) を約 3 秒間押し続けてください。

設定された高さが確認されると、確認音が鳴ります。

リヤ・リッドが不意に作動した場合の自動停止

リヤ・リッドが降り積もった雪の重みなどで開いた状態から不意に下がると、パワー・メカニズムのブレーキ機能が作動してリッドの動きを制止するとともに、リッドの動きが止まるまで警告音が鳴ります。

- ▶ リヤ・リッドの動きを約 1 秒間止めます。自動停止が無効になります。

リヤ・リッドを閉じてください。

運転席ドアのボタンを操作してリヤ・リッドを閉じる

- ✓ イグニッションをONにする
- ▶ 運転席ドアのボタン B (図 178) を押してください。
- ▶ E-Hybrid 車両: 運転席ドアのボタン A (図 178) を押してください。警告音が鳴り、リヤ・リッドが閉じます。

足動作でリヤ・リッドを閉める

- ✓ Porsche コンフォート・アクセス。
 - ✓ イグニッションがOFFになっている
 - ✓ キーを携行します。
 - ✓ 車両までの距離は最大 75 cm とします。
1. 車両の後方中央に立ってください。
 2. 足を車両後方に向けて前後に一回の動作で動かします。
リヤ・リッドが閉じます。
車両はロック解除またはロックされたままになります。

リヤ・リッドのトリム・パネルのボタンを操作してリヤ・リッドを閉じる



図 179：リヤ・リッドのトリム・パネル内のボタン

- A リヤ・リッドの開操作
B リヤ・リッドの開操作と車両のロック (Porsche コンフォート・アクセス)

- ▶ リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン A を押してください。リヤ・リッドが閉じます。

リヤ・リッドのトリム・パネルのボタンを操作し、リヤ・リッドを閉じてロックする

- ✓ Porsche コンフォート・アクセス。
- ✓ キーを携行します。
- ▶ リヤ・リッドのトリム・パネル内のボタン B (図 179) を押してください。
リア・リッドが閉じて、車両がロックされます。

i インフォメーション

車両をロックする際に車内にキーがある場合は、車両が再度ロック解除されます。車両からブザー音が 2 回鳴り、4 回点滅します。ドアまたはリヤ・リッドを約 45 秒以内に開かなかった場合に限り、車両はロックされます。スベア・キーを使用した場合のみロック解除が可能です。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にならないことを確認してください。



リヤ・リッド閉作動中の障害物の検出

リヤ・リッドの閉作動中に障害物によって作動が妨げられると、作動が中断されます。警告音が鳴り、リヤ・リッドが作動を停止します。

1. 障害物を取り除いてください。
2. リヤ・リッドを自動で閉じるか、手でゆっくり閉じてください。

緊急時の開閉作動の中断

次のいずれかのボタン操作で、すぐに開閉作動を中断します:

- ▶ キーの  ボタン。
- または -
運転席ドアの  ボタン。
- または -

リヤ・リッドのトリム・パネル内のボタン A または B (図 179)。

- または -
リヤ・リッドのリリース・ボタン (図 176)。
- または -
足で動作をします。
- ▶ ワンタッチ操作を再作動するには該当するボタンを押します。

ルーフシステム



警告

ルーフ・システムの
開閉

ルーフシステムを開閉するとき、特にワンタッチモードでは、身体の一部を移動及び固定車両部品の間挟むことがあります。

- ▶ ルーフ・システムを開閉するとき、身体が移動及び固定車両部品の間挟まれる位置にないことを確認します。
- ▶ 車を離れるときは、必ずイグニッションをOFFにします。
- ▶ 車両を離れるときは、キーを外します。十分な知識のない者（子供など）はルーフ・システムの操作で怪我をする可能性があります。
- ▶ 危険な場合には、逆方向のルーフ・システム・スイッチを押すか、ルーフを開閉中の場合は、すぐにドライバー・キーのボタンを離します。

知識

ルーフ・エレメントが正しく装着されていない場合の、ルーフ・システムの操作における損傷の危険性。

- ▶ 走行前にルーフ・アタッチメントが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ▶ ルーフ・システムと装着したルーフ・エレメントとの間に十分な隙間があることを確認します



インフォメーション

- ルーフ・システムには、フォース・リミッターが装備されています。これらの閉操作中に障害物があると、すぐにもう1回開きます。
- ルーフ・システムは、極めて速い車両速度、または極端に低い気温では機能しません。

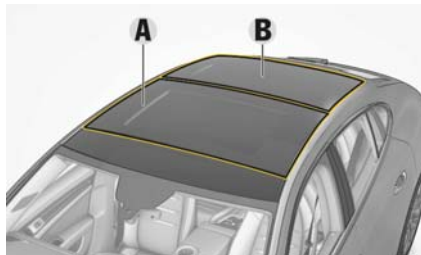


図 180 : パノラミックルーフ

A スライディング/チルトリング・ルーフ

B 固定式ガラス・ルーフ

ルーフ・エレメント A は車両の前後方向に移動できます。チルト・アップすることも可能です。

ルーフ・エレメント B は固定されたガラス・エレメントです。

ルーフシステムの開閉



警告

ルーフ・システムの
緊急閉鎖

ルーフ・システムの緊急閉鎖時、閉鎖する力は必要であれば自動的に段階的に増加しま

す。

- ▶ ルーフ・システムを操作する際には、誰も傷付かず、挟まれず、大げがのないことを確認します。



インフォメーション

ルーフ・トランスポートーション・システムが装着されているとき、屋根は開きません。

- ✓ イグニッションをONにする
- または -
- ✓ イグニッションをOFFにしてから10分以内
- ✓ 運転席または助手席のドア未開

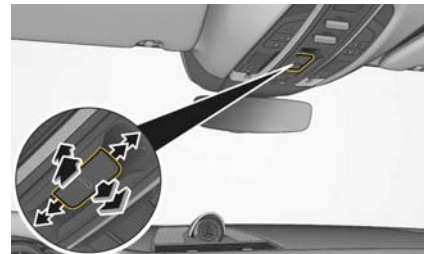


図 181 : ルーフシステムの開閉

スイッチには2ステージの機能があります。スイッチを作動させる際には、どちらのステージも押したり引いたりする時に抵抗をはっきりと感じます。速度によっては、風の音がすることがあります。

1段階目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで該当する方向へと1段階目にスイッチを作動させます。スイッチを離すとプロセスが停止します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
ら
わ
A-Z

2段目 - ワンタッチ操作

- ▶ 2段目まで該当する方向へスイッチを押ししたり引いたりします。
ルーフシステムは終端位置まで自動的に開閉します。
- ▶ ルーフシステムを希望の位置で停止させるため、スイッチを再度作動させます。

挟み込み防止機能が繰り返し作動した後の閉操作

閉操作が障害によって阻害された場合、ルーフシステムは手動で閉じることができます。


1. 障害物を取り除いてください。
2. ルーフシステムが閉じた位置に停止するまで、閉じる方向にスイッチを繰り返し押すか、押したままにします。

傾斜位置でのルーフシステムとサンシェードの開放。


チルト位置でルーフシステムを開ける際、サン・ブラインドは自動的に約10cm開き、手動で全開できません。

キーによるルーフ・システムの開閉

ルーフ・システムの開放

- ▶ 車両キーの  ボタンを希望の位置に達するまで押します。

ルーフ・システムの閉鎖

- ▶ 車両キーの  ボタンを希望の位置に達するまで押します。
全てのウィンドウとルーフ・システムが閉じると、ハザード警告灯が点滅します。

ドア・ハンドルの近接センサーでルーフ・システムを閉じる

- ✓ ボルシェ・コンフォート・エントリー
- ✓ 車両キーをズボンのポケット等に入れて携帯します。
- ▶ 希望の位置に達するまで車両ドア・ハンドルの近接センサーを押します。
全てのウィンドウとルーフ・システムが閉じると、ハザード警告灯が点滅します。

サン・ブラインドの開閉操作

リヤ・サン・ブラインドは、リヤ・コントロール・パネルを使用して操作することもできます。

チャイルド・プロテクションが有効な場合、リヤのサンシェードはオーバーヘッド・コンソール・スイッチを使用してのみ操作できません。

- ▶ 「リヤでの操作を無効にする - チャイルド・プロテクション」の章（121ページ）を参照してください。



図 182 : サン・ブラインドの開閉操作

- A フロント・サン・ブラインド
- B リヤ・サン・ブラインド

スイッチには2ステージの機能があります。スイッチを作動させる際には、どちらの位置も押ししたり引いたりする時に抵抗をはっきりと感じます。

1段目 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで該当するスイッチを押ししたり引いたりします。
スイッチを離すとプロセスが停止します。

2段目 - 自動操作

- ▶ 2段目まで該当するスイッチをいっぱいに押ししたり引いたりします。
サン・ブラインドが自動的にいっぱいまで開/閉します。
- ▶ サン・ブラインドを希望の位置で停止させるため、スイッチを再度作動させます。

ルーフ・システムとサンシェードの閉鎖

- ルーフ・システムを閉じる間にサン・ブラインドを閉じる場合(ワンタッチ操作)、ルーフ・システムが終端位置に達した後サン・ブラインドが終端位置まで閉じます。
- サン・ブラインドを閉じる間にルーフ・システムを閉じる場合(ワンタッチ操作)、サン・ブラインドを閉じる動作が中断します。ルーフ・システムが終端位置に達した後サン・ブラインドが終端位置まで閉じます。

ルーフ・システムおよびサン・ブラインドの終端位置の保存



警告

挟み込み防止が無効化されました。

ルーフ・システムとサンブラインドは最大パワーで閉鎖されます。

- ▶ ルーフ・システムを閉じるとき、身体が、移動と固定車両部の間に挟まれないことを確認します。

ルーフ・システムの停止位置の保存

- ✓ 停車しているとき
- ✓ イグニッションをONにする
- ▶ オーバーヘッド・コンソールの (図 181) を下向きに、押したままにします。終端位置の保存プロセスが約 10 秒後に始まります。
- ▶ ルーフ・システムの動作が完全に停止するまでスイッチを引きます。閉じて保存するプロセスは最大 45 秒かかります。

サンシェード停止位置の保存

- ✓ 停車しているとき
- ✓ イグニッションをONにする
- ✓ サン・ブラインドを閉じる
- ▶ 該当するスイッチを押すか引いてホールドし (図 182) 閉じます。終端位置の保存プロセスが約 10 秒後に始まります。

サンシェードの清掃



警告

挟み込み防止が無効化されました。

ルーフ・システムとサンブラインドは最大パワーで閉鎖されます。

- ▶ ルーフ・システムを閉じるとき、身体が、移動と固定車両部の間に挟まれないことを確認します。

- ✓ 停車しているとき
- ✓ イグニッションをONにする
- 1. ルーフ・システムを完全に開放する。
- 2. ロールアップサンシェードを可能な限り閉じてください。
- 3. サン・ブラインドには A スイッチを押します (図 182)。サン・ブラインドは 10 秒後に閉じ始めます。サン・ブラインドが全閉するまでスイッチを押します。
- 4. 汚れを取り除きます。

清掃機能を終了します。

- ▶ 走行しはじめると、
 - または -
 - ルーフ・システムを操作します。
 - または -
 - サンブラインドを操作します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

ルーフ・トランスポート・システム

ルーフに荷物を積載して運ぶ

ルーフ・トランスポート・システムは、車両のルーフに取り付けて様々な荷物を輸送することができます。

荷物を安全に確実に運ぶにはルーフ・トランスポート・システムや他の補助アタッチメント（スキー・ラック、バイク・ラック、サーフボード・ラック、ルーフ・ボックス、スノーボード・ホルダーなど）を使用してください。

- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのルーフ・トランスポート・システムのみを使用してください。市販のルーフ・ラック・システムは装着できません。

ルーフ・トランスポート・システムに関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。

▲ 警告

固定されていない、または不適切な位置に固定したルーフ・トランスポート・システム、または積載機器

適切に固定されていないルーフ・トランスポート・システムが走行中に脱落し、重大事故を起こす恐れがあります。

- ▶ スキー・ラックやルーフ・ボックスなどの積載機器は、サポートに対してできる限り中央になるように取り付けてください。
- ▶ 走行を開始する前に、ルーフ・トランスポート・システムと積載機器が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確

認してください。

- ▶ すべてのファスニング・スクリューを再度締め付けてください。

▲ 警告

車両操縦性の変化

ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載している状態では、車両の操縦性が変化します。

- ▶ 慎重に運転してください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムに荷物を積載しているときは、130 km/h (80 mph)以上の速度で走行しないでください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載していないときは、180 km/h (110 mph)以上の速度で走行しないでください。

▲ 警告

固定されていない、または不適切に固定した荷物

適切に固定されていない荷物が走行中にルーフ・トランスポート・システムから外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- ▶ 走行中に荷物が動かないように固定してください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムに荷物を積載する際は、積み荷がルーフ・トランスポート・システムの側面からはみ出さないように注意してください。車両幅より幅が広いルーフ・トランスポート・システム

は絶対に取り付けしないでください。

- ▶ 伸縮性があるゴム製の固定具は使用しないでください。
- ▶ 荷物の重心をできる限り低い位置にしてください。ルーフ・トランスポート・システムの積載エリア全体に、均等に荷重がかかるように荷物を載せてください。

知識

ルーフ・トランスポート・システムを装着したまま自動洗車機を使用したり、運転中に全車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフ・トランスポート・システムを損傷する危険があります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、ルーフ・トランスポート・システムを完全に取り外してください。
- ▶ 立体駐車場など、高さが限られた場所に入る前に、ルーフ・トランスポート・システムを含めた全高を確認してください。
- ▶ ルーフへの積載荷重は、最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。

i

インフォメーション

- ▶ ルーフ・トランスポート・システムを装着した状態では、燃費が悪化し、騒音が大きくなるため、使用しないときは車両から取り外すようにしてください。

ルーフ・トランスポート・システムの取り付け

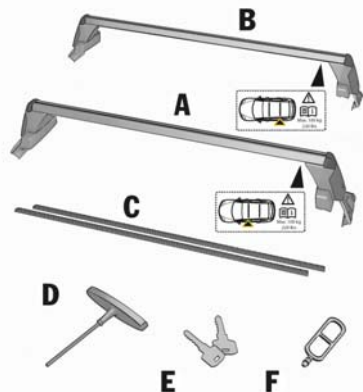


図 183：ルーフ・トランスポート・システムの構成部品

- A フロント・キャリア（ロング）
- B リヤ・キャリア（ショート）
- C カバー・トリム
- D トルク・レンチ
- E キー
- F ルーフ・キャッチ用の取り外しツール

- ✓ 車両のルーフおよびドアで、キャリア・サポート部分とキャリアの接触面を清掃してください。

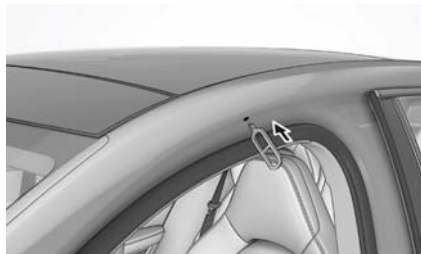


図 184：ルーフ・キャッチの取り外し

1. 取り外し用ツールを使用して4箇所すべてのルーフ・キャッチを引き出します。

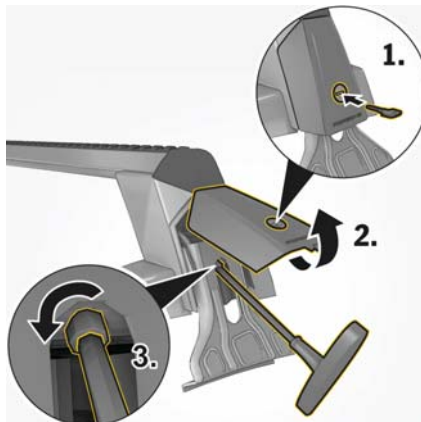


図 185：カバー・フラップのロックを解除して折り上げる

2. キーでカバー・フラップをロック解除してください。
3. カバー・フラップが完全にかみ合うまで折り上げます。
4. トルク・レンチを使用して、ファスニング・スクリューを反時計まわりに回して緩

めます。完全には取り外さないください。

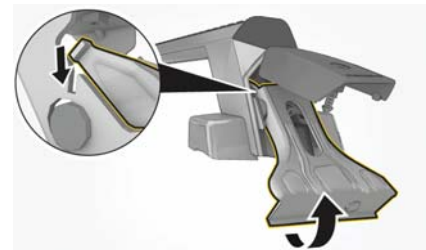


図 186：キャリア・サポートに固定されたブラケットの係合

5. 締結ブラケットを上向きに回し、キャリア・サポートに係合します。
6. 車両のドアを開けます。

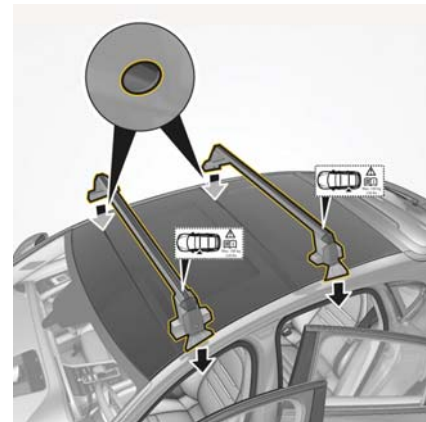


図 187：ルーフにキャリアを配置します。

7. ステッカー（図 187）が車両の左側になるようにキャリアを慎重に取り付けてくださ

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

い。同時にステッカーを使用してフロントおよびリヤ・キャリアを識別します。

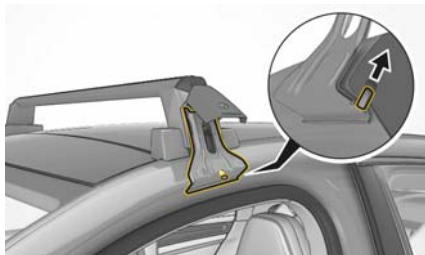


図 188：ロックピンを取り付けます。

8. アングルブラケットを外し、ルーフ・フレームの内側の該当する穴でロック・ピンを取り付けます。
9. ファスニング・ブラケットを上方向に押ししてください。ファスニング・ブラケットの押し上げに力が必要な場合、キャリアを再度調整してください。
10. 2つのキャリアの支持体に固定ネジを軽く締めます。完全には締めないでください。ロック・ピンがしっかりと取り付けられていること、キャリア・バーがスリップしないことを確認します。
11. トルク・レンチを使用して、ファスニング・スクリューを 6 Nm のトルクに対して時計回りに交互に締め付けてください。
12. キーを取り付け、ロックを解除するために時計回りに回します。必要に応じてカバー・トリムを取り付けてください。

i インフォメーション

- ▶ 短距離を走行させた後、留め具を締め直し、定期的に再点検してください。
- ▶ 悪路では、より頻繁にネジの接続を確認します。実装部品の緩みや損失は重大な事故につながる可能性があります。

アクセサリーの取り付け



図 189：フィッティング実装部品

1. キャリア・キャップの取り外し。
2. 提供されたT溝に実装部品を取り付けます。
3. サポート・カバーの閉鎖
4. 必ずフィッティングと固定実装部品に関連するインストール手順をお読みください。

プロファイル・トリムの閉鎖

水分や汚れから保護し、風切り音を防止するために、ファスナーが使用されていないとき、プロファイル・トリムのT溝を閉鎖します。

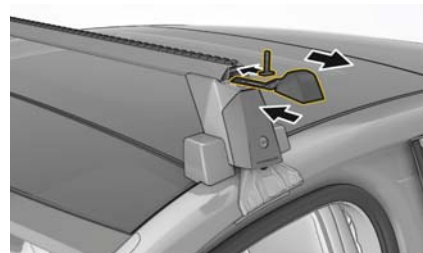


図 190：適切なサイズへのカバー・トリムの切断と挿入

1. 基本的なキャリアの長さにかバー・トリムを切断します。
2. カバー・トリムをT溝に押し入れます。

レーン・キープ・アシスト

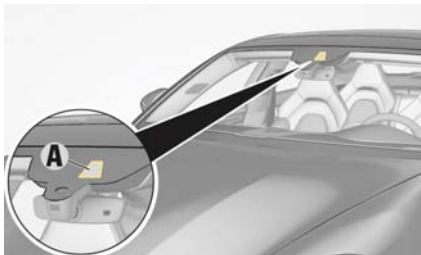


図 191：フロント・ウィンドウ・カメラ

正面のカメラ A を用いて、そして、システムの範囲内で、レーンキープアシストがレーン標識に基づいて先の道のコースを検出します。車両が検出レーン標識に接近して、走行レーンを逸脱する危険があるときに、システムは補正ステアリングを始動します。ドライバーはいつでもステアリングに対する介入を無効にすることができます。

システムは、ドライバーが走行車線を守って走行するようにサポートします。レーンキープアシストは、車線を守って走行する機能に加えて警告機能も提供する快適なシステムです。車両が方向指示を出さずに車線区分線を超えると、システムはドライバーに対して音響的および視覚的に注意を喚起します。インストルメント・クラスターの「速度&アシスト」ディスプレイで警告対象の車線区分線が強調表示され、さらに警告音が鳴ります。この目的のために、PCMのアシストメニューで警告音のスイッチが有効になっていなければならない。

このシステムは、高速道路やよく整備された郊外道路での運転向けに設計されています。約 65 km/h より速い速度でのみ操作可能で

す。システムが有効な場合でも、車線変更前に方向指示灯が作動していれば、ドライバーへの警告はなされません。この場合は、レーン変更が故意であると仮定します。

レーンチェンジアシスト装備車:

作動中のレーンチェンジアシストが隣接するまたは接近する車両(死角にいる車両など)を検知して車線の変更が行われようとしていることを検出し、かつ方向指示器のスイッチが入っている場合、走行中の車線を離れる直前に、体感できるステアリング補正が行われます。そして、車両を走行レーンに留めるようにします。

▲ 警告

集中力の低下

ドライバーは走行中、レーンキープアシストが有効な場合であっても常に安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- システムは車両を走行レーンに留めるようドライバーをサポートしますが、代わりに運転するわけではありません。ドライバーは常にステアリング・ホイールを握ってください。
- 急ブレーキの時は、ステアリング補正が生じないことがあります。
- 車線区分線は片側だけが検出されていることがあります。この設定では、検出された車線区分線をホイールが横切る直前にのみ、ステアリングの補正が行われます。
- 他の道路構造または物体が、車線区分線と誤って確認される場合があります。そのため、予期しない補正の実行や車線逸脱警告の表示、あるいは車線逸脱警告が表示されない場合があります。
- 可視性が低い場合、つまり車線区分線が片側だけや極端に幅が狭いレーンの場合、ス

テアリング・ポイントは「早」から「遅」に切り替えられる場合があります。

- トラックのわだちや傾斜した道または横風が生じた場合、ステアリング補正だけでは車両を走行レーンに留めるのに十分ではない場合があります。この種の状況において、ドライバーは能動的に操縦しなければなりません。
- 安全のため、路面状態や天候が悪い場合(滑りやすい路面、霧、石はね、豪雨、雪、ハイドロブレーニング、工事中、起伏の激しい路面や坂道に近づいている時、など)ではレーンキープアシストを使用しないでください。事故の危険があります!
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 交通状況に応じた速度で運転してください。
- ▶ ステアリング・ホイールには物を取り付けないでください。

▲ 警告

急カーブではステアリングの補正は行われません

急カーブでは、ステアリング補正機能は車線を維持するために十分ではありません。レーンキープアシストが作動せず、ステアリングの補正は行われません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリング・ホイールは、必ず両手で持つようにしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z



レーンキープアシストの ON/OFF

レーンキープアシストは PCM で ON/OFF を切り替えることができます。

▶ アシスト  ▶ 制御  ▶ レーンキープアシスト

レーンキープアシストが作動しているときに不注意で車両が車線から逸れると、レーンキープアシストによるステアリング補正によって、走行していた車線に戻されます。さらに、車両が車線区分線を超えると警告音が鳴り、警告対象の区分線がインストルメント・クラスターで赤色で表示されます。268 ページの「レーンキープアシストの呼び出しと読み上げ」の章を参照してください。

ステアリング・ポイントと警告音の設定

▶ アシスト  ▶ 設定  ▶ レーンキープアシスト

ステアリング・ポイント

早: この設定では、ステアリングの補正が継続的に行われ、車線内の真ん中を運転するようにドライバーをサポートします。

遅: この設定では、検出された車線区分線をホイールが横切る直前にのみ、ステアリングの補正が行われます。

警告音

警告音は別個に ON/OFF を切り替えることができます。警告シグナル音量も 3 段階で選択できます。

レーンキープアシストの呼び出しと読み上げ



図 192: 「速度&アシスト」ディスプレイ

- A レーンキープアシストの表示
- B 車線区分線の表示
- C ステータス・ディスプレイ

アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 装備車

ACC メイン・メニューの「速度&アシスト」ディスプレイには、車線区分線 B とステータス・ディスプレイ C が表示されます。


アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 非装備車

車線区分線はステータス・ディスプレイ C のみ表示されます。

システム状態の読み取り

レーンキープアシストのシステム状態がインストルメント・クラスターでどのように表示されるかを、表に示します。

レーンキープアシストの表示	ステータス・ディスプレイ	意味
表示なし	表示なし	レーンキープアシストが OFF になっている。
		レーンキープアシストは ON になっていますが、無効です。車線と車両は画面にグレーで表示されます。
		レーン・キープ・アシストが ON で、有効になっています。検出された車線区分線と車両が画面に緑色で表示されます。

レーンキープアシストの表示	ステータス・ディスプレイ	意味
		車両区分線は片側だけが検出されていることもあります。
		レーンキープアシスト・システムが ON でアクティブである場合、車線を外れると、右側に警告が表示されます。該当する車線区分線が赤色で表示されます。

i インフォメーション

システムが ON でも無効である場合、以下の原因が考えられます。

- 車線区分線がない。
- 該当する車線区分線が検出されていない (道路工事のマーキング、雪、泥、水、対向車のヘッドライトなどのため)。
- 車線区分線がはっきりと引かれていないためにアシストができない。
- 車両がシステム動作速度である約 65 km/h 未満の速度で走行している。
- 車線区分線が車両に近すぎる。
- 一番近い車線区分線までの距離が遠すぎる。
- カーブがきつすぎる。
- ドライバーがステアリング・ホイールを握っていない。

警告メッセージへの対応

レーン・キープ・アシストが自動で OFF になる場合、インストルメント・クラスターのインジケーター・ライトは消灯してメッセージが表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」の章 (90ページ) を参照してください。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

レーン・チェンジ・アシスト (LCA)

レーン・チェンジ・アシスト (LCA) は、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドア・ミラーの警告インジケーターが直ちに点灯します。

運転速度がレーン・チェンジ・アシストが作動する範囲未満の場合は、分岐点で補助リヤ・ターン・アシストも車両後方をモニターしてドライバーをサポートします。リヤ・ターン・アシストは常に自動で作動して、レーン・チェンジ・アシストと連携します。



図 193 : ドア・ミラーの警告インジケーター A

レーン・チェンジ・アシストのON/OFF

車線変更補助は PCM で ON/OFF を切り替えることができます。

- ▶ アシスト ▶ 制御 ▶ レーンチェンジアシスト

レーン・チェンジ・アシストが作動中は、 シンボルがインストルメント・クラスターに表示されます。

▲ 警告

集中力の低下

車線変更補助およびリア・ターン・アシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ▶ 周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

▲ 警告

レーダー・センサーの範囲の妨げ

レーダー・センサーの視界は急カーブ、急勾配への接近、および悪天候（雨、雪、氷、強い水しぶき）では低下することがあります。車両を正しく検出できないことや、まったく検出できなくなることがあります。

- ▶ 周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

▲ 警告

LCAの車両検出不良

次のような場合は、タイミングよく車両を検知できない場合があります：

- 車両が後方から高速で接近する場合や車両が後ろに遠ざかる場合は、車両の気配を検知できません。
- レーン・チェンジ・アシストは急カーブ（半径約 50 m 未満のカーブ）では機能しません。
- レーン・チェンジ・アシストは約 15 km/h 以上の速度で走行しているときにのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。
- リア・ターン・アシストの場合、あなたの車両と動いているか静止している物体との間の速度の違いが小さいために、固定され

ている物体（例えば金属柱）が警告を作動させたり、速度の遅い車両が検出されなかったりすることがあります。

- リヤ・ターン・アシスタントは発進時に作動します。そのため、すでに動いているまたは発進している車両は検出されない、または遅れて検出される場合があります。真横の車両も、センサーの検出エリアの範囲外にいるために検出されないことがあります。
- 側道に入って、自分の車両が最初の走行レーンに対してまっすぐ向いておらず、走行レーンに対して斜めまたは直角の向きになっている場合、接近する車両はセンサーで検出されません。
- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

一般情報

- システムは車速が約 15 km/h を超えると機能します。
- 15 km/h 以下の速度で走行中は、リヤ・ターン・アシストがドライバーをサポートします。ただし、車両停車 / 発進時の車両の方向指示器が作動している側に対してのみ作動します。
- レーダー・センサーが覆われていることをシステムが検出した場合には、レーンチェンジアシストとリヤ・ターン・アシストは利用できません。
- レーダー・センサーは車両以外の他の障害物（高いまたは隆起した中央分離帯など）を検出することがあります。
- このインジケータはドライバーがドア・ミラーを一目見ただけで気づくよう設計されています。

i インフォメーション

- ▶ 衝突修理後などレーダー・センサーの位置が変更された場合は、安全上の理由から必ずボルシェ正規販売店で点検してください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

レーン・チェンジ・アシストを適切に機能させるには：

- ▶ リヤ・バンパーのレーダー・センサー部（(図 194)）をステッカーなどで覆わないでください。この周囲から汚れや雪、氷も取り除いてください。
- ▶ ドア・ミラーの警告インジケーターステッカーなどで覆わないでください。
- ▶ バンパーにさらに上塗りすると、塗料の厚い層ができて、センサーの反応が悪くなる可能性があります。その塗料の電気的な特性も、承認された塗料の特性とは異なる場合があります。



図 194：リヤ・バンパー内のレーダー・センサー

作動原理

レーン・チェンジ・アシストは、リヤ・バンパー内に組み込まれたレーダー・センサーを使用して、自車と検出した車両との距離および速度差を測定します。レーダー・センサーは後方約70m（近接ゾーン）の範囲および死角を監視しています。

レーン・チェンジ・アシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当する外部・ミラーに表示します。車両の右側および左側は個別に表示されます。

例えば、左外部・ミラーの警告インジケーターステッカーはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。

ドライバーが方向指示器を操作した際、危険とみなす車両を検出すると、該当する外部・ミラーの警告インジケーターステッカーが数回明るく点滅します。

他車をゆっくり（速度差約15km/h未満）追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーン・チェンジ・アシストが検出すると、直ちに警告インジケーターステッカーが点灯します。速度差がそれ以上の場合、外部・ミラーには表示されません。

発進直後は車線変更補助の速度範囲に達しません。それに達するまで、ドライバーはリア・ターン・アシストを介してサポートされます。

方向指示器の作動時にリヤ・ターン・アシストは車両の横および後ろの物体を検出しますが、方向指示器が作動している側に対してのみ作動します。危険の可能性を検知すると、レーン・チェンジ・アシストの場合と同じように、該当するドア・ミラーのインジケーターステッカーから警告が発せられます。

i インフォメーション

レーダー・センサーは左右の隣接する車線を検出します。その他の車線は、レーダー・センサーでは検出されません。

情報および警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストには方向指示器を操作するかしないかによって、2段階の警告インジケーターステッカー作動ステージがあります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

インフォメーション・ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーン・チェンジ・アシストは、検出した車両が車線変更の際に危険となりうると判断すると、ドライバーに知らせます。レーン・チェンジ・アシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当する外部・ミラーの警告インジケーターが弱い光で点灯します。

警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストは、ドライバーが方向指示灯を操作した側に危険と見なされる車両を検出した場合、検出した側の外部・ミラーの警告インジケーターが明るく点滅を開始します。警告ステージが数回明るく点滅する場合、外部・ミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

レーン・チェンジ・アシスト (LCA) の表示の明るさを設定する

警告インジケーター (インフォメーションおよび警告ステージ) は周囲の明るさによって自動的に調節されます。外部・ミラーの警告インジケーターの明るさは調節可能です。

- ▶ アシスト  ▶ 設定  ▶ レーンチェンジアシスト

i インフォメーション

- 車両がより高速で接近してくると、外部・ミラーの警告インジケーターはより早いタイミングで点灯します。レーン・チェンジ・アシストが死角エリアに車両を検出すると、いつでも、警告を発します。
- 外部・ミラーの警告インジケーターがまだ表示されていないくても、高速で接近する車両がある場合、車線変更は危険と考えられます。

運転状況:

起こりうるケースとそれに関連するレーン・チェンジ・アシストおよびリヤ・ターン・アシストの警告インジケーターを、運転状況に応じて以下に説明します。

高速で接近する車両

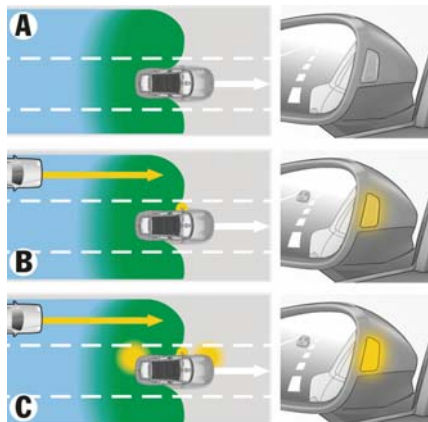


図 195 : 高速で接近する車両

A - ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

センサーは車両を検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B - 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

センサーが高速で接近する車両を検出しました (図の例は左側車線を示しています)。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、この車両はすでに車速変更を行うには危険と判断されます。ドア・ミラーの警告インジケーターが点灯します。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケーターが数回短く点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

ゆっくりと接近する車両

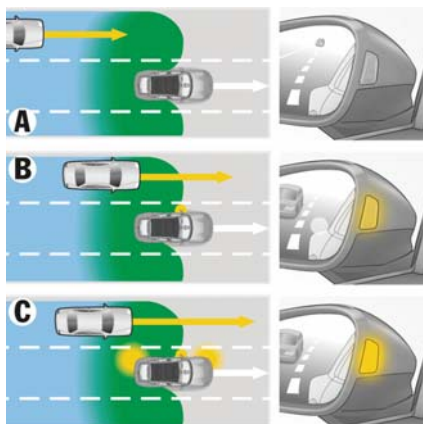


図 196： ゆっくりと接近する車両

A - ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

センサーがゆっくりと接近する車両を検出しました (図の例は左車線を示す)。速度差が小さくて車間距離が長い場合は、ドア・ミラーに表示されません。

B - 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

車両がゆっくりと接近してきています。ドア・ミラーの警告インジケーターが点灯します。レーン・チェンジ・アシストがその速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合のみ、ドア・ミラーに表示されます。レーン・チェンジ・アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 **B** でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケーターが数回短く点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

ゆっくりと遠ざかる車両

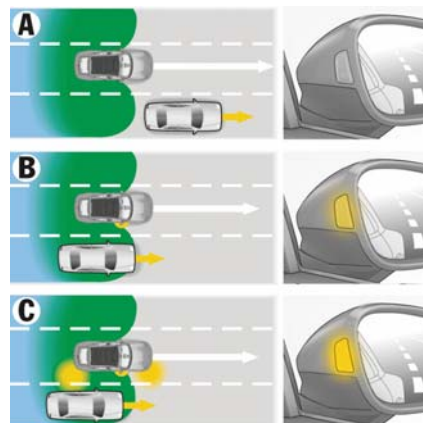


図 197： ゆっくりと遠ざかる車両

A - ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

レーン・チェンジ・アシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B - 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

レーン・チェンジ・アシストはゆっくりと遠ざかる車両 (速度差約 15 km/h 未満) を右側車線で検出しました。ドア・ミラーの警告インジケーターが点灯します。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 **B** でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケーターが数回短く点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

速く遠ざかる車両

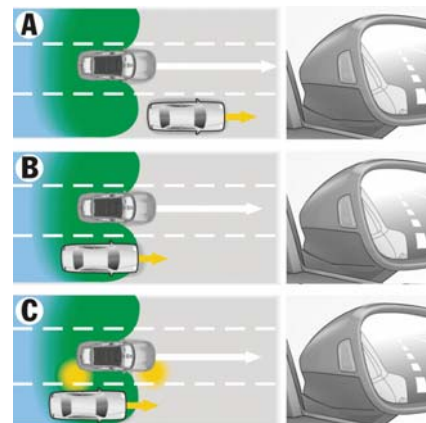


図 198： 速く遠ざかる車両

A - ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

レーン・チェンジ・アシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B - ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

この例では、レーン・チェンジ・アシストは高速で遠ざかる車両 (速度差約 15 km/h 以上) を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

C - ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない
 運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドア・ミラーの警告インジケーターは作動しません。

車線変更をするために加速する

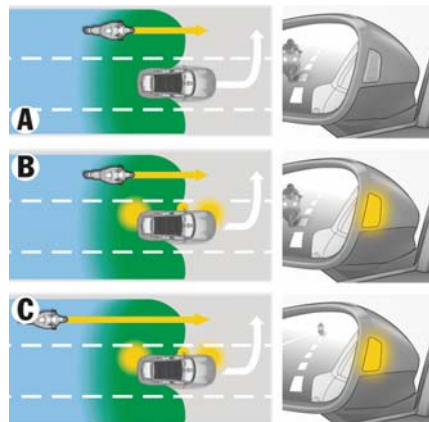


図 199：車線変更をするために加速する

A - ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない
 方向指示器は作動せず、追い越した後にリヤ・ターン・アシストは停止します。死角にいるバイクは検出されません。高速で接近する車両も検出できない可能性があります。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。
 B - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する
 運転状況 A でドライバーが該当する方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケーターが数回短く点滅した後に点灯しま

す。リヤ・ターン・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

該当する側の方向指示器が作動している場合に、センサーは高速で接近する車両を検出します (図の例は左側車線を示しています)。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、この車両はすでに車線変更を行うには危険と判断されます。ドア・ミラーの警告インジケーターが数回短く点滅した後に点灯します。

カーブを走行する

カーブを走行する場合、レーン・チェンジ・アシストは2つ離れたレーンを走行する車両に反応し、ドア・ミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。

車線変更補助は急カーブでは車両を検出できません (約50m未満の半径のカーブ)。

▶ カーブを走行するとき、および標準的な幅でない車線を走行するときは特に注意してください。

車線の幅

標準的な幅の車線の場合、ドライバーが車線の中央部または車線の端を走行しているかに関わらず、レーン・チェンジ・アシストの検出エリアには隣接した車線 (左/右) が含まれます。

狭い車線を走行する場合、検出エリアにはより多くの車線が含まれることがあります (特に車線の端を走行している場合)。このような状況では2つ離れたレーンを走行する車両が検出されることがあり、レーン・チェンジ・アシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。

同様に、非常に幅の広い車線の場合、隣の車線の車両であっても、検出エリアの範囲外であれば検出されないことがあります。

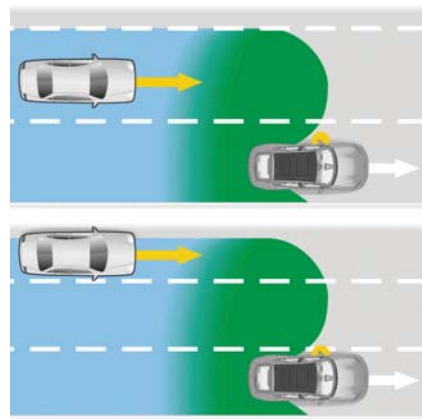


図 200：車線の幅と検出エリア

お手入れ

お手入れの諸注意

⚠ 警告

ブレーキ・ディスク
の水膜

洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 洗車後は、ブレーキの作動を点検してください。
- ▶ ブレーキを乾燥させるため、後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。

ポルシェ社は Porsche Tequipment 製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

- ▶ カー・ケア用品の使用に際しては、パッケージ等に記載された注意事項を必ず守ってください。
- ▶ これらの製品は、お子様の手が届かない安全な場所に保管してください。
- ▶ 不要になった製品は、法規に従って適切な方法で廃棄してください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店は状態報告書を用意し、車両のお手入れ水準を保証します。

知識

高圧洗浄機およびスチーム・クリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります：

- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、デコラティブ・フィルム
- 塗装面
- オルタネーター
- エンジン・コンパートメント内の電装部品とコネクタ
- パーキング・アシスタント・センサー
- アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) の (レーダー) センサーおよび他のアシスタント・システム
- リバース・カメラ
- ワイパー・ブレード
- ▶ 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ デコラティブ・フィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用しないでください。
- ▶ 清掃するときは、ノズルから 50cm 以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせると、車両が損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェット・ノズルで洗浄

しないでください。

- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェット・ノズルを直接向けないでください。
- ▶ エンジン・ルーム内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは絶対に開口部（スパークプラグ・シャフト、エア・クリーナー・ハウジング、エア・フィルターなど）に向けないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤（塩分）、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください：

- ▶ 車両下部は汚れが激しいため、遅くとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。
- ▶ ばい煙、油脂類、オイル、および重金属などが適切に処理できる洗車場でのみ洗車を行ってください。
- ▶ 直射日光の下や、塗装面の温度が高いときは洗車しないでください。
- ▶ 手洗いをを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カー・シャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
- ▶ 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷり水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウ

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A-Z

には、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

洗車機での洗車

知識

取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツは、洗車機内で損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。

危険	以下の点をご確認ください。
洗車機で洗車中、フロント・ワイパーが不意に作動し始め、損傷する恐れがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ フロント・ワイパーをOFFにしてください。 ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
外装部品への損傷	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ドア・ミラーを格納してください。 ▶ ルーフ・トランスポート・システムを完全に取り外してください。

危険

以下の点をご確認ください。

ホイールへの損傷

- ▶ 洗車機のガイド・レールに十分な寸法があるか確認してください。タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに依り、損傷のリスクも大きくなります。

ハイグロスまたはシルクグロス・ホイールへの傷

- ▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

塗装面のお手入れ

知識

塗装面に付着した汚れの粒子は、適切に手入れをしないと塗装に損傷を与える場合があります。

- ▶ 乾いた布でほこりを拭きとらないでください。

知識

適切に手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- ▶ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

塗装面の保護

塗装面は経年変化により光沢が失われていくため、洗車後は塗装保護剤等で定期的に保護する必要があります。この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

塗装面の艶出し

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。

汚れ、染みの除去

タール、グリース、昆虫の死骸などは適切な洗剤で速やかに除去した後、丁寧に水で洗い流してください。長時間放置すると、塗装の色褪せの原因となります。

小さな傷の補修

亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

フロント・ウィンドウ・ワイパーの手入れ

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパー・ブレードが不可欠です。

- ▶ ウィンドウ・クリーナーを使用してフロント・ガラスを定期的に清掃してください。

特に洗車機を使用した後は清掃してください。

- ▶ 汚れがひどい場合（虫の残骸などによって）、スポンジまたは布を使用してフロント・ガラスを清掃してください。

ウィンドウの清掃

フロント側のウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ 有資格者を有する修理工場にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

- ▶ 定期的にウィンドウ・クリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。
- ▶ ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。防腐剤の残留物により視界が悪くなる危険があります。
- ▶ 昆虫の死骸は、ボルシェ推奨のインセクト・リムーバーで取り除いてください。

アンダーコーティングの補修



警告

エキゾースト・システム付近の可燃物

エキゾースト・システム部に防錆剤やアンダー・コーティング剤を塗布すると、運転中

に過熱して引火する危険があります。

- ▶ エキゾースト・マニホールド、エキゾースト・パイプ、触媒コンバーター、ヒート・シールド、およびその周囲には、アンダー・コーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ▶ ボルシェ正規販売店で車両底部を定期点検し、必要に応じて保護コーティングを修復してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。

デコラティブ・フィルムの清掃

知識

洗浄時にデコラティブ・フィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホット・ワックスを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品および表面、センサーおよびカメラの清掃

知識

洗剤がコントローラまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック製の表面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック部品に直接水や室内用ウィンドウ・クリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品とその表面、アダプティブ・クルーズ・コントロール用センサー、および車両カメラの清掃には、きれいな水と、少量の食器用洗剤または室内用ウィンドウ・クリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ タッチ・センシティブ・ボタンを有するセンターコンソールの洗浄には、マイクロ・ファイバー布のみを使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

特にセンターコンソールの洗浄に適しているボルシェ純正マイクロ・ファイバー布が車両に装備されています（グローブ・ボックス）。マイクロ・ファイバー布の再購入

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ホイールのお手入れ

▲ 警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキ・ディスク上の膜の発生

ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどが付着したままにすると、ブレーキ・ディスクに膜ができて、ブレーキ性能を損なう恐れがあります。

- ▶ ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着した場合、高圧洗浄機などで完全に洗い流してください。
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを動作させ、ブレーキ・ディスクを乾かしてください。

軽合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子（ブレーキ・ダストに含まれる黄銅や銅など）は、長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴（ピッチング）が生じます。

塗装の被膜を破壊するような光沢剤やpH値が不適切なクリーナー、研磨機具、研磨剤などは使用しないでください。

- ▶ 腐食性がない軽合金製ホイール・クリーナー（pH値4から10の間）をご使用ください。pH値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。
- ▶ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤がまかれる

地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。

- ▶ 「洗車機での洗車」の章（276ページ）を参照してください。

ドア、ルーフ、リッドとウィンドウ・シールの清掃

知識

インナー・ドア・シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ 防錆剤を使用しないでください。

適切なお手入れのため、以下の点に特に注意してください。

- ▶ シールの汚れ（傷、汚れ、凍結防止剤、砂塵など）は、温かい石鹸水で定期的に洗浄してください。
- ▶ 凍結する恐れがある場合は、適切なカー・ケア用品でアウター・ドア・シール、リッドやフラップのシールを保護してください。

革製品の手入れ

知識

不適切なクリーナー、洗剤、保護剤などを使用すると、本革を傷める原因になります。

- ▶ 強い洗剤や、硬い清掃具を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 革製品に付着した水滴は直ちに取除いてください。

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

- ▶ 無色の柔らかい毛織物または市販のマイクロ・ファイバー布を湿らせて、表面の細かい汚れを拭き取り、すべてのタイプの本革を定期的にお手入れしてください。
- ▶ 汚れがひどいときは（水などによる染み以外）レザー・クリーナーで取除いてください。容器にある使用上の注意を確認してください。
- ▶ 清掃後は、本革専用の手入れ剤でお手入れしてください。

シート・ベンチレーション付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けた有孔加工の本革に染みを付ける可能性があります。

水染み/湿気による染みを取り除く。

- ✓ シート・ヒーターとシート・ベンチレーションをOFFにしてください。
 - ✓ 直射日光を避けてください。
1. 清潔で、目の細かいスポンジと蒸留水を使用して、シート・クッションまたはバック

レストの表面全体を拭き取ってください。表面に小さな穴を開けた有孔加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。

- シート・カバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シート・カバーを乾かす際、シート・ヒーターやシート・ベンチレーションをONにしないでください。
- 乾いた後、シート・カバーを乾燥した不織布で拭いてください。

カーペット、フロア・マットの清掃



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マットや正しく固定されていないフロア・マットはペダルの作動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。

- ▶ フロア・マットを適切に固定してください。マットを固定せずに置かないこと。

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

- ▶ 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
- ▶ ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。

フロア・カーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロア・マットをカー・アクセサリとして用意しています。

エアバッグ・カバーの清掃



危険

不適切な清掃

エアバッグの周りを不適切なクリーナーやケア製品で清掃するとエアバッグ・システムに浸透し、不適切な取り扱いを行うとシステムに損傷を与える恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグ・システムが作動しない危険があります。

- ▶ ステアリング・ホイールのカバー、ダッシュボード、フロント・シート、ドア・パネルおよびルーフ・フレーム・パネルなどの部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの周囲には洗剤や液体を使用しないでください。

内張りの清掃

ピラー、ヘッドライナー、サンバイザーなどのファブリック・ライニングは、素材に適した洗剤やドライ・フォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

Alcantara®のお手入れ

Alcantara®の清掃に、本革用のカー・ケア用品を使用しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。研磨材を使用したり、強く擦ったりすると、表面が傷むので注意してください。

- ▶ 軽く汚れたときは、柔らかい布を水または修正洗剤用液で濡らして、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、ぬるま湯または薄めたホワイトリカーで柔らかい布を濡らし、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

シート・ベルトの清掃

適切なお手入れのため、以下の点に特に注意してください。

- ▶ シート・ベルトの汚れには中性洗剤を使用してください。
- ▶ シート・ベルトを乾燥させるときは、直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗剤のみを使用してください。
- ▶ シート・ベルトを染色および脱色しないでください。シート・ベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

高電圧バッテリーのお手入れ

お手入れの諸注意

高電圧バッテリーの物理的性質のため、ライフ・サイクル中にバッテリー容量が減少し、使用可能な最大電気量も減少します。

以下の対策により、ライフ・サイクル中に減少するバッテリー容量にプラスの効果を与えることができます：

- ▶ 充電タイマー機能による高電圧バッテリーの充電
- ▶ 可能な限り、直射日光の下など高温になる場所に車両を駐車しないでください。

車両を長期保管する場合の注意点

1ヶ月以上使用しない場合：

- ▶ 高電圧バッテリーは自然に放電するため、充電/トリクル充電用の電源に常時接続しておいてください。

電源に常時接続することができない場合：

- ▶ 車両を保管する前に、高電圧バッテリーを

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

完全に充電（100%充電状態）してください。

- ▶ 3か月に1度は充電状態を確認し、必要に応じて充電してください。
- ▶ タイマー制御されるパーキング・ブレイク・コンを解除してください。
- ▶ プレクール/ヒート・タイマーを停止してください。
- ▶ スマートフォン・アプリ「ボルシェ・カー・コネクト」*を使用しないでください。ボルシェ・カー・コネクト・アプリが車両と通信すると、高電圧システムが作動して高電圧バッテリーが放電します。

スクリーンおよびタッチ・ディスプレイの洗浄

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行なうとスクリーンおよびタッチ・ディスプレイを痛めることがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類（エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール）などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ スクリーンおよびタッチ・ディスプレイに直接クリーナーや他の液体を吹きつけないでください。水が入ると、電子部品は修理不能になることがあります。液体を吹き付けるのではなく、布にしみこませて注意深くスクリーンを拭いてください。

- ▶ スクリーンおよびタッチ・ディスプレイは傷が付きやすくなっています。時々、清潔で柔らかい乾いた布（マイクロファイバー・クロス）やクリーニング用ブラシで慎重にスクリーンおよびタッチ・ディスプレイを清掃してください。清掃の際、表面に強い力を加えないでください。
- ▶ 指紋は少し湿らせた布や刺激性の少ない洗浄剤で取り除いてください。

車両の長期保管

車両を長期保管する場合、ボルシェ正規販売店にご相談ください。腐食保護対策、お手入れとメンテナンス、および保管に関する情報およびアドバイスを提供いたします。

- ▶ 「[けん引]」の章（75ページ）を参照してください。
- ▶ バッテリーを切り離れた状態で車両をロックする場合のインフォメーション：
- ▶ 「[セントラル・ロック・システム]」の章（133ページ）を参照してください。

車両の適切な洗浄を確実にするために、以下を順守してください：

Apple® CarPlay

PCMでApple® CarPlayを開く

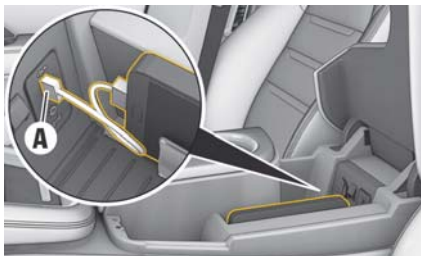


図 201：センター・コンソールのUSBポート

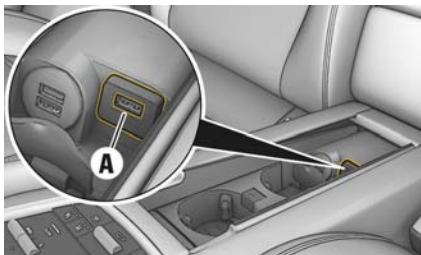



図 202：リヤ・センタ・コンソールのUSBポート

- ✓ iPhone® 5以降、iOS® 7.1以降。
 - ✓ Siri® および Apple® CarPlay がお使いの iPhone® で有効になりました。
1. iPhone® をセンタ・コンソール/リヤ・センタ・コンソールのUSBポートAに接続します。
 2. Apple CarPlay® の使用を確定します。利用可能なアプリが表示されます。Apple® CarPlay が開きます。

- ▶ 他の機能から Apple® CarPlay に切り替えるには、Apple CarPlay  を選択します。

インフォメーション

- 最新バージョンの iOS® をインストールすることが推奨されています。
- 使用している iPhone® のアプリのうち、Apple CarPlay® が対応しているもののみが表示されます。対応アプリに関するインフォメーション：www.apple.com/ios/carplay を参照してください。
- 表示されている Apple® CarPlay のコンテンツおよび機能は、接続されている iPhone® によって提供されます。
- Apple® CarPlay を使用中には、有効な Bluetooth® 接続 (例: テレフォニ、メディア再生、ニュース) はすべて自動的に解除されません。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じて、追加料金が発生する場合があります。定額データ・プランのご利用をお勧めします。

インフォメーション

- Porsche Communication Management の操作に関する情報 (PCM):
- ▶ 「ボルシェ・コミュニケーション・マネジメント (PCM)」の章 (224ページ) を参照してください。


Apple® CarPlay を PCM と連動させる

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチディスプレイ、ロータリー・プッシュ・ボタン、およびバック・ボタンで操作できます。

- ▶ Apple CarPlay  でメイン・メニューを開くには、PCM のタッチディスプレイでホーム・ボタン  を押します。

- ▶ PCM のメイン機能に切り替えるには、Apple CarPlay  ▶ Porsche を選択します。

- または -

- ▶ 任意の機能 (例: メディア ) を選択します。

Siri® のボイス・コントロール・システムを使用した Apple® CarPlay の操作

Siri® を有効にする

- ✓ Siri® が使用中の iPhone® の設定で有効になっている。
- ✓ イグニッションと PCM が ON になっている。
- ✓ 電話を使用していない状態にする
- ✓ ParkAssist がアクティブになっていません。
- ✓ PCM ボイス・コントロールが無効になっている。

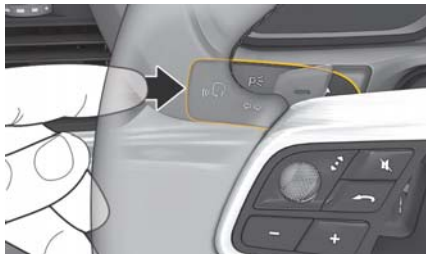




図 203 : レバーのボイス・コントロール・ボタン

1. レバーの  ボタンを押し続けます。
2. 希望のボイス・コマンドを発話してください。

Siri® を解除する

- ✓ 音声認識が有効で、ボイス・コマンドを待機している状態にする
- ▶ レバーの  を押してください。
終了音が鳴ります。

Apple® CarPlay と iPhone® の iPod® としての使用の切り替え

iPhone® を iPod® として接続する場合、Apple® CarPlay は使用できません。デバイス・マネージャーを使用して、iPhone® を iPod® として使用するか、Apple® CarPlay を使用するかを切り替えることができます。

1. デバイス・マネージャーを開くには、デバイス  を選択してください。
2. 使用している iPhone® のアイコンリンクを選択してください。

HOLD機能：停止制御

HOLD機能は、上り坂での停車時や発進時にドライバーの運転操作を支援します。

この機能により、ブレーキ・ペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

HOLD機能は作動モードD、RまたはMでのみ使用可能です。

HOLD機能が作動すると、インストルメント・パネルのインジケータ・ライト**HOLD**が点灯します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールが正常に機能している場合、HOLD機能は自動ブレーキの後、停止した車両を保持します。

HOLD機能が作動中にドライバーが運転席シート・ベルトを外し、運転席ドアを開いた場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキが自動的に作動します。HOLD機能が作動しているときは、通常の走行も可能です。

i インフォメーション

車両がエレクトリック・パーキング・ブレーキで坂道に停止している場合、通常の運転操作で発進します。

エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。

- ▶ 「ブレーキ」の章（209ページ）を参照してください。

i インフォメーション

HOLD機能は無効になりました。

- 作動モードPおよびNで：HOLD機能が作動中にPDK作動モードを変更した場合、HOLD機能は解除されます。
- 車両が停止していない
- エンジンが手動で停止される場合。
- 坂道の勾配率が5%以下
- 運転席ドアが開いており、運転席シートベルトを着用していない
- ブレーキ・ペダルを踏む力が弱すぎる

i インフォメーション

車両が停止している間に素早くブレーキ・ペダルを踏み込むと、勾配に関係なくHOLD機能が作動します。これは、ブレーキ・ペダルを連続的に押下することなく、停止時の車両を維持します。セレクター・レバー変速レンジ位置の瞬間的な変化は、この場合、HOLD機能を解除しません。

⚠ 警告

上り坂斜面でわずかにロールバックします。

運転者がフット・ブレーキを適用せずに急な勾配で車両を静止する場合、HOLD機能がそれを停止するまで、車両はロールバックします。この状況では、フット・ブレーキを適用することによって、ロールバックを低減します。

- ▶ フット・ブレーキをかけて制動力を上げることで、車両の停止維持を補助してください。

i インフォメーション

HOLD機能が有効であるとき、運転者はブレーキ・ペダルの違いを感じることができ、油圧ノイズが聞こえます。これはシステムの正常な作動であり、障害がありません

⚠ 警告

車両コントロールの喪失

HOLD機能が効いていても、勾配での停止および発進の際の責任はドライバーです。滑りやすい路面上で停止し、発進する場合（例えば、凍っていたり、緩んだ基盤）、HOLD機能は、支援の提供を保証しません。この場合、発進時に車両がスリップする危険があります。

- ▶ 路面と車両負荷に対してドライビングスタイルを常に調整し、必要に応じて、フットブレーキを使用します。HOLD機能が働いていない場合は、丘の上で発進するとき、ドライバは支援されません。
- ▶ フット・ブレーキをかけて停車してください。

Porsche Rear Seat Entertainment

Porsche Rear Seat Entertainment の操作



警告

運転中の設定と操作

運転中に設定を変更したり、車両コンポーネントを操作すると、運転から注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る危険があります。

- ▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合のみに、運転中の操作を行ってください。
- ▶ 安全を確保できない場合は、車両を適切な場所に停車し、複雑な操作や設定を行うのは停車中だけにしてください。



注意

怪我をする恐れがあります。

取り付けられていない Porsche Rear Seat Entertainment システムは、ブレーキをかけたとき、方向を転換したとき、または事故が起きたときに、怪我の原因となります。

- ▶ 運転中に、車両内の取り付けられていない PRSE を安全に収容してください。
- ▶ PRSE の運転中の操作は、正しく取り付けられている場合のみに行ってください。
- ▶ PRSE が取り付けられている場合、進行方向と反対向きにチャイルド・シートをリヤ・シートに取り付けしないでください。

知識

正しく取り扱いわない場合、Porsche Rear Seat Entertainment システムが損傷する恐れがあり

ます。

- ▶ 尖った物を使用してタッチディスプレイを操作しないでください。
- ▶ クリーナーや他の液体をじかにタッチディスプレイに吹きかけないでください。
- ▶ PRSE エレクトロニクスや関連ソフトウェアに手を加えないでください。
- ▶ 「スクリーンおよびタッチ・ディスプレイの洗浄」の章（280ページ）を参照してください。



インフォメーション

PRSEにはコンポーネント保護が搭載されています。PRSE を 30 日以内に取り付けられない場合、PRSE がブロックされます。

- ▶ PRSE のブロックを解除するには、車両に装置を取り付けてください。

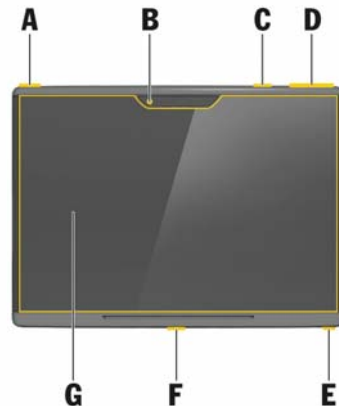


図 204：ポルシェ・リヤ・シート・エンターテインメント

- A スイッチを ON/OFF にする
- B カメラ
- C Micro SD カード・リーダー
- D 音量を調節する
- E ヘッドフォン出力
- F マイクロ USB ポート
- G PRSE タッチディスプレイ

Porsche Rear Seat Entertainment を PCM に接続する

- ✓ WiFi が PCM で有効化されました。
- ▶ 「PCM データ接続を利用する（ワイヤレス・インターネット・アクセス）」の章（151ページ）を参照してください。
- ✓ WiFi が PRSE で有効化されました。
- ✓ PRSE が車両ホルダに固定されました。

PCM アクセスの有効化および設定

PRSE がどの PCM メディアにアクセスできるかは、PCM を使用して設定します。

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

▶ 車両  ▶ 制御  ▶ 結果表示 ▶ PRSE

Porsche Rear Seat Entertainment の操作

PRSE の操作方法は、ダッシュボードのタッチディスプレイを操作する方法と同様です。


▶ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)」の章 (224ページ) を参照してください。

操作のクイック・レファレンスは PRSE にインストールされています:

▶ アプリ  ▶ 初回使用




メディア再生

ジュークボックスとアクティブな PCM ソースへのアクセス。Apple® CarPlay、iPod®, Bluetooth® などのメディア・ソースおよびオンライン・ソースは、PRSE からは管理できません。


▶ メディア 

ルート案内を開始

ナビゲーション目的地を PCM に転送します。

1. ナビ  ▶  ヘッダーで選択してください。
2. 目的地を入力してください。
3.  を選択して、ルート案内を開始します。

タッチディスプレイで PRSE 設定を呼び出す
ディスプレイ、サウンド、データ接続、アプリなどの設定は PRSE で行えます。

▶ 設定 

Porsche Rear Seat Entertainment の充電

PRSE を車両ホルダーに取り付けられると、車両バッテリーから給電され、必要に応じて充電されます。

バッテリーを保護するため、イグニッションが OFF になってから数分経過すると、PRSE は自動的に OFF になります。

i インフォメーション

電装品が ON になっていると、バッテリーは放電します。バッテリー保護のための電装品はオフにしてください。

PRSE を車両ホルダーと併用使用しない場合、ソケットまたは外部装置に接続した市販の USB 充電ケーブルで充電できます。

PRSE タッチディスプレイまたは PRSE デバイス全体が節電モードに入るか、スイッチが完全に OFF になると、設定が可能になります。

▶ 設定 

Bluetooth® ヘッドフォンを Porsche Rear Seat Entertainment に接続する

▶ Bluetooth® ヘッドフォンの取扱説明書を参照してください。

Porsche Rear Seat Entertainmentの取り外しおよびマウント

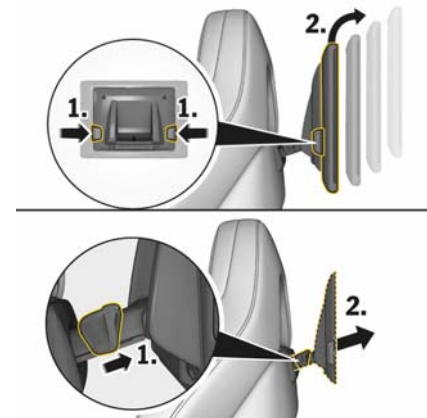


図 205 : PRSE の取り外し

ポルシェ・リヤ・シート・エンターテイメント・タッチディスプレイの取り外し

1. ホルダの裏側にあるボタンを両方とも押しします。
2. タッチディスプレイをホルダーから上に引き抜いてください。

ポルシェ・リヤ・シート・エンターテイメント・ホルダの取り外し

1. リリースを引き、引っ張ったままにしてください。
2. ホルダーを座席から引き抜いてください。

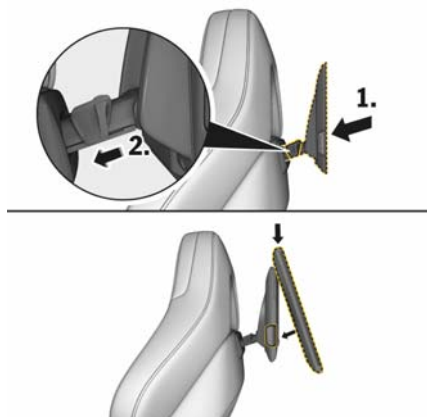


図 206 : PRSE のマウント

ボルシェ・リヤ・シート・エンターテインメント・ホルダのマウント

1. PRSE ホルダを座席の開口部に挿入します。
2. ホルダーを座席にカチッと音がするまで押し込みます。

ボルシェ・リヤ・シート・エンターテインメント・タッチディスプレイの挿入

1. タッチディスプレイを上から中央部に挿入します。
 2. カチッと音がしてしっかりロックされるまで、走行方向にタッチディスプレイを押し込みます。
- ▶ PRSE の角度は調節できます。

テクニカル・データ

以下のページでは、お使いの車両の技術データを表示します。

テクニカル・データ

この取扱説明書に含まれる情報は、装備品または国別で車両固有データと異なる場合があります。車両固有データに関しては、車両の公式登録書類およびインフォメーション・プレート(例: ビークル・プレート)を参照してください。

車両の公式登録書類の情報は、常にこの取扱説明書の内容よりも優先されます。

車両識別番号



図 207 : 車両識別番号固定位置

車両識別番号はフロント・ガラス枠の内側、左下と助手席足元のカーベットのカバー下にあります。

- ▶ スペア・パーツの注文をする場合は、必ず車両識別番号を明示してください。

エンジン・データ

	Panamera Turbo	Panamera 4S	Panamera、Panamera 4
シリンダー数	8	6	6
総排気量	3,996 cm ³	2,894 cm ³	2,995 cm ³
最大エンジン出力 (ECE-R 85)	404 kW (550 hp)	324 kW (440 hp)	243 kW (330 hp)

タイヤ空気圧プレート



図 208 : タイヤ空気圧プレート固定位置

車両データ記憶媒体

車両データ・キャリアは整備手帳にあります。重要な全ての車両データが含まれています。データ・バンクは紛失したり、破損したりしても再注文することはできません。

	Panamera Turbo	Panamera 4S	Panamera、Panamera 4
エンジン回転数	5,750 ~ 6,000 rpm	5,650 ~ 6,600 rpm	5,400 ~ 6,400 rpm
最大トルク (ECE-R 85)	770 Nm	550 Nm	450 Nm
エンジン回転数	1,960 ~ 4,500 rpm	1,750 ~ 5,500 rpm	1,340 ~ 4,900 rpm
エンジン・オイル消費量	0.8 l/1,000 km まで	0.8 l/1,000 km まで	0.8 l/1,000 km まで
最高許容エンジン回転数	6,800 rpm	6,800 rpm	6,500 rpm
Panamera 4 E-ハイブリッド	内燃エンジン	電動モータ	コンビネーション
シリンダー数	6	-	-
総排気量	2,894 cm ³	-	-
最大エンジン出力 (ECE-R 85)	243 kW (330 hp)	100 kW (136 hp)	340 kW (462 hp)
エンジン回転数	5,250 ~ 6,500 rpm	2,800 rpm	6,000 rpm
最大トルク (ECE-R 85)	450 Nm	400 Nm	700 Nm
エンジン回転数	1,750 ~ 5,000 rpm	100 ~ 2,300 rpm	1,100 ~ 4,500 rpm
エンジン・オイル消費量	0.8 l/1,000 km まで	-	-
最高許容エンジン回転数	6,800 rpm	-	-

充填容量

	Panamera Turbo	Panamera 4S	Panamera 4 E- ハイブリッド	Panamera、Panamera 4
オイル・フィルターを含むエンジン・オイルの交換量(最大)	約 9.5 リットル	約 7.9 リットル	約 7.9 リットル	約 7.9 リットル
エンジン・オイル規格 ▶ 「エンジン・オイル」の章 (62ページ) を参照してください。	Porsche A40、SAE 0W-40、SAE 5W-40、SAE 5W-50	Porsche C30 (または VW 504 00)、SAE 0W-30、SAE 5W-30	Porsche C30 (または VW 504 00)、SAE 0W-30、SAE 5W-30	Porsche C20 (または VW 508 00)、SAE 0W-20
燃料タンク	約 12 リットルの予備を含む約 90 リットル	約 10 リットルの予備を含む約 90 リットル	約 10 リットルの予備を含む約 80 リットル	約 10 リットルの予備を含む約 75 リットル (オプション: 90 リットル)
燃料のオクタン価 ▶ 「給油」の章 (78ページ) を参照してください。	エンジンは、 98 RON/88 MON に従い、 金属系添加物を含まないプレミアム無鉛ガソリン を使用したときに、最適なパフォーマンスおよび燃費を提供するように設計されています。			
フロント・ウィンドウノ ヘッドライト・ウォッ シャー液	ヘッドライト・クリーニング・システムなし: 約 2.5 リットル ヘッドライト・クリーニング・システムあり: 約 6 リットル			

燃費と CO2 排出

示した値は、所定の測定方法にしたがって決定されたものです (Euro 6: 現行バージョンの Regulation (EC) 715/2007、Euro 5: 現行バージョンの ECE-R 101 と ECE-R.83)。このデータは、すべての仕様の車両に合致するものではありません。また、メーカーがそれを保証するものでもありません。これらのデータは各仕様別のモデル比較のために利用することのみを目的としています。個々の車両に関する詳細なインフォメーション: ポルシェ正規販売店にご相談ください。

車両型式	アーバン (L/100 km)	エクストラアーバン (L/100 km)	コンビネーション (L/100 km)	CO ₂ 総排出量 (g/km)
燃費 (Euro 6)				
Panamera Turbo	12,8 – 12,9 (12,9 – 13,1)	7,2 – 7,3 (7,3 – 7,4)	9,3 – 9,4 (9,4 – 9,5)	212 – 214 (215 – 217)
Panamera 4S	10,1 – 10,2 (10,3 – 10,4)	6,7 – 6,8 (6,8 – 6,9)	8,1 – 8,2 (8,2 – 8,3)	184 – 186 (187 – 189)
Panamera 4 E- ハイブリッド	-	-	2,5	56
Panamera 4	9,8 – 9,9 (9,9 – 10,0)	6,4 – 6,5 (6,6 – 6,7)	7,7 – 7,8 (7,8 – 7,9)	175 – 177 (178 – 180)
Panamera	9,7 – 9,8	6,3	7,5 – 7,6	171 – 173

括弧内の Executive 車両は情報が異なります。

重量

規格 (EC) 1230/2012 に基づく空車重量には運転者 75 kg と荷物が含まれます。

- ▶ 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加アクセサリなどが装備されている場合は、それに応じて最大積載重量が減少します。
- ▶ ボルシェ・テックアップメント製品またはボルシェ社がテストを実施し、承認したルーフ・トランスポート・システムのみを使用してください。
- ▶ ルーフ・トランスポート・システムに荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 「ルーフ・トランスポート・システム」の章 (264ページ) を参照してください。

	Panamera Turbo	Panamera ターボ Executive	Panamera 4S	Panamera 4S Executive
空車重量 (装備により異なる)				
DIN 70020 規格	1,995 kg ~ 2,260 kg	2,100 kg ~ 2,265 kg	1,870 kg ~ 2,180 kg	1,980 kg ~ 2,175 kg

	Panamera Turbo	Panamera ターボ Executive	Panamera 4S	Panamera 4S Executive
EC 規格 1230/2012 に基づく	2,070 kg ~ 2,335 kg	2,175 kg ~ 2,340 kg	1,945 kg ~ 2,255 kg	2,055 kg ~ 2,250 kg
最大軸荷重、フロント	1,290 kg	1,320 kg	1,220 kg	1,245 kg
最大軸荷重、リヤ ¹	1,360 kg	1,380 kg	1,340 kg	1,355 kg
最大総重量 ²	2,585 kg	2,635 kg	2,495 kg	2,545 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	-	75 kg	-

	Panamera 4 E-ハイブリッド	Panamera 4 E-ハイブリッド Executive	Panamera 4	Panamera 4 Executive	Panamera
空車重量 (装備により異なる)					
DIN 70020 規格	2,170 kg ~ 2,380 kg	2,250 kg ~ 2,415 kg	1,850 kg ~ 2,110 kg	1,935 kg ~ 2,110 kg	1,815 kg ~ 2,075 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	2,245 kg ~ 2,455 kg	2,325 kg ~ 2,490 kg	1,925 kg ~ 2,185 kg	2,010 kg ~ 2,185 kg	1,890 kg ~ 2,150 kg
最大軸荷重、フロント	1,285 kg	1,320 kg	1,190 kg	1,215 kg	1,155 kg
最大軸荷重、リヤ ¹	1,490 kg	1,535 kg	1,340 kg	1,310 kg	1,295 kg
最大総重量 ²	2,710 kg	2,775 kg	2,430 kg	2,470 kg	2,390 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	-	75 kg	-	75 kg

1. EUのみ: 100 km/h 以下および 140 kg 積載 (Panamera ターボ 135 kg) のトレーラーけん引の場合

2. EUのみ: 100 km/h 以下および 100 kg 積載のトレーラーけん引の場合

車両寸法 (メーカー発表値)

長さ (装備により異なる)	5,049 mm
長さ (装備により異なる)、Executive 車両	5,199 mm
幅 (装備により異なる)	1,937 mm
ドア・ミラーを含む全幅	2,165 mm
DIN 規定の空車重量での高さ	1,399 mm ~ 1,432 mm
リヤ・リッド・オープン時の全高	2,125 mm ~ 2,128 mm

ホイールおよびタイヤ

ホイールおよびタイヤ・サイズ

ボルシェ社が承認したタイヤを装着することで、この車両に最適な走行性能が得られます。許容最高速度が、負荷容量指数 (例: 「105」) および分類記号 (例: 「Y」) 以上の性能のものを使用してください。新品のタイヤの取り付けまたはタイヤの交換を行う場合:

- ▷ 「タイヤとホイール」の章 (152ページ) を参照してください。
- ▷ スノー・チェーンは、適切なマークが付いたホイールおよびタイヤ・サイズにのみ装着します。スノー・チェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ボルシェが承認したスノー・チェーンのみ使用します。
- ▷ リアアクセルステアリング装備車のスノー・チェーン・モードを起動します。
 - ▷ 「車両設定の概要」の章 (141ページ) を参照してください。
- ▷ 交換するタイヤ / ホイールがEU規格に適合しているか確認してください。必要であればホイール / タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか参照してください。詳細な情報については、ボルシェ正規販売店にご相談ください。

タイヤ・タイプ	タイヤ・サイズ	ホイール・サイズ	スノー・チェーンの装着
全モデル			
クラブシブル・スペア・ホイール	155/70 R 20	4.5B x 20	不可
Panamera, Panamera 4, Panamera 4 E-Hybrid, Panamera 4S			

タイヤ・タイプ	タイヤ・サイズ	ホイール・サイズ	スノー・チェーンの装着
サマー・タイヤ	FA: 265/45 ZR 19 (105Y) XL RA: 295/40 ZR 19 (108Y) XL	FA: 9.0J x 19、RO 64 ¹ RA: 10.5J x 19、RO 62 ⁶	不可
	FA: 275/40 ZR 20 (106Y) XL RA: 315/35 ZR 20 (110Y) XL	FA: 9.5J x 20、RO 71 RA: 11.5J x 20、RO 68	不可
	FA: 275/35 ZR 21 (103Y) XL RA: 315/30 ZR 21 (105Y) XL	FA: 9.5J x 21、RO 71 RA: 11.5J x 21、RO 69	不可
オール・シーズン・タイヤ	FA: 275/40 R 20 106V M+S RA: 315/35 R 20 110V M+S	FA: 9.5J x 20、RO 71 RA: 11.5J x 20、RO 68	不可
	FA: 275/35 R 21 103V XL M+S RA: 315/30 R 21 105V XL M+S	FA: 9.5J x 21、RO 71 RA: 11.5J x 21、RO 69	不可
ウインター・タイヤ	FA: 265/45 R 19 105V XL M+S RA: 295/40 R 19 108V XL M+S	FA: 9.0J x 19、RO 64 RA: 10.5J x 19、RO 62	リア アクセルのみ
	FA: 275/40 R 20 106V XL M+S RA: 315/35 R 20 110V XL M+S	FA: 9.5J x 20、RO 71 RA: 10.5J x 20、RO 71	リア アクセルのみ
	FA: 275/35 R 21 103V XL M+S RA: 315/30 R 21 105V XL M+S	FA: 9.5J x 21、RO 71 RA: 10.5J x 21、RO 71	リア アクセルのみ
Panamera Turbo			
サマー・タイヤ	FA: 275/40 ZR 20 (106Y) XL RA: 315/35 ZR 20 (110Y) XL	FA: 9.5J x 20、RO 71 RA: 11.5J x 20、RO 68	不可
	FA: 275/35 ZR 21 (103Y) XL RA: 315/30 ZR 21 (105Y) XL	FA: 9.5J x 21、RO 71 RA: 11.5J x 21、RO 69	不可
オール・シーズン・タイヤ	FA: 275/40 R 20 106V M+S	FA: 9.5J x 20、RO 71	不可

1. PCCB と併用不可

タイヤ・タイプ	タイヤ・サイズ	ホイール・サイズ	スノー・チェーンの装着
ウインター・タイヤ	RA: 315/35 R 20 110V M+S	RA: 11.5J x 20、RO 68	不可
	FA: 275/35 R 21 103V M+S RA: 315/30 R 21 105V M+S	FA: 9.5J x 21、RO 71 RA: 11.5J x 21、RO 69	
	FA: 275/40 R 20 106V M+S RA: 315/35 R 20 110V M+S	FA: 9.5J x 20、RO 71 RA: 10.5J x 20、RO 71	リア アクセルのみ
	FA: 275/35 R 21 103V M+S RA: 315/30 R 21 105V M+S	FA: 9.5J x 21、RO 71 RA: 10.5J x 21、RO 71	リア アクセルのみ

FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル、RO = リム・オフセット

タイヤ空気圧

これらのタイヤ空気圧は、冷間時のタイヤ (20 °C) 用にボルシェが承認したタイヤのメーカーおよび種類のみ適用されます。

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) で、車両の積載状況を設定します。車両重量に応じてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▷ 「車両設定」の章 (141 ページ) を参照してください。
- ▷ 「インストールメント・クラスター」の章 (41 ページ) を参照してください。

標準タイヤ空気圧

Panamera、Panamera 4 FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	部分荷重		全荷重	
	FA	RA	FA	RA
19 インチ・サマー・タイヤ	2.1 bar / 210 kPa / 30 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
20 インチ・サマー・タイヤ	2.1 bar / 210 kPa / 30 psi	2.2 bar / 220 kPa / 31 psi	2.2 bar / 220 kPa / 31 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・サマー・タイヤ	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi
20 インチ・オール・シーズン・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi

Panamera、Panamera 4 FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	部分荷重		全荷重	
	FA	RA	FA	RA
21 インチ・オール・シーズン・タイヤ	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	3.0 bar / 300 kPa / 44 psi
19 インチ・ウインター・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
20 インチ・ウインター・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・ウインター・タイヤ	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	3.0 bar / 300 kPa / 44 psi
Panamera 4 Executive FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	部分荷重		全荷重	
	FA	RA	FA	RA
19 インチ・サマー・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.1 bar / 210 kPa / 30 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
20 インチ・サマー・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.0 bar / 200 kPa / 30 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・サマー・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
20 インチ・オール・シーズン・タイヤ	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・オール・シーズン・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
19 インチ・ウインター・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi

Panamera 4 Executive FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	部分荷重		全荷重	
	FA	RA	FA	RA
20 インチ・ウインター・タイヤ	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・ウインター・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
Panamera 4 E- ハイブリッド FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	部分荷重		全荷重	
	FA	RA	FA	RA
19 インチ・サマー・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi
20 インチ・サマー・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・サマー・タイヤ	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	3.2 bar / 320 kPa / 46 psi
20 インチ・オールシーズン・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・オールシーズン・タイヤ	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	3.2 bar / 320 kPa / 46 psi
19 インチ・ウインター・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi

Panamera 4 E- ハイブリッド FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	部分荷重		全荷重	
20 インチ・ウインター・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・ウインター・タイヤ	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	3.2 bar / 320 kPa / 46 psi

Panamera 4 E- ハイブリッド Executive FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	部分荷重		全荷重	
	FA	RA	FA	RA
19 インチ・サマー・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	3.0 bar / 300 kPa / 44 psi
20 インチ・サマー・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi
21 インチ・サマー・タイヤ	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi	3.2 bar / 320 kPa / 46 psi
20 インチ・オールシーズン・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi
21 インチ・オールシーズン・タイヤ	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi	3.3 bar / 330 kPa / 48 psi
19 インチ・ウインター・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	3.0 bar / 300 kPa / 44 psi

Panamera 4 E-ハイブリッド Executive FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	部分荷重		全荷重	
	FA	RA	FA	RA
20 インチ・ウインター・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi
21 インチ・ウインター・タイヤ	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi	3.3 bar / 330 kPa / 48 psi
Panamera 4S FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	部分荷重		全荷重	
	FA	RA	FA	RA
19 インチ・サマー・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	3.0 bar / 300 kPa / 44 psi
20 インチ・サマー・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi
21 インチ・サマー・タイヤ	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi	3.3 bar / 330 kPa / 48 psi
20 インチ・オールシーズン・タイヤ	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・オールシーズン・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	3.1 bar / 310 kPa / 45 psi
19 インチ・ウインター・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi

Panamera 4S FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	部分荷重		全荷重	
	FA	RA	FA	RA
20 インチ・ウインター・タイヤ	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・ウインター・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	3.1 bar / 310 kPa / 45 psi
Panamera 4S Executive FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	部分荷重		全荷重	
	FA	RA	FA	RA
19 インチ・サマー・タイヤ	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi
20 インチ・サマー・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・サマー・タイヤ	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi	3.1 bar / 310 kPa / 45 psi
20 インチ・オールシーズン・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.2 bar / 220 kPa / 31 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・オールシーズン・タイヤ	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi
19 インチ・ウインター・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
20 インチ・ウインター・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.2 bar / 220 kPa / 31 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・ウインター・タイヤ	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.6 bar / 260 kPa / 38 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi

Panamera Turbo, Panamera Turbo Executive FA = フロント アクセル、 RA = リア アクセル	部分荷重		全荷重	
	FA	RA	FA	RA
20 インチ・サマー・タイヤ	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi
21 インチ・サマー・タイヤ	3.1 bar / 310 kPa / 45 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi	3.2 bar / 320 kPa / 46 psi	3.3 bar / 330 kPa / 48 psi
20 インチ・オール・シーズン・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・オール・シーズン・タイヤ	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi
20 インチ・ウインター・タイヤ	2.4 bar / 240 kPa / 35 psi	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.5 bar / 250 kPa / 36 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
21 インチ・ウインター・タイヤ	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi	2.8 bar / 280 kPa / 41 psi	2.9 bar / 290 kPa / 42 psi



警告

低いタイヤ空気圧

「コンフォート・プレッシャー」メニューは仕向け国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。タイヤ空気圧が低い状態で高速走行すると、タイヤが破損します。

▶ 「コンフォート・プレッシャー」オプション付きの車両のタイヤのみに、コンフォート・プレッシャーを設定します。

270 km/h (165 mph) 以下のコンフォート・タイヤ空気圧

✓ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムおよび速度限界値「270 km/h (165 mph)」の「コンフォート・プレッシャー」設定装備車。

Panamera 4S, Panamera 4 S Executive FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	FA	RA
19 インチ・サマー・タイヤ	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi
20 インチ・サマー・タイヤ	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi
21 インチ・サマー・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi
Panamera Turbo, Panamera Turbo Executive FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	FA	RA
20 インチ・サマー・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi
21 インチ・サマー・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.7 bar / 270 kPa / 39 psi

160 km/h (100 mph) 以下のコンフォート・タイヤ空気圧

✓ タイヤ空気圧モニタリング(TPM)システムに「コンフォート・プレッシャー」を有する車両で、最高速度が160 km/h (100 mph) の場合

FA = フロント アクセル、RA = リア アクセル	FA	RA
19 インチ・サマー・タイヤ	2.0 bar / 200 kPa / 30 psi	2.0 bar / 200 kPa / 30 psi
20 インチ・サマー・タイヤ	2.0 bar / 200 kPa / 30 psi	2.0 bar / 200 kPa / 30 psi
21 インチ・サマー・タイヤ	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi	2.3 bar / 230 kPa / 33 psi
オール・シーズン / ウィンター・タイヤ	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi	2.2 bar / 220 kPa / 32 psi

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)

テクニカル・データ：オーディオおよびビデオ・ファイル

対応するメディア	SD カード 128 GB まで DVD ドライブ オーディオ CD (最大 80 分)、CD-ROM (最大 700 MB)、DVD±R/RW、標準ビデオ DVD、DVD オーディオ互換ビデオ DVD ポータブル・プレーヤー MTP プレーヤー、"USB デバイス・サブクラス 1 および 6" の USB 2.0 デバイス (USB スティック、専用ドライバー・ソフトウェア不要の USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュ・メモリーおよびハード・ドライブなど) DVD チェンジャー オーディオ CD 80 分まで、標準 DVD ビデオ、DVD ビデオ互換 DVD オーディオ
ファイル・システム	SD/SDHC/SDXC/MMC メモリー・カード USB 大容量記憶装置 exFAT、FAT、または FAT32、NTFS ファイル・システム (最大 4 パーティション) DVD ドライブ ISO9660、Joliet、UDF
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3：Windows Media Audio 9 および 10；MPEG 2/4；FLAC、MPEG 1/2；ISO-MPEG4；DivX 3、4 および 5；Xvid；ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC) M；Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3 (DVD チェンジャーには適用されません)；.wma；.asf；.m4a；.m4b；.aac；.flac；.mpg；.mpeg；.avi；.mp4；.m4v；.mov；.wmv
再生リスト	.M3U；.PLS；.WPL；.M3U8；.ASX
特徴	最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプルング周波数；最大 25 fps 時、最大 2,000 kbit/s および 720x576 px.
ファイル数	DVD ドライブ DVD ごとに最大 1,000 ファイル Jukebox (最大 10 GB ストレージ容量) 最大 3,000 ファイルをコピー可 USB 大容量記憶装置およびメモリー・カード 媒体ごとに最大 10,000 ファイル、ディレクトリー/再生リストごとに最大 1,000 ファイル

テクニカル・データ：オーディオおよびビデオ・ファイル

メタデータ アルバム・カバー最大800 x 800ピクセル；GIF、JPG、およびPNGフォーマット、またはGracenoteデータベース経由

DVD ビデオ地域コード

コード1：USA、カナダおよび米国自治領
 コード2：ヨーロッパ、グリーンランド、南アフリカ、エジプトおよび中東、日本
 コード3：東南アジア、韓国、香港、インドネシア、フィリピン、台湾
 コード4：オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ
 コード5：ロシアおよび他の旧ソ連諸国、東ヨーロッパ、インド、アフリカ
 コード6：中華人民共和国
 コード8：国際領土（船舶、航空機）

テクニカル・データ：接続

携帯ネットワーク GSM/GPRS/EDGE：デュアル・バンド、900 MHz/1800 MHz
 UMTS/HSPA+：トリプル・バンド、900 MHz（Band VIII）/1800 MHz（Band III）/2100 MHz（Band I）
 LTE：クワッド・バンド、800 MHz（Band 20）/900 MHz（Band 8）/1800 MHz（Band 3）/2600 MHz（Band 7）

WiFi IEEE 802.11a/b/g/n（2.4 GHz）

Bluetooth® Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、通信範囲約 10 m

SIMカード ミニ SIM、寸法: 25 x 15 mm

テクニカル・データ：ラジオ

周波数範囲 / 規格 UKW（FM）：87.5~108 MHz（100 kHzごとの手動調節）
 MW（AM）：531~1,602 KHz（1 kHzごとの手動調節）

自動選局付きチューニングゲ・グリッド UKW（FM）：100 kHz
 MW（AM）：9 kHz

テクニカル・データ、TV

規格 12セグTVまたはワンセグTVで暗号化されていない地上波デジタルISBD放送TVチャンネル

テクニカル・データ：CD/DVDドライブ

一般情報 製造時に、このレーザー製品はドイツ/国際規格DIN EN 60825-1に準拠して製造されています：2008-05およびDHHSルール21 CFR Subchapter J、クラス1レーザー製品として分類されています。クラス1レーザー製品のレーザー光線は、通常の作動条件下では危険を生じない程度の弱いものです。この製品は、レーザー光線がデバイス内部に完全に密閉されるように設計されています。

レーザー光線出力 DVD：0.68 mW
CD：0.85 mW

レーザー光線波長 DVD：665 nm
CD：795 nm

ライセンス告知

Bluetooth® Bluetooth® マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、AISIN AW CO., LTD. は認可を受けてこれらを使用しています。他の商標および商品名は、それぞれの所有者により所有されています。

Dolby Digital Dolby Laboratories のライセンスの元で製造しています。Dolby およびダブル D シンボルは、Dolby Laboratories の商標です。

DTS Digital Surround



DTS 特許については、<http://patents.dts.com> を参照してください。DTS Licensing Limited のライセンスの元で製造。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround は DTS, Inc. の登録商標です。© DTS, Inc. 全権利は保護されています。

Gracenote



Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、“Powered by Gracenote” ロゴは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。
Gracenote および “Powered by Gracenote” は、米国またはその他の国における Gracenote, Inc. の登録商標または商標です。

エンド・ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー-または製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー-全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー-の全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを使用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用が許諾されるものとします。

Gracenote は、Gracenote サーバー-における全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバー-からデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバー-にエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバー-の機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバー-の利用により、得る結果について保証しない

Gracenote®

エンド・ユーザー使用許諾契約書

もとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© 2000 to present Gracenote, Inc.

検査マークおよび適合宣言書

欧州連合 (EU)

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG では、当社車両に装着されているラジオおよびレーダー・システムが、用途に基づいて使用する場合、指令 2014/53/EC の基本要件および他の関連規約に適合していることを宣言します。

Argentina

CNC COMISIÓN NACIONAL
DE COMUNICACIONES

CNC ID: H-16163

Brazil



Canada

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may Not cause harmful interference, and

2. This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

Cet appareil est conforme à la Partie 15 des réglementations de la FCC et avec la norme RSS-210 de l'Industrie Canadienne. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

1. Cet appareil ne doit pas causer d'interférences nuisibles et
2. Cet appareil doit accepter toute interférence reçue, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement.

Ghana

NCA APPROVED: 3R8-8M-7DF-2AA
NCA APPROVED: 3R2-1M-7DF-2BC

Hong Kong

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.

Indonesia

38478/SDPPI/2015
44229/SDPPI/2016
36930/SDPPI/2014
34538/SDPPI/2014

Israel

Model Name: TSSRE4Dg

Manufacturer: Huf Electronics Bretten
 Model Name: LRR4
 Manufacturer: Bosch

Jamaica

This product has been Type Approved by
 Jamaica: SMA – BCMevo.

This product has been Type Approved by
 Jamaica: SMA – PK1.

Japan



R 204-560001



R 202-LSC054

Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (- otherwise the granted designation number will become invalid).

Jordan

TRC/LPD/2014/129
 TRC/LPD/2016/44
 TRC/LPD/2014/212
 TRC/LPD/2014/73

Malaysia

CIDF15000490

Mexico

IFETEL: RLVHEBC15-093
 IFETEL: RCPPOPK16-0143
 IFETEL: RLVBOLR14-1873
 IFETEL: RCPBOMP14-0922

Moldova



Morocco

AGREE PAR L' ANRT MAROC
 Numéro d' agrément :
 MR 10293 ANRT 2015
 Date d' agrément : 15/04/2015
 Numéro d' agrément :
 MR 11183 ANRT 2015
 Date d' agrément : 21/12/2015
 Numéro d' agrément :
 MR 9668 ANRT 2014
 Date d' agrément : 30/09/2014
 Numéro d' agrément :
 MR 9186 ANRT 2014
 Date d' agrément : 22/04/2014

Oman

OMAN - TRA/TA-R/2282/14
 D080134
 OMAN - TRA/TA-R/3012/16
 D080134
 OMAN - TRA/TA-R/2609/15
 D080134
 OMAN - TRA/TA-R/2160/14

Pakistan



Philippines



NTC

Type Approval No:
 ESD-1612188C



NTC

Type Approval No:
 ESD-1409770C



NTC

Type Approval No:
 ESD-1408917C

Qatar

Approval Ref.: CRA/SA/2015/R-4714
 Approval Ref.: CRA/SA/2014/R-4315



Serbia



Singapore

Complies with IDA Standards DA 103787.
Complies with IDA Standards DB 03227.

South Africa



TA-2014/2235
認証



TA-2016/136
認証



TA-2014/2597
認証



TA-2014/1784
認証



TA-2014/212
認証

South Korea

송신기 주파수 21.85 kHz
송신기 주파수 433.47 - 434.37 MHz



MSIP-REM-HEB-TSSSG4G5



MSIP-CRM-HEB-TSSRE4DG



BO-LRR4

해당 무선 설비는 전파혼신 가능성이 있으므로
인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음

Taiwan

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條: 經型式認證合格之低功率射頻電機,
非經許可, 公司、商號或使用者均不得擅自變
更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功
能。

第十四條: 低功率射頻電機之使用不得影響飛航
安全及干擾合法通信; 經發現有干擾現象時,
應立即停用, 並改善至無干 擾時方得繼續使
用。

前項合法通信, 指依電信法規定作業之無線電
信。

低功率射頻電機需忍受合法通信或工業、科學
及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

CCAK15LP0801T1
CCAE15LP0190T0

Ukraine



001



028



109

United Arab Emirates

TRA REGISTERED No: ER38298/15,
DEALER No: 0018994/09

TRA REGISTERED No: ER44499/16,
DEALER No: 0018994/09

TRA REGISTERED No: ER38964/15,
DEALER: HUF ELECTRONICS GmbH

TRA REGISTERED No: ER16889/09,
DEALER No: DA36785/14

TRA REGISTERED No: ER39135/15,
DEALER No: DA36785/14

United States of America

NOTICE:

This device complies with Part 15 of the FCC
Rules. Operation is subject to the following two
conditions:

- (1) This device may not cause harmful
interference, and
- (2) this device must accept any interference
received, including interference that may
cause undesired operation.

Changes or modifications made to this equipment not expressly approved by (- manufacturer name) may void the FCC authorization to operate this equipment.

Radiofrequency radiation exposure Information:

The radiated output power of the device is far below the FCC radio frequency exposure limits.

Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.

Vietnam



Lesotho – Liberia – Libya – Liechtenstein – Lithuania – Luxembourg – Macau – Macedonia – Madagascar – Malaysia – Malta – Martinique – Mauritius – Mexico – Monaco – Mongolia – Morocco – Mozambique – Netherlands – New Caledonia – New Zealand – Nigeria – Norway – Oman – Pakistan – Panama – Peru – Poland – Portugal – Puerto Rico – Qatar – Réunion – Romania – Russia – San Marino – Saudi Arabia – Sénégal – Serbia – Singapur – Slovakia – South Africa – Spain – St. Lucia – Sweden – Switzerland – Tahiti – Taiwan – Thailand – United Arab Emirates – United Kingdom – Uruguay – USA – Venezuela – Vietnam – Yemen – Zimbabwe

Bluetooth® 認証 (抜粋)

Albania – Andorra – Angola – Aruba – Australia – Austria – Bahamas – Bahrain – Barbados – Belarus – Belgium – Belize – Bolivia – Bonaire – Bosnia and Herzegovina – Brazil – Brunei – Bulgaria – Burkina Faso – Canada – Chile – China – Colombia – Costa Rica – Croatia – Curacao – Cyprus – Czech Republic – Denmark – Dominican Republic – Ecuador – Egypt – El Salvador – Estonia – Ethiopia – Finland – France – French Guyana – French Polynesia – Gabon – Germany – Ghana – Gibraltar – Guadeloupe – Guatemala – Greece – Greenland – Hongkong – Hungary – Iceland – India – Indonesia – Ireland – Iraq – Israel – Italy – Ivory Coast – Jamaica – Japan – Jordania – Kenya – Kosovo – Kuwait – Latvia – Lebanon –

リサイクル

車両の廃車処分。

EU加盟国内のみ:

使用済みボルシェ車両は、Dr. Ing. h.c. F. Porsche AGにより環境に配慮した方法で無償で処理することが可能です。車両の返還および対応する廃棄証書の発行について:

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。

エアバッグおよびシート・ベルト・テンションナー・ユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、エアバッグ・ユニット、シート・ベルト・テンションナー・ユニットは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。適切な廃棄に関する詳細情報について:

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。

使用済みバッテリー

使用済みバッテリーは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

- ▶ 地域の廃棄指示を遵守してください。
- ▶ 使用済みバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

適切な廃棄に関する詳細情報について:

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。

索引

記号

◇ボタンの設定	141
4WD	
4輪駆動ディスプレイ	46
トルク配分の表示	46
グループ・ボックス	
保管	239
グループ・ボックス内のドライブ	231
ジャッキ	
エア・サスペンション装備車のリフトアップに関する インフォメーション	59
車両のリフト・アップ	124
ジャンクション・ライト*	249
ジャンパー・ケーブルによる始動	
外部電源	126
ジュークボックス	
取り込み/管理	245
ダイナミック・コーナリング・ライト	249
ダイナミック・ハイ・ビーム	249
ダッシュボードのタッチディスプレイ	226
データ・バンク	288
データの呼び出し	
キーへの保存	202
個人用設定の保存と呼び出し	202
データ接続	
アクセス・ポイント (APN) の選択	150
デバイス・マネージャー	168
ディーゼル	
ディーゼル予熱インジケーター・ライト	43
給油	78
燃料タンク容量	290
燃料残量警告灯	42
ディーゼル予熱インジケーター・ライト	43
ディスプレイ	
お手入れの諸注意	280
デジタル・スピードメーター	41
デバイス・マネージャー	168
ドア	
キーを使用したロック	136
ボルシェコンフォート アクセスによるロ ック	136
ボルシェコンフォート アクセスによる車両のロ ック	136
開く	137

緊急ロック	138
車内からの開閉操作とロック	137
非常時ロック解除	138
ドア・ミラー	242
ドア・ミラー・ヒーターのON/OFFを切り替える	88
ドライビング・データの表示 (トリップ情報)	169
ドライブ・モード	170
ドリンクホルダー	68
パーキング・ブレーキ	
ブレーキ・テスト・スタンドでの測定	167
パッシング・ライト	250
バッテリー	
ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動	126
バッテリーの注意事項	196
交換	198
諸注意	196
接続後の作業	198
バッテリー上がり時のジャンパー・ケーブルに よるエンジンの始動	126
バルブ	252
パワー・ウィンドウ	
ウィンドウの開閉	52
キーによるウィンドウの開閉 (リモート・コン ロール)	52
ドア・ハンドルタッチ・センサーでウィンドウを 閉じる (ボルシェ・イージーエントリー装備 車)	53
停止位置の保存	53
パワー・ウィンドウ停止位置の保存	53
ビデオ	
対応するメディア形式	303
ビデオの再生	244
プラグ・ソケット (230 V)	180
プラグ・ソケット (12V)	180
ブレーキ	
Porscheセラミック・コンポジット・ブレーキ (PCCB)	210
エレクトリック・パーキング・ブレーキ	209
テスト・スタンド	167
フット・ブレーキ	209
ブレーキ・フルード	212
ブレイリストを開く	244
ブレッシャー・ポイント	179
プログラムガイド (EPG)	246
プロファイル・トリムの閉鎖	266
ペビー・シート	164
規定の取り付け方向	159

助手席エアバッグのON/OFF	164
推奨するチャイルド・シート・システム	160
ボイスコントロール*	
Siri®	281
呼び出し	218
調整	142, 219
ボルシェ・イージーエントリー	
車両のロック解除	135
操作方法	134
ボルシェ・カー・コネク	
車両とアプリケーション間の通信の停止	223
ボルシェ・カー・コネク*	223
設定	141
ボルシェ・コネク・アプリ	151
ボルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)	
ダッシュボードのタッチディスプレイ	226
リヤのタッチディスプレイ	228
車内でマニュアルを開く	233
ボルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) PSMスポーツの作動	234
機能説明	234
ボルシェ・セラミック・コンポジット・ブレ キ(PCCB)	209
ボルシェ・ダイナミック・ライト・システム・ プラス (PDLS Plus)	249
ボルシェ・ダイナミック・ライト・システム (PDLS)	249
ボルシェコンフォート アクセス	
ロックする	136
車両のロック	136
ボンネット	237
運転席	
[車両 & 情報] ディスプレイ	42
[出力 & 駆動] ディスプレイ	41
[速度 & アシスト] ディスプレイ	41
オドメーター (積算距離計)	45
タコメーター (回転計)	41
トリップ・メーター	45
ライト調節	50
警告灯および表示灯	43
水温計	42
燃料計	42
運転席メモリー	202
運搬 (鉄道、船舶など)	
車両の固定	76
応急処置セット	254

横方向の加速度表示	46	室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー*をOFFにする	113	ボルシェ・イージーエントリーによるロック解除	135
温度の設定		軽合金製ホイール		ボルシェコンフォート アクセスによるロック	
エアコン・システム	84	お手入れの諸注意	278	ク	136
荷物		軽修理		緊急ロック	138
ルーフに積載して運ぶ	264	けん引	75	緊急解除	138
荷物	253	パンクが発生した場合	199	車内からのロック	137
海外モード		検知ライト	250	車両キーの電池が消耗	
ライト	251	言語		車両の始動	70
灰皿		調整	142	車両ジャッキ・モード	141
開く	132	個別モード	170	車両データ記憶媒体	288
掃除する	132	故障	114	車両ドア	
開閉操作		ウィンドウ停止位置の保存	53	ボルシェコンフォート アクセスによるロック	
ルーフシステム	261	パワー・ウィンドウ	53	ク	136
開閉操作とロック	133	車両キーの電池	70	開く	137
サン・ブラインド	262	故障診断用ソケット	6	車内からのロック解除	135
個人用設定の保存と呼び出し	202	交通渋滞情報		車内からの開閉操作とロック	137
車両	133	ナビ	190	車両の洗浄	275
外部機器をUSBまたはAUXを介して接続する	232	交通情報	190	車両の長期保管	280
革製品		工具セット	254	車両プラグ（緊急操作）	149
手入れに関する諸注意	278	工場設定		車両プラグの挿入および充電プロセスの開始	145
環境制御タイプ		車両設定のリセット	142	車両を使用しない場合	279
調整	86	高圧洗浄機		車両情報	
気流の設定	84	取扱説明書	275	インストール・クラスターでの情報取得	47
給油		高速道路走行時のライト	249	車両寸法（メーカー発表値）	293
フィルター・フラップの位置の表示	42	高電圧バッテリーのお手入れ	279	車両設定	
燃料	78	高電圧バッテリー充電および車両充電ポートの接続状態	146	PCM ディスプレイの変更	141
緊急時のドアのロック	138	高電圧バッテリー充電および車両充電ポートの接続表示	146	インストール・クラスター・ディスプレイの変更	141
緊急時のドアのロック解除	138	時刻と日付		キーへの保存	202
緊急操作		調整	142	シート・ヒーター、シート・ベンチレーター、シート・ポジションの調節	141
車両プラグ	149	自動内気循環モードの設定		ジャッキおよびスノー・チェーン・モードの設定	141
充電ポート・リッド	148	エアコン・システム	86	タイヤの種類とサイズの設定	142
携帯電話		自動防眩機能		タイヤ空気圧モニタリング(TPM)	142
荷物	184	ミラー	243	ドア・ロック機能を設定する	141
経由地を入力する（ナビゲーション）	189	識別番号	288	パーソナル・ボタンへの保存	202
警告およびインフォメーション・メッセージ	90	車の手入れ		パフォーマンス	141
エンジン	95	プラスチック製部品	277	ボイス・コントロール・システムの設定	142
ドライビング・システム	102	ヘッドライト	277	ボルシェ・カー・コネクットの設定	141
ハイブリッド車両	111	車内で取扱説明書を開く	233	マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更*	141
安全性	90	車内ブレーキリング/ヒーティング	88	空気圧の差を表示する	142
車両	99	車幅灯	247	警告音量および駐車アシストの調節	142
警告ラベル		車両		言語の設定設定	142
ハイブリッド車	192	キーを使用したロック	136	工場出荷時の設定に戻す	142
警告灯	43	キーを使用したロック解除	135	単位の設定	142
警告システム				日付と時刻の設定	142
ON/OFF	113				
機能説明	113				
機能表示	113				

手入れ		設定		日付と時刻	
Alcantara®	279	車両	141	調整	142
ウィンドウ	277	洗車	275	燃料	
ファブリック・ライニング	279	トランスミッションのニュートラル位置	177	オクタン価	78
革製品	278	選択式触媒還元 (SCR: Selective Catalytic Reduction)		給油	78
手入れに関する諸注意	279	燃料タンク容量	290	燃料タンク容量	290
Alcantara®	279	全積載時		燃料計	42
ウィンドウ	277	調整	143	燃料残量警告灯	42
カーペット	279	走行時間	169	品質	78
フロアマット	279	送風口		燃料インジケーター・ライト	42
革製品	278	調整	85	燃料計	42
収納オプション	239	足下の空間温度		燃料消費量	
グループ・ボックス	239	調整	86	燃料消費量	290
フロント・アームレストの小物入れ	240	地図 (ナビゲーション)		排出ガス	
収納スペース	253	呼び出し	187	CO ₂	290
充填容量		設定	189	標識の眩しさの軽減	250
ウォッシュ液	290	遅延消灯		標準空気圧	
エンジン・オイル	290	調整	249	選択	143
充電		駐車		表示	
充電ポート位置の表示	42	故障	114	[車両 & 情報]	42
充電 (高電圧バッテリー)		停止表示板	254	[出力 & 駆動]	41
安全に関する知識	144	締め付けトルク		[速度 & アシスト]	41
高電圧バッテリー充電および車両充電ポートの接続	146	ホイール・ボルト	156	不凍液	
表示	149	点検		ウォッシュ液の割合	55
車両プラグの緊急操作	149	タイヤ空気圧	152	クーラント内	71
車両プラグの挿入および充電プロセスの開始	145	電子番組ガイド (EPG)	246	部分積載時	
充電タイマー機能	147	電話		調整	143
充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し	146	インストール・クラスターでの電話設定	183	平均速度、燃費、	169
充電アダプター	180	お気に入りの保存 / 編集	182	閉じる	
充電タイマー機能	147	デバイス・マネージャー	168	キーを使用した車両のロック	135
充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し	146	荷物	184	保存	
充電ポート・リッド		塗装		個人用設定	202
位置の表示	42	お手入れ	276	歩行者保護	237
緊急操作	148	お手入れの諸注意	276	放送局を選択 / 保存する	244
縦方向の加速度		つや出し (ポリッシュ)	276	方向指示灯	250
表示	46	汚れ、染みの除去	276	方向指示灯パイロット・ランプ	
重量		傷の補修	276	操作レバー	250
テクニカル・データ	291	保護する	276	万一のときは	
助手席エアバッグオフ/オンインジケータ	57	盗難防止		車両が動き出さないように固定してくださ	
小物入れ		イモビライザー、ステアリング・コラム・ロック	113	い。	199
フロント・アームレスト、開く	240	道路通行料自動徴収システム (ETC)		目的地の入力 / 検索	187
収納オプション	239	道路通行料自動徴収システム (ETC) の使用	191	A	
乗車時補助		読書灯	50	A/C MAX ボタン	
ドア・ロックを解除します。	135	内気循環ボタン	86	エアコン・システム	84
車両のロック	136	内気循環モード		ABS ブレーキ・システム (アンチロック・ブ	
操作方法	134	点灯/消灯	86	レーキ・システム)	235
接続 マネージャー	168				

ACC	
操作方法	32
AdBlue®	
燃料タンク容量	290
Alcantara®	
手入れに関する諸注意	279
AM	
周波数帯を設定する	244
APN (アクセス・ポイント) の選択	150
Apple® CarPlay	
Siri®	281
AUTO (ライト・スイッチ)	
オートマチック・ヘッドライト	247

B

Bluetooth®	
デバイス・マネージャー	168

C

Car Connect*	223
CD/DVDスロット	231
CO ₂ 排出量	290

E

E-HOLD モード	194
e-Launch	179
E-POWER	
プレッシャー・ポイント	179
E-POWER モード	194

F

FM	
周波数帯を設定する	244

G

G-Forceディスプレイ	46
---------------	----

H

HOLD機能	
停止制御	283

I

ISOFIXシステム	
チャイルド・シートの規定の取り付け方向	159
トップ・テザー	166
助手席エアバッグのON/OFF	164
推奨するチャイルド・シート・システム	162

P

PCM でマニュアルを開く	233
PCM*	
お手入れの諸注意	280
ドライビング・データの表示 (トリップ情報)	169
表示の変更	141
PDL.S.	249
PDL.S Plus.	249
Porsche Active Safe (ボルシェ・アクティブ・セーフ) (PAS)	37
距離警告の設定	39
衝突の警告のタイミングの設定	39
乗員の予防的保護機能	39
点灯/消灯	38
Porsche Connect	
ログアウト	151
ログイン	151
Porsche Doppelkupplung (PDK)	176
e-Launch	179
シフトアップ・インジケーター	178
マニュアル・ギヤ・シフト・モード	178
ローンチ・コントロール	179
洗車	177
惰性走行モード	179
PSM	
機能説明	234

S

SD カード・リーダー	231
Siri®	281

T

TPM (タイヤ空気圧モニタリング)	48
--------------------	----

V

VICS	
VICS/ITS スポット情報の表示	190

W

WiFi	
デバイス・マネージャー	168

あ

アームレスト	
フロントの小物入れ	240
アクセサリーの取り付け	266

アクセス・ポイント (APN) の選択	150
アダプティブクルーズコントロール (ACC)	
レーダー・センサー	31
操作方法	32
アダプティブクルーズコントロール (ACC)	
車間距離の設定	34
点灯/消灯	33
アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)	
操作方法	32
アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC)	
アダプティブ・クルーズ・コントロール (自動車速	
制御および自動車間距離制御) の中断と再開	36
警告メッセージ	36
操作ステータス	33
表示	33
例外	36
アッパー・ベンチレーション・パネル	85
アプリ	
ボルシェ・カー・コネクト*	223
ボルシェ・コネクト・アプリ	151
アルミニウム・リム	
お手入れの諸注意	278
アンダーコーティング	
お手入れの諸注意	277
アンビエント・ライト	50

い

イオン化	
点灯/消灯	86
イグニッション	
エンジンの始動および停止	60
イグニッション・ロック	60
イモビライザー	113
インジケーター・ライト	43
インストールメント・クラスター	42
「車両 & 情報」ディスプレイ	42
「出力 & 駆動」ディスプレイ	41
「速度 & アシスト」ディスプレイ	41
オドメーター (積算距離計)	45
オプションの選択および機能の有効化	44
サービス・インターバルの表示	47
スポーツ・クロノ・ストップウォッチ	129
タイヤ空気圧モニタリング	48
タコメーター (回転計)	41
ドライビング・データの表示 (トリップ情報)	169
トリップ・メーター	45
メニュー概要	45
ライト調節	50

概要	41
警告灯および表示灯	43
個人用設定の保存と呼び出し	202
車両情報の呼び出し	47
制限速度の設定	47
操作	44
速度警告の設定	47
燃料計	42
表示の変更	141
インストルメント・クラスターでの制限速度の設定	47
インストルメント・クラスターでの速度警告の設定	47
インストルメント・パネル	
「車両 & 情報」ディスプレイ	42
「出力 & 駆動」ディスプレイ	41
「速度 & アシスト」ディスプレイ	41
タコメーター（回転計）	41
ライト調節	50
概要	41
警告灯および表示灯	43
水温計	42
燃料計	42
表示の変更	141
インストルメント・ライト	
輝度調節	50
インテリア・ライト	
ON/OFF	50
アンビエント・ライト	50
減光	50
う	
ウィンター・タイヤ	
一般情報	154
ウィンター・ホイール	
交換	155
ウィンドウ	
キーによる開閉（リモート・コントロール）	52
フロント・ウィンドウ・デフロスター	87
リヤ・ウィンドウ・ヒーターのON/OFFを切り替える	88
開閉操作	52
手入れに関する諸注意	277
停止位置の保存	53
ウォッシュャー液	
充填容量	290
不凍液	55
補充	55

え

エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きボルシエ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)	58
レベル・コントロールをOFFにする（車両ジャックキ・モード）	59
エア・ベント	
センター・エア・ベントの開閉	85
センター・エア・ベントの調整	85
開閉操作	84
調整	84
エアコン・システム	
A/C MAXモードのON/OFF	84
A/C MAXモードのオン/オフ	84
アッパー・ベンチレーション・パネル	85
イオン化のON/OFFの切り替え	86
オート・エアコンを使用する	83
プレクール/ヒート・タイマー	88
フロント・ウィンドウ・デフロスター	87
温度の設定	84
環境制御タイプの設定	86
気流の設定	84
個人用設定の保存と呼び出し	202
自動内気循環モードの設定	86
車内プレクーリング/ヒーティング	88
足下の空間温度の設定	86
適気配分の調整	85
点灯/消灯	83
内気循環モードのON/OFF	86
風量調節	86
エアバッグ	
お手入れの諸注意	279
安全に関する指示	56
機能	56
警告灯	56
取り付け位置	56
エマーゼンシー・キーを押します	69
エミッション・コントロール（チェック・エンジン）	43
エミッション・コントロール警告灯	43
エレクトリック・パーキング・ブレーキ	
ブレーキ・テスト・スタンドでの測定	167
移動時の自動解放	209
緊急ブレーキ機能	209
警告灯	209
適用および解放	209
エンジン	
オイルの補充	62
クーリング・システム	42

テクニカル・データ	288
始動および停止	60

エンジン・オイル	
一般情報	62
交換量	290
燃料消費量	288
補充	62
エンジン・カバー	237
エンジン・コンパートメント・リッド	237

お

オイル	
一般情報	62
交換量	290
燃料消費量	288
補充	62
オート・スタート/ストップ機能	
前提条件	65
操作方法	65
例外	66
オートマチック・カミング・ホーム・ライト	248
オクタン価、燃料	78
オドメーターの表示およびリセット	45
オフロード・モード（ナビゲーション）	190
オンボード・コンピュータ	
タイヤ空気圧モニタリング	48
ドライビング・データの表示（トリップ情報）	169
メニュー概要	45
お気に入りの保存 / 編集	
メディア	245
電話	182
お手入れ	
アンダーコーティング	277
エアバッグ	279
シート・ベルト	279
シール	278
ホイール・ボルト	156
軽合金製ホイール	278
高圧洗浄機の使用	275
車両の長期保管	280
洗車	275
知識	275
塗装	276
お手入れの諸注意	
PCM*	280
アンダーコーティング	277
エアバッグ	279
シート・ベルト	279

シール	278
スクリーン	280
タッチ・ディスプレイ	280
ディスプレイ	280
ファブリック・ライニング	279
ホイール・ボルト	156
軽合金製ホイール	278
高電圧バッテリー	279
車両の長期保管	280
車両を長期保管する場合の注意点	279
洗車	275
塗装	276

か

カーベット	279
手入れに関する諸注意	279
カップホルダー	68

き

キー	69
エマージェンシー・キーを取り出す	69
スベア・キーの交換	70
個人用設定の保存と呼び出し	202
車両のロック	136
車両のロック解除	135
キー (リモート・コントロール)	
ウィンドウの開閉 (ボルシェ・イージーエントリー 非装備車)	52
キャリアの取り付け	264

く

クーラント (冷却水)	
レベルの点検	72
不凍液	71
クルーズ・コントロール	
OFFにする	74
PSMスポーツ	73
クルーズ・コントロール	73
機能説明	73
速度の設定	73
中断操作	73

け

けん引	
けん引フック	76
一般情報	75

こ

コーナーリング・ライト	
スタティック・コーナーリング・ライト	249
ダイナミック・コーナーリング・ライト	249
コンシェルジュ・サービス	
コンシェルジュ・サービスの開始	188
コンフォート・ブレッシャー	
車速警告	49
選択	143
コンフォート・メモリー・パッケージ	202
コンプレッサー	255

さ

サイド・ロールアップ式サンブラインド	53
サービス・インターバルをインストールメント	
クラスターに表示する	47
サマー・タイヤ	
保管	155
サマー・ホイール	
交換	155
サン・ブラインド	
リヤ・サイド・ウィンドウの上昇/下降	53
開閉操作	262
停止位置の保存	263
サンシェード	
清掃	263
サンシェード停止位置の保存	263

し

シート	
シート位置の調節	117
シート位置の保存/呼び出し	202
チャイルド・シート	158
フロント・シートの調節	117
ベビー・シート	164
マッサージ機能の使用	119
リア・マッサージ機能の使用	120
リヤ・シートの調節	118
推奨するチャイルド・シート・システム	160
シート・ヒーターをON/OFFにする	119
シートベルト	
お手入れの諸注意	279
シートベルト・プリテンショナー	122
シートベルトの高さを調節する	122
警告灯および警告メッセージ	122
高さ調節	122
知識	122
着用	123

シート・ベンチレーターをON/OFFにする	119
シート・メモリー	202
シートベルト	
取り外す	123
シートベルト・プリテンショナー	122
シール	
お手入れの諸注意	278
シガレット・ライター	
ボルト	132
シフト	176
シャーシ番号	288

す

スクリーン	
お手入れの諸注意	280
スタティック・コーナーリング・ライト	249
ステアリング・コラム・ロック	113
ステアリング・ホイール	
○ボタンの設定	141
ヒーターのON/OFF	128
調整	128
ステアリング・ホイール・ヒーターのON/OFF	128
ストップウォッチ	129
スノー・チェーン	
スノー・チェーン・モード	141
一般情報	154
スベア・キーの交換	70
スポイラー	77
スポーツ・エキゾースト・システム	173
スポーツ・クロノ・モード・スイッチ	170
スポーツ・プラス・モード	170
スポーツ・モード	170
スポーツクロノ・ストップウォッチ	129
スマートフォン	
荷物	184
スモーカーズ・パッケージ	132

せ

セーフロック	136
キーを使用した解除	136
ドア・ハンドルの近接センサーで解除する	136
セレクター・レバー	176
センター・アームレスト	
フロントの小物入れ	240
センター・アームレストでの接続	232
センター・ペント	
開閉操作	85

調整	85
セントラル・ロックング	133
キーを使用した車両のロック	136
キーを使用した車両のロック解除	135
ボルシェ・イージーエントリーによる車両のロック解除	135
ボルシェコンフォート アクセスによる車両のロック	136
個人用設定の保存と呼び出し	202
車内からの開閉操作とロック	137

そ

ソースの選択(メディア)	244
ソケット・レンチ(盗難防止ホイール・ボルト)	156

た

タイダウン・リング	
使用	255
ターニング・ライト	249
タイヤ	
ウインター・タイヤ(一般情報)	154
コンフォートまたは標準プレッシャーの選択	143
スノー・チェーン(一般的なインフォメーション)	154
タイヤ・バルブ	154
タイヤの種類とサイズの設定	142
タイヤ空気の充填	152
タイヤ空気圧	295
タイヤ空気圧プレート	288
タイヤ空気圧モニタリング・システム(TPM)に新しいタイヤを登録する	143
タイヤ交換(一般的なインフォメーション)	153
タイヤ表記	153
トレッドの深さ	155
パンク修理	199
ホイール・ボルトの締め付けトルク	156
ホイールおよびタイヤ・サイズ	293
空気圧の差を表示する	142
交換	155
全積載または部分積載の設定	143
保管	155
タイヤ・シーラントの取り除き	255
タイヤ・バルブ	
タイヤ	154
タイヤの速度記号	153
タイヤ空気圧	
インストールメント・クラスターでの情報取得	148
システムの登録	143
タイヤ	295

タイヤ空気圧プレート	288
車速警告	49
点検	152
タイヤ空気圧プレート	288
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)	48
呼び出し	142
登録	143
タイヤ空気圧警告灯	43
タイヤ充填コンプレッサー	255
タコメーター(回転計)	41
タッチ・ディスプレイ	
お手入れの諸注意	280
表示の変更	141
タッチディスプレイ	
操作	229

ち

チェック・エンジン(エミッション・コントロール)	43
チャイルド・シート	
ISOFIXチャイルド・シートの取り付け	165
トップ・テザー	166
規定の取り付け方向	159
助手席エアバッグのON/OFF	164
推奨するチャイルド・シート・システム	160
チャイルド・ロック	137
リヤ・シート	121

つ

ツアーを計画する(ナビゲーション)	189
-------------------	-----

て

テクニカル・データ	
エンジン	288
充填容量	290
燃料消費量	290
テスト・スタンド	
ブレーキ・テスト	167
テレビ(TV)	
プログラムガイド(EPG)の呼び出し	246
呼び出し	244

と

トップ・テザー	
ISOFIXトップ・テザー付きチャイルド・シートの取り付け	166
トップ・テザー付きチャイルド・シートの取り付け	166

トラックの再生	244
トラフィック・ジャムアシスト	
点灯/消灯	174
トランスミッション	
Porsche Doppelkupplung(PDK)	176
洗車	177
トリップ・メーターの表示およびリセット	45
トルク	
テクニカル・データ	288
ホイール・ボルトの締め付けトルク	156
トレイ(電話)	184
トレッドの深さ	
タイヤ	155

な

ナイト・ビュー・アシスト	
点灯/消灯	186
ナイトビューアシスト	185
ナビ	187
インストールメント・クラスターのマップ・ビューとナビゲーション情報	190
オフロード・モード	190
ツアーを計画する	189
交通情報	190
設定	191
地図コンテンツの設定	189
目的地の入力/検索	187

は

ハイ・ビーム・ヘッドライト	
ダイナミック・ハイ・ビーム	249
ハイビーム	250
ハイブリッドモード	194
ハイブリッド車	
e-Launch	179
プレッシャー・ポイント	179
走行モード	194
ハイブリッド車両	192
ハザード・ライト	251
ハンド・ブレーキ	
エレクトリック・パーキング・ブレーキ	209

ひ

ヒューズ	
ヒューズの割り当て	206
ヒューズの交換	205

心

ファブリック・ライニング(手入れに関する諸注意)	279
ファンの設定	
エアコン・システム	84
フィルター・フラップ(燃料給油口カバー)	
位置の表示	42
フット・ブレーキ	
安全に関する指示	210
フルードおよび燃料	
ウォッシュ液	290
エンジン・オイル	290
燃料	290
フロアマット	
手入れに関する諸注意	279
フロント・ウィンドウ	
デフロスター	87
フロント・ウィンドウ・ウォッシャー・システム	
ウォッシャー液の補充	55
充填容量	290
不凍液	55
フロント・シート	
マッサージ機能の使用	119
調整	117
フロント・ワイパー	213
リアワイパー	216
レイン・センサー作動の調節	215
ワイパー・ブレード	216
手入れに関する諸注意	276

へ

ヘッドライト	
バルブの交換	252
マトリックス・ビーム	249
海外モード	251
手入れに関する諸注意	277
調整	252
ヘッドライト・クリーニング・システム	215
ヘッドライト調整	252

ほ

ホイール	
スノー・チェーン(一般的なインフォメーション)	154
タイヤ空気圧プレート	288
タイヤ交換(一般的なインフォメーション)	153
タイヤ表記	153
ホイール・ボルト(お手入れの諸注意)	156

ホイールおよびタイヤ・サイズ	293
締め付けトルク	156
保管	155

ホイール・バランス	
ウィンター・タイヤ(一般的情報)	154
タイヤ・バルブ	154
パンク修理	199
交換	155
盗難防止ホイール・ボルト(ソケット)	156
ホイール・ボルト	156
ホイールのお手入れ	278

ま

マッサージ機能	
フロント	119
後部座席	120
マトリックス・ビーム	249
マニュアル・ギヤ・シフト・モード	178
マルチコリジョン・ブレーキング	236
マルチファンクションステアリングホイールのファンクション・ボタン	44
マルチファンクションステアリングホイールのボタン	44
マルチファンクション・ステアリング・ホイール	
ボタンの設定	141
ボタン	44
マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更*	141

み

ミュージック	
お気に入りの保存/編集	245
グローブ・ボックス内のドライブ	231
ジュークボックスに入れ管理する	245
ラゲッジ・コンパートメント内のDVDチェンジャー	232
外部機器をUSBまたはAUXを介して接続する	232
再生	244
対応するメディア形式	303

ミラー

ドア・ミラー・ヒーター	88
ドア・ミラーの格納/復帰	242
ドア・ミラーの使用	242
ドア・ミラーの調節	242
自動防眩機能	243

駐車アシスタントとしてのドア・ミラーの使用	243
-----------------------	-----

め

メディア	
お気に入りの保存/編集	245
グローブ・ボックス内のドライブ	231
ジュークボックスに入れ管理する	245
ソースの選択	244
プログラムガイド(EPG)の呼び出し	246
ラゲッジ・コンパートメント内のDVDチェンジャー	232
外部機器をUSBまたはAUXを介して接続する	232
検索	244
再生	244
設定の作成	246
対応するメディアおよびデータ形式	303
放送局を選択/保存する	244
メモリー・パッケージ	202
メンテナンス	
ウォッシャー液の補充	55
エンジン・オイルの補充	62
クーラント・レベルの点検と補充	72

も

モード・スイッチ	170
----------	-----

ら

ライト	
アンビエント・ライト	50
インテリア・ライト	50
エントリー/イグジット機能	249
オートマッチック・カムイング・ホーム・ライト	248
オートマッチック・ヘッドライト	247
ジャンクション・ライト*	249
ダイナミック・ハイ・ビーム	249
ターニング・ライト	249
ハイ・ビーム・ヘッドライト	250
ハザード・ライト	251
パッシング・ライト	250
バルブの交換	252
フォグ機能	249
ボルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス(PDLS Plus)	249
ボルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)	249
マトリックス・ビーム	249
リヤ・フォグ・ライト	247
ロー・ビーム	247

悪天候ライト	249
雨天時の機能	248
海外モード	251
外部ライト	247
検知ライト	250
高速道路走行時の機能	249
車幅灯	247
手入れに関する諸注意	277
状況ライト配光	249
遅延消灯の設定	249
標識の眩しさを軽減	250
方向指示灯	250
無効化	248
ラゲッジ・コンパートメント	253
ラゲッジ・コンパートメント・カバー	255
ラゲッジ・コンパートメント・ルーフ	253
開く	258
ラゲッジ・コンパートメント内の DVD チェン	
ジャー	232
ラジオ	244
リ	
リフティング・プラットフォーム	
車両のリフト・アップ	124
リモート・コントロール	69
車両のロック	136
車両のロック解除	135
リヤ・ウィンドウ	
ヒーターのON/OFF	88
リヤ・ウィンドウ・ヒーターのON/OFFを切り	
替える	88
リヤ・シート	
チャイルド・ロック	121
バックレストを折り畳む	118
マッサージ機能の使用	120
調整	118
リヤ・スポイラー	77
オートマチック・モード	77
マニュアル・モード	77
リヤ・ターン・アシスト	270
リヤ・フォグ・ライト	
ライト配光の適応	249
点灯/消灯	247
リヤ・リッド	
開く	258
開放高さ調整	259
リヤのタッチディスプレイ	228

る

ルーフ システム	
開閉操作	261
ルーフ・システム	
サンシェードの清掃	263
停止位置の保存	263
ルーフ・システムの終端位置の保存	263
ルーフ・トランスポート・システム	
アクセサリーの取り付け	266
キャリアの取り付け	264
プロファイル・トリムの閉鎖	266
ルーフに荷物を積載して運ぶ	264

れ

レーダー・センサー	
アダプティブクルーズコントロール	31
レーン・チェンジ・アシスト (LCA)	
ON/OFF	270
リヤ・ターン・アシスト	270
運転状況	272
警告インジケーターの明るさ調節	272
操作方法	271
レーンキープアシスト	
点灯/消灯	268
レイン・センサー	215

ろ

ロー・ビーム	247
ロータリー・ブッシュ・ボタンで	
タッチディスプレイで	229
ロータリー・ブッシュ・ボタンで	229
ロータリー・ブッシュ・ボタンの操作	229
ロールアップ式サンブラインド	53
ローンチ・コントロール	179
ロック	
キーを使用した車両のロック	136
セーフロック	136
ボルシェコンフォートアクセスによる車両のロック	136
緊急時の車両のロック	138
車内からの車両のロック	137
ロック・オプション	
調整	141
ロック解除	
キーから個人用設定を呼び出す	202
キーを使用した車両のロック解除	135
ボルシェ・イージーエントリーによる車両のロック解除	135

リヤ・リッドをロック解除して開く	258
緊急時の車両のロック解除	138
車内からの車両のロック	135
車内からの車両のロック解除	135

わ

ワイパー・ブレード	
交換	216

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ボルシェ カスタマーケアセンター フリーダイヤル：0120-846-911

車両受領証
(販売店で保管)

VIN：車両識別ナンバー _____

エンジンナンバー _____

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

販売店スタンプ

日時

お客様の署名